

取扱説明書

ビジネスプロジェクター

EB-L735U	EB-L630SU
EB-L730U	EB-L630U
EB-L720U	EB-L630W
EB-L635SU	EB-L530U

マニュアル中の表示の意味 8

マニュアルの使い方と情報の探し方	10
キーワードで検索する	10
しおりから直接ジャンプする	10
必要なページだけ印刷する	10
ドキュメント類の最新バージョンを入手する	11

プロジェクターを使用する前に 12

本機の特長	13
長寿命のレーザー光源	13
かんたん投写	13
らくらく無線投写	13
ネットワークでプロジェクター管理	14
展示スペースで投写	15
プロジェクターの各部名称と働き	16
プロジェクターの各部名称 - 前面/上面	16
プロジェクターの各部名称 - 背面	17
プロジェクターの各部名称 - 底面	18
プロジェクターの各部名称 - インターフェイス	19
プロジェクターの各部名称 - 操作パネル	20
プロジェクターの各部名称 - リモコン	21

プロジェクターを準備する 24

プロジェクターの設置	25
輸送に関するご注意	27
プロジェクターの設置・取り付け	27
設置時のご注意	27
投写距離	29
セーフティーワイヤーを取り付ける	30

天吊り金具ELPMB22をお使いのとき	30
天吊り金具ELPMB30をお使いのとき	31

プロジェクターを接続する 33

コンピューターを接続する	33
コンピューターケーブルを接続して映像と音声を出力する	33
HDMIケーブルを接続して映像と音声を出力する	34
ビデオ機器を接続する	34
HDMIケーブルで接続する	35
USB機器を接続する	35
USB機器のデータを投写する	35
USB機器を接続する	36
USB機器を取り外す	36
書画カメラを接続する	36
メディアストリーミング端末を接続する	36
HDBaseTトランスミッターの接続	37
外部機器を接続する	38
HDMIモニターを接続する	38
VGAモニターを接続する	38
外部スピーカーを接続する	39
複数台のプロジェクターを接続する	40
複数台設置時のメニュー設定	41
ケーブルカバーを取り付ける	42
リモコンに電池を取り付ける	43
リモコンを操作する	44

プロジェクターの基本機能を使用する 45

プロジェクターの電源を入れる	46
ホーム画面	47
プロジェクターの電源を切る	49
日時を設定する	50
メニューの言語を選択する	52

設置モードを選択する	53
リモコンで 設置モードを変更する	53
メニューから設置モードを変更する	53
スクリーンタイプを設定する	55
映像の位置を調整する（スクリーン位置）	56
映像の水平位置を調整する（画面シフト）	57
映像の位置を調整する（レンズシフト）	58
テストパターンを表示する	60
映像の高さを調整する	61
映像の形状を補正する	62
タテヨコ補正で映像のゆがみを補正する	62
Quick Corner機能で映像のゆがみを補正する	64
湾曲補正で映像のゆがみを補正する	66
ポイント補正で映像のゆがみを補正する	68
保存したメモリーを呼び出す	70
ズームリングで映像の大きさを調整する	72
映像を縮小する（デジタルズーム）	73
映像の位置を調整する（デジタルピクチャーシフト）	73
フォーカスリングで映像のピントを調整する	75
投写映像を切り替える	76
映像のアスペクト比を設定する	78
映像のアスペクト比を切り替える	78
アスペクトモードの種類	78
映像を最適化する（カラーモード）	80
カラーモードを変更する	80
カラーモードの種類	80
映像の光量を調整する	81
映像の色合いを調整する	82
色相、彩度、明度を調整する	82
ガンマを調整する	83

映像の解像感を調整する（イメージ強調）	85
明るさを設定する	87
残り時間目安の見方	88
光源の使用時間	89
音量ボタンで音量を調整する	90

プロジェクターの便利な機能 91

複数の映像を同時に投写する	92
画面分割投写できない入力ソースの組み合わせ	94
画面分割投写中の制限事項	94
PC Free機能で投写する	95
サポートファイル形式	95
PC Free使用時の注意事項	96
PC Freeのスライドショーを開始する	97
PC Freeで動画を投写する	98
PC Freeの表示オプション	100
コンテンツ再生モードで投写する	101
サポートファイル形式	101
コンテンツ再生モードに切り替える	102
プレイリストを再生する	103
Epson Web Controlを使ってプレイリストを作成する	104
映像に効果を加える（エフェクト機能）	106
コンテンツ再生モードの制限事項	107
映像と音声を一時的に遮断する	109
映像を一時的に停止する	110
画面の一部を拡大表示する（Eズーム）	111
映像を拡大・縮小する（Eズーム）	112
映像を拡大表示する	112
映像を縮小表示する	112
ユーザーロゴを設定する	114

プロジェクターの設定をメモリーに保存する	116
映像の詳細設定を行う	117
色味を調整する（ユニフォーミティー）	117
光源キャリブレーションを実行する	118
複数台のプロジェクターから投写する（マルチプロジェクシ ン機能）	120
マルチプロジェクションの調整手順	120
プロジェクターのID設定	121
プロジェクターにIDを設定する	121
操作対象のプロジェクターIDをリモコンで選択する	122
映像を配置する（タイリング）	123
タイリングを構成する	123
映像のつなぎ目を補正する	125
黒レベルを調整する	127
黒レベル補正領域を調整する	128
カラーマッチングを調整する	129
映像を切り出して表示する	131
セキュリティ機能	133
パスワードプロテクトの種類	133
パスワードを設定する	133
パスワードプロテクトの種類を設定する	134
パスワードを入力する	135
操作パネルのボタン操作を制限する	136
操作ボタンロックを解除する	136
リモコンのボタン操作を制限する	136
セキュリティケーブルを取り付ける	137
 ネットワーク上のプロジェクターを使用する	 138
有線LANでの映像投写	139
有線LANに接続する	139
有線LANを設定する	139
無線LANでの映像投写	143

内蔵の無線LANユニットを安全にお使いいただくために	143
無線LANユニットを取り付ける	144
さまざまなネットワーク投写に対応した接続方法	144
プロジェクターの無線LANを設定する	145
Windowsで無線LANを設定する	149
Macで無線LANを設定する	149
無線LANのセキュリティーを設定する（シンプルAPモード）	149
無線LANのセキュリティーを設定する（インフラストラクチャーモー ド）	150
サポートするクライアント・CA証明書の一覧	152
QRコードを使用してモバイルデバイスに接続する	152
USBキーを使って接続する（Windowsのみ）	153
ワイヤレスプレゼンテーションシステムを使って接続する （Windows/Macのみ）	154
はじめてワイヤレスプレゼンテーションシステムを使うときの準備	154
ワイヤレスプレゼンテーションシステムで投写する	156
モバイルデバイスからのワイヤレス投写（Screen Mirroring）	157
Screen Mirroringを設定する	157
Miracast機能を使ってScreen Mirroring接続する	159
Windows 10でScreen Mirroring接続する	160
Windows 8.1でScreen Mirroring接続する	160
セキュアHTTP	162
メニューからWebサーバー証明書を設定する	162
サポートするWebサーバー証明書の一覧	163
画面共有	164
投写画面を共有する	164
画面共有を終了する	165
共有された画面を受信する	166

プロジェクターを監視および制御する 167

Epson Projector Management	168
----------------------------------	-----

Webブラウザを使ってネットワークプロジェクターを制御する	169
Web Controlの画面一覧	171
Webブラウザで証明書を設定する	178
メールでプロジェクターの異常を通知する	180
異常通知メールの見方	180
SNMPを使ってプロジェクターを監視する	181
ESC/VP21コマンドを使用する	182
ESC/VP21コマンドリスト	182
ケーブル配線	182
PJLinkについて	183
Crestron Connectedについて	184
Crestron Connectedを設定する	184
Web APIを使ってプロジェクターを操作する	186
Web APIを有効にする	186
プロジェクターのイベントスケジュールを設定する	187
 メニューの設定	 190
プロジェクターメニューを操作する	191
ソフトキーボードを操作する	192
ソフトキーボードで入力可能な文字	192
映像調整メニュー	193
信号入出力メニュー	196
設置メニュー	199
表示メニュー	202
動作メニュー	204
管理メニュー	208
Event ID一覧	210

ネットワークメニュー	212
ネットワーク設定メニュー	213
ネットワーク設定 - 無線LANメニュー	214
ネットワーク設定 - 有線LANメニュー	216
ネットワーク設定 - メール通知メニュー	217
ネットワーク設定 - プロジェクター制御メニュー	218
ネットワーク設定 - ネットワーク投写メニュー	219
マルチプロジェクションメニュー	221
メモリーメニュー	223
初期・全体設定メニュー	224
メニュー設定を別のプロジェクターにコピーする（一括設定機能）	225
USBメモリーを使って一括設定する	225
コンピューターを使って一括設定する	226
一括設定でエラーが発生したときは	227

プロジェクターをメンテナンスする 228

プロジェクターのメンテナンス	229
レンズを清掃する	230
本機を清掃する	231
エアフィルターと吸排気口をメンテナンスする	232
エアフィルターと吸気口を清掃する	232
エアフィルターを交換する	234
ファームウェアを更新する	236
USBストレージを使ってファームウェアを更新する	236
コンピューターとUSBケーブルを使ってファームウェアを更新する	237

困ったときに 240

トラブルの対処方法	241
-----------------	-----

インジケータの見方.....	242
ステータス表示を確認する	245
ステータスに表示されるメッセージ	245
映像や音声に関するトラブル	248
映像が表示されない	248
「映像信号が入力されていません」というメッセージが表示される.....	249
Windowsのノートパソコンから映像を出力する	249
Macのノートパソコンから映像を出力する	249
「この信号は本プロジェクターでは受けられません」というメッセージ が表示される.....	249
映像の一部が表示されない.....	250
映像がゆがむ.....	250
映像にノイズが入る、乱れる.....	251
映像がぼやける.....	251
映像の明るさや色合いが違う	252
映像に残像が残る（焼き付き）	252
音が出ない、小さい.....	253
PC Freeで画像ファイル名が正しく表示されない	253
PC Freeで映像が投写できない.....	253
プロジェクター、リモコンの操作に関するトラブル.....	254
電源が入らない、予期せず切れる	254
リモコンで操作できない	254
パスワードが入力できない.....	255
「時刻を保持する電池残量が低下しています」というメッセージが表示 される	255
ネットワークに関するトラブル	256
無線LAN認証できない	256
Webブラウザを使って設定を変更できない	256
異常が起きたときにメール通知されない.....	256
ネットワーク経由で投写した映像が乱れる.....	257
Screen Mirroringで接続できない.....	257
Screen Mirroringソースを2系統使用できない	257
Screen Mirroringの映像・音声が乱れる	258
共有画面を受信できない	258

コンテンツ再生モードに関するトラブル	259
HDMIリンクで操作できない	260

付録 261

オプション・消耗品一覧.....	262
スクリーン	262
ケーブル	262
設置用金具	262
無線LAN用オプション	262
外付けオプション	263
消耗品	263
スクリーンサイズと投写距離	264
EB-L735U/EB-L730U/EB-L635SU/EB-L630SU/EB-L630U/EB-L630W/EB-L530U	264
EB-L720U	267
対応解像度	269
本機仕様.....	273
接続端子	274
外形寸法図	275
Epson Projector Content Managerの対応機能.....	276
Epson Projector Professional Toolの対応機能.....	277
安全規格対応シンボルマークと説明.....	279
レーザー製品を安全にお使いいただくために	281
レーザー警告ラベル	281
用語解説.....	283
一般のご注意	285
使用限定について	285
本機を日本国外へ持ち出す場合の注意	285
瞬低（瞬時電圧低下）基準について	285
JIS C 61000-3-2適合品	285

表記について.....	285
商標について.....	286
ご注意.....	286
著作権について.....	287

マニュアル中の表示の意味

安全に関する表示

本製品および取扱説明書には、製品を安全にお使いいただくために絵表示が使われています。

人体への危害や財産への損害を防ぐために、次の絵表示で表記された説明は、内容をよくお読みいただいた上で、説明に従ってお取り扱いください。

 警告	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
 注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

一般情報に関する表示

 注意	注意して取り扱わないと、本製品の故障や損傷の原因となるおそれがある内容を記載しています。
	知っておくと便利な関連情報を記載しています。
【ボタン名】	リモコンまたは操作パネルのボタン名称を示しています。 例：【戻る】ボタン
[メニュー/設定名]	プロジェクターのメニューや設定の名称を示しています。 例： [映像調整] メニューを選択する ☛ [映像調整] > [カラーモード]
»	関連事項を記載しているページを示しています。
☛	プロジェクターのメニューの階層を示しています。

» 関連項目

- ・「マニュアルの使い方と情報の探し方」 [p.10](#)

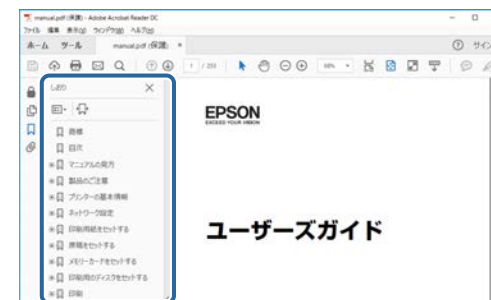
- ・「ドキュメント類の最新バージョンを入手する」 [p.11](#)

PDFマニュアルでは、探したい情報のキーワードから該当箇所を検索したり、しおりから直接ジャンプしたりすることができます。また、必要なページだけ印刷することもできます。ここでは、PDFマニュアルをコンピュータのAdobe Reader Xで開いた場合の使い方を説明します。

▶ 関連項目

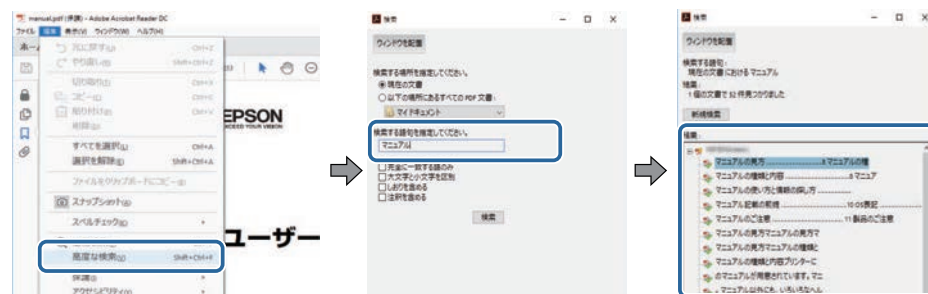
- ・「キーワードで検索する」 [p.10](#)
- ・「しおりから直接ジャンプする」 [p.10](#)
- ・「必要なページだけ印刷する」 [p.10](#)

- ・ Windows : [Alt] キーを押したまま [←] キーを押します。
- ・ Mac OS : commandキーを押したまま [←] キーを押します。



キーワードで検索する

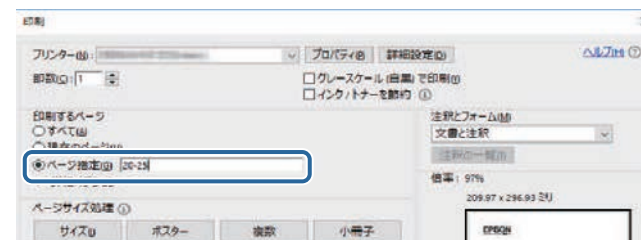
[編集] メニューの [高度な検索] をクリックします。検索ボックスに探したい情報のキーワード (語句) を入力して、[検索] をクリックします。キーワードの該当箇所が一覧で表示されます。表示された文字列をクリックすると、該当ページにジャンプします。



必要なページだけ印刷する

紙で読みたいページだけを抜き出して印刷できます。[ファイル] メニューの [印刷] をクリックして、[印刷するページ] の [ページ指定] で印刷したいページを指定します。

- ・ 連続したページの指定は、開始ページと終了ページの間にハイフンを入れます。
例 : 20-25
- ・ 連続していない複数ページの指定は、ページをカンマで区切ります。
例 : 5,10,15



しおりから直接ジャンプする

タイトルをクリックするとそのページにジャンプします。[+] または [>] をクリックすると下の階層のタイトルが表示されます。ジャンプ前のページに戻りたいときは、キーボードで以下の操作をします。

説明書や仕様書の最新バージョンは、EPSONのWebサイトからダウンロードできます。

epson.jp/lcp/doc/にアクセスし、機種名を入れてください。

プロジェクターを使用する前に

本機の特長と各部の名称について説明します。

▶ 関連項目

- ・「本機の特長」 [p.13](#)
- ・「プロジェクターの各部名称と働き」 [p.16](#)

本機は、用途に合わせたさまざまな機能を備えたプロジェクターです。各機能の特長と各部の名称について説明します。

▶ 関連項目

- ・「長寿命のレーザー光源」 [p.13](#)
- ・「かんたん投写」 [p.13](#)
- ・「らくらく無線投写」 [p.13](#)
- ・「ネットワークでプロジェクター管理」 [p.14](#)
- ・「展示スペースで投写」 [p.15](#)

長寿命のレーザー光源

レーザーダイオードを使用しているため、メンテナンスの手間が少なく、突然の光源切れによる中断のリスクを削減できます。

かんたん投写

- ・電源コードをコンセントに差し込むだけで本機の電源をオンにします（ダイレクトパワーオン）。
- ・接続機器からの入力信号を検出して、自動的に本機の電源をオンにします（オートパワーオン）。
- ・ホーム画面を使って、入力ソースやよく使う機能を簡単に選択できます。

▶ 関連項目

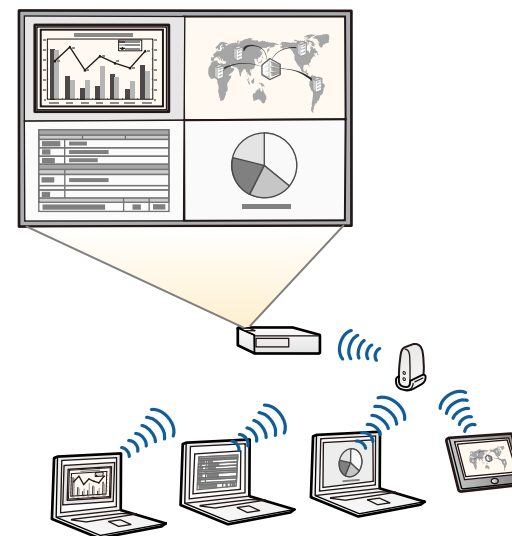
- ・「ホーム画面」 [p.47](#)
- ・「プロジェクターの電源を入れる」 [p.46](#)

らくらく無線投写

- ・Screen Mirroringを使うと、Miracastに対応のモバイルデバイスと本機を無線で接続します。



- ・Epson iProjection (Windows/Mac) を使うと、投写画面を分割して最大4つの画面を同時に投写できます。ネットワーク上のコンピュータの画面や、Epson iProjectionがインストールされているスマートフォンやタブレット端末内のデータを投写できます。詳しくは『Epson iProjection操作ガイド (Windows/Mac)』をご覧ください。





- ・無線LAN経由で投写するときは、本機に無線LANユニットを取り付けてから無線LAN設定をしてください（EB-L720U）。無線LANユニットが同梱されていない場合は、オプション品をお買い求めください。本機と同梱品は『かんたん操作ガイド』で確認できます。
- ・無線LANユニットが内蔵されている機種では、無線LANユニットの取り付けは不要です（EB-L735U/EB-L730U/EB-L635SU/EB-L630SU/EB-L630U/EB-L630W/EB-L530U）。
- ・必要なソフトウェアおよび取扱説明書は以下のWebサイトからダウンロードできます。

epson.jp/download

- ・Epson iProjection (iOS/Android) を使うと、本機とモバイルデバイスを無線で接続できます。Epson iProjectionはApp Store、Google Playからダウンロードできます。



App Store、Google Playへ接続する際の通信料はお客様の負担となります。

- ・Epson iProjection (Chromebook) を使うと、本機とChromebookを無線で接続できます。Epson iProjectionは、Chromeウェブストアからダウンロードできます。



Chromeウェブストアへ接続する際の通信料はお客様の負担となります。

▶ 関連項目

- ・「有線LANでの映像投写」 [p.139](#)
- ・「無線LANでの映像投写」 [p.143](#)
- ・「モバイルデバイスからのワイヤレス投写（Screen Mirroring）」 [p.157](#)

ネットワークでプロジェクター管理

Epson Projector Professional Toolを使うと、お使いのコンピューターからネットワーク経由で投写映像を調整したり、本機の状態を監視したりできます。

詳しくは『Epson Projector Professional Tool 操作ガイド』をご覧ください。



必要なソフトウェアおよび取扱説明書は以下のWebサイトからダウンロードできます。

epson.jp/download

▶ 関連項目

- ・「Epson Projector Professional Toolの対応機能」 [p.277](#)

展示スペースで投写

美術館、ショールーム、店舗などでのデジタルサイネージに適した映像を投写できます。



- コンテンツ再生モードでは、USBメモリーに保存したプレイリストを再生できます。エフェクト機能で映像の色や形を変えることもできます。
- 以下の方法で、コンテンツ再生モードで再生するプレイリストを作成できます。
 - Epson Projector Content Managerを使うと、画像や動画をプレイリストに追加して外付けデバイスに保存できます。エフェクト機能を使って投写映像の色や形を変えたり、プレイリストを再生する日時を指定するタイムテーブルを設定することもできます。詳しくは『Epson Projector Content Manager操作ガイド』をご覧ください。

- Epson Web Controlを使うと、Webブラウザを使ってプレイリストを作成して、ネットワークプロジェクターに接続されている外付けデバイスに保存できます。エフェクト機能を使って投写映像の色や形を変えることもできます。
 - Epson Creative Projectionを使うと、iOSのモバイルデバイスでデジタルサイネージコンテンツを作成できます。プロジェクターにコンテンツをワイヤレスに転送することもできます。
- Epson Creative Projectionは、App Storeから無料でダウンロードできます。App Storeへ接続する際の通信料はお客様の負担となります。



必要なソフトウェアおよび取扱説明書は以下のWebサイトからダウンロードできます。

epson.jp/download

▶ 関連項目

- 「コンテンツ再生モードで投写する」 [p.101](#)
- 「Epson Projector Content Managerの対応機能」 [p.276](#)

本機の各部名称とその働きについて説明します。

本書では断りがなくEB-L735Uのイラストを用いて説明しています。

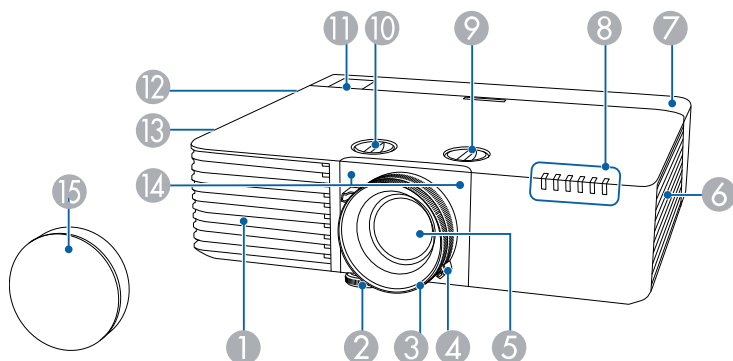
プロジェクターの各部の形状はお使いの機種によって異なります。

▶ 関連項目

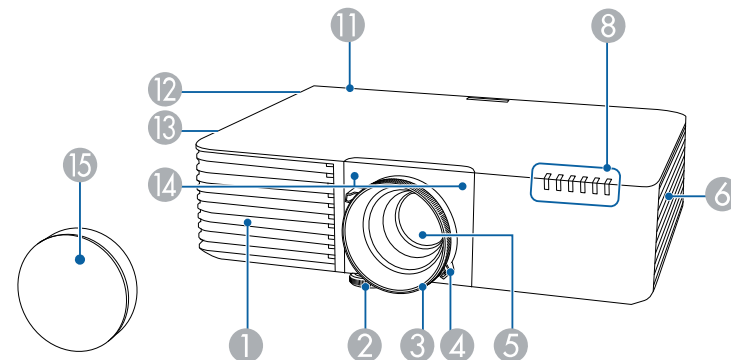
- ・「プロジェクターの各部名称 - 前面/上面」 p.16
- ・「プロジェクターの各部名称 - 背面」 p.17
- ・「プロジェクターの各部名称 - 底面」 p.18
- ・「プロジェクターの各部名称 - インターフェイス」 p.19
- ・「プロジェクターの各部名称 - 操作パネル」 p.20
- ・「プロジェクターの各部名称 - リモコン」 p.21

プロジェクターの各部名称 - 前面/上面

EB-L735U/EB-L730U/EB-L635SU/EB-L630SU/EB-L630U/EB-L630W/EB-L530U



EB-L720U



名称		働き
①	吸気口	本機内部を冷却するための空気を取り込みます。
②	フロントフット	机上設置時に、フットを伸ばして映像の高さを調整します。
③	フォーカスリング	映像のピントを合わせます。
④	ズームリング (EB-L735U/EB-L730U/EB-L720U/EB-L630U/EB-L630W/EB-L530U)	映像のサイズを調整します。
⑤	投写レンズ	ここから映像を投写します。
⑥	吸気口 (エアフィルター)	本機内部を冷却するための空気を取り込みます。
⑦	ケーブルカバー (EB-L735U/EB-L730U/EB-L635SU/EB-L630SU/EB-L630U/EB-L630W/EB-L530U)	ケーブルを接続した背面の接続端子部のカバーです。 ケーブルを接続するときや無線LANユニットを装着するときに、ネジを2本ゆるめてカバーを外します。

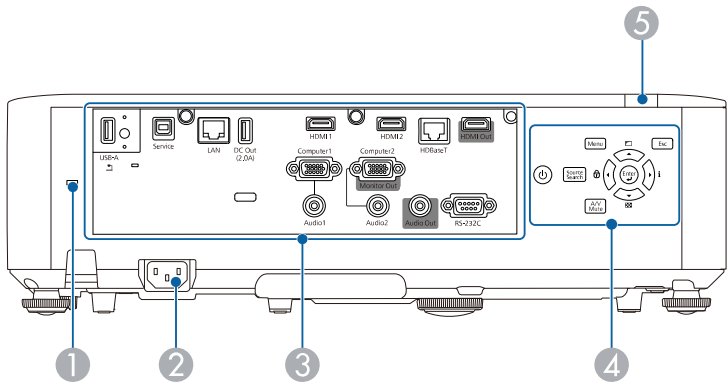
名称	働き
⑧ インジケーター	本機の状態を表示します。
⑨ 上下レンズシフトダイヤル (EB-L735U/EB-L730U/EB-L635SU/EB-L630SU/EB-L630U/EB-L630W/EB-L530U)	ダイヤルを回して投写映像の位置を上下に移動します。
⑩ 左右レンズシフトダイヤル (EB-L735U/EB-L730U/EB-L635SU/EB-L630SU/EB-L630U/EB-L630W/EB-L530U)	ダイヤルを回して投写映像の位置を左右に移動します。
⑪ リモコン受光部	リモコン信号を受信します。
⑫ スピーカー	音声を出力します。
⑬ 排気口	本機内部を冷却した空気の吐き出し口です。 ⚠ 注意 投写中は手や顔を排気口に近づけたり、熱による悪影響を受けるものを排気口の近くに置かないでください。排気口から温風が出るため、やけどや変形、事故の原因となります。
⑭ リモコン受光部	リモコン信号を受信します。
⑮ レンズカバー	本機を使用しないときに装着し、投写レンズを保護します。

▶ 関連項目

- 「エアフィルターと吸排気口をメンテナンスする」 [p.232](#)
- 「インジケーターの見方」 [p.242](#)

- 「リモコンを操作する」 [p.44](#)
- 「ズームリングで映像の大きさを調整する」 [p.72](#)
- 「フォーカスリングで映像のピントを調整する」 [p.75](#)
- 「ケーブルカバーを取り付ける」 [p.42](#)
- 「映像の位置を調整する（レンズシフト）」 [p.58](#)

プロジェクターの各部名称 - 背面

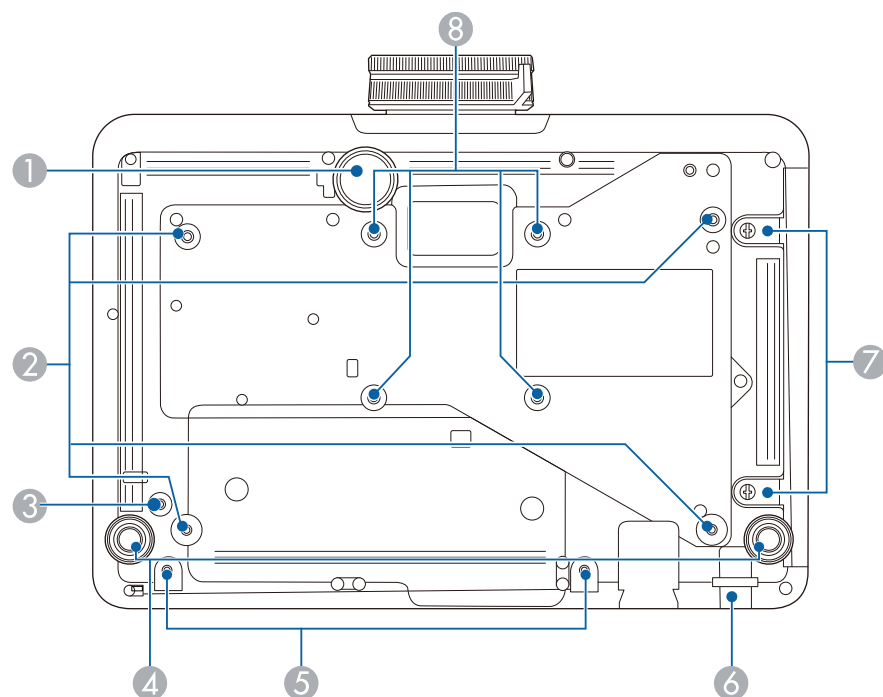


名称	働き
① セキュリティスロット	Kensington社製のマイクロサーバーセキュリティシステムに対応したセキュリティスロットです。
② 電源端子	電源コードを接続します。
③ インターフェイス	外部機器を接続します。
④ 操作パネル	本機の操作をします。
⑤ リモコン受光部	リモコン信号を受信します。

▶ 関連項目

- ・「プロジェクターの各部名称 - インターフェイス」 [p.19](#)
- ・「セキュリティーケーブルを取り付ける」 [p.137](#)

プロジェクターの各部名称 - 底面



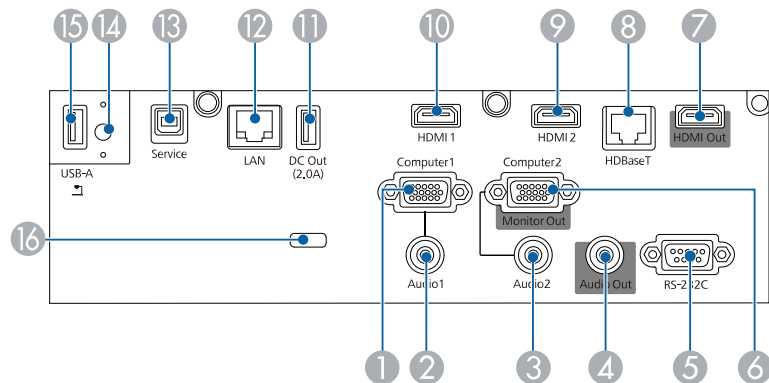
名称	働き
① フロントフット	机上設置時に、フットを伸ばして映像の高さを調整します。
② 天吊り金具固定部（4箇所）	本機を天井から吊り下げるときは、オプションの天吊り金具をここに取り付けます。

名称	働き
③ ワイヤークランプ固定部	オプションの天吊り金具を取り付けるときは、落下防止のため、カラビナをここに取り付けてセーフティーワイヤーを通します。
④ リアフット	机上設置時に、フットを伸縮させて水平方向の傾きを調整します。
⑤ ネジ穴（ケーブルカバー用）（EB-L735U/EB-L730U/EB-L635SU/EB-L630SU/EB-L630U/EB-L630W/EB-L530U）	ケーブルカバーを固定するためのネジ穴です。
⑥ セキュリティーケーブル取付け部	市販の盗難防止用ワイヤーロックをこの部分に通して施錠します。 警告 セーフティーワイヤーをここに通さないでください。
⑦ エアフィルターカバー固定ネジ	エアフィルターカバーを固定するネジです。
⑧ 金具固定部（4箇所）	壁や天井に取り付けるときは、VESA規格（100 × 100 mm）に準拠した市販の金具をここに取り付けます。

▶ 関連項目

- ・「セキュリティーケーブルを取り付ける」 [p.137](#)

プロジェクターの各部名称 - インターフェイス



名称		働き
①	Computer1 端子	コンピューターから映像信号を入力します。
②	Audio1 端子	Computer1 端子に接続された機器の音声を入力します。
③	Audio2 端子	Computer2 端子に接続された機器の音声を入力します。
④	Audio Out 端子	投写中の入力ソースの音声を外部スピーカーに出力します。
⑤	RS-232C 端子	RS-232C ケーブルを接続して、コンピューターから本機を制御します。（通常はこの端子を使用する必要はありません。）

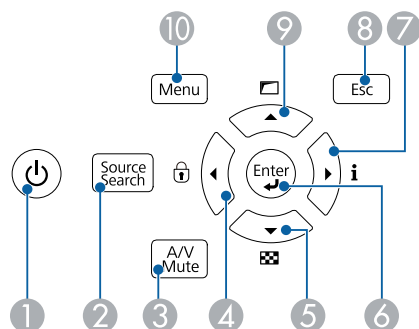
名称	働き
⑥ Computer2/Monitor Out 端子	「信号入出力」メニューの「モニター出力端子」を「モニター出力」に設定しているときは、Computer1 端子から入力しているアナログ RGB 信号を外部モニターに出力します。他の端子から入力している信号は出力できません。 「信号入出力」メニューの「モニター出力端子」を「コンピューター2」に設定しているときは、コンピューター映像信号を入力します。
⑦ HDMI Out 端子 (EB-L735U/EB-L730U/EB-L635SU/EB-L630SU/EB-L630U/EB-L630W/EB-L530U)	外部モニターに映像信号を出力します。複数台のプロジェクターを並べて、ひとつの大きな映像として投写するとき、HDMI ケーブルで隣のプロジェクターの HDMI 端子と接続します。この端子は HDCP2.3 に対応しています。
⑧ HDBaseT 端子	LAN ケーブルを接続して、オプションの HDBaseT トランスミッターに接続します。この端子は HDCP2.3 に対応しています。
⑨ HDMI2 端子	HDMI に対応したビデオ機器やコンピューターの信号を入力します。 この端子は HDCP2.3 に対応しています。
⑩ HDMI1 端子	
⑪ DC Out 端子 (EB-L735U/EB-L730U/EB-L635SU/EB-L630SU/EB-L630U/EB-L630W/EB-L530U)	オプションまたは市販のメディアストリーミング端末に電力を供給します。 USB データ転送には使用できません。
⑫ LAN 端子	LAN ケーブルを接続して、ネットワークに接続します。
⑬ Service 端子	一括設定機能でメニュー設定をコピーするときや、ファームウェアを更新するときに使います。
⑭ 無線 LAN ユニット 固定ネジ	無線 LAN ユニットカバーを固定するネジです。

名称	働き
⑮ USB-A端子	USB機器を接続して映像を投写します。 オプションの書画カメラを接続します。 無線LANユニットを取り付けます。 オプションのトランスミッターとペアリングするときに接続します。 USBメモリーを接続して、エラーログや操作ログを保存します。
⑯ ケーブルホルダー	ケーブル類を固定するための市販の結束バンド（ケーブルタイ）を通します。

▶ 関連項目

- ・「プロジェクターを接続する」 p.33
- ・「無線LANでの映像投写」 p.143

プロジェクターの各部名称 - 操作パネル



プロジェクター本体には（ ）内の名称が印字されています。

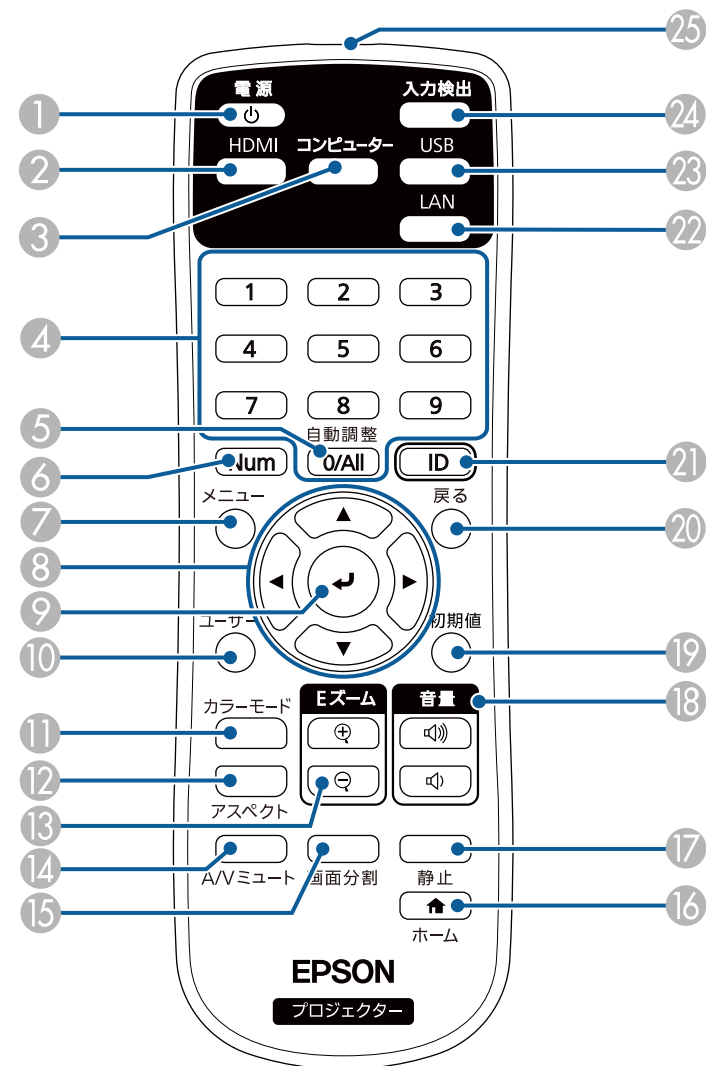
名称	働き
① 電源ボタン（  ）	本機の電源をオン/オフします。
② 【入力検出】ボタン （Source Search）	映像信号が入力されている入力ソースに順番に切り替えます。
③ 【A/Vミュート】ボタン （A/V Mute）	映像と音声を一時的に遮断します。
④ 左ボタン	プロジェクターの［操作ボタンロック］画面を表示します。 メニューやヘルプの表示中に押すと、メニュー項目を選択します。
⑤ 下ボタン	テストパターンを表示します。 メニューやヘルプの表示中に押すと、メニュー項目を選択します。
⑥ 【決定】ボタン （  ） （Enter）	メニューやヘルプの表示中に押すと、選択項目を決定して、次の階層に進みます。 コンピューター端子からアナログRGB信号を投写しているときに押すと、［アナログ信号調整］（［トラッキング］、［同期］、［表示位置］）の設定を最適にします。
⑦ 右ボタン	［情報表示］画面を表示します。 メニューやヘルプの表示中に押すと、メニュー項目を選択します。
⑧ 【戻る】ボタン （Esc）	実行中の機能を終了します。 メニューの表示中に押すと、前のメニュー階層に戻ります。
⑨ 上ボタン	［幾何学歪み補正］画面を表示します。 メニューやヘルプの表示中に押すと、メニュー項目を選択します。

名称	働き
⑩ 【メニュー】ボタン (Menu)	メニュー画面を表示/終了します。

関連項目

- ・「投写映像を切り替える」 [p.76](#)
- ・「メニューの設定」 [p.190](#)

プロジェクターの各部名称 - リモコン



名称	働き
① 電源ボタン (⏻)	本機の電源をオン/オフします。
② 【HDMI】 ボタン	HDMI1端子とHDMI2端子からの映像に切り替えます。
③ 【コンピューター】 ボタン	Computer1端子とComputer2端子からの映像に切り替えます。
④ テンキーボタン	【Num】 ボタンを押しながらテンキーボタンを押して、メニュー内で数字を入力します。
⑤ 【自動調整】 ボタン	Computer端子からアナログRGB信号を投写しているときに押すと、[アナログ信号調整]（[トラッキング]、[同期]、[表示位置]）の設定を最適にします。
⑥ 【Num】 ボタン	数字を入力するときに、このボタンを押しながらテンキーボタンを押します。
⑦ 【メニュー】 ボタン	メニュー画面を表示/終了します。
⑧ 上下左右ボタン	メニューの表示中に押すと、メニュー項目を選択します。
⑨ 【決定】 ボタン (↵)	メニューの表示中に押すと、選択項目を決定して、次の階層に進みます。
⑩ 【ユーザー】 ボタン	[管理] メニューの [ユーザーボタン] で設定した機能を実行します。
⑪ 【カラーモード】 ボタン	カラーモードを変更します。
⑫ 【アスペクト】 ボタン	アスペクトモードを切り替えます。
⑬ 【Eズーム】 +/- ボタン	投写映像のサイズを調整します。
⑭ 【A/Vミュート】 ボタン	映像と音声を一時的に遮断します。

名称	働き
⑮ 【画面分割】 ボタン	投写画面を分割して、最大4つの異なる機器の画面を同時に投写します。
⑯ 【ホーム】 ボタン	ホーム画面を表示/終了します。
⑰ 【静止】 ボタン	映像を一時停止します。
⑱ 【音量】 上げ/下げ ボタン	スピーカーの音量を調整します。
⑲ 【初期値】 ボタン	選択した設定を初期値に戻します。
⑳ 【戻る】 ボタン	実行中の機能を終了します。 メニューの表示中に押すと、前のメニュー階層に戻ります。
㉑ 【ID】 ボタン	リモコンで操作対象のプロジェクターのIDを選択するときに、このボタンを押しながらテンキーボタンを押します。
㉒ 【LAN】 ボタン	ネットワーク経由で接続している機器からの映像に切り替えます。
㉓ 【USB】 ボタン	USB-A端子からの映像に切り替えます。
㉔ 【入力検出】 ボタン	映像信号が入力されている入力ソースに順番に切り替えます。
㉕ リモコン発光部	リモコン信号を出力します。

▶ 関連項目

- ・「コンテンツ再生モードで投写する」 [p.101](#)
- ・「映像を最適化する（カラーモード）」 [p.80](#)
- ・「映像のアスペクト比を設定する」 [p.78](#)
- ・「映像を拡大・縮小する（Eズーム）」 [p.112](#)
- ・「ホーム画面」 [p.47](#)
- ・「投写映像を切り替える」 [p.76](#)
- ・「画面の一部を拡大表示する（Eズーム）」 [p.111](#)
- ・「映像と音声を一時的に遮断する」 [p.109](#)

- ・「複数の映像を同時に投写する」 [p.92](#)
- ・「映像を一時的に停止する」 [p.110](#)
- ・「音量ボタンで音量を調整する」 [p.90](#)
- ・「プロジェクターにIDを設定する」 [p.121](#)
- ・「メニューの設定」 [p.190](#)

プロジェクターを準備する

プロジェクターの準備方法を説明します。

▶ 関連項目

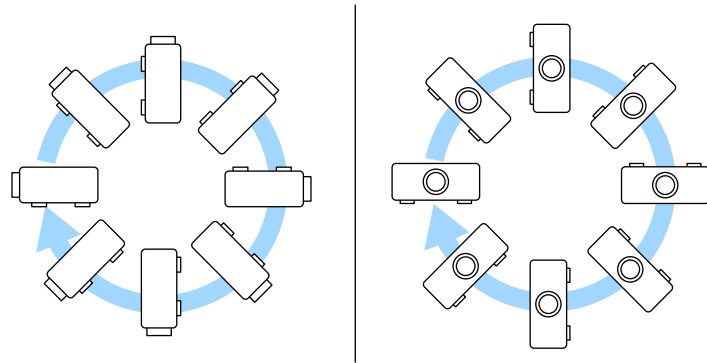
- ・「プロジェクターの設置」 [p.25](#)
- ・「セーフティワイヤーを取り付ける」 [p.30](#)
- ・「プロジェクターを接続する」 [p.33](#)
- ・「ケーブルカバーを取り付ける」 [p.42](#)
- ・「リモコンに電池を取り付ける」 [p.43](#)

平らな場所にプロジェクターを置いて映像を投写します。

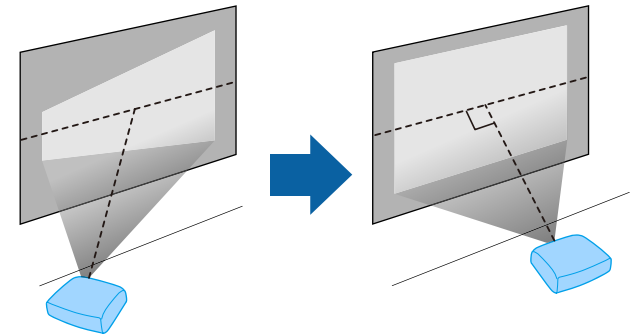
位置を固定して使用する場合は、天井にプロジェクターを取り付けることもできます。天井からプロジェクターを吊り下げるときは、オプションの天吊り金具が必要です。

VESA規格（100 × 100 mm）に準拠した金具も使用できます。

本機はさまざまな角度で映像を投写できます。垂直、水平方向ともに設置角度に制限はありません。

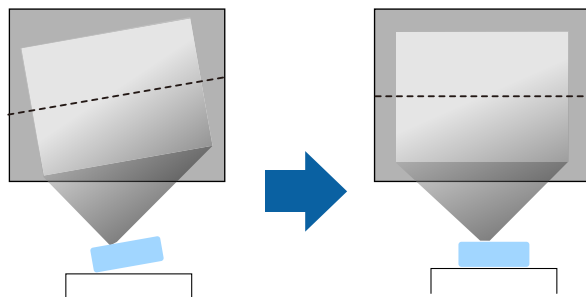


- 通気のためにプロジェクターの周囲に十分なスペースを確保します。通気の妨げになるものをプロジェクター上面や周囲に置かないでください。
- 投写面に対してプロジェクターを平行に設置します。



プロジェクターの設置位置を決めるときは、以下の点に注意してください。

- プロジェクターは水平で安定した場所に置くか、本製品に対応した金具を使用して取り付けます。



⚠ 警告

- ・天井からプロジェクターを吊り下げるときは、天吊り金具の取り付けが必要となります。プロジェクターを正しく設置しないと、落下により破損やけがの原因となることがあります。
- ・プロジェクターの天吊り固定部に、ネジゆるみ止め用接着剤・潤滑剤・油などを使用しないでください。プロジェクターにそれらの溶剤が付着すると、プロジェクターのケースが割れ、天吊り金具からプロジェクターが落下するおそれがあります。
- ・天吊り金具とプロジェクターの取り付け不備は、プロジェクターの落下事故につながるおそれがあります。本機に対応したエプソン指定の金具を使用し、プロジェクターの天吊り固定部すべてに確実に固定してください。また、十分強度のあるワイヤーなどを使ってプロジェクターと金具を固定してください。
- ・湿気やホコリの多い場所や、油煙や湯気が当たる場所（調理場所、ご家庭のキッチン、加湿器の近くなど）にプロジェクターを設置しないでください。火災・感電の原因となることがあります。また、油によりプロジェクターの外装ケースが劣化し、天吊り設置したプロジェクターが落下するおそれがあります。

外装ケースの劣化・破損によりプロジェクターの落下が想定される環境例

- ・油煙が多い場所（工場、調理場所、ご家庭のキッチンなど）
- ・溶剤、薬品が揮発している空間（工場、実験室など）
- ・油、洗剤、薬品などが付着する場所（工場、調理場所、ご家庭のキッチンなど）
- ・アロマオイルを頻繁に焚く場所（リラクゼーションルームなど）
- ・イベント演出などのスモーク（油成分以外も含む）や、泡が多い場所（イベント演出装置の周辺など）

⚠ 警告

- ・本機の吸気口・排気口をふさがないでください。吸気口・排気口をふさぐと、内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。
- ・ホコリや塵の多い場所で使用・保管はしないでください。投写映像の品質が劣化したり、エアフィルターや投写レンズにホコリが詰まって、故障や火災につながる可能性があります。
- ・不安定な場所や荷重範囲を超える場所には設置しないでください。落下や転倒によりけがや事故の原因となります。
- ・高い場所に設置するときは、地震などの非常時の安全確保と事故防止のため、ワイヤーなどを用いて落下防止策を施してください。正しく設置しないと、落下によりけがや事故の原因となります。
- ・塩害が発生する場所や、温泉の硫黄ガスなどの腐食性ガスが発生する場所には設置しないでください。腐食による落下の原因となることがあります。また、本機の故障の原因となることがあります。

注意

- ・本機を標高1,500 m以上の場所で使用するときは、[設置]メニューの[高地モード]を[オン]にして、本機の内部温度が適切に調節されるようにしてください。
- ・湿気やホコリの多い場所、たばこなどの煙が当たる場所への設置は、できるだけ避けてください。

▶ 関連項目

- ・「輸送に関するご注意」 [p.27](#)
- ・「プロジェクターの設置・取り付け」 [p.27](#)
- ・「投写距離」 [p.29](#)

輸送に関するご注意

本機内部にはガラス部品や精密部品が数多く使われています。輸送の際には、衝撃による故障防止のため、次のように取り扱ってください。

- ・ 接続している機器はすべて取り外します。
- ・ カチッと音がするまでレンズシフトダイヤル（上下・左右）を回して、レンズをホームポジションに戻します。
- ・ 同梱のレンズカバーを取り付けます。
- ・ 長距離を輸送するときや、運送業者に依頼されるときは、本機を緩衝材で保護し、頑丈な箱に入れて、精密機器であることを表記してください。
- ・ 修理のため本機を輸送するときは、ご購入時の箱に入れるか、本機を緩衝材で保護してください。精密機器であることを表記してください。

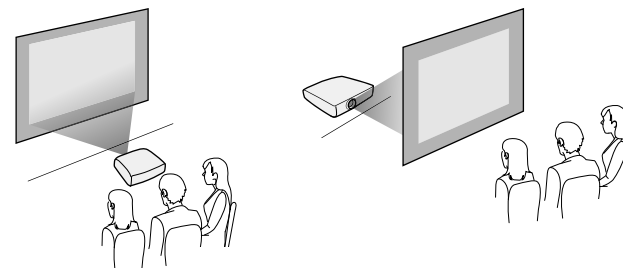


輸送中に発生したトラブルについては責任を負いかねますので、ご了承ください。

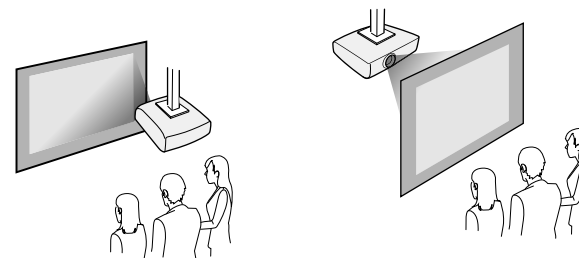
プロジェクターの設置・取り付け

本機は以下の方法で設置・取り付けできます。

フロント/リア



フロント・天吊り/リア・天吊り



設置する場所や方法に合わせて、[設置]メニューで[設置モード]を選択します。必要に応じて、[動作]メニューの[方向ボタン反転]と[表示]メニューの[メニュー回転]の設定を変更してください。

▶ 関連項目

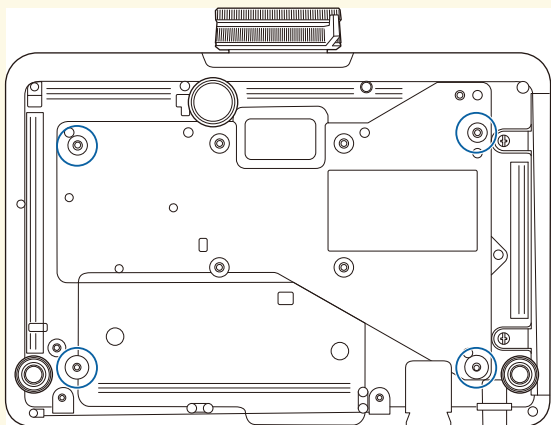
- ・ 「設置時のご注意」 [p.27](#)
- ・ 「設置モードを選択する」 [p.53](#)

設置時のご注意

設置の際には以下の点にご注意ください。

注意

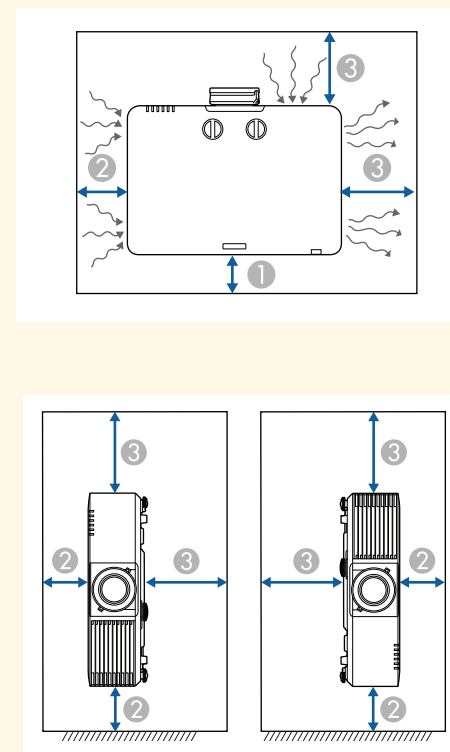
- ・ 本機を傾けて設置する場合は、専門業者にご依頼のうえ、本機に対応した専用の設置用金具をお使いください。
- ・ 正しく設置しないと、落下により破損やけがの原因となることがあります。
- ・ M4ネジ（最大深さ9 mm）を使って、本機底面の天吊り金具固定部（4 個所）と設置用金具を固定してください。



設置スペース

注意

吸気口・排気口をふさがないように、本機の周辺には以下のスペースを確保してください。



① 10 cm

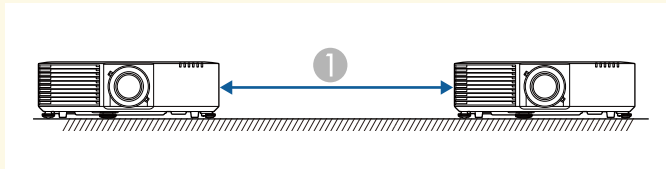
② 20 cm

③ 40 cm

設置スペース（複数台並べて設置するとき）

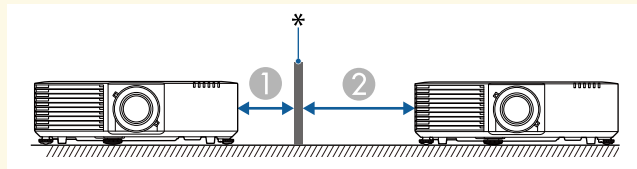
注意

- 本機を複数台並べて設置するときは、排気口から出た熱が他のプロジェクターの吸気口に入り込まないようにしてください。



① 150 cm

- 仕切りを置くときは、以下のスペースを確保してください。



① 20 cm

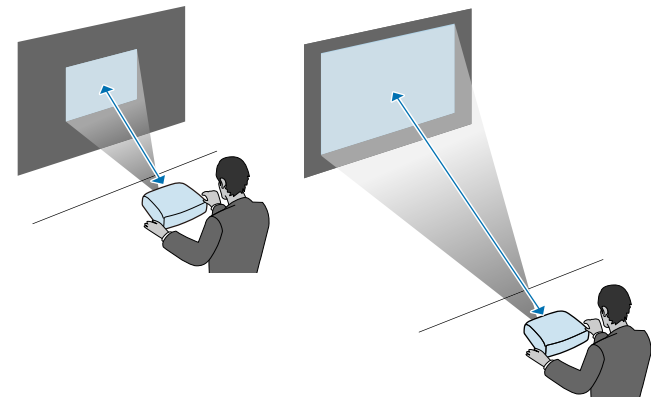
② 40 cm

* 仕切り

投写距離

本機からスクリーンまでの距離に応じて、映像の大きさが決まります。本機をスクリーンから遠ざけるほど、投写される映像は大きくなります。

スクリーンサイズと投写距離を参考にして、本機からスクリーンまでのおおよその距離を決めてください。



▶ 関連項目

- 「スクリーンサイズと投写距離」 [p.264](#)

本機を天吊り設置するときは、落下防止用のセーフティーワイヤーを取り付けます。

⚠ 警告

セーフティーワイヤーは、必ずエプソン純正の天吊り金具に同梱されているものをご使用ください。セーフティーワイヤーは、別途セーフティーワイヤーセット ELPWR01としてもお買い求めいただけます。

▶ 関連項目

- ・「天吊り金具ELPMB22をお使いのとき」 [p.30](#)
- ・「天吊り金具ELPMB30をお使いのとき」 [p.31](#)

天吊り金具ELPMB22をお使いのとき

以下の手順でセーフティーワイヤーを取り付けます。

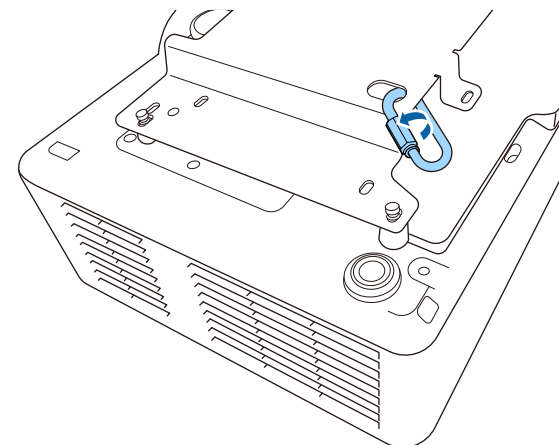
事前に天吊り金具（ELPMB22）が確実に本機に取り付けられていること、また、セーフティーワイヤーセットの以下の同梱品がそろっていることを確認してください。

- ・セーフティーワイヤー × 1
- ・カラビナ × 2
- ・ワイヤークランプ × 1
- ・取付用ネジ（M4 × 10 mm） × 1

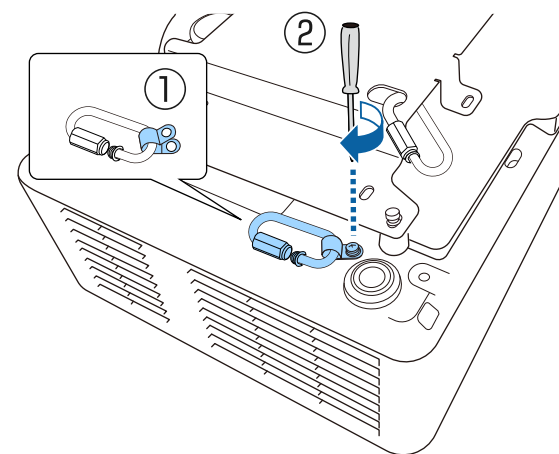


天吊り金具ELPMB22について詳しくは、『天吊り金具ELPMB22/ELPMB23 取扱説明書』をご覧ください。

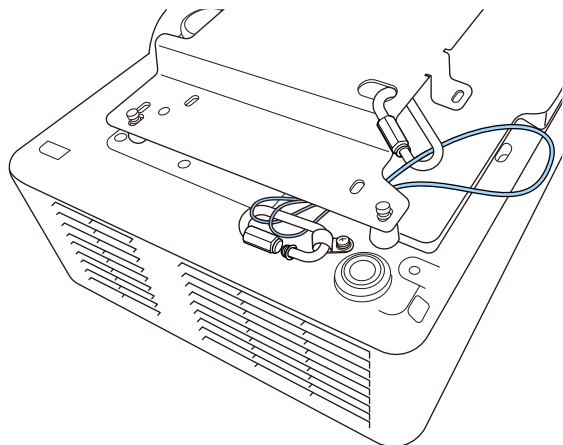
- 1 天吊り金具にカラビナを通して、カラビナを締めます。



- 2 もう一つのカラビナにワイヤークランプを取り付け、ワイヤークランプをプロジェクターのワイヤークランプ固定部に取付用ネジで固定します。



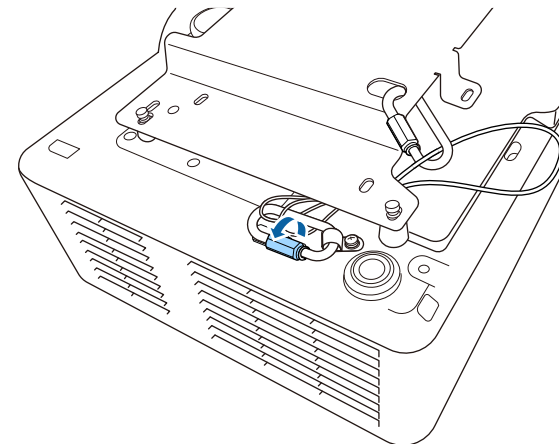
- 3** セーフティーワイヤーを天吊り金具側のカラビナに通して、両端をプロジェクター側のカラビナに取り付けます。



⚠ 警告

セーフティーワイヤーはセキュリティーケーブル取付け部には取り付けないでください。

- 4** カラビナを締めます。



天吊り金具ELPMB30をお使いのとき

以下の手順でセーフティーワイヤーを取り付けます。

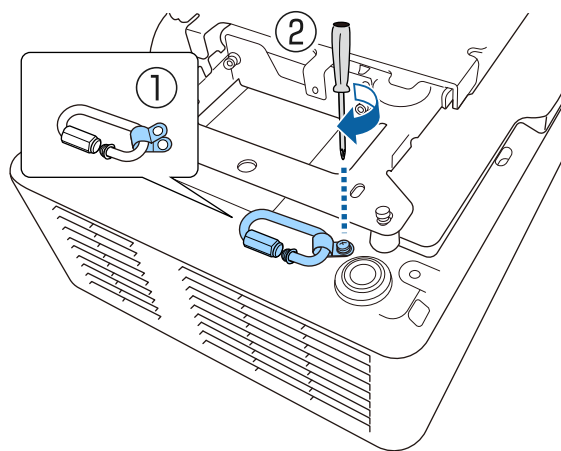
事前に天吊り金具（ELPMB30）が確実に本機に取り付けられていること、また、セーフティーワイヤーセットの以下の同梱品がそろっていることを確認してください。

- ・セーフティーワイヤー × 1
- ・カラビナ × 2（ELPMB30で使用するカラビナは1つです。）
- ・ワイヤークランプ × 1
- ・取付用ネジ（M4 × 10 mm） × 1

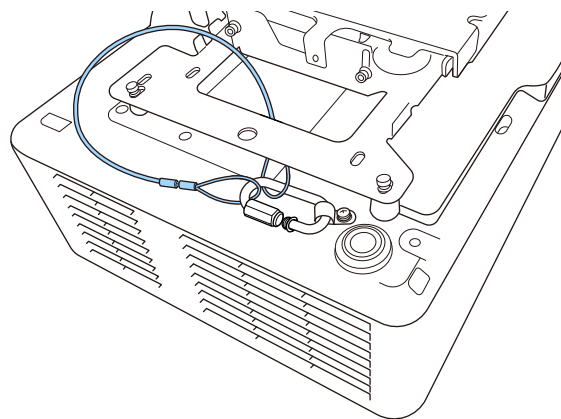


天吊り金具ELPMB30について詳しくは、『ELPMB30 User's Guide』をご覧ください。

- 1** カラビナにワイヤークランプを取り付け、ワイヤークランプをプロジェクターのワイヤークランプ固定部に取付用ネジで固定します。



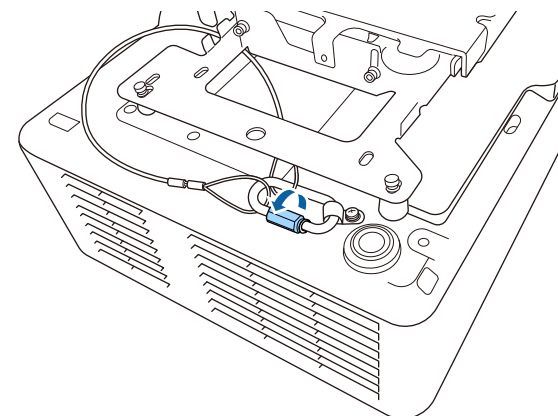
- 2** セーフティーワイヤーを天吊り金具に通して、両端をカラビナに取り付けます。



⚠ 警告

セーフティーワイヤーはセキュリティーケーブル取付け部には取り付けないでください。

- 3** カラビナを締めます。



プロジェクターと映像機器の接続方法を説明します。

注意

接続する前に、使用するケーブルのコネクターの形状と向きを確認してください。形状が合わないコネクターを無理に端子に押し込まないでください。お使いの機器、プロジェクターの破損や故障の原因となります。



本機に同梱されているケーブルは『かんたん操作ガイド』で確認できます。同梱されていないケーブルは、オプション品または市販品をお買い求めください。

関連項目

- ・「コンピューターを接続する」 [p.33](#)
- ・「ビデオ機器を接続する」 [p.34](#)
- ・「USB機器を接続する」 [p.35](#)
- ・「書画カメラを接続する」 [p.36](#)
- ・「メディアストリーミング端末を接続する」 [p.36](#)
- ・「HDBaseTトランスミッターの接続」 [p.37](#)
- ・「外部機器を接続する」 [p.38](#)
- ・「複数台のプロジェクターを接続する」 [p.40](#)
- ・「ドキュメント類の最新バージョンを入手する」 [p.11](#)

コンピューターを接続する

プロジェクターとコンピューターを接続します。

関連項目

- ・「コンピューターケーブルを接続して映像と音声を出力する」 [p.33](#)
- ・「HDMIケーブルを接続して映像と音声を出力する」 [p.34](#)

コンピューターケーブルを接続して映像と音声を出力する

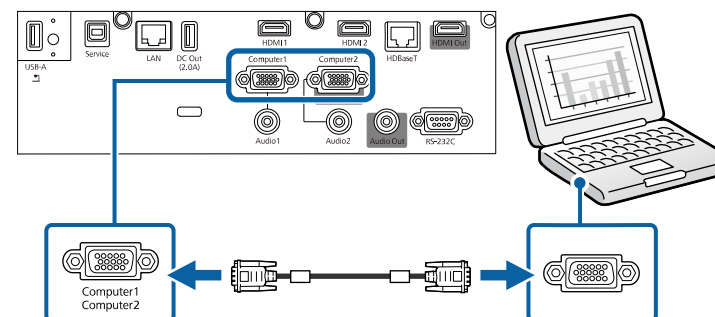
プロジェクターとコンピューターをコンピューターケーブルで接続します。

ステレオミニプラグオーディオケーブルを接続することで、本機のスピーカーから音声を出力できます。

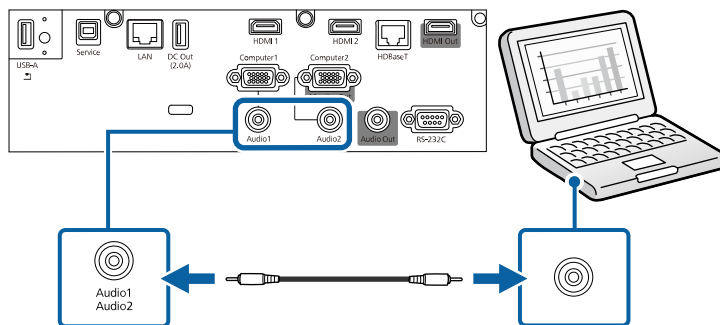


- ・映像出力用のVGA端子を搭載していないコンピューターをお使いのときは、VGA変換アダプターが必要です。
- ・Computer2/Monitor Out端子に接続して投写するときは、[信号入出力] メニューの[モニター出力端子]を[コンピューター2]に設定します。
- ・音声入力として使用する端子は、[信号入出力] メニューの[音声出力]で設定することもできます。
- ・「抵抗なし」と表記されているオーディオケーブルをお使いください。

- 1** コンピューターの映像出力端子にコンピューターケーブルを接続します。
- 2** ケーブルのもう一方のコネクターを本機のComputer端子に接続します。



- 3 VGAコネクターのネジを締めます。
- 4 オーディオケーブルをコンピューターのヘッドホン/スピーカージャックまたは音声出力端子に接続します。
- 5 オーディオケーブルのもう一方のコネク터를、コンピューターケーブルを接続したComputer端子に対応するAudio端子に接続します。

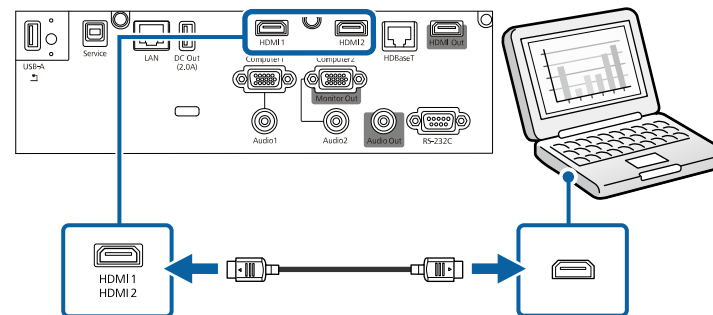


HDMIケーブルを接続して映像と音声を出力する

HDMI端子を搭載したコンピューターを使用しているときは、HDMIケーブルでプロジェクターとコンピューターを接続して映像と音声を出力できます。

- 1 コンピューターのHDMI出力端子にHDMIケーブルを接続します。

- 2 ケーブルのもう一方のコネクターを本機のHDMI端子に接続します。



HDMI接続で出力される音声に問題があるときは、ステレオミニプラグオーディオケーブルで本機のAudio端子とコンピューターの音声出力端子を接続します。[信号入出力]メニューの「HDMI音声出力」で、接続している音声入力端子を選択します。

ビデオ機器を接続する

プロジェクターにビデオ機器を接続します。



- 接続する機器の端子が特有の形状をしているときは、その機器に同梱またはオプションのケーブルで接続してください。
- 使用するケーブルは、接続するビデオ機器の出力信号によって異なります。
- ビデオ機器によっては、数種類の信号を出力できます。出力できる信号の種類は、お使いのビデオ機器に同梱の取扱説明書で確認してください。

▶ 関連項目

- ・「HDMIケーブルで接続する」 [p.35](#)

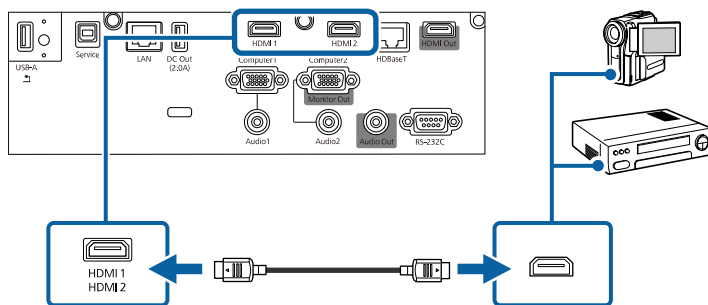
HDMIケーブルで接続する

HDMI端子を搭載したビデオ機器を使用しているときは、HDMIケーブルでプロジェクターとビデオ機器を接続して映像と音声を出力できます。

注意

あらかじめビデオ機器の電源を切ってください。ビデオ機器の電源が入った状態で接続すると、故障の原因となります。

- 1** ビデオ機器のHDMI出力端子にHDMIケーブルを接続します。
- 2** ケーブルのもう一方のコネクタを本機のHDMI端子に接続します。



HDMI接続で出力される音声に問題があるときは、ステレオミニプラグオーディオケーブルで本機のAudio端子とビデオ機器の音声出力端子を接続します。[信号入出力]メニューの[HDMI音声出力]で、接続している音声入力端子を選択します。

USB機器を接続する

プロジェクターにUSB機器を接続します。

▶ 関連項目

- ・「USB機器のデータを投写する」 [p.35](#)
- ・「USB機器を接続する」 [p.36](#)
- ・「USB機器を取り外す」 [p.36](#)

USB機器のデータを投写する

以下のUSB機器をプロジェクターに接続すると、コンピューターやビデオ機器を接続しなくてもUSB機器内の映像ファイルを投写できます。

- ・ USBメモリー
- ・ デジタルカメラ、スマートフォン
- ・ USBハードドライブ



- ・ デジタルカメラ、スマートフォンはUSBマストレージクラスに準拠したUSB機能が搭載されている必要があります。TWAIN準拠の機器では投写できません。
- ・ USBハードドライブは以下の要件を満たしている必要があります。
 - ・ USBマストレージクラスに準拠していること（対応していないUSBマストレージクラスの機器もあります）
 - ・ フォーマット形式がFAT16/32であること
 - ・ USBハードドライブに付属のACアダプターから電源供給ができること（USBケーブルから電源供給を受けるハードドライブは推奨しません）
 - ・ ハードドライブのパーティションは1つのみであること

コンテンツ再生モードでは、USBメモリーにプレイリストとして保存した写真や動画を投写できます。

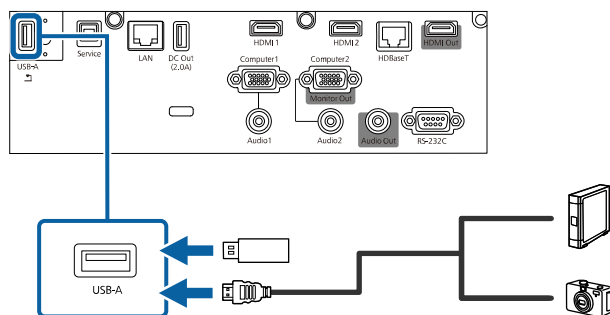
▶ 関連項目

- ・「コンテンツ再生モードで投写する」 p.101
- ・「PC Free機能で投写する」 p.95

USB機器を接続する

USB機器をプロジェクターのUSB-A端子に接続して、映像を投写します。

- 1** USB機器に電源アダプターが付属しているときは、USB機器をコンセントに接続します。
- 2** 本機のUSB-A端子にUSBケーブル（またはUSBメモリー）を接続します。



注意

- ・ USB機器に付属のUSBケーブル、または指定されたUSBケーブルを使用してください。
- ・ USBハブや長さが3メートル以上のUSBケーブルを使用しないでください。機器が正しく動作しないことがあります。

- 3** USBケーブルのもう一方のコネクターをUSB機器に接続します。

USB機器を取り外す

USB機器による投写が終了したら、プロジェクターから機器を取り外します。

- 1** USB機器の電源を切り、必要に応じて電源アダプターを抜きます。
- 2** プロジェクターからUSB機器を取り外します。

書画カメラを接続する

エプソン製書画カメラをプロジェクターに接続して、カメラから読み込んだ映像を投写します。

接続方法は、お使いの書画カメラの機種によって異なります。詳しくは、書画カメラの取扱説明書をご覧ください。

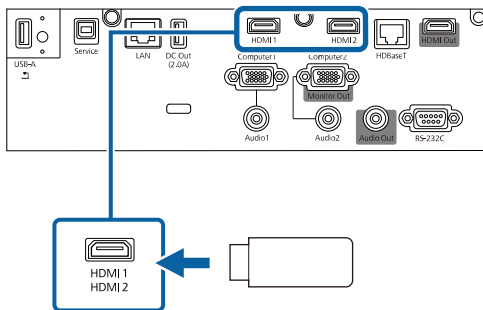
メディアストリーミング端末を接続する

メディアストリーミング端末を本機のHDMI端子に接続します。USB給電ケーブルを接続すると、プロジェクターからメディアストリーミング端末に電力を供給できます（EB-L735U/EB-L730U/EB-L635SU/EB-L630SU/EB-L630U/EB-L630W/EB-L530U）。



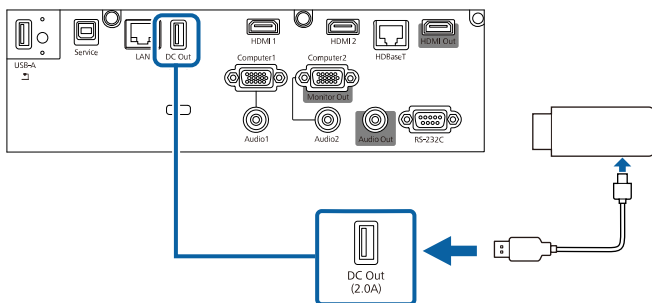
映像を投写していないときもオプションのメディアストリーミング端末に給電を続けるには、[動作]メニューの[USB給電]を[常時オン]に設定します。

1 メディアストリーミング端末をHDMI端子に接続します。



2 USB給電ケーブルを本機のDC Out端子に接続します。

3 ケーブルのもう一端をメディアストリーミング端末のUSB端子（Bタイプ）に接続します。



レート）をお使いください。ただし、すべての入出力機器および環境において、動作を保証するものではありません。



- HDBaseT端子からEthernet通信やシリアル通信をするときは、[信号入出力] メニューの [制御通信] を [オン] に設定します。この設定時は、本機のLAN端子とRS-232C端子は無効になります。
☛ [信号入出力] > [HDBaseT設定] > [制御通信]
- Extron社のXTPトランスミッターまたはスイッチャーを使用するときは、本機のHDBaseT端子に接続します。[信号入出力] メニューの [Extron XTP] を [オン] 設定してください。
☛ [信号入出力] > [HDBaseT設定] > [Extron XTP]
- 本機で投写していないときに、本機を制御する場合は、[信号入出力] メニューの [A/V出力] を [常時] に設定します。

1 本機とHDBaseTトランスミッターの電源を切ります。



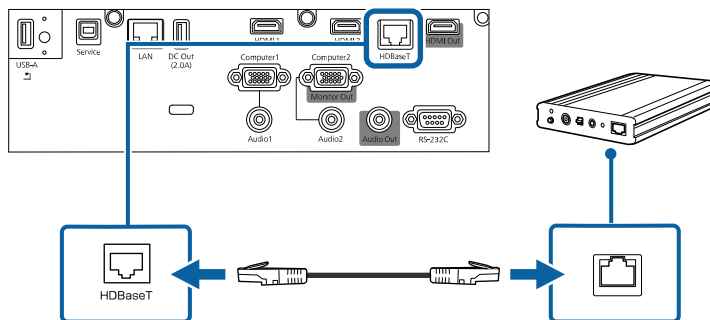
LANケーブルを抜き差しするときは、本機とHDBaseTトランスミッターの電源をオフにしてください。

2 LANケーブルをHDBaseTトランスミッターのHDBaseT端子に接続します。

HDBaseTトランスミッターの接続

100Base-TXタイプのLANケーブルでHDBaseTトランスミッターを接続して、HDMI信号や制御用信号を長距離伝送できます。最長約100mのケーブルを使用できるので、ホールやイベント会場などの離れた場所から本機を制御したり信号を伝送したりするときに便利です。誤作動防止のために、カテゴリ5e以上のシールド付きSTPケーブル（スト

- 3** ケーブルのもう一方のコネクターを本機のHDBaseT端子に接続します。



接続方法について詳しくは、HDBaseTトランスミッターに添付の取扱説明書をご覧ください。

- 4** 本機とHDBaseTトランスミッターの電源を入れます。

外部機器を接続する

プロジェクターに外部出力機器を接続します。

▶ 関連項目

- 「HDMIモニターを接続する」 [p.38](#)
- 「VGAモニターを接続する」 [p.38](#)
- 「外部スピーカーを接続する」 [p.39](#)

HDMIモニターを接続する

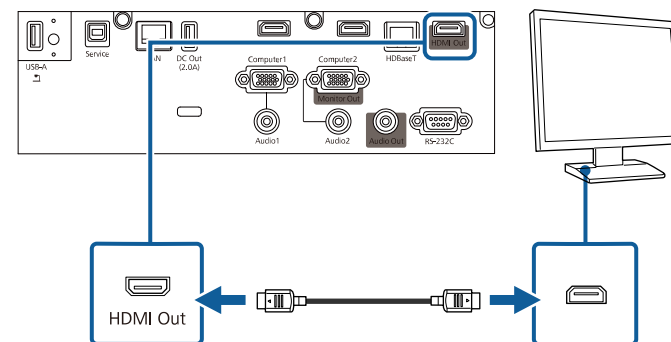
プロジェクターのHDMI Out端子にHDMIモニターを接続して、現在投写中の入力ソースの映像を表示できます（EB-L735U/EB-L730U/EB-L635SU/EB-L630SU/EB-L630U/EB-L630W/EB-L530U）。



- ホーム画面はHDMIモニターには表示できません。
- Screen Mirroringの映像は、[HDMI Out設定] を[オフ] に、[HDMI Out映像出力] を[オン] に設定しているときのみ表示できます。
 - [マルチプロジェクション] > [HDMI Out設定]
 - [ネットワーク] > [ネットワーク設定] > [ネットワーク投写] > [Screen Mirroring] > [HDMI Out映像出力]
- [HDMI Out設定] を[パススルー] に設定しているときは、HDMI1、HDMI2、HDBaseT端子からの映像のみ投写できます。

- 1** HDMIモニターのHDMI入力端子にHDMIケーブルを接続します。

- 2** ケーブルのもう一方のコネクターを本機のHDMI Out端子に接続します。



VGAモニターを接続する

プロジェクターのComputer端子にコンピューターを接続しているときに、接続した外部モニター（VGA）に映像を表示します。これにより、本機からの投写映像が見えないときでも、外部モニターに表示した映像を見ることができます。

映像を外部モニターに出力するには、[信号入出力] メニューの[モニター出力端子] を[モニター出力] に設定します。



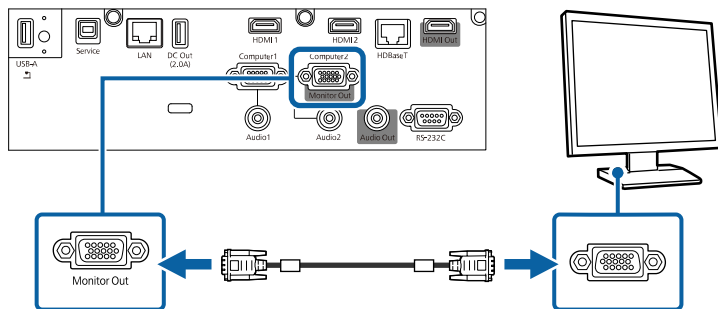
- 本機で投写していないときに、外部モニターに映像を出力する場合は、[信号入出力] メニューの[A/V出力] を[常時] に設定します。
- リフレッシュレートが60Hz以下のモニターを使用しているときは、映像が正しく表示できないことがあります。

1 本機のComputer端子にコンピューターを接続します。



- コンピューター端子が2つ以上ある機種では、Computer1端子に接続してください。
- Computer1端子からのアナログRGB信号のみを、外部モニターに出力できます。他の端子から入力している信号は出力できません。

2 本機のMonitor Out端子に外部モニターのケーブルを接続します。



外部スピーカーを接続する

外部スピーカーをプロジェクターに接続できます。本機のリモコンで音量を調整できます。

外部スピーカーから音声を出力するときは、[信号入出力] メニューの[音声出力機器] を[プロジェクター] に設定します。[音声出力機器] が[AVアンプ] に設定されていても、アンプが接続されていない場合は、音声は外部スピーカーから出力されます。

👉 [信号入出力] > [HDMIリンク] > [音声出力機器]



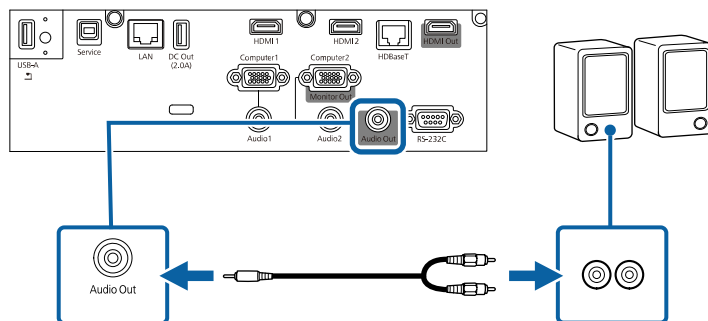
- 本機で投写していないときに、外部スピーカーから音声を出力する場合は、[信号入出力] メニューの[A/V出力] を[常時] に設定します。
- スピーカー付きのアンプも本機に接続できます。
- 外部スピーカーを接続しているときは、本機の内蔵スピーカーから音声は出力されません。

1 必要に応じてオーディオケーブル、ビデオケーブルを使用して、お使いのコンピューターやビデオ機器と本機が接続されていることを確認します。

2 ステレオミニプラグオーディオケーブル、またはその他のケーブル、アダプターなど、外部スピーカーに接続するケーブルを用意します。

3 必要に応じて、接続ケーブルを外部スピーカーに接続します。

- 4** 接続ケーブルのもう一方のコネクターを本機のAudio Out端子に接続します。



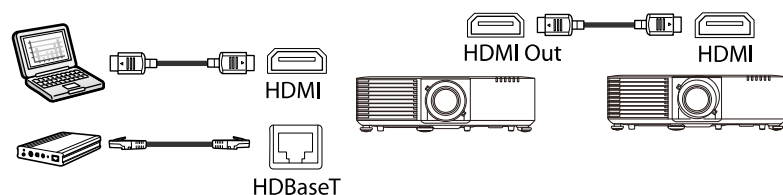
複数台のプロジェクターを接続する

複数台のプロジェクターを並べて、ひとつの大きな映像として投写できます（EB-L735U/EB-L730U/EB-L635SU/EB-L630SU/EB-L630U/EB-L630W/EB-L530U）。映像は横方向に連結します。

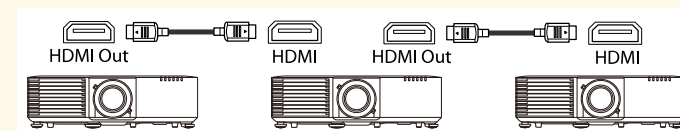


映像を縦方向に連結するときや、5台以上のプロジェクターを接続するときは、[マルチプロジェクション] メニューの[タイリング]を使用できます。

- 1** HDMIケーブルでコンピューター、または、ネットワークケーブルでHDBaseTトランスミッターをプロジェクターと接続し、HDMIケーブルでプロジェクター同士を以下のように接続します。



- 3台以上のプロジェクターを接続するときは、プロジェクター同士を以下のように接続します。



- 本機を複数台設置するときは、排気口から出た熱が他のプロジェクターの吸気口に入り込まないようにしてください。

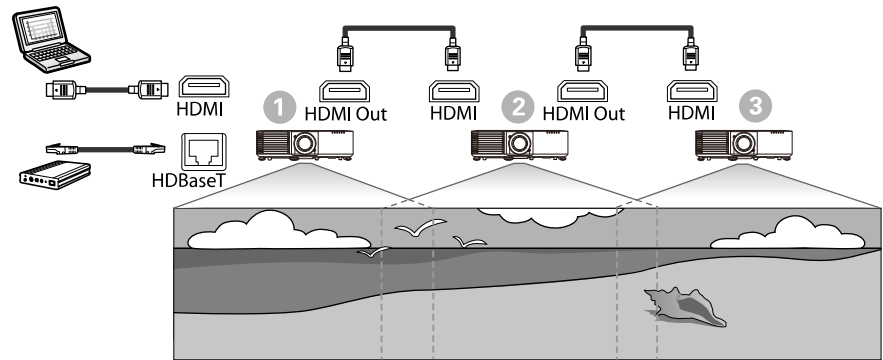
- 2** 操作パネルまたはリモコンの【メニュー】ボタンを押します。
- 3** [映像調整] メニューの[カラーモード]を[マルチプロジェクション]に設定します。
- 4** [マルチプロジェクション] メニューの[HDMI Out設定]を設定します。詳しくは次の表をご覧ください。
- 5** [マルチプロジェクション] メニューで必要な設定をします。
- 6** 【メニュー】ボタンまたは【戻る】ボタンを押してメニューを終了します。

関連項目

- 「複数台設置時のメニュー設定」 [p.41](#)
- 「設置時のご注意」 [p.27](#)
- 「複数台のプロジェクターから投写する（マルチプロジェクション機能）」 [p.120](#)

複数台設置時のメニュー設定

複数台のプロジェクターを設置して横長の映像を投写するときは、次の設定をします。プロジェクターは4台まで接続できます。



設定	①	②	③
	左側のプロジェクター（機器を接続）	中央のプロジェクター	右側のプロジェクター
台数	接続しているプロジェクターの台数を設定します。		
順番	左端にあるプロジェクターを1として、各プロジェクターの位置を設定します。		

映像調整メニュー

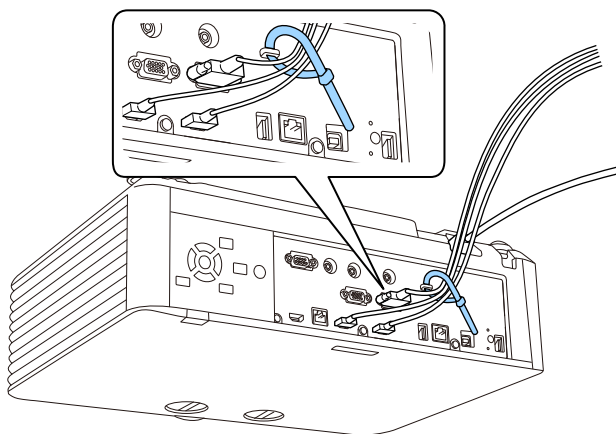
設定	①	②	③
	左側のプロジェクター（機器を接続）	中央のプロジェクター	右側のプロジェクター
カラーモード	マルチプロジェクション	マルチプロジェクション	マルチプロジェクション

マルチプロジェクションの設定

設定	①	②	③
	左側のプロジェクター（機器を接続）	中央のプロジェクター	右側のプロジェクター
HDMI Out設定	パススルー	パススルー	パススルー

本機を天吊り設置するときは、同梱のケーブルカバーを装着して、ケーブル類を目立たなくすることができます（EB-L735U/EB-L730U/EB-L635SU/EB-L630SU/EB-L630U/EB-L630W/EB-L530U）。

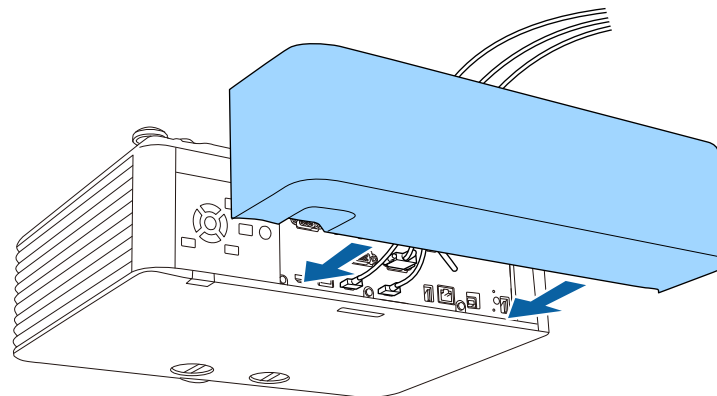
- 1 市販の結束バンドなどをケーブルホルダーに通し、ケーブル類を束ねます。



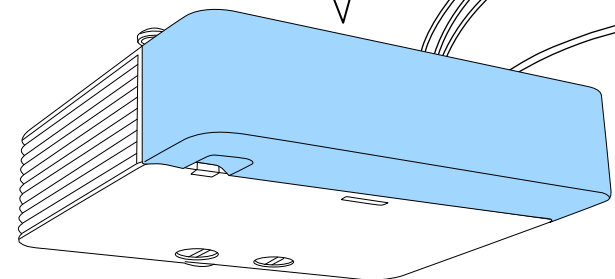
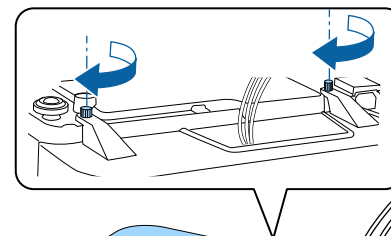
⚠ 注意

電源コードとその他の接続ケーブルを束ねないでください。火災の原因となります。

- 2 ケーブルカバーの切り込みにケーブルを通して、ケーブルカバーをプロジェクターに取り付けます。



- 3 ケーブルカバーのネジを締めます。



ケーブルカバーを外すときは、ネジをゆるめます。

本機に付属の単3形電池2個をリモコンに取り付けます。

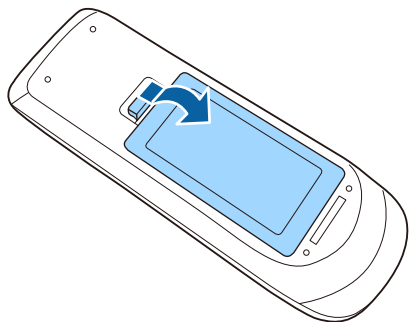
注意

電池を取り扱う前に、『安全にお使いいただくために』を必ずお読みください。



電池がなくなったら電池を交換してください。リモコンには、単3マンガン電池またはアルカリ電池2個を使用します。

1 電池カバーを外します。

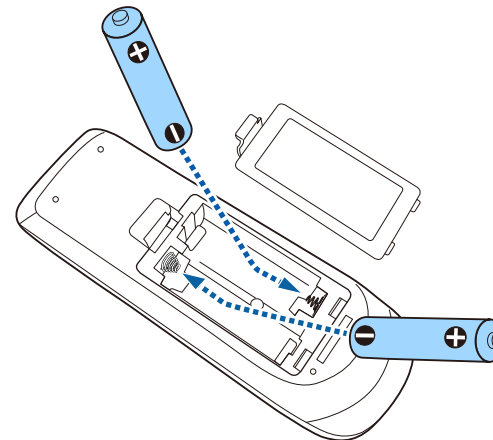


2 古い電池が入っていれば取り外します。



使用済みの電池は、地域の廃棄ルールに従って廃棄してください。

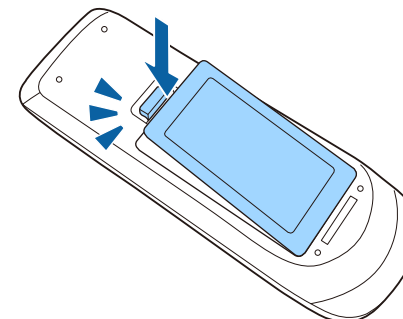
3 電池の + と - の向きを確認してリモコンにセットします。



警告

電池ホルダー内の表示を確認して、(+) (-) を正しく入れてください。電池の使い方を誤ると、電池の破裂・液もれにより、火災・けが・製品腐食の原因となることがあります。

4 電池カバーを閉め、カチッと音がするまで押し込みます。



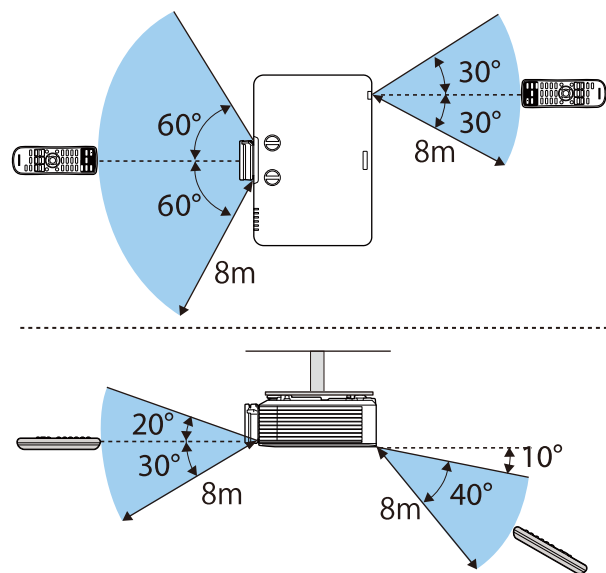
▶ 関連項目

- ・「リモコンを操作する」 [p.44](#)

リモコンを操作する

リモコンを使用して、室内の離れた場所からプロジェクターを制御できます。

リモコンは、本機のリモコン受光部に対して下図の角度で使用してください。



蛍光灯の強い光や直射日光が当たる環境ではリモコンを使用しないでください。プロジェクターが操作に反応しないことがあります。リモコンを長期間使用しないときは、電池を取り外しておきます。

プロジェクターの基本機能を使用する

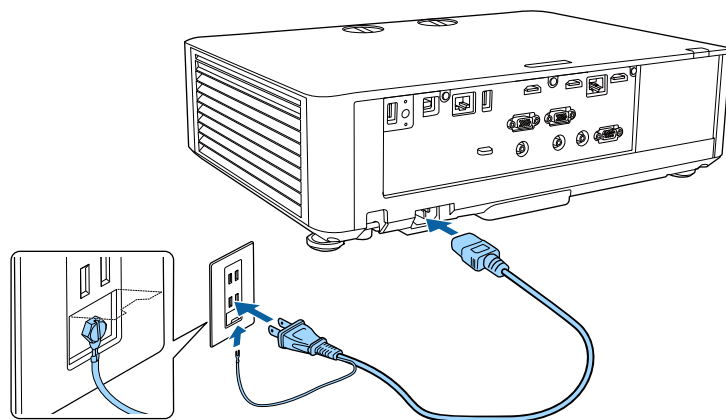
プロジェクターの基本機能を説明します。

▶ 関連項目

- ・「プロジェクターの電源を入れる」 [p.46](#)
- ・「プロジェクターの電源を切る」 [p.49](#)
- ・「日時を設定する」 [p.50](#)
- ・「メニューの言語を選択する」 [p.52](#)
- ・「設置モードを選択する」 [p.53](#)
- ・「スクリーンタイプを設定する」 [p.55](#)
- ・「映像の位置を調整する（レンズシフト）」 [p.58](#)
- ・「テストパターンを表示する」 [p.60](#)
- ・「映像の高さを調整する」 [p.61](#)
- ・「映像の形状を補正する」 [p.62](#)
- ・「ズームリングで映像の大きさを調整する」 [p.72](#)
- ・「映像を縮小する（デジタルズーム）」 [p.73](#)
- ・「フォーカスリングで映像のピントを調整する」 [p.75](#)
- ・「投写映像を切り替える」 [p.76](#)
- ・「映像のアスペクト比を設定する」 [p.78](#)
- ・「映像を最適化する（カラーモード）」 [p.80](#)
- ・「映像の光量を調整する」 [p.81](#)
- ・「映像の色合いを調整する」 [p.82](#)
- ・「映像の解像感を調整する（イメージ強調）」 [p.85](#)
- ・「明るさを設定する」 [p.87](#)
- ・「音量ボタンで音量を調整する」 [p.90](#)

プロジェクターの電源を入れた後、使用するコンピューターまたはビデオ機器の電源を入れます。

- 1 レンズカバーを取り外します。
- 2 本機とコンセントを電源コードで接続します。



⚠ 警告

必ず接地接続を行ってください。接地接続は必ず、電源プラグを電源につなぐ前に行ってください。また、接地接続を外す場合は、必ず電源プラグを電源から切り離してから行ってください。

本機の電源インジケータが青色に点灯します（スタンバイ状態）。スタンバイ状態は、プロジェクターに電力が供給されていて、電源が入っていない状態です。

- 3 操作パネルまたはリモコンの電源ボタンを押して本機の電源を入れます。

「ピッ」と確認音が鳴り、ステータスインジケータが青色に点滅します（ウォームアップ状態）。ウォームアップが終わると、ステータスインジケータが青色に点灯します。



- ・ [動作] メニューの [高速起動] をオンにすると、次の電源投入時には数秒で投写可能状態になります。

映像が投写されないときは、以下を試してください。

- ・ 接続されているコンピューターまたはビデオ機器の電源を入れます。
- ・ ノートパソコンを使用するときは、コンピューターの画面出力を切り替えます。
- ・ DVDなどのメディアを挿入して再生します。
- ・ 操作パネルまたはリモコンの【入力検出】ボタンを押して入力ソースを検出します。
- ・ 投写したい入力ソースに対応するリモコンのボタンを押します。
- ・ ホーム画面が表示されたら、投写したい入力ソースを選択します。

⚠ 警告

- ・ 投写中は本機のレンズをのぞきこまないでください。目に損傷を与えるおそれがあります。特にお子様の行動にご注意ください。
- ・ 本機から離れた場所でリモコンを使って電源を入れるときは、レンズをのぞいている人がいないことを確認してください。
- ・ 投写中に本などで投写光を遮らないでください。投写光を遮ると、光の当たる部分が高温になって溶けたり、やけどや火災の原因になります。また、反射した光でレンズ部が高温になり、本機が故障する原因となります。投写を中断するときはA/Vミュート機能を使うか、本機の電源を切ってください。



- ・ [動作] メニューの [ダイレクトパワーオン] が [オン] に設定されているときは、本機に電源コードを接続したときに自動で電源が入ります。停電復旧時などにコンセントに電源プラグが差し込まれた状態になっていると、本機の電源がオンになりますのでご注意ください。
- ・ [動作] メニューの [オートパワーオン] を有効にしているときは、接続機器からの入力信号が検出されたときに自動で電源が入ります。

関連項目

- ・ 「ホーム画面」 [p.47](#)
- ・ 「動作メニュー」 [p.204](#)

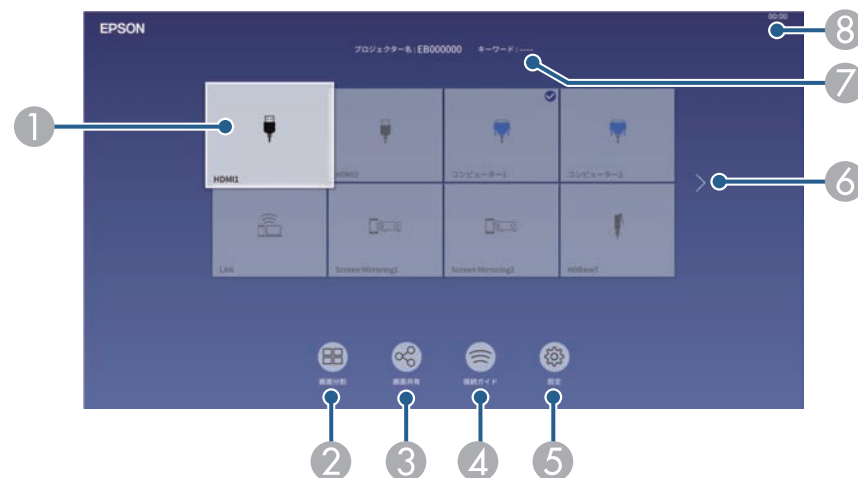
ホーム画面

ホーム画面を使うと、入力ソースやよく使う機能を簡単に選択できます。ホーム画面はリモコンの【ホーム】ボタンを押すと表示されます。



- ・ 本機の電源投入時に、入力信号がないときにもホーム画面が表示されます。
- ・ [ネットワーク] メニューの [接続ガイド表示] が [オン] に設定されているときは、入力信号がないときに、ホーム画面ではなくトランスミッター（Epson Wireless Presentation）の接続ガイドが表示されます。
 ● [ネットワーク] > [トランスミッター設定] > [接続ガイド表示]

操作パネルやリモコンの上下左右ボタンで項目を選択して、【決定】ボタンを押します。



- ① 投写したい入力ソースを選択します。
現在投写している入力ソースには右上にチェックマークが付きます。
現在の入力映像のプレビュー画像がサムネイル表示されます（コンテンツ再生モード時のUSB入力ソース以外）。
- ② 投写画面を分割して、2つまたは4つの異なる機器の画面を同時に投写します。
- ③ プロジェクターから投写している画面を、同じネットワーク上の他のプロジェクターに配信します。
- ④ 接続ガイドを表示します。お使いのデバイスに応じた接続の方法を確認できます。

- ⑤ 以下の機能の設定を変更します。（表示される項目は設定により異なります。）
- ・ [カラーモード]
 - ・ [明るさレベル]
 - ・ [音量]
 - ・ [Eズーム]（EB-L720U）
 - ・ [幾何学歪み補正]（[タテヨコ台形補正] および [Quick Corner] が使用できます。）
 - ・ [アスペクト]



[幾何学歪み補正] は、[設置] メニューの [固定設置] が [オフ] で、[幾何学歪み補正] が [タテヨコ台形補正] または [Quick Corner] のとき表示されます。

- ⑥ 有効な入力ソースが9つ以上あるときに次ページまたは前ページへ移動します。
- ⑦ プロジェクター名とプロジェクターキーワードを表示します。
- ⑧ 現在の時刻を表示します。



10分間操作がないと、ホーム画面は自動的に消えます。

▶ 関連項目

- ・ 「画面共有」 [p.164](#)
- ・ 「複数の映像を同時に投写する」 [p.92](#)

使用後にプロジェクターの電源を切ります。



- ・本機を長くお使いいただくために、使用しないときは本機の電源を切ってください。光源の寿命は、メニューの設定、環境条件、および使用状況によって異なります。投写映像の明るさは、使用時間の経過にともなって低下します。
- ・[管理]メニューの[光源キャリブレーション]が[定期的に行う]に設定されていて、プロジェクターが以下の状態にあるとき、本機の電源を切ると、光源キャリブレーションが自動で開始します。
 - ・前回の光源キャリブレーションの実施から100時間が経過している場合
 - ・本機を20分以上使用している場合
- ・本機はダイレクトシャットダウン機能に対応していますので、電源ブレーカーで直接電源を切ることができます。

- 1** 操作パネルまたはリモコンの電源ボタンを押します。
シャットダウン確認画面が表示されます。

電源を切りますか？

はい :  ボタンを押す

いいえ: 他のボタンを押す

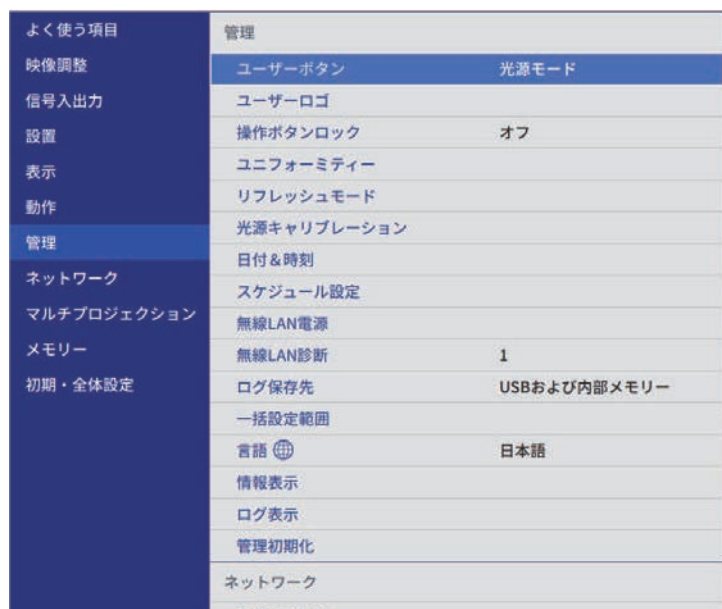
- 3** 本機を搬送または保管するときは、電源インジケータが青色に点灯していることを確認してから電源コードを抜いてください。
- 4** レンズカバーを取り付けます。

- 2** 再度電源ボタンを押します。（電源を切らないときは、他のボタンを押します。）

「ピッピッ」と確認音が2回鳴った後、光源がオフになり、ステータスインジケータが消灯します。

プロジェクターの日時を設定します。

- 1 本機の電源を入れます。
- 2 操作パネルまたはリモコンの【メニュー】ボタンを押します。
- 3 「管理」を選択し、【決定】ボタンを押します。



- 4 「日付&時刻」を選択し、【決定】ボタンを押します。
- 5 「日付&時刻」を選択し、【決定】ボタンを押します。

次の画面が表示されます。

[日付 & 時刻]		戻る
日付	2010-01-01	
時刻	00:00	
時差 (UTC)	+	
	00:00	
		設定

- 6 「日付」を選択し、【決定】ボタンを押します。表示されたソフトキーボードで本日の日付を入力します。
- 7 「時刻」を選択し、【決定】ボタンを押します。表示されたソフトキーボードで現在の時刻（現地時間）を入力します。
- 8 「時差 (UTC)」を選択し【決定】ボタンを押して、協定世界からの時差を設定します。
- 9 終了したら、「設定」を選択し、【決定】ボタンを押します。

- 10** 夏時間を有効にするときは、[夏時間設定] を[オン] に設定します。表示された画面の各項目を設定します。

[夏時間設定]		戻る
夏時間	オン	↑
夏時間調整 (分)	0	
夏時間開始		
月	1	
週	1	
曜日	月	
時刻	00:00	
夏時間終了		
月	1	
週	1	
曜日	月	
時刻	00:00	
		設定

- 11** 終了したら、[設定] を選択し、【決定】ボタンを押します。

- 12** インターネット時刻サーバーから自動的に時刻を設定するときは、[インターネット時刻] を[オン] に設定します。表示された画面の各項目を設定します。

[インターネット時刻]		戻る
インターネット時刻	オン	↑
インターネット時刻サーバー	0.0.0.0	
		設定

- 13** 終了したら、[設定] を選択し、【決定】ボタンを押します。

- 14** 【メニュー】ボタンまたは【戻る】ボタンを押してメニューを終了します。

〔言語〕設定でメニューおよびメッセージの言語を変更できます。

- 1 本機の電源を入れます。
- 2 操作パネルまたはリモコンの【メニュー】ボタンを押します。
- 3 〔管理〕を選択し、〔決定〕ボタンを押します。

よく使う項目	管理	
映像調整	ユーザーボタン	光源モード
信号入出力	ユーザーロゴ	
設置	操作ボタンロック	オフ
表示	ユニフォーミティー	
動作	リフレッシュモード	
管理	光源キャリブレーション	
ネットワーク	日付&時刻	
マルチプロジェクション	スケジュール設定	
メモリー	無線LAN電源	
初期・全体設定	無線LAN診断	1
	ログ保存先	USBおよび内部メモリー
	一括設定範囲	
	言語 (H)	日本語
	情報表示	
	ログ表示	
	管理初期化	
	ネットワーク	

- 4 〔言語〕を選択し、〔決定〕ボタンを押します。
- 5 使用する言語を選択し、〔決定〕ボタンを押します。
- 6 【メニュー】ボタンまたは【戻る】ボタンを押してメニューを終了します。

プロジェクターの設置方法によって、設置モードを変更します。

- ・ [フロント] : 机上に設置して、スクリーンの正面から投写します。
- ・ [フロント・天吊り] : 天吊りまたは壁掛け設置して、映像を上下反転して投写します。
- ・ [リア] : リアスクリーンの裏側から映像を左右反転して投写します。
- ・ [リア・天吊り] : 天吊りまたは壁掛け設置して、リアスクリーンの裏側から映像を上下左右反転して投写します。

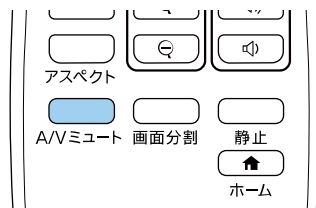
▶ 関連項目

- ・ 「リモコンで 設置モードを変更する」 [p.53](#)
- ・ 「メニューから設置モードを変更する」 [p.53](#)
- ・ 「プロジェクターの設置・取り付け」 [p.27](#)

リモコンで 設置モードを変更する

設置モードを変更して、映像を上下反転します。

- 1 本機の電源を入れて、映像を表示します。
- 2 リモコンの【A/Vミュート】ボタンを5秒間押します。



映像が一時的に消え、上下反転して再度投写されます。

- 3 元の設置モードに戻すには、【A/Vミュート】ボタンをもう一度5秒間押します。

メニューから設置モードを変更する

メニューから設置モードを変更して、映像を上下左右反転します。

- 1 本機の電源を入れ、映像を表示します。
- 2 操作パネルまたはリモコンの【メニュー】ボタンを押します。
- 3 [設置] を選択し、【決定】ボタンを押します。

よく使う項目	設置	
映像調整	固定設置	オフ
信号入出力	テストパターン	
設置	設置モード	フロント・天吊り
表示	幾何学歪み補正	ポイント補正
動作	リモコン受光部	オフ
管理	スクリーンタイプ	16:9
ネットワーク	高地モード	オフ
マルチプロジェクション	入力ソース	コンピューター1
メモリー	ブランキング	
初期・全体設定	初期値に戻す	
	設置初期化	
	表示	
	無信号時画面	青
	スタートアップ表示	オン
	ホーム画面自動表示	オン
	入力ソース並び替え	
	メッセージ表示	オン

- 4 [設置モード] を選択し、【決定】ボタンを押します。

- 5** お使いの環境に合わせた設置モードを選択し、【決定】ボタンを押します。

[設置モード]	戻る
フロント	
✓ フロント・天吊り	
リア	
リア・天吊り	

- 6** 【メニュー】ボタンまたは【戻る】ボタンを押してメニューを終了します。

お使いのスクリーンのアスペクト比に合わせて、映像を表示する領域がスクリーンに合うよう、[スクリーンタイプ] を設定します。



- 以下の入力ソースから投写中のときは設定できません。
 - USB
 - LAN
- [動作] メニューの [コンテンツ再生] を [オン] に設定しているときは、[スクリーンタイプ] を変更できません。
- [16:6] は
EB-L735U/EB-L730U/EB-L720U/EB-L635SU/EB-L630SU/EB-L630U/EB-L530Uでのみ選択できます。
- [スクリーンタイプ] を変更すると、[幾何学歪み補正] は初期化されます。

- 1 本機の電源を入れて、映像を表示します。
- 2 操作パネルまたはリモコンの【メニュー】ボタンを押します。

- 3 [設置] を選択し、【決定】ボタンを押します。

よく使う項目	設置
映像調整	固定設置 オフ
信号入出力	テストパターン
設置	設置モード フロント・天吊り
表示	幾何学歪み補正 ポイント補正
動作	リモコン受光部 オフ
管理	スクリーンタイプ 16:9
ネットワーク	高地モード オフ
マルチプロジェクション	入力ソース コンピューター1
メモリー	ブランキング
初期・全体設定	初期値に戻す
	設置初期化
	表示
	無信号時画面 青
	スタートアップ表示 オン
	ホーム画面自動表示 オン
	入力ソース並び替え
	メッセージ表示 オン

- 4 [スクリーンタイプ] を選択し、【決定】ボタンを押します。
- 5 お使いのスクリーンのアスペクト比を選択して、【決定】ボタンを押します。

[スクリーンタイプ]	戻る
4:3	
16:6	
✓ 16:9	
16:10	

6 【メニュー】ボタンを押して終了します。



プロジェクターの再起動が必要になることがあります。画面の指示に従って操作します。

7 必要に応じて投写映像のアスペクト比を調整します。



「スクリーンタイプ」の設定が変更されると、「EDID」の設定は自動調整されます。

関連項目

- ・「映像の位置を調整する（スクリーン位置）」 [p.56](#)
- ・「映像の水平位置を調整する（画面シフト）」 [p.57](#)

映像の位置を調整する（スクリーン位置）

映像を表示する領域と映像との間に余白が生じたときは、映像の位置を調整できます。



「スクリーンタイプ」の設定が「16:10」のときは調整できません。

1 本機の電源を入れて、映像を表示します。

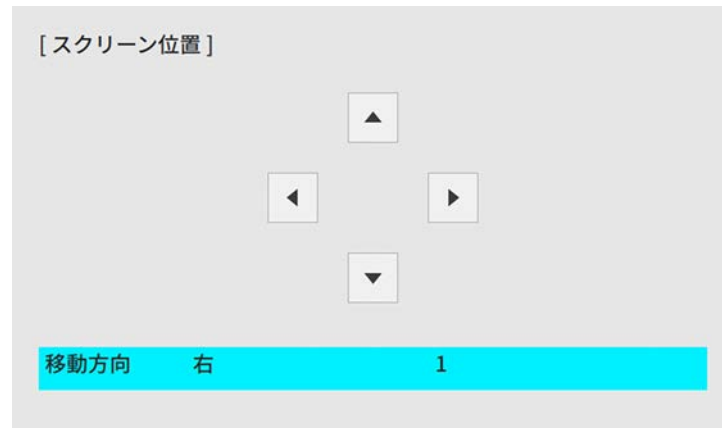
2 操作パネルまたはリモコンの【メニュー】ボタンを押します。

3 「設置」を選択し、【決定】ボタンを押します。

よく使う項目	設置
映像調整	固定設置 オフ
信号入出力	テストパターン
設置	設置モード フロント・天吊り
表示	幾何学歪み補正 ポイント補正
動作	リモコン受光部 オフ
管理	スクリーンタイプ 16:9
ネットワーク	高地モード オフ
マルチプロジェクション	入力ソース コンピューター1
メモリー	ブランキング
初期・全体設定	初期値に戻す
	設置初期化
	表示
	無信号時画面 青
	スタートアップ表示 オン
	ホーム画面自動表示 オン
	入力ソース並び替え
	メッセージ表示 オン

4 「スクリーン位置」を選択し、【決定】ボタンを押します。

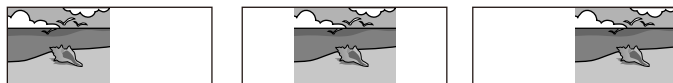
- 5** 操作パネルまたはリモコンの上下左右ボタンで映像の位置を調整します。



- 6** 終了したら、【メニュー】ボタンを押します。

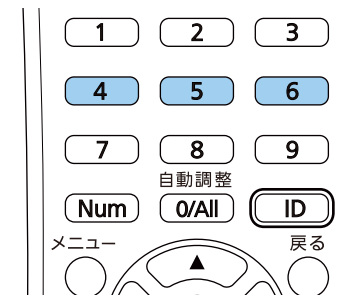
映像の水平位置を調整する（画面シフト）

「スクリーンタイプ」を「16:6」に設定したときに、超横長画面での映像の投写位置を設定できます（EB-L735U/EB-L730U/EB-L720U/EB-L635SU/EB-L630SU/EB-L630U/EB-L530U）。



- 入力ソースがHDMI、コンピューター、またはHDBaseTで、
「映像調整」メニューの「アスペクト」を「オート」に設定しているときのみ有効です。
- 画面分割投写中は設定できません。

- 1** 本機の電源を入れて、映像を表示します。
- 2** リモコンの【4】、【5】、または【6】ボタンを押します。
- 3** リモコンのボタンを押して、水平方向の投写位置を設定します。
- 【4】：画面の左に投写します。
 - 【5】：画面の中央に投写します。
 - 【6】：画面の右に投写します。



投写位置の設定は、本機の電源を切るまで有効です。

- 4** 終了したら、【戻る】ボタンを押します。

本機を投写面に対して平行に設置できないときや、映像の位置を調整したいときは、レンズシフト機能を使って映像の位置を上下左右に移動できます（EB-L735U/EB-L730U/EB-L635SU/EB-L630SU/EB-L630U/EB-L630W/EB-L530U）。

注意

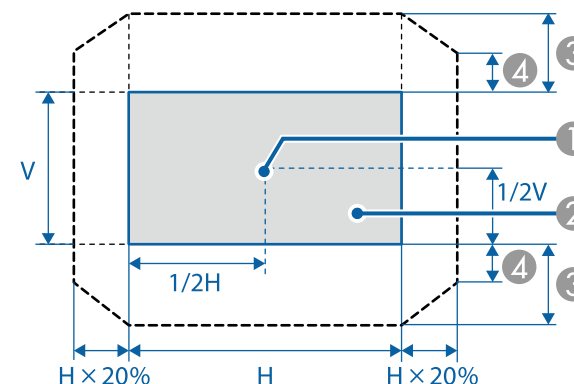
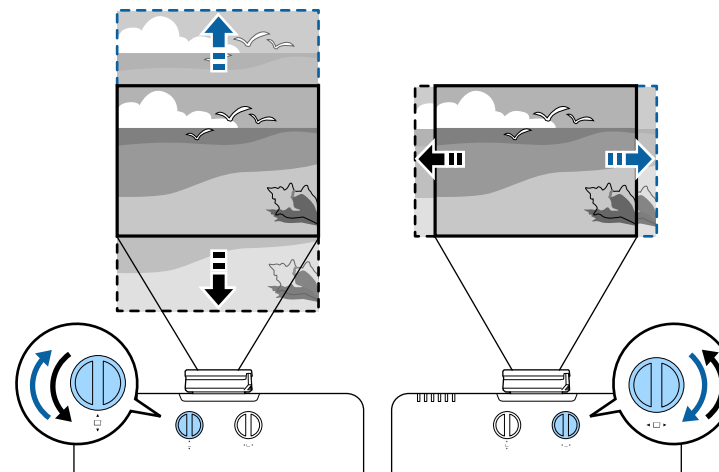
画面の位置を上下方向に調整するときは、画面を下から上に移動して調整し、終了してください。上から下に移動して終了すると、画面の位置が少し下がる場合があります。



- ・プロジェクターの電源を入れた直後は映像が安定しません。映像のサイズ調整、ピント調整、レンズシフトによる位置調整は、投写開始から20分以上たってから行ってください。
- ・レンズの位置がホームポジションにあるときに、映像が最も鮮明になります。

1 本機の電源を入れ、映像を表示します。

2 上下レンズシフトダイヤル、左右レンズシフトダイヤルを回して、映像の位置を調整します。



- ① レンズの中心
- ② レンズがホームポジションのときの投写映像
- ③ 最大可動領域： $V \times 50\%$
- ④ 左右方向が最大値の場合： $V \times 12\%$



上下方向に最大まで移動した場合は左右に移動できません。

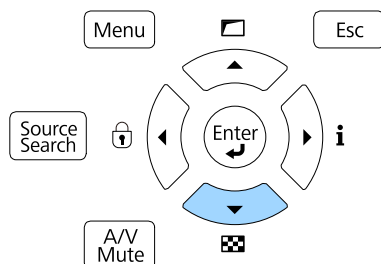
テストパターンを表示させると、映像機器を接続せずに投写映像を調整できます。



- ・テストパターンは「スクリーンタイプ」の設定に合わせて表示されます。スクリーンタイプを先に設定してください。
- ・テストパターンで調整できない項目や、映像の微調整は、映像機器から実際に映像を投写して調整してください。

1 本機の電源を入れます。

2 操作パネルの下ボタンを押します。



テストパターンが表示されます。



テストパターンは「設置」メニューからでも表示できます。

3 リモコンの左右ボタン、または操作パネルの【決定】ボタンを押すと、テストパターンが切り替わります。

4 映像を調整します。

5 【戻る】ボタンを押して、テストパターンを消します。

机などの平らな場所に置いて投写するときは、プロジェクターのフットを使って高さを調整します。

傾斜角度が大きくなると、ピントが合いにくくなります。傾斜角度が小さくなるようにプロジェクターを設置してください。

① フットを伸ばす

② フットを縮める

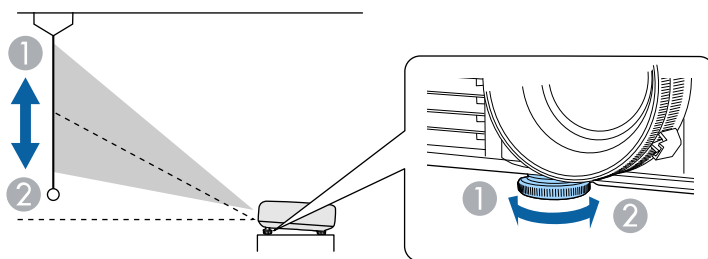
投写映像がゆがむときは、映像の形状を補正します。

▶ 関連項目

・「映像の形状を補正する」 [p.62](#)

1 本機の電源を入れ、映像を表示します。

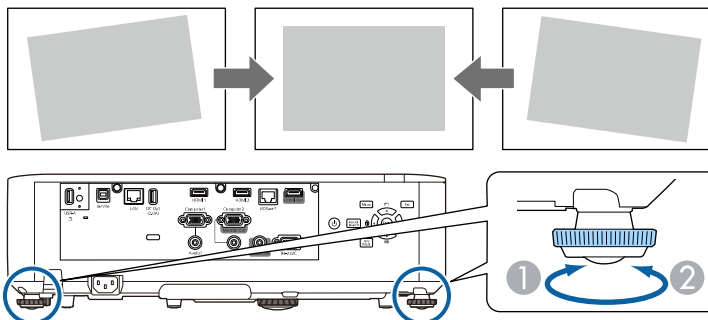
2 フロントフットを回して高さを調整します。



① フットを伸ばす

② フットを縮める

3 映像が傾いているときは、リアフットを回して左右の高さを調整します。



スクリーンの正面にプロジェクターを設置して、水平にすることで、傾きやゆがみのない映像を投写できます。スクリーンに対して斜めにプロジェクターを設置したり、上下に傾けて設置したりしたときは、映像の形状を補正します。

補正後は、映像が少し小さくなります。

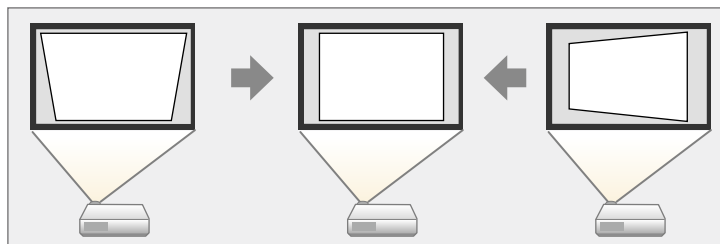
投写映像の画質を維持するためには、プロジェクターの設置位置を調整して映像サイズや形状を調整することをお勧めします。

関連項目

- ・「タテヨコ補正で映像のゆがみを補正する」 [p.62](#)
- ・「Quick Corner機能で映像のゆがみを補正する」 [p.64](#)
- ・「湾曲補正で映像のゆがみを補正する」 [p.66](#)
- ・「ポイント補正で映像のゆがみを補正する」 [p.68](#)
- ・「保存したメモリーを呼び出す」 [p.70](#)

タテヨコ補正で映像のゆがみを補正する

〔タテヨコ〕メニューを使用して、映像のゆがみを補正します。



映像を補正できる条件は、投写角度が上下左右約30°以内のときです。



- ・必要に応じて、事前に〔スクリーンタイプ〕と〔スクリーン位置〕の設定を変更してください。
- ・他の補正方法と組み合わせて使うことはできません。

- 1 本機の電源を入れて、映像を表示します。
- 2 操作パネルまたはリモコンの【メニュー】ボタンを押します。
- 3 〔設置〕を選択し、【決定】ボタンを押します。

よく使う項目	設置	
映像調整	固定設置	オフ
信号入出力	テストパターン	
設置	設置モード	フロント・天吊り
表示	幾何学歪み補正	ポイント補正
動作	リモコン受光部	オフ
管理	スクリーンタイプ	16:9
ネットワーク	高地モード	オフ
マルチプロジェクション	入力ソース	コンピューター1
メモリー	ブランキング	
初期・全体設定	初期値に戻す	
	設置初期化	
	表示	
	無信号時画面	青
	スタートアップ表示	オン
	ホーム画面自動表示	オン
	入力ソース並び替え	
	メッセージ表示	オン

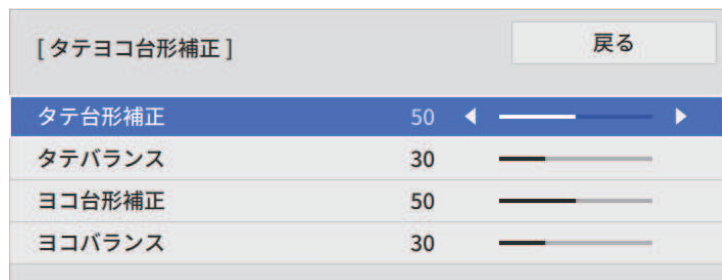
- 4 〔幾何学歪み補正〕を選択し、【決定】ボタンを押します。
〔幾何学歪み補正〕画面が表示されます。



操作パネルの上ボタンでも〔幾何学歪み補正〕メニューを表示できます。

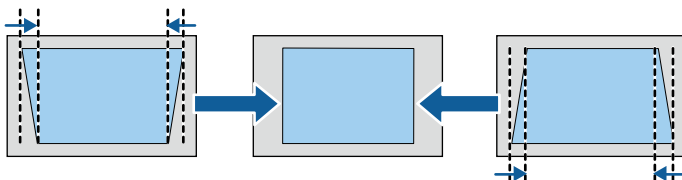
- 5 〔タテヨコ〕を選択し、【決定】ボタンを押します。もう一度【決定】ボタンを押します。

【タテヨコ】調整画面が表示されます。

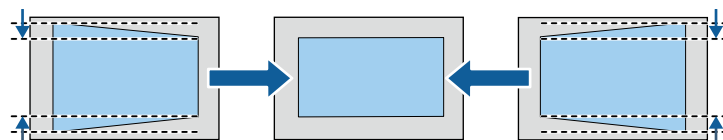


6 操作パネルまたはリモコンの上下左右ボタンで補正方法を選択し、映像の形状を補正します。

・【タテ補正】

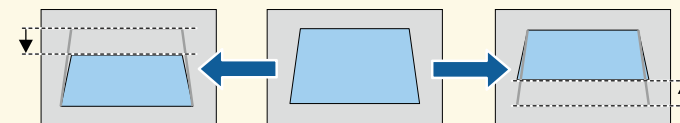


・【ヨコ補正】

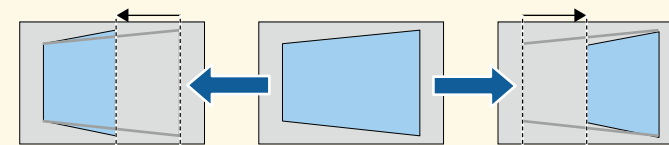


レンズシフト機能で投写映像の位置が調整されているときは、必要に応じて【タテバランス】と【ヨコバランス】を調整してください（EB-L735U/EB-L730U/EB-L635SU/EB-L630SU/EB-L630U/EB-L630W/EB-L530U）。

・【タテバランス】



・【ヨコバランス】



7 終了したら、【戻る】ボタンを押します。
補正後は、映像が少し小さくなります。

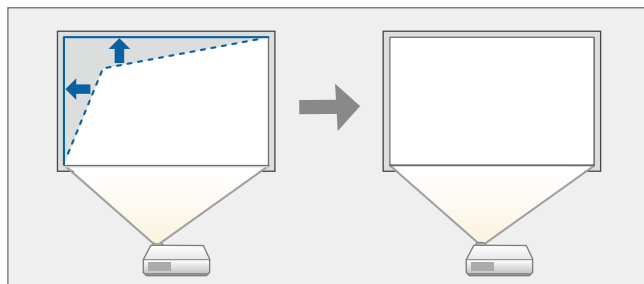


補正した映像の形状をメモリーとして登録するには、【メモリー保存】を選択します。メモリーには映像の形状を3つまで登録できます。

☛ 【設置】 > 【幾何学歪み補正】 > 【メモリー】 > 【メモリー保存】

Quick Corner機能で映像のゆがみを補正する

「Quick Corner」機能を使用して、映像のゆがみと大きさを補正します。



「スクリーンタイプ」を変更したり、「スクリーン位置」を調整したりしたときは、補正した結果は初期化されます。

- 1 本機の電源を入れ、映像を表示します。
- 2 操作パネルまたはリモコンの【メニュー】ボタンを押します。

- 3 「[設置]」を選択し、【決定】ボタンを押します。

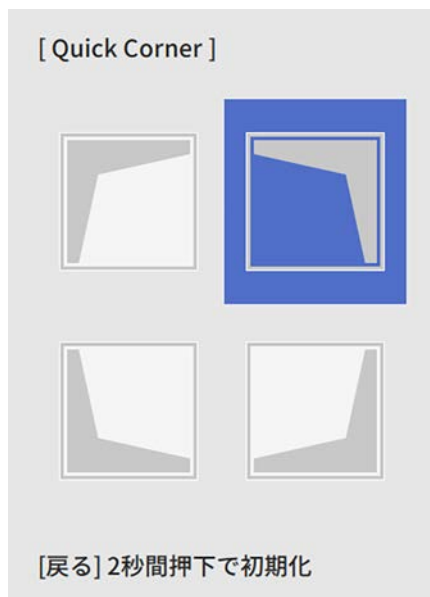
よく使う項目	設置
映像調整	固定設置 オフ
信号入出力	テストパターン
設置	設置モード フロント・天吊り
表示	幾何学歪み補正 ポイント補正
動作	リモコン受光部 オフ
管理	スクリーンタイプ 16:9
ネットワーク	高地モード オフ
マルチプロジェクション	入カソース コンピューター1
メモリー	プランキング
初期・全体設定	初期値に戻す
	設置初期化
	表示
	無信号時画面 青
	スタートアップ表示 オン
	ホーム画面自動表示 オン
	入カソース並び替え
	メッセージ表示 オン

- 4 「[幾何学歪み補正]」を選択し、【決定】ボタンを押します。
「[幾何学歪み補正]」画面が表示されます。

[幾何学歪み補正]	戻る
✓ タテヨコ台形補正	
Quick Corner	
湾曲補正	
ポイント補正	
オフ	
メモリー	

- 5** [Quick Corner] を選択し、【決定】ボタンを押します。必要に応じてもう一度【決定】ボタンを押します。
エリア選択画面が表示されます。

- 6** 上下左右ボタンを押して調整するコーナーを選択し、【決定】ボタンを押します。

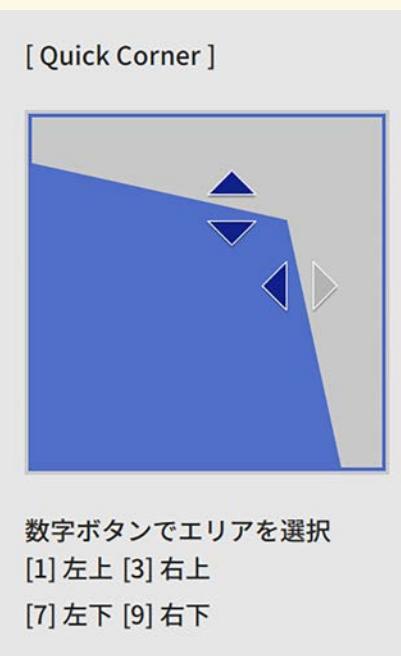


[Quick Corner] で補正した結果を初期化するには、エリア選択画面が表示されているときに【戻る】ボタンを約2秒間押し、【はい】を選択します。

- 7** 上下左右ボタンを押して、映像の形状を調整します。
【決定】ボタンを押すと、エリア選択画面に戻ります。



- ・リモコンの次の数字のテンキーボタンを押して、調整するコーナーを選択することもできます。
- ・【1】：左上のコーナーを選択します。
- ・【3】：右上のコーナーを選択します。
- ・【7】：左下のコーナーを選択します。
- ・【9】：右下のコーナーを選択します。
- ・以下の画面で、グレーの三角形で示される方向にはこれ以上調整できません。



- 8** 手順6と7を繰り返して、調整が必要なすべてのコーナーを調整します。

- 9** 終了したら、【戻る】ボタンを押します。

Quick Corner実行後は、[設置] メニューの[幾何学歪み補正] が [Quick Corner] に設定されます。

操作パネルの上矢印ボタンを押したときは、エリア選択画面が表示されます。

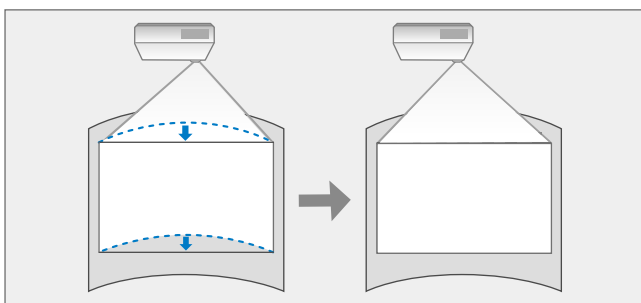


補正した映像の形状をメモリーとして登録するには、[メモリー保存] を選択します。メモリーには映像の形状を3つまで登録できます。

☞ [設置] > [幾何学歪み補正] > [メモリー] > [メモリー保存]

湾曲補正で映像のゆがみを補正する

曲面に映像を投写するときは、[湾曲補正] 機能を使用して映像のゆがみを補正します。



[スクリーンタイプ] を変更したり、[スクリーン位置] を調整したりしたときは、補正した結果は初期化されます。

2 操作パネルまたはリモコンの【メニュー】ボタンを押します。

3 [設置] を選択し、【決定】ボタンを押します。

よく使う項目	設置
映像調整	固定設置 オフ
信号入出力	テストパターン
設置	設置モード フロント・天吊り
表示	幾何学歪み補正 ポイント補正
動作	リモコン受光部 オフ
管理	スクリーンタイプ 16:9
ネットワーク	高地モード オフ
マルチプロジェクション	入力ソース コンピューター1
メモリー	ブランキング
初期・全体設定	初期値に戻す
	設置初期化
	表示
	無信号時画面 青
	スタートアップ表示 オン
	ホーム画面自動表示 オン
	入力ソース並び替え
	メッセージ表示 オン

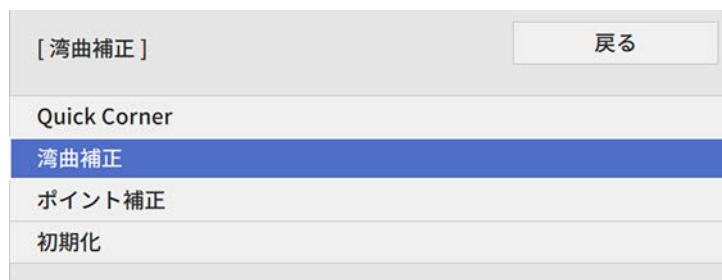
4 [幾何学歪み補正] を選択し、【決定】ボタンを押します。

〔幾何学歪み補正〕画面が表示されます。



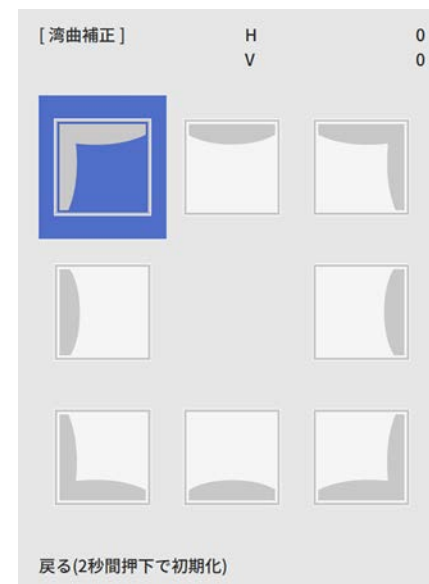
5 [湾曲補正] を選択し、【決定】ボタンを押します。
[湾曲補正] 画面が表示されます。

6 [湾曲補正] を選択し、【決定】ボタンを押します。



エリア選択画面が表示されます。

7 上下左右ボタンを押して補正するエリアを選択し、【決定】ボタンを押します。

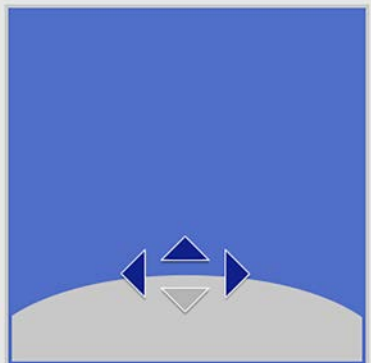


8 上下左右ボタンを押して、映像の形状を調整します。
【決定】ボタンを押すと、エリア選択画面に戻ります。



以下の画面で、グレーの三角形で示される方向にはこれ以上調整できません。

[湾曲補正] H: 0
V: 100



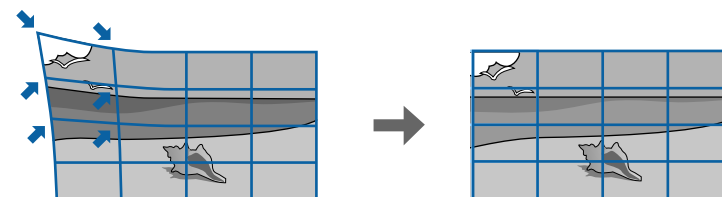
- ・補正した結果を微調整できます。[Quick Corner] で映像の傾きを調整し、[ポイント補正] で微調整します。手順6の画面で [Quick Corner] または [ポイント補正] を選択してください。
- ・補正した映像の形状をメモリーとして登録するには、[メモリー保存] を選択します。メモリーには映像の形状を3つまで登録できます。
☛ [設置] > [幾何学歪み補正] > [メモリー] > [メモリー保存]
- ・[湾曲補正] で補正した結果を初期化するには、エリア選択画面が表示されているときに【戻る】ボタンを約2秒間押し、【はい】を選択します。

関連項目

- ・「Quick Corner機能で映像のゆがみを補正する」 [p.64](#)
- ・「ポイント補正で映像のゆがみを補正する」 [p.68](#)

ポイント補正で映像のゆがみを補正する

[ポイント補正] 機能を使用して部分的に発生するわずかなゆがみを補正します。投写画像を格子で区切り、格子の交点を上下左右に移動させることで投写画面のゆがみを補正します。



9 手順7と8を繰り返して、必要なすべてのエリアを補正します。

10 終了したら、【戻る】ボタンを押します。



「スクリーンタイプ」を変更したり、「スクリーン位置」を調整したりしたときは、補正した結果は初期化されます。

- 1 本機の電源を入れ、映像を表示します。
- 2 操作パネルまたはリモコンの【メニュー】ボタンを押します。
- 3 「設定」を選択し、【決定】ボタンを押します。

よく使う項目	設定
映像調整	固定設定 オフ
信号入出力	テストパターン
設定	設定モード フロント・天吊り
表示	幾何学歪み補正 ポイント補正
動作	リモコン受光部 オフ
管理	スクリーンタイプ 16:9
ネットワーク	高地モード オフ
マルチプロジェクション	入力ソース コンピューター1
メモリー	ブランキング
初期・全体設定	初期値に戻す
	設定初期化
	表示
	無信号時画面 青
	スタートアップ表示 オン
	ホーム画面自動表示 オン
	入力ソース並び替え
	メッセージ表示 オン

- 4 「幾何学歪み補正」を選択し、【決定】ボタンを押します。

「幾何学歪み補正」画面が表示されます。

[幾何学歪み補正]	戻る
✓ タテヨコ台形補正	
Quick Corner	
湾曲補正	
ポイント補正	
オフ	
メモリー	

- 5 「ポイント補正」を選択し、【決定】ボタンを押します。
- 6 「ポイント補正」を選択し、【決定】ボタンを押します。

[ポイント補正]	戻る
Quick Corner	
ポイント補正	
初期化	



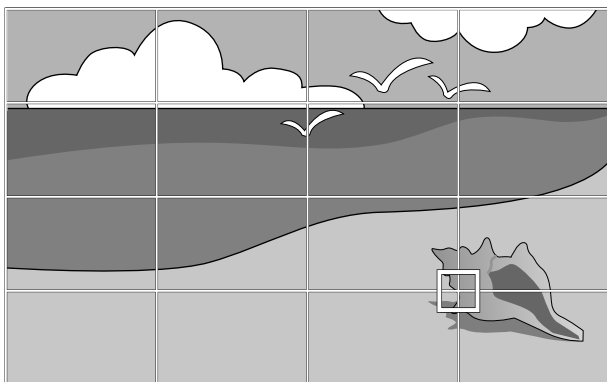
「Quick Corner」で映像のゆがみと大きさを大まかに補正し、「ポイント補正」で細かく調整します。

- 7 ポイントの数を選択し、【決定】ボタンを押します。
投写画面に格子が表示されます。

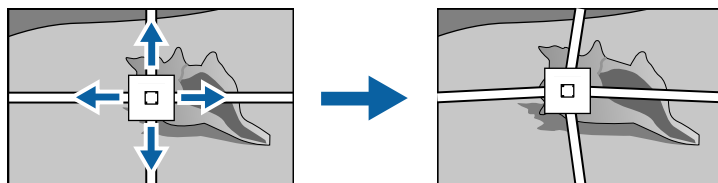


格子が見えにくいときは、【戻る】ボタンを押して、【ポイント補正】メニューの【パターン色】で色を変更します。

- 8** 上下左右ボタンを押して補正するポイントを選択し、【決定】ボタンを押します。



- 9** 上下左右ボタンで映像のゆがみを補正します。



- 10** 続けて他のポイントを補正する場合は、【戻る】ボタンを押して前の画面に戻り、手順8、9を行います。

- 11** 終了したら、【戻る】ボタンを押します。



- 補正した映像の形状をメモリーとして登録するには、【メモリー保存】を選択します。メモリーには映像の形状を3つまで登録できます。
- ☛ 【設置】 > 【幾何学歪み補正】 > 【メモリー】 > 【メモリー保存】
- 【ポイント補正】で補正した結果を初期化するには、【ポイント補正】で【初期化】を選択します。

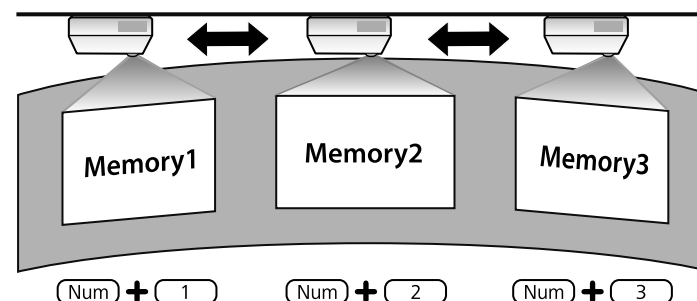
関連項目

- 「Quick Corner機能で映像のゆがみを補正する」 [p.64](#)

保存したメモリーを呼び出す

メモリーに設定・登録した内容を呼び出します。

- 本機の電源を入れ、映像を表示します。
- リモコンの【Num】ボタンを押しながら、登録したメモリー番号（1～3）のテンキーボタンを押します。





- ・ イラストはイメージです。
- ・ [メモリー] メニューの [メモリー呼出] から設定・登録した内容呼び出せます。

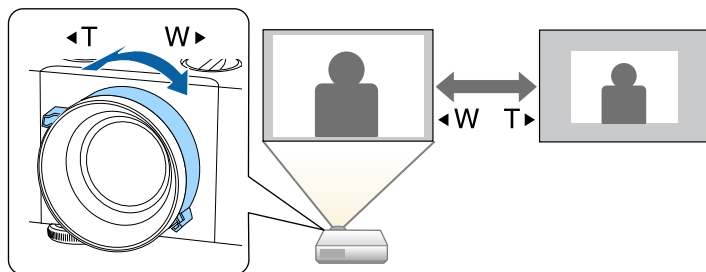
3 設定が読み込まれたら、画面の指示に従います。

ズームリングで映像の大きさを調整できます（EB-L735U/EB-L730U/EB-L720U/EB-L630U/EB-L630W/EB-L530U）。



プロジェクターの電源を入れた直後は映像が安定しません。映像のサイズ調整、ピント調整、レンズシフトによる位置調整は、投写開始から20分以上たってから行ってください。

- 1** 本機の電源を入れ、映像を表示します。
- 2** ズームリングを回して、映像を拡大/縮小します。



〔デジタルズーム〕機能を使って、映像を縮小できます（EB-L635SU/EB-L630SU）。



プロジェクターの電源を入れた直後は映像が安定しません。映像の調整は、投写開始から20分以上たってから行ってください。

- 1 本機の電源を入れて、映像を表示します。
- 2 操作パネルまたはリモコンの【メニュー】ボタンを押します。
- 3 〔設置〕を選択し、【決定】ボタンを押します。

よく使う項目	設置
映像調整	固定設置 オフ
信号入出力	テストパターン
設置	設置モード フロント・天吊り
表示	幾何学歪み補正 ポイント補正
動作	リモコン受光部 オフ
管理	スクリーンタイプ 16:9
ネットワーク	高地モード オフ
マルチプロジェクション	入力ソース コンピューター1
メモリー	ブランキング
初期・全体設定	初期値に戻す
	設置初期化
	表示
	無信号時画面 青
	スタートアップ表示 オン
	ホーム画面自動表示 オン
	入力ソース並び替え
	メッセージ表示 オン

- 4 〔デジタルズーム〕を選択し、【決定】ボタンを押します。

- 5 操作パネルまたはリモコンの左右ボタンを押して、サイズを調整します。

- 6 終了したら、【戻る】ボタンを押します。

関連項目

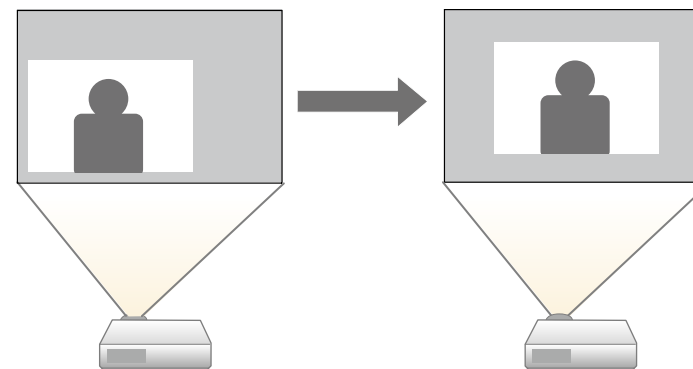
- ・「映像の位置を調整する（デジタルピクチャーシフト）」 [p.73](#)

映像の位置を調整する（デジタルピクチャーシフト）

〔デジタルピクチャーシフト〕機能を使って、本機を動かさずに映像の投写位置を微調整できます（EB-L635SU/EB-L630SU）。



- ・デジタルズームで映像を縮小しているときに調整できます。
- ・プロジェクターの電源を入れた直後は映像が安定しません。投写位置の調整は、映像を投写し始めてから20分以上たってから行ってください。



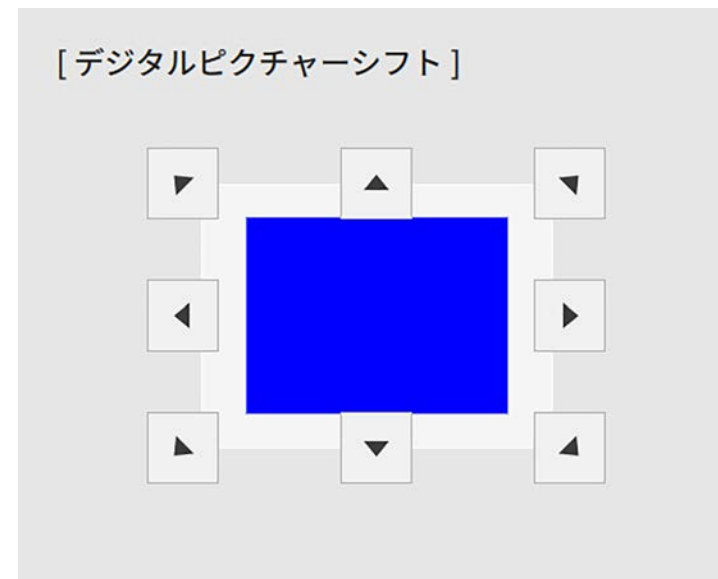
- 1 本機の電源を入れて、映像を表示します。

- 2** [設置] を選択し、【決定】ボタンを押します。

よく使う項目	設置
映像調整	固定設置 オフ
信号入出力	テストパターン
設置	設置モード フロント・天吊り
表示	幾何学歪み補正 ポイント補正
動作	リモコン受光部 オフ
管理	スクリーンタイプ 16:9
ネットワーク	高地モード オフ
マルチプロジェクション	入力ソース コンピューター1
メモリー	ブランキング
初期・全体設定	初期値に戻す
	設置初期化
	表示
	無信号時画面 青
	スタートアップ表示 オン
	ホーム画面自動表示 オン
	入力ソース並び替え
	メッセージ表示 オン

- 3** [デジタルピクチャーシフト] を選択して、【決定】ボタンを押します。

- 4** 上下左右ボタンで映像の位置を調整します。



- 5** 【戻る】ボタンを押して調整画面を終了します。
約10秒間何もしないと、調整画面は自動的に消えます。

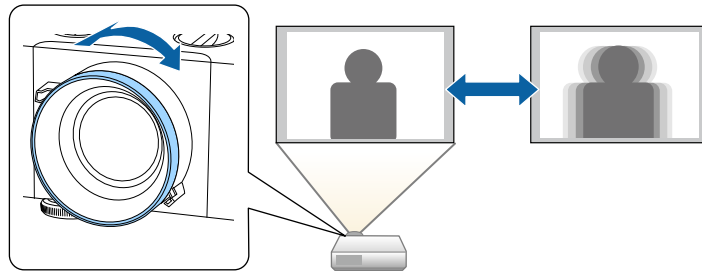


- ・ [デジタルピクチャーシフト] の設定は電源を切っても記憶されています。本機の設置位置や角度を変えたときは、再度調整してください。

フォーカスリングを使用して、ピントのズレを補正します。

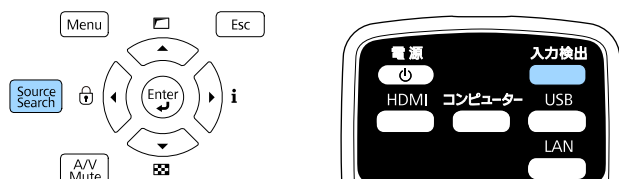


プロジェクターの電源を入れた直後は映像が安定しません。映像のサイズ調整、ピント調整、レンズシフトによる位置調整は、投写開始から20分以上たってから行ってください。



コンピューターとDVDプレーヤーなど複数の機器をプロジェクターに接続しているときは、投写する映像を切り替えます。

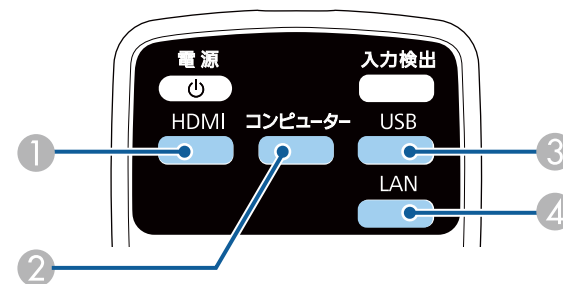
- 1 接続機器の電源が入っていることを確認します。
- 2 ビデオ機器の映像を投写するときは、DVDなどのメディアを挿入して再生します。
- 3 次のいずれかの操作を行います。
 - ・ 目的の機器からの映像が表示されるまで、操作パネルまたはリモコンの【入力検出】ボタンを押します。



映像信号が検出されないときは、次の画面が表示されます。本機と接続機器が正しく接続されていることを確認してください。

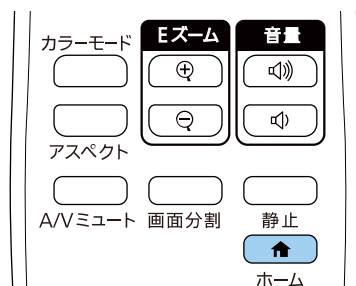
[入力検出]	
映像信号	
HDMI1	なし
HDMI2	なし
HDBaseT	
コンピューター1	なし
コンピューター2	なし
USB	なし
LAN	なし
Screen Mirroring1	なし
Screen Mirroring2	なし
映像信号を入力してください。 ◆ ボタンで入力ソースを選択できます。	

- ・ リモコンで、投写したい入力ソースのボタンを押します。押したボタンに対応する入力ソースが複数あるときは、ボタンを再度押して入力ソースを切り替えます。

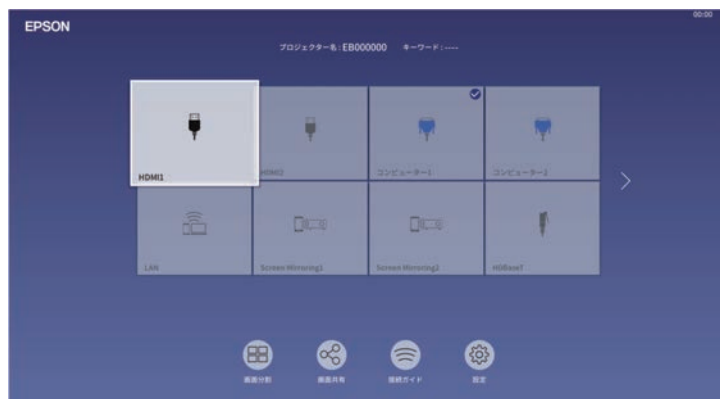


- ① HDMI、およびHDBaseT入力ソース（HDMI1、HDMI2、およびHDBaseT端子）
- ② コンピュータ入力ソース（Computer1、およびComputer2端子）
- ③ USB入力ソース
- ④ ネットワーク入力ソース（LAN、およびScreen Mirroring）

- ・ リモコンの【ホーム】 ボタンを押します。



投写する入力ソースを選択します。



- ・ 入力信号を検出すると、ソースの並び順が変わります。（検出したソースが左上に表示されます。）
- ・ [表示] メニューの [入力ソース並び替え] で、入力ソースの表示順を固定できます。
- ・ 現在投写している入力ソースにはチェックマークが付きます。現在の入力映像のプレビュー画像がサムネイル表示されます（コンテンツ再生モード時のUSB入力ソース以外）。
- ・ 有効な入力ソースが9つ以上あるときは、次ページに表示されている場合があります。右矢印をクリックして、次のページに移動します。

本機はさまざまな縦横比（アスペクト比）で映像を表示できます。通常は、接続機器からの入力信号によって映像のアスペクト比が決まります。映像をスクリーンに合わせるために、手動でアスペクト比を切り替えることもできます。

▶ 関連項目

- ・「映像のアスペクト比を切り替える」 [p.78](#)
- ・「アスペクトモードの種類」 [p.78](#)

映像のアスペクト比を切り替える

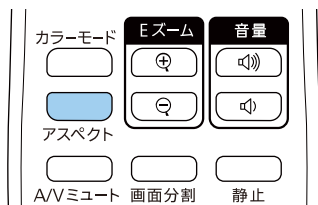
投写する映像のアスペクト比を切り替えます。



- ・アスペクト比を切り替える前に、[設置]メニューで[スクリーンタイプ]を設定してください。
- ・以下の入力ソースから投写中のときに設定できます。
 - ・コンピューター
 - ・HDMI
 - ・HDBaseT
- ・[表示倍率]をオフ、または[表示倍率モード]を[フル表示]に設定しているときのみ有効です。
 - ☛ [映像調整] > [表示倍率] > [表示倍率モード]

1 本機の電源を入れ、投写する機器の映像に切り替えます。

2 リモコンの【アスペクト】ボタンを押します。



表示される映像の形状と大きさが切り替わり、アスペクト比の名称が一時的に画面に表示されます。

3 投写中の入力信号で設定可能なアスペクト比を順に切り替えるときは、【アスペクト】ボタンを繰り返し押します。



- ・選択できるアスペクト比は、接続機器からの入力信号によって異なります。
- ・コンピューターの映像が欠けてすべてが投写できないときは、お使いのコンピューターの解像度に合わせて[映像調整]メニューの[入力解像度]を[ワイド]または[ノーマル]に設定してください。
- ・映像を表示する領域と映像との間に余白が生じたときは、[設置]メニューの[スクリーン位置]で映像の位置を調整できます。
 - ☛ [設置] > [スクリーンタイプ] > [スクリーン位置]

アスペクトモードの種類

[スクリーンタイプ]の設定、および接続機器からの入力信号に応じて、以下のアスペクト比を選択できます。



- ・著作権法で保護されている映像をアスペクト機能で圧縮、引き伸ばし、分割などを行い、営利目的で公衆に視聴させた場合は、著作権者の権利を侵害するおそれがあります。

アスペクトモード	説明
オート	入力信号と設定した[入力解像度]に従って、アスペクト比が自動的に設定されます。

アスペクトモード	説明
フル	入力信号のアスペクト比を維持せずに、投写エリア全体に映像を表示します。
Hズーム Vズーム ([スクリーンタイプ] が [4:3]、[16:9]、ま たは [16:10] のとき のみ)	入力信号のアスペクト比を維持し、投写エリアの横幅 (Hズーム)、または高さ (Vズーム) に合わせて映像を表示します。投写エリアからはみ出した部分は表示されません。
リアル ([スクリーンタイプ] が [4:3]、[16:9]、ま たは [16:10] のとき のみ)	入力信号のアスペクト比と解像度を維持して表示します。投写エリアからはみ出した部分は表示されません。

本機は、投写環境や映像の種類に応じて、明るさ、コントラスト、色を最適化するためのカラーモードを用意しています。環境や映像の種類に合ったカラーモードを選択できます。

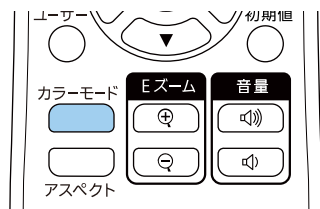
▶ 関連項目

- ・「カラーモードを変更する」 [p.80](#)
- ・「カラーモードの種類」 [p.80](#)

カラーモードを変更する

リモコンでカラーモードを変更して、映像を最適化します。

- 1** 本機の電源を入れ、投写する機器の映像に切り替えます。
- 2** リモコンの【カラーモード】ボタンを押してカラーモードを切り替えます。



カラーモードの名称が一時的に投写画面に表示され、映像の表示が切り替わります。

- 3** 投写中の入力信号で選択できるカラーモードを順に切り替えるには、【カラーモード】ボタンを繰り返し押します。



カラーモードは「映像調整」メニューの「カラーモード」でも設定できます。

カラーモードの種類

投写している映像の種類に応じて、以下のカラーモードを設定できます。

カラーモード	説明
ダイナミック	最も明るいモードです。明るさを優先したい場合に適しています。
プレゼンテーション	映像を明るく鮮やかに投写したい場合に適しています。
シネマ	映画などのコンテンツを楽しむのに適しています。
sRGB	コンテンツの持つ色表現を忠実に再現したい場合に適しています。
DICOM SIM	エックス線写真などの医用画像を投写するのに適しています。ただし、本機は医療機器ではありませんので、医療診断の用途ではご利用いただけません。
マルチプロジェクション	本機を複数台並べて投写する場合に適しています（映像の明るさや色合いの違いを小さくします）。

ダイナミックコントラストをオンにすると、映像の明るさに合わせてプロジェクターの光量を自動的に調整することでコントラストを改善します。

- 1 本機の電源を入れ、投写する機器の映像に切り替えます。
- 2 操作パネルまたはリモコンの【メニュー】ボタンを押します。
- 3 [映像調整] を選択し、【決定】ボタンを押します。

よく使う項目	映像調整	
映像調整	カラーモード	プレゼンテーション
信号入出力	明るさ	50
設置	コントラスト	50
表示	色の濃さ	50
動作	色合い	50
管理	シャープネス	50
ネットワーク	ホワイトバランス	
マルチプロジェクション	ダイナミックコントラスト	オフ
メモリー	イメージ強調	
初期・全体設定	シーン適応ガンマ補正	5
	ガンマ	0
	RGBCMY	
	初期値に戻す	
	入力ソース	コンピューター1
	入力解像度	オート
	アスペクト	オート
	アナログ信号調整	
	初期値に戻す	

- ・ [高速] : シーンが切り替わったとき、すぐに光量を調整します。

[ダイナミックコントラスト]	戻る
高速	
標準	
✓ オフ	

- 6 【メニュー】ボタンまたは【戻る】ボタンを押してメニューを終了します。

- 4 [ダイナミックコントラスト] を選択し、【決定】ボタンを押します。
- 5 以下のいずれかを選択し、【決定】ボタンを押します。
 - ・ [標準] : 標準の光量調整が行われます。

投写映像の色合いを細かく調整できます。

▶ 関連項目

- ・「色相、彩度、明度を調整する」 [p.82](#)
- ・「ガンマを調整する」 [p.83](#)

色相、彩度、明度を調整する

映像の色相、彩度、明度を調整します。

- 1 本機の電源を入れ、投写する機器の映像に切り替えます。
- 2 操作パネルまたはリモコンの【メニュー】ボタンを押します。
- 3 「映像調整」を選択し、【決定】ボタンを押します。

よく使う項目	映像調整	
映像調整	カラーモード	プレゼンテーション
信号入出力	明るさ	50
設置	コントラスト	50
表示	色の濃さ	50
動作	色合い	50
管理	シャープネス	50
	ホワイトバランス	
ネットワーク	ダイナミックコントラスト	オフ
マルチプロジェクション	イメージ強調	
メモリー	シーン適応ガンマ補正	5
初期・全体設定	ガンマ	0
	RGBCMY	
	初期値に戻す	
	入力ソース	コンピューター1
	入力解像度	オート
	アスペクト	オート
	アナログ信号調整	
	初期値に戻す	

- 4 「[RGBCMY]」を選択し、【決定】ボタンを押します。

- 5 調整する色を選択し、【決定】ボタンを押します。

[RGBCMY]

戻る

	色相	彩度	明度
R	50	50	50
G	50	50	50
B	50	50	50
C	50	50	50
M	50	50	50
Y	50	50	50

- 6 必要に応じて以下を調整します。

- ・「[色相]」：映像全体の色味を、青系～緑系～赤系へと調整します。
- ・「[彩度]」：映像全体の鮮やかさを調整します。
- ・「[明度]」：映像全体の明るさを調整します。

[R]

戻る

色相	50	M	◀	▶	Y
彩度	50				
明度	50				

- 7 【メニュー】ボタンまたは【戻る】ボタンを押してメニューを終了します。

ガンマを調整する

ガンマを調整することにより、接続機器の違いにより生じる投写映像の発色の違いを調整します。



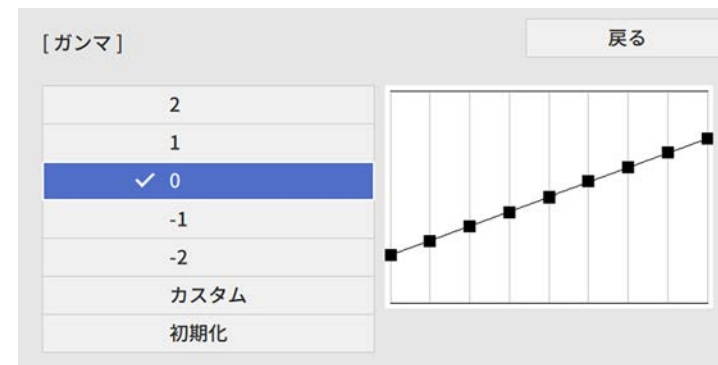
シーンに応じて階調表現を最適化し、メリハリのある映像にするときは「シーン適応ガンマ補正」で映像を補正します。

- 1 本機の電源を入れ、投写する機器の映像に切り替えます。
- 2 操作パネルまたはリモコンの【メニュー】ボタンを押します。
- 3 「映像調整」を選択し、【決定】ボタンを押します。

よく使う項目	映像調整	
映像調整	カラーモード	プレゼンテーション
信号入出力	明るさ	50
設置	コントラスト	50
表示	色の濃さ	50
動作	色合い	50
管理	シャープネス	50
ネットワーク	ホワイトバランス	
マルチプロジェクション	ダイナミックコントラスト	オフ
メモリー	イメージ強調	
初期・全体設定	シーン適応ガンマ補正	5
	ガンマ	0
	RGBCMY	
	初期値に戻す	
	入力ソース	コンピューター1
	入力解像度	オート
	アスペクト	オート
	アナログ信号調整	
	初期値に戻す	

- 4 「ガンマ」を選択し、【決定】ボタンを押します。

- 5 補正値を選んで調整します。



数値が小さいほど、映像全体の明るさを抑えてメリハリのある映像になります。数値が大きいと、映像の暗い部分が明るくなり、明るい部分は色の濃淡が小さくなります。





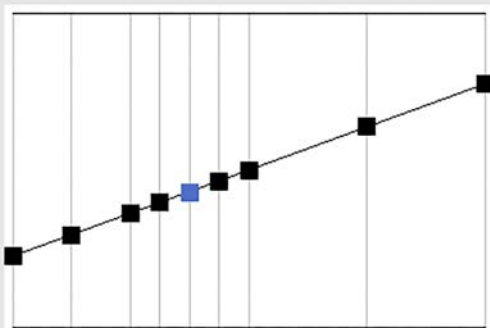
- ・ [映像調整] メニューの [カラーモード] で [DICOM SIM] を選択したときは、投写サイズに応じた補正値を選択します。
- ・ 投写サイズが120 インチ以下：より小さい数値を選択します。
- ・ 投写サイズが120インチ以上：より大きい数値を選択します。
- ・ 本機の設置環境やスクリーンの仕様によっては、医用画像を正しく再現できないことがあります。

6 調整の精度を上げるには、[カスタム] を選択し、【決定】ボタンを押します。

7 ガンマ調整グラフで、左右ボタンを使って変更したい階調を選択します。選択された階調を上下ボタンで調整し、【決定】ボタンを押します。

[ガンマ]

点減している部分が調整対象です。



8 【メニュー】ボタンまたは【戻る】ボタンを押してメニューを終了します。

映像の解像感を調整することで、質感や素材感のあるくっきりとした映像を表現できます。

- 1 本機の電源を入れ、投写する機器の映像に切り替えます。
- 2 操作パネルまたはリモコンの【メニュー】ボタンを押します。
- 3 [映像調整] を選択し、【決定】ボタンを押します。

よく使う項目	映像調整	
映像調整	カラーモード	プレゼンテーション
信号入出力	明るさ	50
設置	コントラスト	50
表示	色の濃さ	50
動作	色合い	50
管理	シャープネス	50
ネットワーク	ホワイトバランス	
マルチプロジェクション	ダイナミックコントラスト	オフ
メモリー	イメージ強調	
初期・全体設定	シーン適応ガンマ補正	5
	ガンマ	0
	RGBCMY	
	初期値に戻す	
	入力ソース	コンピューター1
	入力解像度	オート
	アスペクト	オート
	アナログ信号調整	
	初期値に戻す	

- 4 [イメージ強調] を選択し、【決定】ボタンを押します。

- 5 [イメージ強調プリセット] を選択し、【決定】ボタンを押します。



- 6 プリセットを選択し、【決定】ボタンを押します。



プリセットに登録されている以下の項目の設定値が映像に反映されます。

- ・ [ノイズリダクション]
- ・ [MPEGノイズリダクション]
- ・ [プログレッシブ変換]
- ・ [超解像]
- ・ [ディテール強調]

7 必要に応じて、[映像調整] メニューでそれぞれの設定値を個別に調整します。

- ・ [ノイズリダクション]：映像のざらつきを抑えます。
- ・ [MPEGノイズリダクション]：MPEG形式の映像のざらつきを抑えます。
- ・ [プログレッシブ変換]：インターレース信号をプログレッシブ信号に変換します。
 - ・ [オフ]：動きの速いビデオ映像に適しています。
 - ・ [ビデオ]：一般のビデオ映像に適しています。
 - ・ [フィルム/オート]：映画フィルムやCG、アニメーションに適しています。



インターレース信号（480i/576i/1080i）が入力されているとき表示されます。

- ・ [超解像]：解像度の低い映像を投写するときに、解像度を高めて映像のボケを軽減します。
- ・ [ディテール強調]：映像のテクスチャーや質感を強調します。



調整後、プリセットの設定値は上書きされます。

8

【メニュー】ボタンまたは【戻る】ボタンを押してメニューを終了します。

光源の明るさを設定します。

- 1 本機の電源を入れ、投写する機器の映像に切り替えます。
- 2 操作パネルまたはリモコンの【メニュー】ボタンを押します。
- 3 [動作] を選択し、【決定】ボタンを押します。

よく使う項目	動作
映像調整	自動入力検出 オン
信号入出力	光源明るさ制御
設置	ダイレクトパワーオン オフ
表示	オートパワーオン オフ
動作	スリープモード オン ^
管理	スリープモード時間 10 分
ネットワーク	A/Vミュートタイマー オン
マルチプロジェクション	待機モード 通信オン ^
メモリー	通信ポート 有線LAN
初期・全体設定	高速起動 オフ
	USB給電 投写時オン
	インジケータ表示 オン
	確認音 オン
	A/Vミュート解除
	方向ボタン反転 オフ
	コンテンツ再生 オフ v
	動作初期化

- 4 [光源明るさ制御] を選択し、【決定】ボタンを押します。

- 5 明るさを一定のレベルで維持したいときは、[明るさ一定運用] を [オン] に設定します。

[光源明るさ制御]		戻る
明るさ一定運用	オン	
明るさ維持レベル	100 %	
残り時間目安	0H	

- 6 [明るさ一定運用] をオンにしたときは、[明るさ維持レベル] を選択し、[残り時間目安]を確認します。

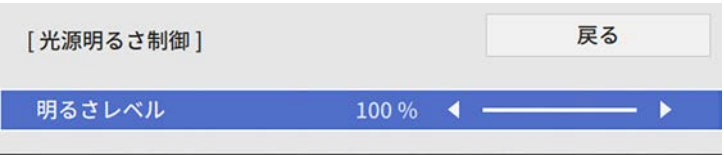
- 7 [明るさ一定運用] をオフにしたときは、[光源モード] を選択します。

- ・ [ノーマル]：明るさを落としたくないときに選択します。光源使用時間の目安は約20,000時間です。
- ・ [静音]：ファンの音が気になるときに選択します。明るさレベルは約70%になります。光源使用時間の目安は約20,000時間です。

- ・ [ロング] : 光源の寿命を延ばしたいときに選択します。明るさレベルは約70%になります。光源使用時間の目安は約30,000時間です。
- ・ [カスタム] : 明るさレベルを70~100%の範囲で設定します。



8 [光源モード] で [カスタム] を選択したときは、[明るさレベル] を選択し、左右矢印ボタンを押して明るさレベルを設定します。



9 【メニュー】ボタンまたは【戻る】ボタンを押してメニューを終了します。



光源の明るさを一定に保ちたいときは、[管理] メニューの [光源キャリブレーション] で [定期的に実行] を選択してください。

関連項目

- ・ 「残り時間目安の見方」 [p.88](#)
- ・ 「光源の使用時間」 [p.89](#)
- ・ 「本機仕様」 [p.273](#)

残り時間目安の見方

[明るさ一定運用] をオンにしたときは、明るさを一定に保つことができる時間の目安として [残り時間目安] が表示されます。



表示レベル	残り時間目安
	10,000時間以上

表示レベル	残り時間目安
■■■■■	8,000～9,999時間
■■■■■	6,000～7,999時間
■■■■■	4,000～5,999時間
■■■■■	2,000～3,999時間
■■■■■	0～1,999時間



「残り時間目安」に表示される時間は目安です。

光源の使用時間

光源の使用時間は、「明るさレベル」の設定や「明るさ一定運用」のオン/オフによって異なります。

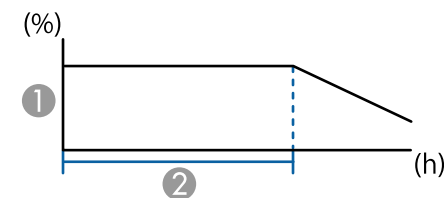


- ・ 光源の使用時間はお使いの環境によって異なります。
- ・ 以下に示す時間は目安であり、保証期間ではありません。
- ・ 本機の使用条件や使用環境によっては、目安時間より短い時間でも、本機内部の部品交換が必要となることがあります。
- ・ 「明るさ一定運用」がオンのときに、以下に示す目安時間を超えて使用した場合は、「明るさ維持レベル」の設定を高くすることはできません。

明るさ一定運用がオフの場合

明るさレベルの設定	光源の明るさが半減するまでの時間（目安）
100%	20,000時間
90%	21,000時間
80%	24,000時間
70%	30,000時間

明るさ一定運用がオンの場合



- ① 明るさ維持レベル
- ② 光源の明るさを一定に保つことができる時間（目安）

明るさ維持レベルの設定	時間
85%	6,000時間
80%	10,000時間
75%	14,000時間
70%	19,000時間

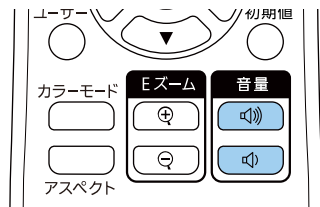
音量ボタンは、プロジェクターの内蔵スピーカーの音量を調整します。

プロジェクターに接続している外部スピーカーの音量も調整できます。

音量は接続した入力ソースごとに調整する必要があります。

1 本機の電源を入れ、投写する機器の映像に切り替えます。

2 リモコンの【音量】ボタンを押して音量を調整します。



音量調節画面が表示されます。

3 メニューから音量を調整するときは、[信号入出力] メニューの [音量] を設定します。設定値は入力ソースごとに保持されます。

⚠ 注意

初めから音量を上げすぎないでください。突然大きな音が出て、聴力障害の原因となることがあります。

電源を切る前に音量を下げておき、電源を入れた後で徐々に上げてください。

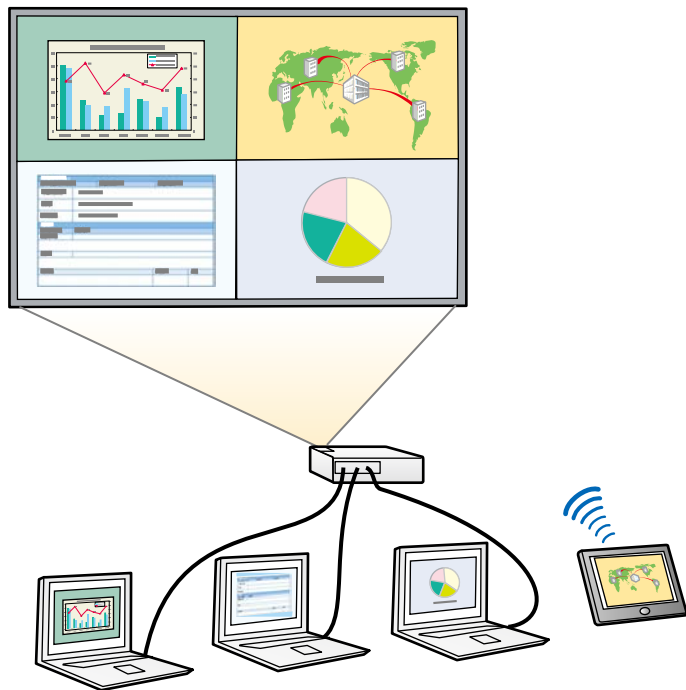
プロジェクターの便利な機能

プロジェクターの各機能を使用します。

▶ 関連項目

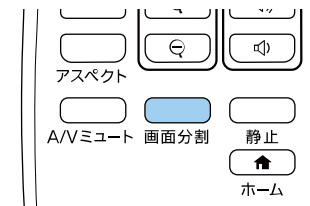
- ・「複数の映像を同時に投写する」 [p.92](#)
- ・「PC Free機能で投写する」 [p.95](#)
- ・「コンテンツ再生モードで投写する」 [p.101](#)
- ・「映像と音声を一時的に遮断する」 [p.109](#)
- ・「映像を一時的に停止する」 [p.110](#)
- ・「画面の一部を拡大表示する（Eズーム）」 [p.111](#)
- ・「映像を拡大・縮小する（Eズーム）」 [p.112](#)
- ・「ユーザーロゴを設定する」 [p.114](#)
- ・「プロジェクターの設定をメモリーに保存する」 [p.116](#)
- ・「映像の詳細設定を行う」 [p.117](#)
- ・「複数台のプロジェクターから投写する（マルチプロジェクション機能）」 [p.120](#)
- ・「セキュリティー機能」 [p.133](#)

画面分割機能を使用して、異なる映像機器から2つまたは4つの映像を同時に投写できます。

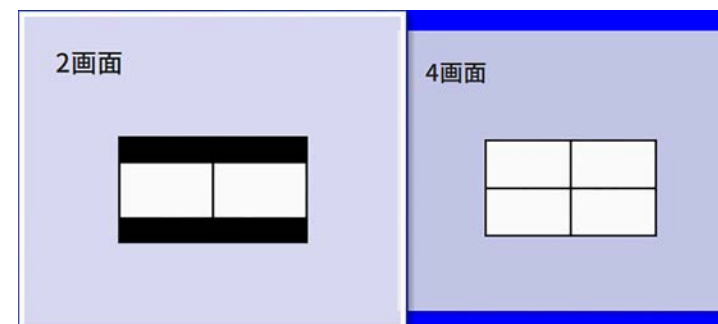


- 画面分割機能を使用しているときは、本機の一部の機能が使用できなったり、一部の設定が自動的に両方の映像に適用されたりすることがあります。
- 〔動作〕メニューの〔コンテンツ再生〕を〔オン〕に設定しているときは、この機能は使用できません。
- 〔マルチプロジェクション〕メニューの〔表示倍率〕、または〔エッジブレンディング〕を使用しているときは、画面分割機能を使用できません。

1 リモコンの【画面分割】ボタンを押します。



2 〔2画面〕または〔4画面〕を選択します。



2画面に分割するときは、投写している入力ソースの映像が左画面に投写されます。

4画面に分割するときは、前回の画面分割時に投写した入力ソースが前回と同じ場所に投写されます。

3 【メニュー】ボタンを押します。

4 2画面に分割するときは、以下の設定をします。



① 入力ソースを選択します。

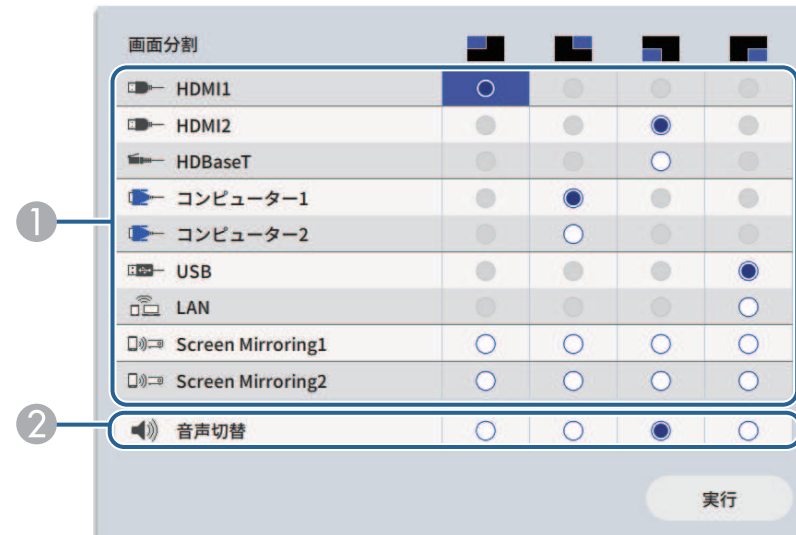


組み合わせ可能な入力ソースのみを選択できます。

② 音声を出力する画面を選択します。

③ 画面サイズを選択します。

5 4画面に分割するときは、以下の設定をします。



① 入力ソースを選択します。



組み合わせ可能な入力ソースのみを選択できます。

② 音声を出力する画面を選択します。

6 「実行」を選択し、【決定】ボタンを押します。

7 画面分割機能を終了するには、【画面分割】または【戻る】ボタンを押します。

▶ 関連項目

- ・「画面分割投写できない入力ソースの組み合わせ」 [p.94](#)
- ・「画面分割投写中の制限事項」 [p.94](#)

画面分割投写できない入力ソースの組み合わせ

以下の入力ソースの組み合わせでは、画面分割投写はできません。

- HDMI2とHDBaseT
- コンピューター1とコンピューター2
- USBとLAN



4画面に分割してUSBとScreen Mirroringを入力ソースに選択しているとき、Screen Mirroringは1または2のいずれか一方のみ選択できます。

画面分割投写中の制限事項

操作に関する制限事項

画面を分割しての投写中は、以下の操作はできません。

- メニューの設定
- Eズーム
- アスペクトモードの切り替え（アスペクトモードは［オート］に設定されます。）
- リモコンの【ユーザー】ボタンでの操作（投写面へのネットワーク情報の表示以外）
- 投写中の映像に［ダイナミックコントラスト］の設定を適用
- 投写中の映像に［デジタルピクチャーシフト］の設定を適用
- 【ユーザー】ボタンを使用する以外の方法での投写面へのネットワーク情報の表示
- Screen Mirroring情報バーの表示

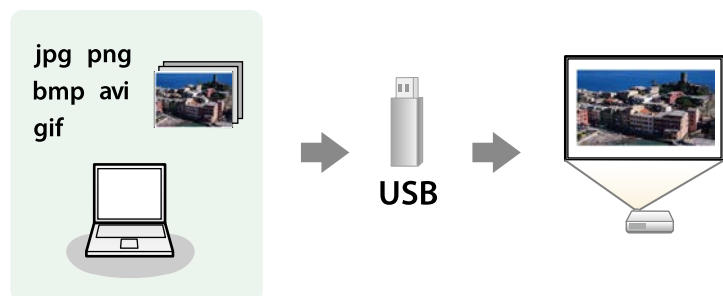
画質調整に関する制限事項

- 「表示」メニューの「無信号時画面」で「ロゴ」を設定していても、映像信号が入力されていないときは青い画面が表示され、ロゴは表示できません。
- 複数のプロジェクターを並べて作った一つの大きな映像で画面分割機能を使用するときは、2台目のプロジェクターは入力ソースを検出できません。

▶ 関連項目

- 「映像を拡大・縮小する（Eズーム）」 [p.112](#)
- 「映像のアスペクト比を設定する」 [p.78](#)
- 「画面の一部を拡大表示する（Eズーム）」 [p.111](#)
- 「映像の光量を調整する」 [p.81](#)
- 「メニューの設定」 [p.190](#)

PC Free機能は、USB機器を本機に接続して、保存されたファイルを投写できます。素早く簡単に映像を投写でき、リモコンから映像を操作することもできます。



関連項目

- ・「サポートファイル形式」 [p.95](#)
- ・「PC Free使用時の注意事項」 [p.96](#)
- ・「PC Freeのスライドショーを開始する」 [p.97](#)
- ・「PC Freeで動画を投写する」 [p.98](#)
- ・「PC Freeの表示オプション」 [p.100](#)

サポートファイル形式

以下の形式のファイルをPC Freeで投写できます。



- ・ FAT16/32でフォーマットされたUSB機器にファイルを保存してください。
- ・ Windows以外のファイルシステムでフォーマットしたUSB機器で投写に問題があるときは、Windowsでフォーマットしてください。

ファイルの内容	ファイルタイプ (拡張子)	詳細
静止画	.jpg	以下のファイル形式は投写できません。 ・ CMYK形式 ・ プログレッシブ形式 ・ 高圧縮 ・ 解像度が8192 × 8192を超えるファイル
	.bmp	以下のファイル形式は投写できません。 ・ 解像度が1280 × 800を超えるファイル
	.gif	以下のファイル形式は投写できません。 ・ 解像度が1280 × 800を超えるファイル ・ アニメーションファイル ・ インターレース形式
	.png	以下のファイル形式は投写できません。 ・ 解像度が1920 × 1200を超えるファイル ・ インターレース形式

ファイルの内容	ファイルタイプ (拡張子)	詳細
動画	.avi (Motion JPEGのみ)	- バージョン：AVI 1.0のみ - 解像度：最大1280 × 720 - サイズ：最大2 GB - 動画コーデック：Motion JPEG - フレームレート：最大30 fps - 音声コーデック：LPCM、IMA ADPCM - 音声サンプリングレート：11.025 kHz、16 kHz、22.05 kHz、24 kHz、32 kHz、44.1 kHz、48 kHz

ファイルの内容	ファイルタイプ (拡張子)	詳細
動画	.mp4/.mov (H.264, H265)	- 解像度：最大1920 × 1200 - サイズ：最大2 GB - 動画コーデック：H.264/MPEG-4 AVC、H.265/MPEG-H HEVC - フレームレート：最大30 fps - プロファイル： - H.264/MPEG-4 AVC：Baseline Profile、Main Profile、High Profile - H.265/MPEG-H HEVC：Main Profile - カラーフォーマット：YUV420 - ビデオのスライス構造が複数でないこと - 音声コーデック：MPEG-2 AAC-LC、MPEG-4 AAC-LC、LPCM - 音声チャンネル：最大2チャンネル - 音声ビットレート：8ビット、16ビット - 音声サンプリングレート： - MPEG-2 AAC-LC：44.1 kHz、48 kHz - MPEG-4 AAC-LC：44.1 kHz、48 kHz - LPCM：11.025 kHz、16 kHz、22.05 kHz、24 kHz、32 kHz、44.1 kHz、48 kHz

PC Free使用時の注意事項

PC Free機能を使用するときは、以下の点に注意してください。

- USBキーとして使用しているUSBメモリーは、PC Free機能では使用できません。

- ・ PC Freeで投写中は、USB機器を本機から取り外さないでください。PC Freeが正しく動作しなくなるおそれがあります。
- ・ セキュリティー機能が搭載されているUSB機器は、使用できないことがあります。
- ・ ACアダプターが付属されているUSB機器を接続するときは、ACアダプターを電源コンセントに接続してください。
- ・ 市販のUSBカードリーダーの中には、本機で使用できないものもあります。
- ・ 本機は、同時に5つまでのメディアを認識できます。
- ・ 以下の機能はPC Freeで投写しているときでも使用できます。
 - ・ 静止
 - ・ A/Vミュート
 - ・ Eズーム

▶ 関連項目

- ・ 「映像を拡大・縮小する（Eズーム）」 [p.112](#)
- ・ 「映像を一時的に停止する」 [p.110](#)
- ・ 「映像と音声を一時的に遮断する」 [p.109](#)
- ・ 「画面の一部を拡大表示する（Eズーム）」 [p.111](#)

PC Freeのスライドショーを開始する

USB機器をプロジェクターに接続した後、入力ソースを切り替えてスライドショーを開始します。



- ・ 画面下部の「オプション」を選択し、【決定】ボタンを押して、PC Freeの動作設定を変更したり、画面切替効果を追加したりできます。

- 1 PC Freeファイル一覧画面が表示されるまで、リモコンの【USB】ボタンを押します。



- ・ ドライブの選択画面が表示されたときは、上下左右ボタンでドライブを選択して、【決定】ボタンを押します。
- ・ 別のUSBドライブの画像を表示するには、ファイル一覧画面上部の「ドライブの選択」を選択して、【決定】ボタンを押します。

- 2 以下の操作で投写するファイルを探します。

- ・ USB機器のサブフォルダーにあるファイルを投写するときは、上下左右ボタンで該当のフォルダーを選択して、【決定】ボタンを押します。
- ・ ひとつ上のフォルダーに戻るときは、[上へ戻る]を選択して、【決定】ボタンを押します。
- ・ 同一フォルダー内の表示されていないファイルを表示するには、[次のページ] または [前のページ] を選択して、【決定】ボタンを押します。

3 次のいずれかの操作を行います。

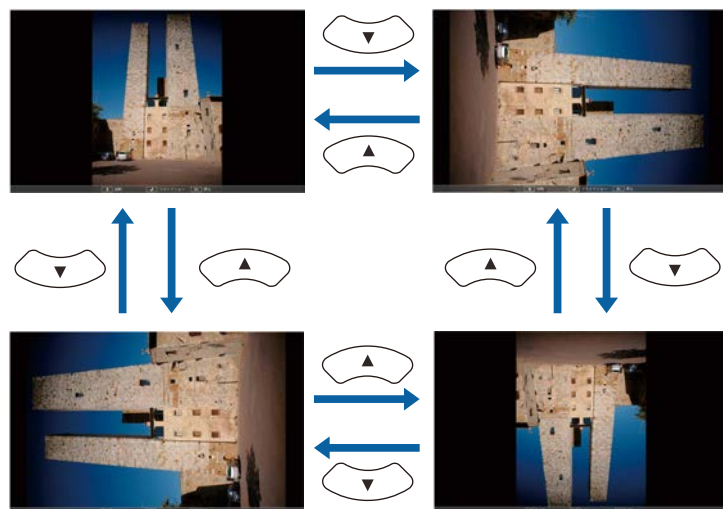
- ・ 投写するファイルを1つずつ選択するときは、上下左右ボタンで画像を選択し、【決定】ボタンを押します。（ファイル一覧画面に戻るには、【戻る】ボタンを押します。）
- ・ 同一フォルダー内のすべての画像をスライドショーで表示するには、上下左右ボタンで画面下部の「スライドショー」を選択し、【決定】ボタンを押します。



- ・ 画像の切り替え時間を変更できます。画面下部の「オプション」を選択し、【決定】ボタンを押して、表示オプション設定画面で変更してください。
- ・ ファイル名の文字数が表示幅を超える場合や、非対応の記号が含まれている場合は、PC Free機能ではファイル名が短縮または変更されます。

4 投写中は、以下の操作ができます。

- ・ 画像の回転：上下ボタンを押して、画像を回転できます。



- ・ 画像の送り戻し：左右ボタンを押して、表示中の画像の前または次の画像を表示します。

5 画像の投写を終了するときは、【戻る】ボタンを押します。ファイル一覧画面に戻ります。

6 必要に応じてUSB機器の電源を切り、本機から取り外します。

関連項目

- ・ 「PC Freeの表示オプション」 [p.100](#)
- ・ 「USB機器を接続する」 [p.36](#)

PC Freeで動画を投写する

USB機器をプロジェクターに接続した後、入力ソースを切り替えて、動画の投写を開始します。



- ・ 画面下部の「オプション」を選択し、【決定】ボタンを押して、PC Freeの動作設定オプションを変更できます。

- 1 PC Freeファイル一覧画面が表示されるまで、リモコンの【USB】ボタンを押します。



- ・ドライブの選択画面が表示されたときは、上下左右ボタンでドライブを選択して、【決定】ボタンを押します。
- ・別のUSBドライブの画像を表示するには、ファイル一覧画面上部の【ドライブの選択】を選択して、【決定】ボタンを押します。

- 2 以下の操作で投写するファイルを探します。

- ・USB機器のサブフォルダーにあるファイルを投写するときは、上下左右ボタンで該当のフォルダーを選択して、【決定】ボタンを押します。
- ・ひとつ上のフォルダーに戻るときは、【上へ戻る】を選択して、【決定】ボタンを押します。
- ・同一フォルダー内の表示されていないファイルを表示するには、【次のページ】または【前のページ】を選択して、【決定】ボタンを押します。

- 3 上下左右ボタンでファイルを選択し、【決定】ボタンを押します。



- ・ファイル名の文字数が表示幅を超える場合や、非対応の記号が含まれている場合は、PC Free機能ではファイル名が短縮または変更されます。
- ・同一フォルダー内のすべての動画を連続再生するには、画面下部の【スライドショー】を選択します。

- 4 投写を終了するときには、【戻る】ボタンを押し、【終了】を選択して【決定】ボタンを押します。
ファイル一覧画面に戻ります。

- 5 必要に応じてUSB機器の電源を切り、本機から取り外します。

関連項目

- ・「PC Freeの表示オプション」 [p.100](#)
- ・「USB機器を接続する」 [p.36](#)

PC Freeの表示オプション

PC Freeでは、以下の表示オプションを設定できます。PC Freeファイル一覧画面下部の「オプション」を選択し、【決定】ボタンを押します。



設定	選択肢	説明
表示時間設定	なし	画像の自動送りなし
	1秒～60秒	設定した秒数の間画像を表示した後、自動的に次の画像を表示（高解像度の画像は、設定秒数よりも切り替えが遅れることがあります）
画面切替効果	なし	切り替え効果なし
	ワイプ	画像の切り替え時にワイプ効果を入れる
	ディゾルブ	画像の切り替え時にディゾルブ効果を入れる
	ランダム	画像の切り替え時にランダム効果を入れる

設定	選択肢	説明
表示順序設定	ファイル名順	ファイル名順でファイルを表示
	更新日付順	更新日付順でファイルを表示
ソート方向	昇順	数字やアルファベットの小さい順にファイルを並べる
	降順	数字やアルファベットの大きい順にファイルを並べる
繰り返し再生	オン	スライドショーを連続表示
	オフ	スライドショーを1回のみ表示

コンテンツ再生モードを使うと、デジタルサイネージに適した映像を投写できます。外部メモリーに保存されているプレイリストの写真や動画を投写できます。エフェクト機能を使って投写映像の色や形を変えることもできます。



関連項目

- ・「サポートファイル形式」 [p.101](#)
- ・「コンテンツ再生モードに切り替える」 [p.102](#)
- ・「プレイリストを再生する」 [p.103](#)
- ・「映像に効果を加える（エフェクト機能）」 [p.106](#)
- ・「コンテンツ再生モードの制限事項」 [p.107](#)

サポートファイル形式

以下の形式のファイルをコンテンツ再生モードで投写できます。

ファイルの内容	ファイルタイプ (拡張子)	詳細
静止画	.jpg	以下のファイル形式は投写できません。 ・ プログレッシブ形式 ・ 高圧縮 ・ 解像度が8192 × 8192を超えるファイル
	.bmp	以下のファイル形式は投写できません。 ・ 解像度が1280 × 800を超えるファイル
	.gif	以下のファイル形式は投写できません。 ・ 解像度が1280 × 800を超えるファイル ・ アニメーションファイル ・ インターレース形式
	.png	以下のファイル形式は投写できません。 ・ 解像度が1280 × 800を超えるファイル ・ インターレース形式

ファイルの内容	ファイルタイプ (拡張子)	詳細
動画	.avi (Motion JPEGのみ)	- バージョン：AVI 1.0のみ - 解像度：最大1280 × 800 - サイズ：最大2 GB - 動画コーデック：Motion JPEG - 音声コーデック：LPCM、IMA ADPCM - 音声サンプリングレート：11.025 kHz、22.05 kHz、44.1 kHz、16 kHz、24 kHz、32 kHz、48 kHz
	.mp4/.mov (H.264/H.265)	- 解像度：最大1920 × 1200 - サイズ：最大2 GB - 動画コーデック：H.264/MPEG-4 AVC、H.265/MPEG-H HEVC - プロファイル： - H.264/MPEG-4 AVC：Baseline Profile、Main Profile、High Profile - H.265/MPEG-H HEVC：Main Profile - カラーフォーマット：YUV420 - 音声コーデック：MPEG-4 AAC-LC、LPCM - 音声サンプリングレート： - MPEG-2 AAC-LC：44.1 kHz、48 kHz - MPEG-4 AAC-LC：44.1 kHz、48 kHz - LPCM：11.025 kHz、16 kHz、22.05 kHz、24 kHz、32 kHz、44.1 kHz、48 kHz

コンテンツ再生モードに切り替える

プレイリストを再生するには、コンテンツ再生モードに切り替えます。

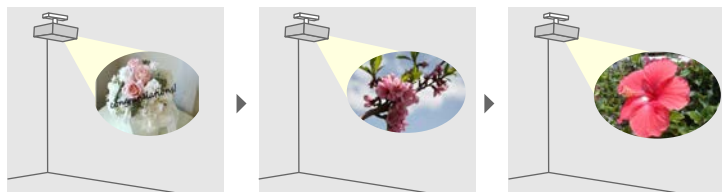
- 1 本機の電源を入れます。
- 2 【メニュー】ボタンを押し、[動作]を選択して、【決定】ボタンを押します。

よく使う項目	動作
映像調整	自動入力検出 オン
信号入出力	光源明るさ制御
設置	ダイレクトパワーオン オフ
表示	オートパワーオン オフ
動作	スリープモード オン ^
管理	スリープモード時間 10 分
ネットワーク	A/Vミュートタイマー オン
マルチプロジェクション	待機モード 通信オン ^
メモリー	通信ポート 有線LAN
初期・全体設定	高速起動 オフ
	USB給電 投写時オン
	インジケータ表示 オン
	確認音 オン
	A/Vミュート解除
	方向ボタン反転 オフ
	コンテンツ再生 オフ v
	動作初期化

- 3 [コンテンツ再生] を [オン] にします。
確認メッセージが表示されます。
- 4 コンテンツ再生モードを有効にするために、本機の電源を入れます。

プレイリストを再生する

コンテンツ再生モードでは、プレイリストとして保存した写真や動画を投写できます。



1 以下の方法でプレイリストを作成し、USBメモリーに保存します。

- Epson Projector Content Managerを使うと、画像や動画をプレイリストに追加して外付けデバイスに保存できます。エフェクト機能を使って投写映像の色や形を変えたり、プレイリストを再生する日時を指定するタイムテーブルを設定することもできます。

Epson Projector Content Managerは以下のWebサイトからダウンロードしてください。

epson.jp/download

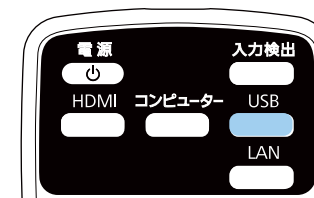
詳しくは『Epson Projector Content Manager操作ガイド』をご覧ください。

- Epson Web Controlを使うと、Webブラウザを使ってプレイリストを作成して、ネットワークプロジェクターに接続されている外付けデバイスに保存できます。エフェクト機能を使って投写映像の色や形を変えることもできます。
- Epson Creative Projectionを使うと、iOSのモバイルデバイスでデジタルサイネージコンテンツを作成できます。プロジェクターにコンテンツをワイヤレスに転送することもできます。

Epson Creative Projectionは、App Storeから無料でダウンロードできます。App Storeへ接続する際の通信料はおお客様の負担となります。

2 コンテンツ再生モードが有効な状態で、USBメモリーを本機のUSB-A端子に接続します。

3 リモコンの【USB】ボタンを押します。



前回再生したプレイリストが再生されます。タイムテーブルを設定しているときは、その時間に指定されているプレイリストが再生されます。



- 【Num】ボタンを押しながらテンキーボタンを押すと、お気に入りに登録したプレイリストを再生できます。お気に入りに登録するには、プレイリストを作成したソフトウェアを使って登録できます。
- 再生するプレイリストを一覧から選択するには、[動作]メニューの[USBビューアー]を選択し、上下左右ボタンで選択します。

▶ 関連項目

- 「Epson Web Controlを使ってプレイリストを作成する」 [p.104](#)
- 「ドキュメント類の最新バージョンを入手する」 [p.11](#)

Epson Web Controlを使ってプレイリストを作成する

コンテンツ再生モードでは、Webブラウザを使ってプレイリストを作成して、ネットワークプロジェクターに接続されているUSBメモリーに保存できます。

注意

プレイリストの作成中は、USBメモリーを本機から取り外したり、本機の電源コードを抜いたりしないでください。USBメモリーのデータが破損することがあります。

- 1 本機がコンテンツ再生モードで動作中であることを確認します。
- 2 お使いの機器を、接続先のプロジェクターと同じネットワークに接続します。
- 3 USBメモリーがプロジェクターのUSB-A端子に接続されていることを確認します。
- 4 お使いの機器でWebブラウザを起動します。
- 5 ブラウザーのアドレス入力部にプロジェクターのIPアドレスを入力し、Epson Web Control画面に接続します。IPv6アドレスを入力するときは、アドレスを[]で囲んで入力します。

- 6 [USBメモリー] を選択します。



- 7 [素材のアップロード] を選択します。



8 プレイリストに追加したい画像や動画を選択します。



.avi、.jpeg (.jpg)、.png、.bmp、.gifファイルをアップロードできます。

.mp4または.movファイルをプレイリストに追加したいときは、Epson Projector Content ManagerまたはEpson Creative Projectionを使用します。

選択したファイルが、プロジェクターに接続されているUSBメモリーにコピーされます。

9 次のいずれかの操作を行います。

- ・アップロードした画像や動画を既存のプレイリストに追加したいときは、[プレイリストに追加]を選択し、追加するプレイリストを選択します。
- ・新しいプレイリストを作成したいときは、[新規プレイリストを作成]を選択します。

10 プレイリストを編集します。



- 1 プレイリスト名を編集できます。
- 2 繰り返し再生するかどうかを設定します。
- 3 お気に入りに登録します。
お気に入りに登録すると、[リモコン]画面またはリモコンを使用して簡単にプレイリストを再生できます。
- 4 プレイリストに追加された画像や動画を表示します。ここに表示された順序で画像や動画が再生されます。
- 5 画像や動画を追加します。
- 6 画像や動画を一覧から削除します。

- ⑦ [静止画切り替え] 画面を表示します。
プレイリスト投写中に次のファイルに切り替わるまでの表示時間を設定できます。トランジション効果も設定できます。
- ⑧ [エフェクト] 画面を表示します。
あらかじめ用意されているカラーフィルターまたは形状フィルターなどのエフェクトをプレイリストに設定できます。エフェクトをカスタマイズすることもできます。
- ⑨ プレイリストをプレビューできます。

11 終了したら、[完了] を選択します。



- ・ [リモコン] または [プレイリスト] 画面からプレイリストを再生できます。
- ・ プレイリストを再生する日時を設定するには、Epson Projector Content Managerを使用します。

▶ 関連項目

- ・ 「Web Controlの画面一覧」 [p.171](#)

映像に効果を加える（エフェクト機能）

コンテンツ再生モードでは、映像の色や形を変えて投写できます。



- ・ エフェクト機能を使うときは、[リフレッシュモード] を定期的に行ってください。
- ・ [管理] > [リフレッシュモード]
- ・ [エッジブレンディング] 機能を使用しているときは、エフェクト機能を使用できません。

1 コンテンツ再生モードが有効な状態で【メニュー】ボタンを押し、[動作] を選択して、【決定】ボタンを押します。

よく使う項目	動作
映像調整	自動入力検出 オン
信号入出力	光源明るさ制御
設置	ダイレクトパワーオン オフ
表示	オートパワーオン オフ
動作	スリープモード オン
管理	スリープモード時間 10 分
ネットワーク	A/Vミュートタイマー オン
マルチプロジェクション	待機モード 通信オン
メモリー	通信ポート 有線LAN
初期・全体設定	高速起動 オフ
	USB給電 投写時オン
	インジケータ表示 オン
	確認音 オン
	A/Vミュート解除
	方向ボタン反転 オフ
	コンテンツ再生 オフ
	動作初期化

2 [エフェクト] を選択して、【決定】ボタンを押します。

- 3** [エフェクト] を [オン] に設定し、【決定】ボタンを押します。

[エフェクト]		戻る
エフェクト	オン	↑
形状フィルター	円1	
カラーフィルター	オフ	
明度	100	

- 4** [形状フィルター] を選択し、【決定】ボタンを押します。

- 5** 必要に応じて以下の項目を調整します。

- ・ [形状] : エフェクトの形状を、丸、四角、カスタムから選択します。



Epson Projector Content Managerを使うと、好きな画像をカスタムに登録できます。詳しくは『Epson Projector Content Manager操作ガイド』をご覧ください。

- ・ [フィルター効果] : 選択した形状の内側をマスクするか、外側をマスクするかを選択します。
- ・ [サイズ] : 選択した形状のサイズを設定します。
- ・ [表示位置] : 選択した形状の表示位置を設定します。



カスタムを使用する時は、[サイズ] と [表示位置] 設定は変更できません。

- 6** [カラーフィルター] を選択し、【決定】ボタンを押します。

- 7** 必要に応じて以下の項目を調整します。

- ・ [カラーフィルター] : エフェクトの色を選択します。
- ・ [カスタム] : [赤]、[緑]、[青] をそれぞれ調整します。

- 8** エフェクトの明るさを設定するときは、[明度] を選択します。

- 9** 【メニュー】ボタンを押して終了します。

コンテンツ再生モードの制限事項

操作に関する制限事項

コンテンツ再生モードでは、以下の操作や設定の変更はできません。

- ・ [映像調整] > [色温度] ([カラーフィルター] で [ウォームホワイト]、または [クールホワイト] が設定されているとき)
- ・ 画面分割
- ・ ログ保存先
- ・ ブランキング
- ・ [設置] > [スクリーンタイプ]
- ・ [表示] > [無信号時画面]
- ・ 自動入力検出
- ・ [ネットワーク設定] > [Remoteパスワード]
- ・ PC Free
- ・ USB書画カメラ
- ・ Epson iProjectionを使った画面共有
- ・ [ネットワーク設定] > [接続ガイド表示]

関連項目

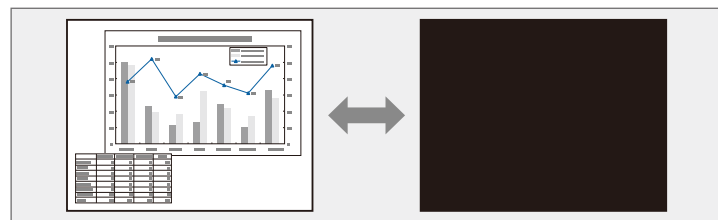
- ・ 「映像調整メニュー」 [p.193](#)

- ・「ネットワーク設定メニュー」 [p.213](#)
- ・「複数の映像を同時に投写する」 [p.92](#)
- ・「スクリーンタイプを設定する」 [p.55](#)
- ・「PC Free機能で投写する」 [p.95](#)

投写中の映像と音声を一時的に消すことができます。

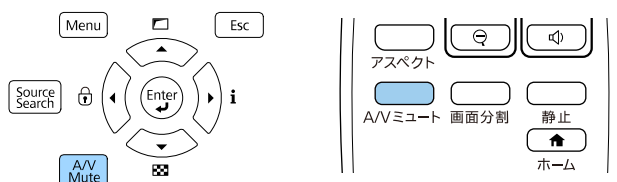
プレゼンテーション中に聴衆の関心を引きたいときなどに効果的です。

停止中でも映像と音声は進んでいるため、停止した場面から投写を再開することはできません。



- A/Vミュートの実行後30分経過すると、自動的に本機の電源が切れます。この機能は以下の設定で無効にできます。
 - [動作] > [A/Vミュートタイマー]
- [動作] メニューの [A/Vミュート解除] を [A/Vミュート] に設定すると、A/Vミュートを実行したまま本機を操作できます。

- 1** 操作パネルまたはリモコンの【A/Vミュート】ボタンを押します。

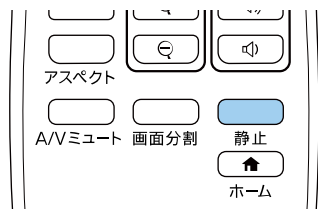


光源が消灯して、映像と音声遮断されます。

- 2** 投写を再開するときは、再度【A/Vミュート】ボタンを押します。

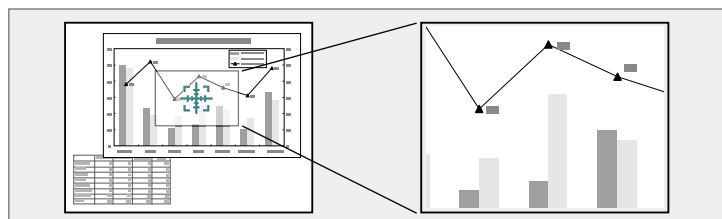
動画やプレゼンテーションスライドを一時的に停止して、静止画像として投写します。停止中も映像と音声は進んでいるため、停止した場面から投写を再開することはできません。

- 1 リモコンの【静止】ボタンを押して、動画を停止します。



- 2 停止を解除するときは、再度【静止】ボタンを押します。

映像の一部をズームして拡大表示することで、プレゼンテーションのポイントに注目させることができます（EB-L735U/EB-L730U/EB-L635SU/EB-L630SU/EB-L630U/EB-L630W/EB-L530U）。



「映像調整」メニューの「表示倍率」を使用しているときは、この機能は使用できません。

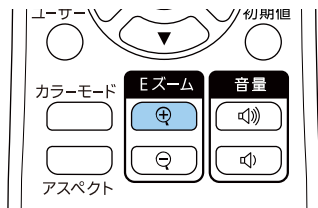
- ・ズームエリアの移動：ズームイン中に上下左右ボタンを押すと、ズーム表示エリアを移動できます。
- ・ズームアウト：【Eズーム】（-）ボタンを押します。
- ・ズーム解除：【戻る】ボタンを押します。

拡大された映像が投写され、拡大倍率が画面に表示されます。

1～4倍まで、25段階で拡大できます。

エプソン製書画カメラをUSBで接続して、カメラから読み込んだ映像を投写しているときは、1～8倍まで、57段階で拡大できます。

1 リモコンの【Eズーム】（+）ボタンを押します。

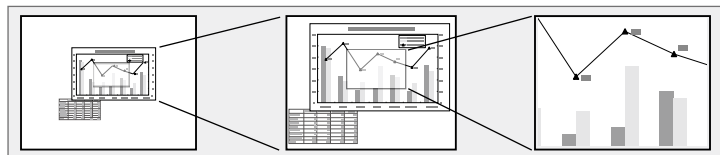


ズームエリアの中心を示す十字カーソルが画面に表示されます。

2 以下の操作でズームエリアを決めてズームします。

- ・十字カーソルの移動：上下左右ボタンでズームしたい位置に十字カーソルを移動します。隣り合う上下左右ボタンを2つ同時に押すと、十字カーソルを斜めに移動できます。
- ・ズームイン：【Eズーム】（+）ボタンを繰り返し押します。ズームインの速度を上げるには、【Eズーム】（+）ボタンを長押しします。

リモコンの【Eズーム】ボタンを使って、映像を拡大/縮小できます（EB-L720U）。



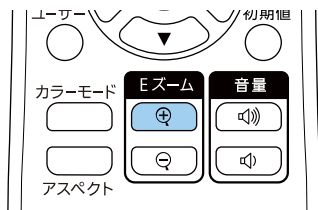
「映像調整」メニューの「表示倍率」を使用しているときは、この機能は使用できません。

▶ 関連項目

- ・「映像を拡大表示する」 [p.112](#)
- ・「映像を縮小表示する」 [p.112](#)

映像を拡大表示する

- 1 リモコンの【Eズーム】（+）ボタンを押します。



映像の中央を中心にして、拡大表示されます。1～4倍まで、25段階で拡大できます。

- 2 拡大された映像を調整するには、リモコンの以下のボタンを使用します。

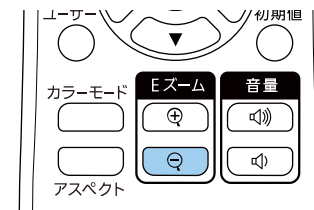
- ・ズームイン：【Eズーム】（+）ボタンを繰り返し押します。
- ・ズームエリアの移動：ズームイン中に上下左右ボタンを押すと、ズーム表示エリアを移動できます。
- ・ズームアウト：【Eズーム】（-）ボタンを押します。
- ・ズーム解除：【初期値】ボタンを押します。



- ・エプソン製書画カメラから映像を投写しているときは、書画カメラの【Eズーム】ボタンを使って、拡大・縮小できます。
- ・「設置」メニューの「Eズーム」でも設定できます。

映像を縮小表示する

- 1 リモコンの【Eズーム】（-）ボタンを押します。



映像が縮小表示されます。100%から50%まで、段階的に縮小できます。

- 2 縮小された映像を調整するには、リモコンの以下のボタンを使用します。

- ・ズームアウト：【Eズーム】（-）ボタンを繰り返し押します。

- ・ズームアウトエリアの移動：ズームアウト中に上下左右ボタンを押すと、縮小された映像を移動できます。
- ・ズームイン：【Eズーム】（+）ボタンを押します。
- ・ズーム解除：【初期値】ボタンを押します。



- ・エプソン製書画カメラから映像を投写しているときは、書画カメラの【Eズーム】ボタンを使って、拡大・縮小できます。
- ・〔設置〕メニューの〔Eズーム〕でも設定できます。

プロジェクターの電源投入時に表示する画像を設定します。この画像は、入力信号が未検出のときにも表示できます。この画像をユーザーロゴと呼びます。

写真、グラフィック、会社のロゴなどをユーザーロゴとして設定し、プロジェクターの所有者を明示することで、本機の盗難防止などに役立ちます。また、パスワードプロテクトを設定して、ユーザーロゴを変更できないようにすることができます。



- ・ [メニュー保護] の [ユーザーロゴ] をオンにしているときは、 [オフ] にしてからユーザーロゴを設定してください。
- ・ 一括設定機能を使用して、複数のプロジェクター間でメニュー設定をコピーすると、ユーザーロゴもコピーされます。複数のプロジェクター間で共有したくない画像は、ユーザーロゴとして設定しないでください。
- ・ HDCPで保護されたコンテンツは保存できません。
- ・ [コンテンツ再生] が [オン] のときは、プロジェクターの電源投入時のみユーザーロゴを表示できます。

1 ユーザーロゴとして設定する画像を投写します。

2 【メニュー】 ボタンを押し、 [管理] を選択して、 【決定】 ボタンを押します。

よく使う項目	管理
映像調整	ユーザーボタン 光源モード
信号入出力	ユーザーロゴ
設定	操作ボタンロック オフ
表示	ユニフォーミティー
動作	リフレッシュモード
管理	光源キャリブレーション
ネットワーク	日付&時刻
マルチプロジェクション	スケジュール設定
メモリー	無線LAN電源
初期・全体設定	無線LAN診断 1
	ログ保存先 USBおよび内部メモリー
	一括設定範囲
	言語 日本語
	情報表示
	ログ表示
	管理初期化
	ネットワーク

3 [ユーザーロゴ] > [設定開始] の順に選択し、 【決定】 ボタンを押します。

確認画面が表示されます。



[ユーザーロゴ] を選択すると、 [幾何学歪み補正]、Eズーム、 [アスペクト]、 [表示倍率]、 [スクリーンタイプ] などの設定が、一時的に無効になります。

4 [はい] を選択し、 【決定】 ボタンを押します。



現在の映像信号によっては、映像信号の解像度に合わせて画面サイズが変更されることがあります。

5 表示されている画像を確認し、[はい] を選択して保存します。
ユーザーロゴが保存され、完了メッセージが表示されます。

6 【戻る】 ボタンを押して、メッセージを閉じます。

7 [表示] を選択し、【決定】 ボタンを押します。

よく使う項目	表示	
映像調整	無信号時画面	青
信号入出力	スタートアップ表示	オン
設置	ホーム画面自動表示	オン
表示	入力ソース並び替え	
動作	メッセージ表示	オン
管理	メニュー回転	オフ
ネットワーク	メニューカラー	白
マルチプロジェクション	エアフィルター清掃通知	オン
メモリー	画面分割設定	
初期・全体設定	表示初期化	
	動作	
	自動入力検出	オン
	光源明るさ制御	
	ダイレクトパワーオン	オフ
	オートパワーオン	オフ
	スリープモード	オン
	スリープモード時間	10 分



【ユーザーロゴ】 の表示設定の変更を防止したいときは、[メニュー保護] の [ユーザーロゴ] をオンに設定します。

関連項目

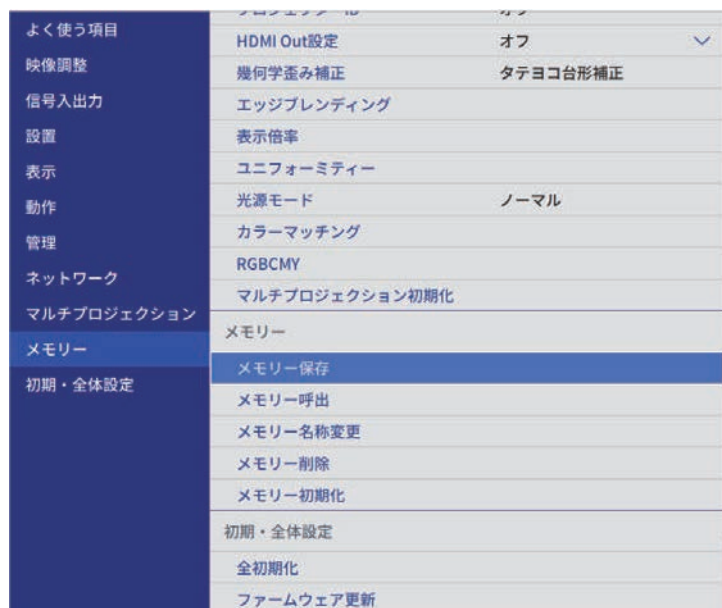
- ・「パスワードプロテクトの種類を設定する」 [p.134](#)

8 ユーザーロゴを表示するタイミングを設定します。

- ・ 入力信号がないときに表示するには、[無信号時画面] を選択し、[ロゴ] に設定します。
- ・ 本機の電源投入時に表示するには、[スタートアップ表示] を [オン] に設定します。

投写映像の設定値をメモリーに登録して、いつでも必要なときに呼び出すことができます。

- 1 本機の電源を入れ、映像を表示します。
- 2 【メニュー】ボタンを押し、[メモリー]を選択して、【決定】ボタンを押します。



- 3 次のいずれかを選択します。
 - ・ [メモリー保存] : 現在の設定をメモリーに登録します (10件まで登録できます)。



- ・ 以下の設定を登録できます。
 - ・ カラーモードごとに調整した [映像調整] メニューの設定
 - ・ [信号入出力] メニューの [ビデオレンジ] と [オーバースキャン]
 - ・ [動作] メニューの [光源モード] と [明るさレベル]
 - ・ [マルチプロジェクション] メニューの [カラーマッチング]
- ・ すでに登録済みのメモリー名は青いマークで表示されます。登録済みのメモリー名を選択したときは、登録内容を消去して、現在の設定と置き換えます。

- ・ [メモリー呼出] : 登録したメモリーを呼び出し、現在の設定と置き換えます。
- ・ [メモリー名称変更] : メモリー名を変更します。
- ・ [メモリー削除] : 選択したメモリーを消去します。

- 4 【メニュー】ボタンまたは【戻る】ボタンを押してメニューを終了します。



- ・ メモリー保存時のカラーモードは、メモリー名の右側に表示されます。
- ・ 保存されたメモリーを消去するには、[メモリー初期化] を選択します。

関連項目

- ・ 「映像調整メニュー」 [p.193](#)
- ・ 「信号入出力メニュー」 [p.196](#)
- ・ 「動作メニュー」 [p.204](#)
- ・ 「マルチプロジェクションメニュー」 [p.221](#)

プロジェクターの詳細な映像調整を行います。

▶ 関連項目

- ・「色味を調整する（ユニフォーミティー）」 [p.117](#)
- ・「光源キャリブレーションを実行する」 [p.118](#)

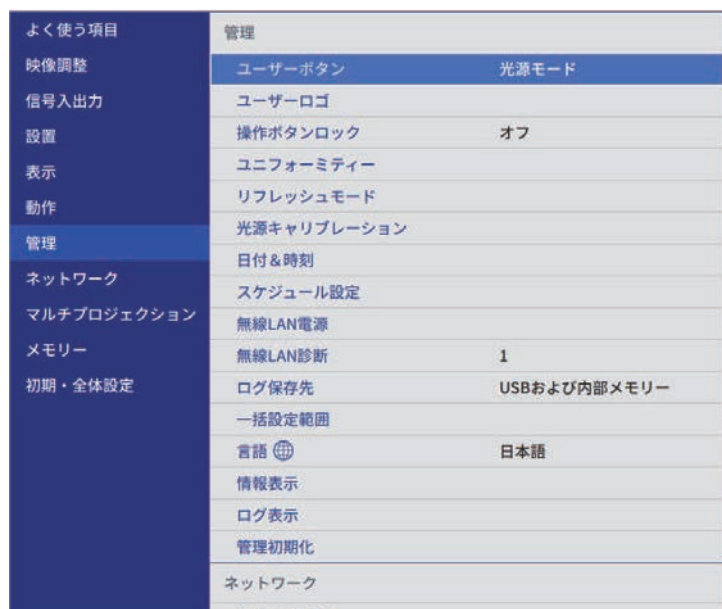
色味を調整する（ユニフォーミティー）

ユニフォーミティー機能を使って、投写画像の色味バランスを手動で調整します。

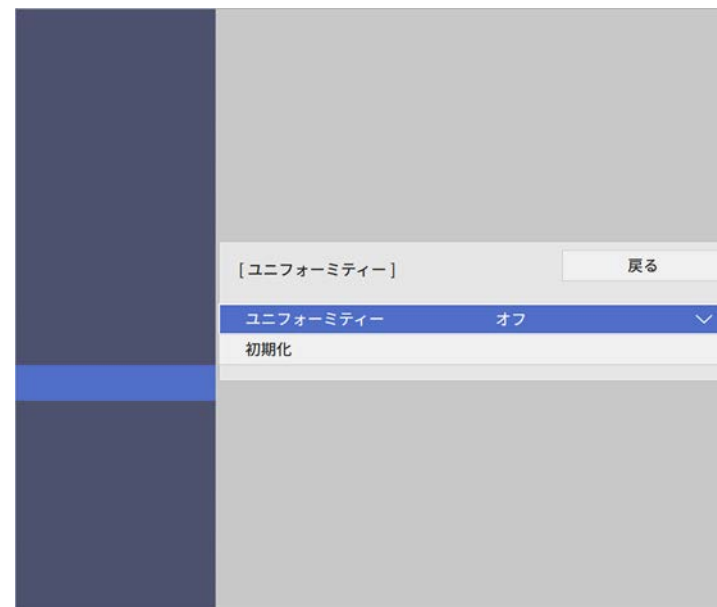


ユニフォーミティーを調整後も、色味が均一にならない場合があります。

- 1 【メニュー】ボタンを押し、[管理]を選択して、【決定】ボタンを押します。



- 2 [ユニフォーミティー]を選択し、【決定】ボタンを押します。



- 3 [ユニフォーミティー]を選択し、【決定】ボタンを押します。

- 4 [オン]を選択し、【決定】ボタンを押します。その後、【戻る】ボタンを押します。

- 5 [調整レベル]を選択し、【決定】ボタンを押します。

- 6 レベルを選択し、【戻る】ボタンを押します。





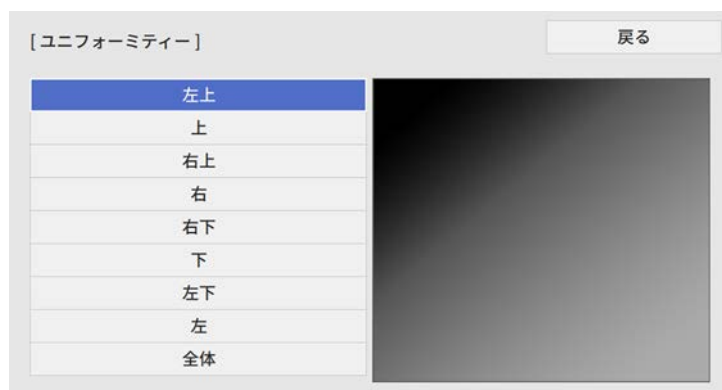
白 - グレー - 黒まで8つのレベルがあります。それぞれのレベルに対して調整を行います。



調整中に【決定】ボタンを押すと、投写映像を調整画面と入力映像で切り替えられます。

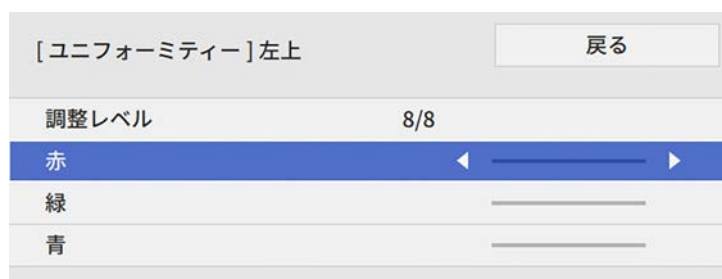
7 [調整開始] を選択し、【決定】ボタンを押します。

8 調整するエリアを選択し、【決定】ボタンを押します。



最初に画面の周囲を調整します。最後に[全体]を選択し、画面全体を調整します。

9 必要に応じて、[赤]、[緑]、[青] を選択し、それぞれの色味を調整します。



10 【戻る】ボタンを押すと、エリア選択画面に戻ります。

11 この手順を繰り返して、すべてのエリアを調整します。

12 手順5に戻り、それぞれのレベルで調整します。

13 終了したら、【メニュー】ボタンを押します。

光源キャリブレーションを実行する

光源キャリブレーションを実行すると、光源のホワイトバランスや明るさレベルのずれが補正されます。使用時間が100時間を経過するたびに光源キャリブレーションを実行してください。自動でキャリブレーションが実行されるようにスケジュールしたり、手動でメニューから光源キャリブレーションを実行したりすることもできます。

以下の場合には自動光源キャリブレーションが開始されません。

- ・ 本機の電源を入れて20分以内の場合
- ・ ダイレクトシャットダウンを使用する場合
- ・ 本機を24時間以上使用している場合
- ・ 使用する環境の温度が高く、光源の明るさが自動的に低下している場合

- 1 【メニュー】ボタンを押し、[管理] を選択して、【決定】ボタンを押します。

よく使う項目	管理
映像調整	ユーザーボタン 光源モード
信号入出力	ユーザーロゴ
設置	操作ボタンロック オフ
表示	ユニフォーミティ
動作	リフレッシュモード
管理	光源キャリブレーション
ネットワーク	日付&時刻
マルチプロジェクション	スケジュール設定
メモリー	無線LAN電源
初期・全体設定	無線LAN診断 1
	ログ保存先 USBおよび内部メモリー
	一括設定範囲
	言語 日本語
	情報表示
	ログ表示
	管理初期化
	ネットワーク



本機を24時間以上使用している場合、またはダイレクトシャットダウンを使用している場合は、定期的に光源キャリブレーションを実行するために[スケジュール設定画面へ]を選択します。

- 4 【メニュー】ボタンを押して終了します。

関連項目

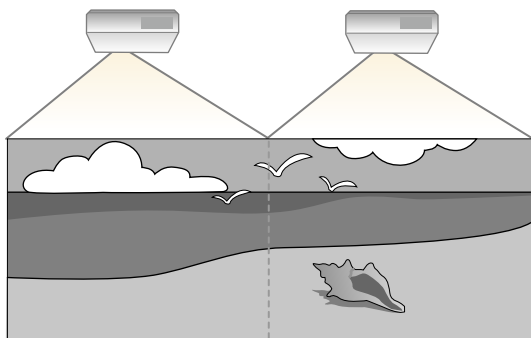
- ・「プロジェクターのイベントスケジュールを設定する」 [p.187](#)

- 2 [光源キャリブレーション] を選択し、【決定】ボタンを押します。

- 3 次のいずれかを選択します。

- ・ 光源キャリブレーションを今すぐ実行するには、[今すぐ実行] を選択します。
- ・ 使用時間が100時間が経過するたびに光源キャリブレーションを自動で実行するには、[定期的に実行] を選択します。
- ・ 自動光源キャリブレーションをスケジュールするには、[スケジュール設定画面へ] を選択します。
- ・ 光源キャリブレーションを実行した最後の日時を確認するには、[最終実行日時] を表示します。

複数台のプロジェクターを並べて、ひとつの大きな映像として投写できます（マルチプロジェクション機能）。



関連項目

- ・「マルチプロジェクションの調整手順」 [p.120](#)
- ・「プロジェクターのID設定」 [p.121](#)
- ・「映像を配置する（タイリング）」 [p.123](#)
- ・「映像のつなぎ目を補正する」 [p.125](#)
- ・「カラーマッチングを調整する」 [p.129](#)
- ・「映像を切り出して表示する」 [p.131](#)

マルチプロジェクションの調整手順

以下の順序で複数台のプロジェクターの映像を調整します。プロジェクター間の明るさや色合いの個体差を調整し、つなぎ目を目立たなくして、ひとつの大きな映像を投写します。



- ・ プロジェクターの電源を入れた直後は映像が安定しません。映像の調整は、映像を投写し始めてから20分以上たってから行ってください。
- ・ 補正を行っても、それぞれの映像の明るさと色合いは完全に一致しないことがあります。
- ・ 時間の経過とともに、映像の明るさと色合いの違いが目立つことがあります。その場合は、再度補正を行ってください。
- ・ 本機を複数台設置するときは、排気口から出た熱が他のプロジェクターの吸気口に入り込まないようにしてください。

- 1 すべてのプロジェクターとリモコンにIDを設定します。
- 2 投写面に対し、各プロジェクターの設置位置と角度を調整します。
- 3 各プロジェクターで［映像調整］メニューの［カラーモード］を［マルチプロジェクション］に設定します。
- 4 映像の配置を調整します（タイリング）。
- 5 各プロジェクターの映像のアスペクト比を調整します。
- 6 レンズシフトを使って、各プロジェクターの映像の位置を調整します（EB-L735U/EB-L730U/EB-L635SU/EB-L630SU/EB-L630U/EB-L630W/EB-L530U）。
- 7 各プロジェクターの映像の大きさとピントを調整します。
- 8 ［ポイント補正］で映像のわずかなゆがみを補正します。
- 9 ［エッジブレンディング］と［黒レベル調整］を使って、映像が重なった部分を調整します。

- 10** 「カラーマッチング」でそれぞれの映像の色合いを合わせます。
- 11** 「表示倍率」でそれぞれのプロジェクターで表示する映像を切り出します。

▶ 関連項目

- ・「映像を最適化する（カラーモード）」 [p.80](#)
- ・「映像のアスペクト比を設定する」 [p.78](#)
- ・「フォーカスリングで映像のピントを調整する」 [p.75](#)
- ・「ポイント補正で映像のゆがみを補正する」 [p.68](#)
- ・「設置時のご注意」 [p.27](#)
- ・「映像の位置を調整する（レンズシフト）」 [p.58](#)
- ・「ズームリングで映像の大きさを調整する」 [p.72](#)
- ・「映像を縮小する（デジタルズーム）」 [p.73](#)

プロジェクターのID設定

本機を複数台並べて投写するときは、それぞれの映像の明るさや色合いの違いを補正します。

プロジェクターごとにリモコンで調整するため、各プロジェクターにプロジェクターIDを設定してから明度と色合いを調整します。

▶ 関連項目

- ・「プロジェクターにIDを設定する」 [p.121](#)
- ・「操作対象のプロジェクターIDをリモコンで選択する」 [p.122](#)

プロジェクターにIDを設定する

リモコンで操作するプロジェクターを選択するために、各プロジェクターに一意的IDを指定します。



10台以上のプロジェクターを操作するときは、Epson Projector Professional Toolをお使いください。

- 1** 【メニュー】ボタンを押し、【マルチプロジェクション】を選択して、【決定】ボタンを押します。

よく使う項目	プロジェクターID	オフ
映像調整	HDMI Out設定	オフ
信号入出力	タイリング	
設置	幾何学歪み補正	ポイント補正
表示	エッジブレンディング	
動作	表示倍率	
管理	ユニフォーミティー	
ネットワーク	光源モード	ノーマル
マルチプロジェクション	カラーマッチング	
メモリー	RGBCMY	
初期・全体設定	マルチプロジェクション初期化	
	メモリー	
	メモリー保存	
	メモリー呼出	
	メモリー名称変更	
	メモリー削除	
	メモリー初期化	
	初期・全体設定	

- 2** 「プロジェクターID」を選択し、【決定】ボタンを押します。

- 3** 対象のプロジェクターに設定するID番号を選択します。【決定】ボタンを押します。



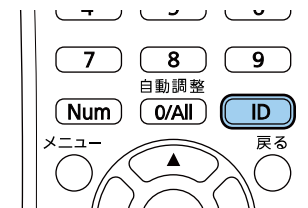
- 4** 【メニュー】ボタンまたは【戻る】ボタンを押してメニューを終了します。

- 5** リモコンから操作するすべてのプロジェクターに対して、同様の手順を繰り返します。

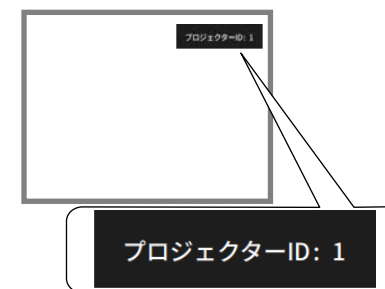
操作対象のプロジェクターIDをリモコンで選択する

プロジェクターのIDを設定した後、リモコンで操作対象のプロジェクターのIDを選択します。

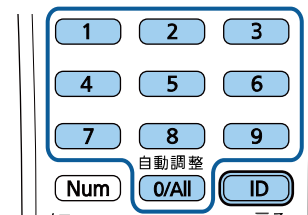
- 1** 操作対象のプロジェクターにリモコンを向けて、【ID】ボタンを押します。



プロジェクターに設定されたIDが投写画面に表示されます。表示は約3秒後に消えます。



- 2** 【ID】ボタンを押したまま、操作対象のプロジェクターIDと同じ数字のボタンを押します。



選択したIDが設定されたプロジェクターのリモコン操作が有効になります。



- ・【0/All】を選択したときは、[プロジェクターID] の設定に関わらず、すべてのプロジェクターを操作できます。
- ・[プロジェクターID] を[オフ] に設定しているときは、リモコンで選択したIDに関わらず、プロジェクターをリモコンで操作できます。
- ・プロジェクターIDはリモコンに記憶され、電池交換などでリモコンから電池を取り外しても残ります。ただし、長期間電池を取り外したままにすると、IDは初期値（0/All）に戻ります。
- ・複数のリモコンを同時に操作すると、赤外線の干渉により意図しない動作となることがあります。



事前に各プロジェクターからの投写映像にゆがみがないこと、サイズやピントが合っていることを確認してください。

▶ 関連項目

- ・「タイリングを構成する」 [p.123](#)

タイリングを構成する

プロジェクターの映像を、それぞれのプロジェクターで手動で配置します。

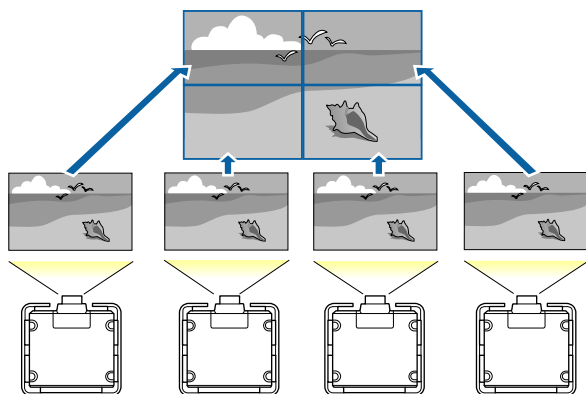


[HDMI Out設定] が [オフ] のときのみ有効です（EB-L735U/EB-L730U/EB-L635SU/EB-L630SU/EB-L630U/EB-L630W/EB-L530U）。

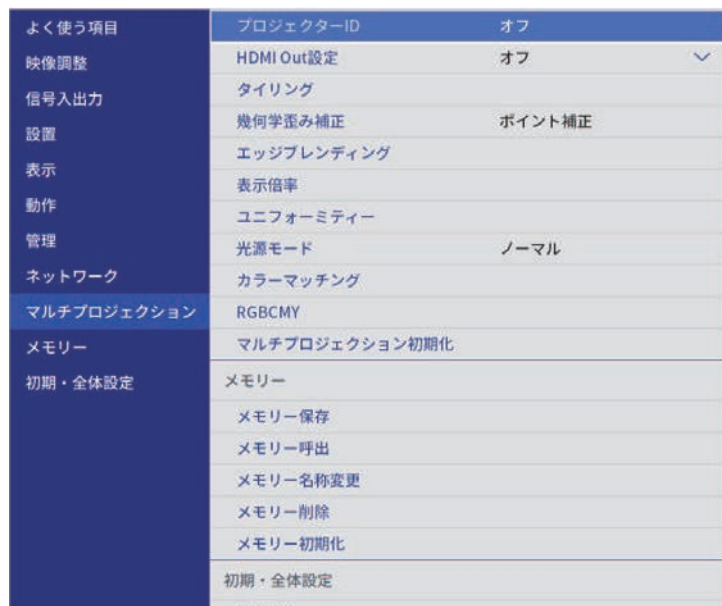
- 1 本機の電源を入れます。

映像を配置する（タイリング）

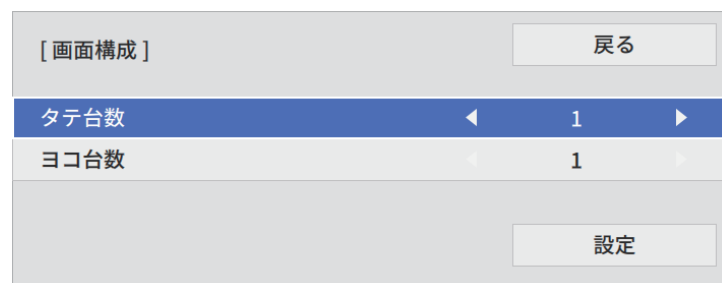
最大15台のプロジェクターから同じ映像を投写して、ひとつの大きな映像を作ることができます。タイリング機能を使って、それぞれのプロジェクター映像の投写位置を割り当てます。



- 2** 【メニュー】ボタンを押し、[マルチプロジェクション] を選択して、【決定】ボタンを押します。



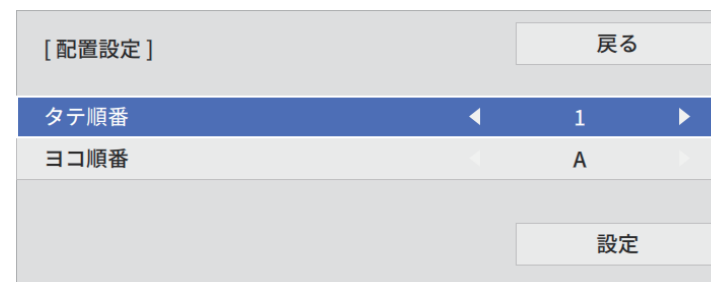
- 3** [タイリング] > [画面構成] の順に選択して、【決定】ボタンを押します。



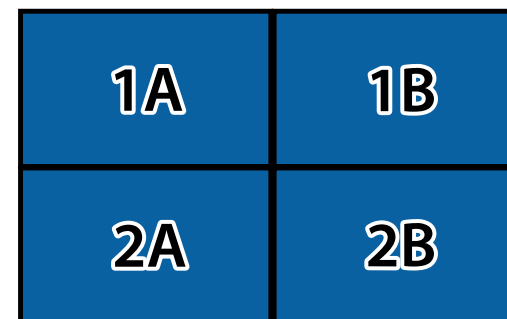
- 4** [タテ台数]、[ヨコ台数] でプロジェクターの台数を設定します。[設定] を選択して、【決定】ボタンを押します。

- 5** それぞれのプロジェクターで、手順1から手順4を行います。

- 6** [配置設定] を選択して、【決定】ボタンを押します。



- 7** それぞれのプロジェクターの投写位置を設定します。
- ・ [タテ順番] : 上から下へ1、2、3...の順に配置します。
 - ・ [ヨコ順番] : 左から右へ [A]、B、Cの順に配置します。



[設定] を選択して、【決定】ボタンを押します。

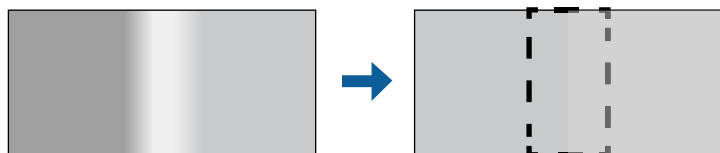
- 8** それぞれのプロジェクターで、手順7を行います。

9 入力ソースを選択して、映像を投写します。

タイリングが完了したら、投写映像の位置や色合いのずれを調整します。

映像のつなぎ目を補正する

エッジブレンディング機能を使って、映像のつなぎ目を目立たなくします。



1 【メニュー】ボタンを押し、[マルチプロジェクション] を選択して、【決定】ボタンを押します。

よく使う項目	プロジェクターID	オフ
映像調整	HDMI Out設定	オフ
信号入出力	タイリング	
設置	幾何学歪み補正	ポイント補正
表示	エッジブレンディング	
動作	表示倍率	
管理	ユニフォーマティティ	
ネットワーク	光源モード	ノーマル
	カラーマッチング	
マルチプロジェクション	RGBCMY	
メモリー	マルチプロジェクション初期化	
初期・全体設定	メモリー	
	メモリー保存	
	メモリー呼出	
	メモリー名称変更	
	メモリー削除	
	メモリー初期化	
	初期・全体設定	

2 [エッジブレンディング] を選択して、【決定】ボタンを押します。

3 [エッジブレンディング]、[マーカー表示]、[パターン表示] をオンにします。



各プロジェクターで異なる[表示色]を選択すると、映像が重なる範囲を見やすくなります。

4 補正するエッジ位置（映像が重なり合う箇所）を選択し、【決定】ボタンを押します。

以下の画面が表示されます。

[エッジ位置(上)]		戻る
ブレンディング	オフ	
ブレンド開始位置	0	
ブレンド範囲	0	
ブレンド曲線	0	

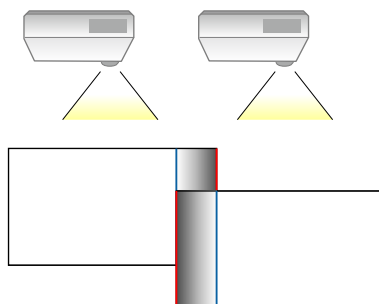
5 [ブレンディング] を [オン] にします。

6 [ブレンド開始位置] を選択し、ブレンド開始位置を指定します。



複数台のプロジェクターを並べて投写したひとつの大きな映像でエッジブレンディング機能を使うときは、補正するエッジ位置の [ブレンド開始位置] を [0] にしてください。

7 [ブレンド範囲] を選択し、左右ボタンでグラデーションをかける範囲を指定します。映像が重なり合う範囲とマーカーの位置が等しくなるようにします。



8 【戻る】 ボタンを押して、前の画面に戻ります。

9 [ブレンド曲線] でグラデーションのかけ方を調整します。

10 設定が終わったら、[マーカー表示] と [パターン表示] をオフにします。

11 終了したら、【メニュー】 ボタンを押します。



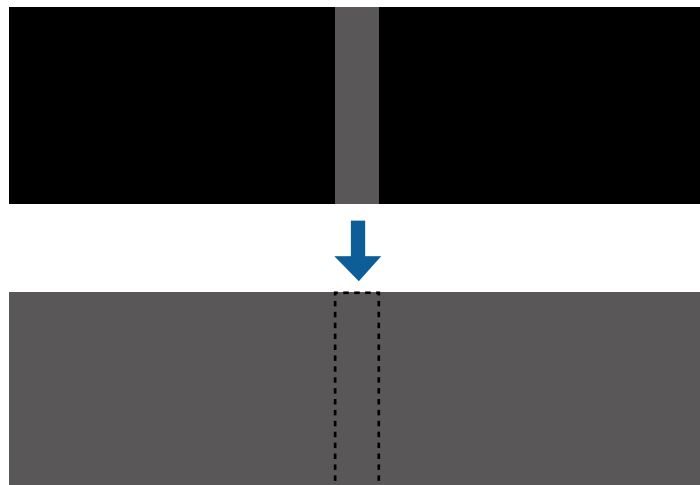
映像がうまく重なり合わないときは、[ポイント補正] 機能を使用して、重ね合わせる箇所の形状を補正します。

関連項目

- 「黒レベルを調整する」 [p.127](#)
- 「黒レベル補正領域を調整する」 [p.128](#)

黒レベルを調整する

映像のつながり目が目立たないように、映像が重なっていない箇所の明るさや色合いを調整します。



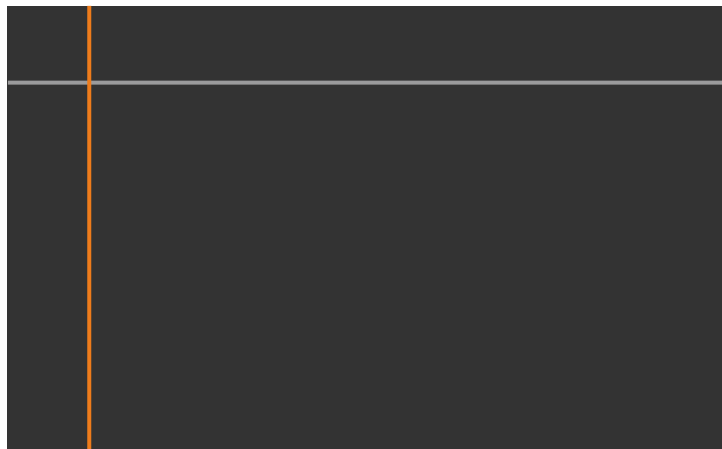
- ・テストパターンを表示中は「黒レベル調整」を実行できません。
- ・「幾何学歪み補正」の補正値が大きいと、「黒レベル調整」で正しく調整できないことがあります。
- ・「黒レベル調整」を行っても、映像が重なり合っている箇所やその他の箇所で、明るさや色合いが異なる場合があります。
- ・「エッジブレンディング」の設定を変更すると、「黒レベル調整」の調整値は初期値に戻ります。
- ・「エッジブレンディング」設定で、「エッジ位置(上)」、「エッジ位置(下)」、「エッジ位置(左)」、「エッジ位置(右)」のいずれかが「オン」に設定されているときのみ調整できます。

- 1 【メニュー】ボタンを押し、「マルチプロジェクション」を選択して、【決定】ボタンを押します。

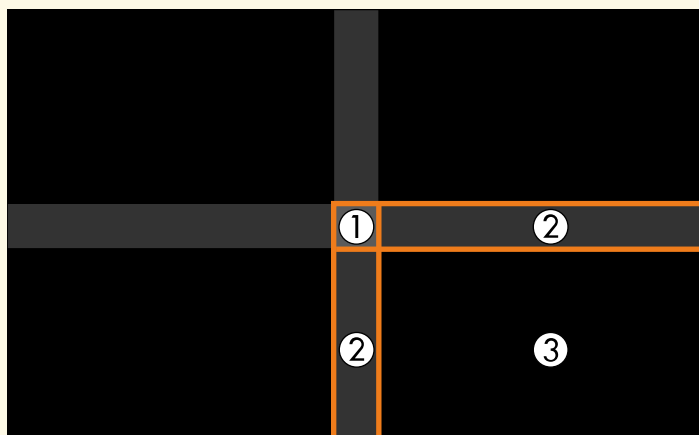
よく使う項目	プロジェクターID	オフ
映像調整	HDMI Out設定	オフ
信号入出力	タイリング	
設置	幾何学歪み補正	ポイント補正
表示	エッジブレンディング	
動作	表示倍率	
管理	ユニフォーミティー	
ネットワーク	光源モード	ノーマル
	カラーマッチング	
マルチプロジェクション	RGBCMY	
メモリー	マルチプロジェクション初期化	
初期・全体設定	メモリー	
	メモリー保存	
	メモリー呼出	
	メモリー名称変更	
	メモリー削除	
	メモリー初期化	
	初期・全体設定	

- 2 「黒レベル調整」を選択し、【決定】ボタンを押します。
- 3 「カラー調整」を選択し、【決定】ボタンを押します。
「エッジブレンディング」の設定に合わせて領域が表示されず。
- 4 上下左右ボタンを押して調整するエリアを選択し、【決定】ボタンを押します。

選択している箇所はオレンジ色で表示されます。



画面が複数重なっているときは、重なりが多い箇所（1番明るい箇所）を基準に調整してください。以下の例では、はじめに(2)が(1)と合うように調整し、次に(3)が(2)と合うように調整します。



5 黒の色合いや明るさを調整します。

[カラー調整]		戻る
赤	0	◀ ▶
緑	0	◀ ▶
青	0	◀ ▶
明るさ	- +	

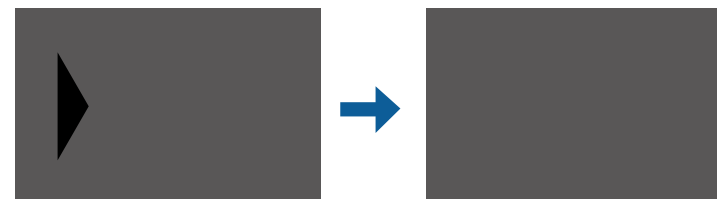
[明るさ] を調整するとRGBの値を一括で調整できます。

6 手順4と5を繰り返して、調整が必要なすべての箇所を調整します。

7 終了したら、【メニュー】ボタンを押します。

黒レベル補正領域を調整する

「黒レベル調整」後、色合いが同じにならない箇所がある場合は、個別に調整します。



1 「黒レベル調整」の「エリア補正」を選択し、【決定】ボタンを押します。

2 「調整開始」を選択し、【決定】ボタンを押します。

映像が重なっている箇所を示す境界線が表示されます。[エッジブレンディング] の設定に合わせて境界線が表示されます。

- 3** 上下左右ボタンを押して、調整する箇所の境界線を選択し、【決定】ボタンを押します。

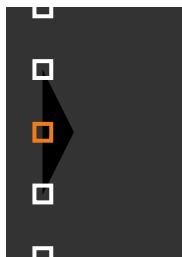
選択している境界線はオレンジ色で表示されます。



- 4** 上下左右ボタンで境界線の位置を調整し、【決定】ボタンを押します。

- 5** 上下左右ボタンを押して、移動するポイントを選択し、【決定】ボタンを押します。

選択しているポイントはオレンジ色で表示されます。



- 6** 上下左右ボタンでポイントを移動します。

- 7** 続けて他のポイントを移動する場合は、【戻る】ボタンを押して、手順5、6を行います。

- 8** 他の境界線を調整するときは、手順3の境界線を選択する画面が表示されるまで【戻る】ボタンを押します。

- 9** 終了したら、【メニュー】ボタンを押します。

カラーマッチングを調整する

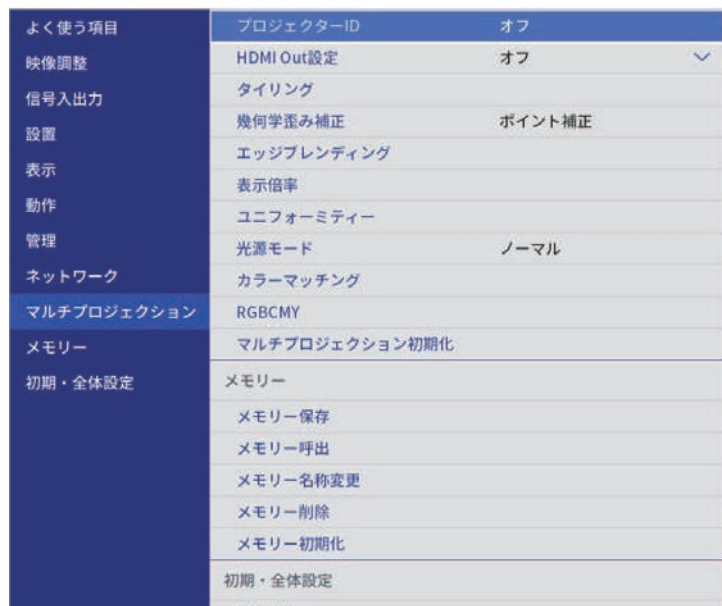
本機を複数台並べて投写するときの、それぞれの映像の色合いを合わせます。

すべてのプロジェクターの電源を入れ、投写画面全体の色味と明るさが均一になるようにプロジェクターごとに調整します。

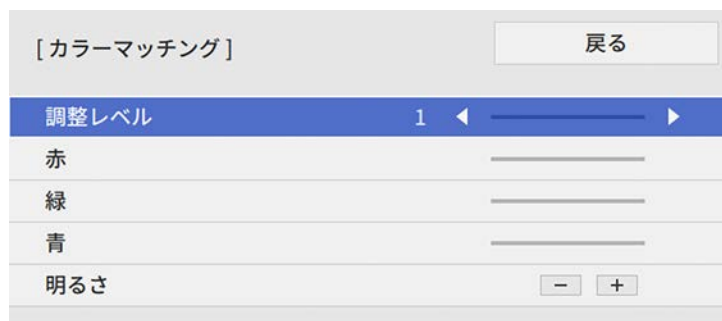


[ポイント] でポイント数を変更できます。

- 1 【メニュー】ボタンを押し、[マルチプロジェクション] を選択して、【決定】ボタンを押します。



- 2 [カラーマッチング] を選択し、【決定】ボタンを押します。

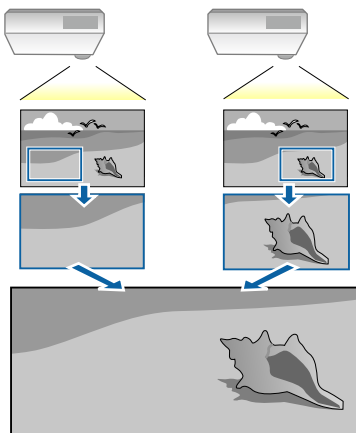


- 3 [調整レベル] を [8] に設定します。

- 4 [明るさ] を選択し、明るさを調整します。
- 5 必要に応じて、[赤]、[緑]、[青] を選択し、それぞれの色味を調整します。
- 6 トップメニューに戻り、[動作] メニューを選択して、【決定】ボタンを押します。
- 7 [光源明るさ制御] を選択し、【決定】ボタンを押します。
- 8 [光源モード] を [カスタム] に設定します。
- 9 [明るさレベル] を調整します。
- 10 手順1に戻り、調整レベル [7] から [2] の各レベルで同様に調整します。
- 11 終了したら、【メニュー】ボタンを押します。

映像を切り出して表示する

〔表示倍率〕機能を使い、投写中の映像を部分的に切り出して表示します。他のプロジェクターの投写映像と合わせて、ひとつの大きな映像を作ります。



1 映像を投写します。

2 【メニュー】ボタンを押し、〔マルチプロジェクション〕を選択して、【決定】ボタンを押します。

よく使う項目	プロジェクターID	オフ
映像調整	HDMI Out設定	オフ
信号入出力	タイリング	
設置	幾何学歪み補正	ポイント補正
表示	エッジブレンディング	
動作	表示倍率	
管理	ユニフォーミティ	
ネットワーク	光源モード	ノーマル
	カラーマッチング	
マルチプロジェクション	RGBCMY	
メモリー	マルチプロジェクション初期化	
初期・全体設定	メモリー	
	メモリー保存	
	メモリー呼出	
	メモリー名称変更	
	メモリー削除	
	メモリー初期化	
	初期・全体設定	

3 〔表示倍率〕を選択し、【決定】ボタンを押します。
次の画面が表示されます。

〔表示倍率〕	戻る
表示倍率	オフ

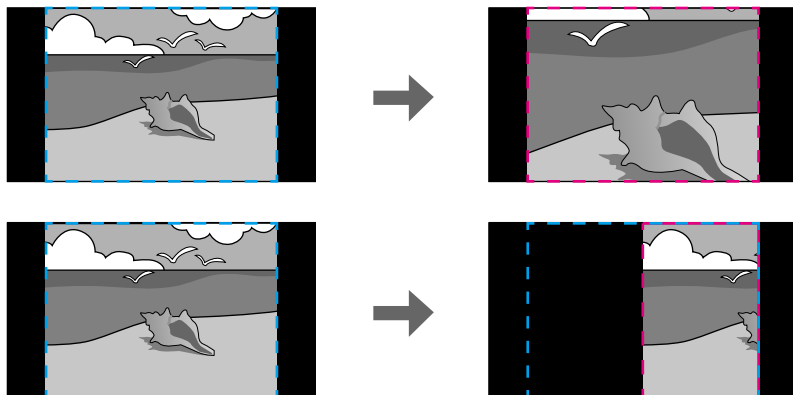
4 以下のいずれかを選択し、【決定】ボタンを押します。

- ・〔オート〕：〔HDMI Out設定〕と〔エッジブレンディング〕の設定値に合わせて、自動で切り出し範囲を調整します。

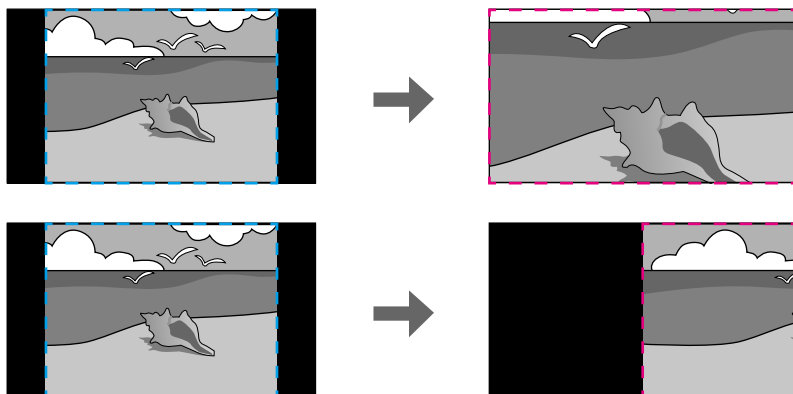
- ・ [マニュアル] : 切り出し範囲を手動で調整します。

5 [表示倍率モード] を選択し、以下のいずれかを選択します。

- ・ [ズーム表示] : 表示中の映像のアスペクト比を維持して、映像を切り出します。



- ・ [フル表示] : プロジェクターのパネルサイズを基準にして、映像を切り出します。



6 [マニュアル] を選択したときは、必要に応じて以下の設定をします。

- ・ -/+ : 水平方向、垂直方向同時に映像を拡大/縮小します。
- ・ [タテ倍率] : 垂直方向に映像を拡大/縮小します。
- ・ [ヨコ倍率] : 水平方向に映像を拡大/縮小します。

7 [切り出し調整] を選択し、上下左右ボタンを使って映像の座標と範囲を調整します。

8 [切り出し範囲] を選択し、切り出す範囲を確認します。

9 終了したら、【メニュー】ボタンを押します。

以下のセキュリティ機能を使用することで、プロジェクターの盗難や誤用・悪用を防止します。

- ・パスワードプロテクト：パスワードを知らないユーザーが本機を使用できないようにします。また、起動時に表示する画面などの設定を変更できないようにします。
本機を使用できるユーザーを制限したり、プロジェクターを持ち出しても使用できないことで盗難防止の効果があります。
- ・操作ボタンロック：操作パネルのボタン操作をできないようにします。
イベントや展示会などで投写中にプロジェクターを操作できないようにしたり、学校などで操作できるボタンを制限したいときに便利です。
- ・セキュリティケーブル：プロジェクターを固定して盗難を防ぎます。

▶ 関連項目

- ・「パスワードプロテクトの種類」 [p.133](#)
- ・「操作パネルのボタン操作を制限する」 [p.136](#)
- ・「リモコンのボタン操作を制限する」 [p.136](#)
- ・「セキュリティケーブルを取り付ける」 [p.137](#)

パスワードプロテクトの種類

パスワードを1つ設定して、以下の種類のメニュー保護を設定できます。

- ・[電源投入時]：パスワードを知らないユーザーが本機を起動できないようにします。コンセントを抜き差しした後に電源オンすると、パスワードの入力が必要になります。コンセントを抜かない限り、次回電源オンではパスワード入力不要です。[ダイレクトパワーオン] および [オートパワーオン] 機能でプロジェクターが起動したときも、パスワードの入力が必要になります。

- ・[メニュー保護] > [ユーザーロゴ]：プロジェクターの電源を入れたときや、入力信号が未検出のときに表示されるユーザーロゴの画面設定を変更できないようにします。ユーザーロゴを設定していると、プロジェクターの所有者が特定されるため、盗難防止につながります。
- ・[メニュー保護] > [スケジュール]：スケジュール設定を変更できないようにします
- ・[メニュー保護] > [ネットワーク]：[ネットワーク] メニューの設定を変更できないようにします。

▶ 関連項目

- ・「パスワードを設定する」 [p.133](#)
- ・「パスワードプロテクトの種類を設定する」 [p.134](#)
- ・「パスワードを入力する」 [p.135](#)

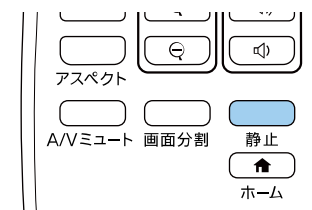
パスワードを設定する

パスワードプロテクトを行うためのパスワードを設定します。



初期設定でパスワードは「0000」に設定されています。異なるパスワードに変更してください。

- 1 リモコンの【静止】ボタンを約5秒間押し続けます。

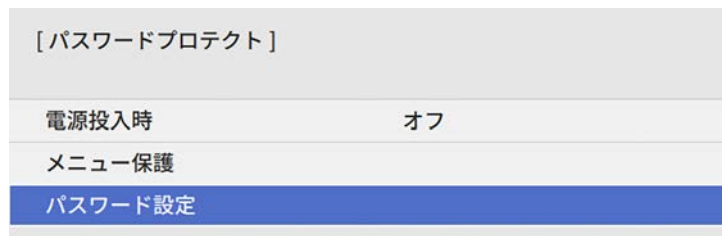


パスワードプロテクト設定メニューが表示されます。



すでにパスワードプロテクトが有効になっているときは、パスワードプロテクト設定メニューを表示する前にパスワードの入力が求められます。

- 2** [パスワード設定] を選択し、【決定】ボタンを押します。



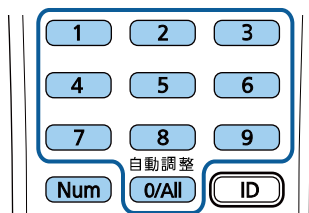
「パスワードを変更しますか?」というメッセージが表示されます。

- 3** [はい] を選択し、【決定】ボタンを押します。



[いいえ] を選択したときは、パスワードプロテクト設定メニューが再度表示されます。

- 4** リモコンの【Num】ボタンを押したままテンキーボタンを押して、4桁のパスワードを設定します。



入力したパスワードは、「****」と表示されます。4桁目を入力すると、確認画面が表示されます。

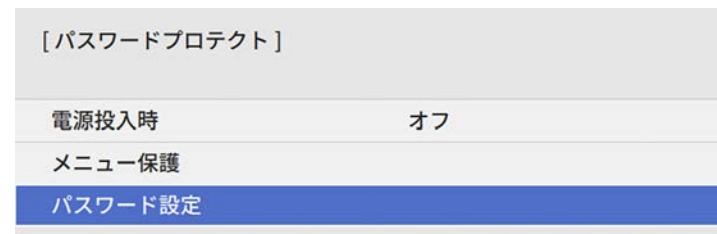
- 5** パスワードを再入力します。
「パスワード設定が終了しました。」というメッセージが表示されます。間違えてパスワードを入力した場合は、メッセージが表示されますのでパスワード設定をやり直してください。

- 6** 【戻る】ボタンを押してメニューに戻ります。

- 7** パスワードを控えて、安全な場所に保管してください。

パスワードプロテクトの種類を設定する

パスワードの設定後、パスワードプロテクト設定メニューで設定したいパスワードプロテクトの種類を選択します。



このメニューが表示されない場合は、メニューが表示されるまで5秒間ほどリモコンの【静止】ボタンを押し続けてください。

- ・プロジェクターの無断使用を防止したいときは、[電源投入時] を [オン] に設定します。
- ・プロジェクターの設定の変更を防止したいときは、[メニュー保護] を選択し、【決定】ボタンを押して、以下の設定をします。
- ・ユーザーロゴなどの表示設定の変更を防止したいときは、[ユーザーロゴ] を [オン] に設定します。

- ・スケジュール設定の変更を防止したいときは、[スケジュール]を[オン]に設定します。
- ・ネットワーク設定の変更を防止したいときは、[ネットワーク]を[オン]に設定します。

パスワードプロテクトステッカーを本機に貼り付けることで、盗難防止効果を向上できます。



リモコンは必ず安全な場所に保管してください。リモコンを失くすとパスワードを入力できなくなります。

パスワードを入力する

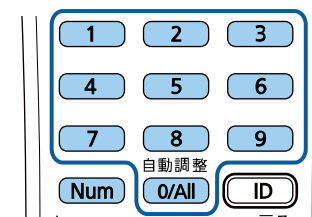
パスワード画面が表示されたときは、正しいパスワードを入力します。

[パスワード]

設定されているパスワードを入力してください。

#操作については「取扱説明書」を参照してください。

- 1 リモコンの【Num】ボタンを押したままテンキーボタンを押してパスワードを入力します。



パスワード画面が閉じます。

- 2 誤ったパスワードを入力したときは、再入力用の画面が表示されます。正しいパスワードを入力します。

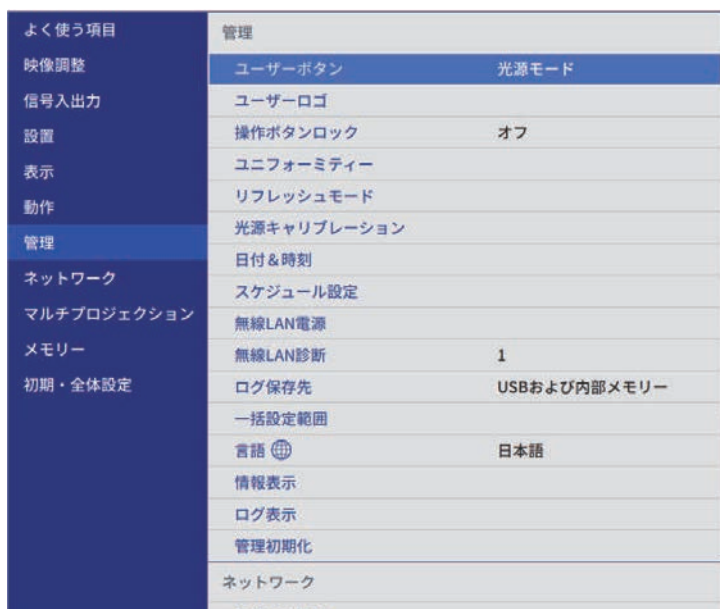
注意

- ・誤ったパスワードを3回連続で入力すると、「プロジェクターの動作を停止します。」というメッセージが約5分間表示され、プロジェクターはスタンバイ状態になります。電源プラグを抜いて差し直してから、本機の電源を入れます。パスワード入力画面が表示されたら、正しいパスワードを入力してください。
- ・パスワードを忘れたときは、画面に表示される「[問い合わせコード]:xxxxx」の番号を控えて、お買い上げの販売店またはお問い合わせ先に記載の連絡先にご相談ください。
- ・上記の操作を繰り返し、誤ったパスワードを連続30回入力したときは、「プロジェクターの動作が停止します。各修理窓口へ修理を依頼してください。」というメッセージが表示され、それ以上パスワードを入力できなくなります。お買い上げの販売店またはお問い合わせ先に記載の連絡先にご相談ください。

操作パネルのボタン操作を制限する

操作パネルのボタンをロックして、本機の無断使用を防止します。リモコンからは通常どおり操作できます。

- 1 【メニュー】ボタンを押し、[管理]を選択して、【決定】ボタンを押します。



- 2 [操作ボタンロック]を選択し、【決定】ボタンを押します。

- 3 ロックの種類を選択し、【決定】ボタンを押します。
 - ・プロジェクターのすべてのボタンをロックするには、[全ロック]を選択します。

- ・電源ボタンを除くすべてのボタンをロックするには、[電源以外ロック]を選択します。



確認メッセージが表示されます。

- 4 [はい]を選択し、【決定】ボタンを押します。
[操作ボタンロック]の設定が有効になります。

関連項目

- ・「操作ボタンロックを解除する」 [p.136](#)

操作ボタンロックを解除する

以下の方法で、操作ボタンロックを解除します。

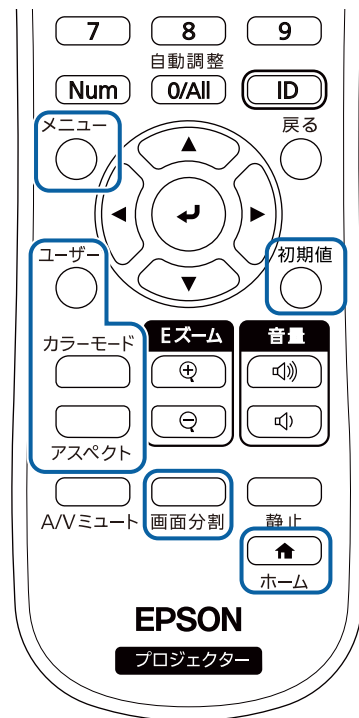
- ・操作パネルの【決定】ボタンを約7秒間押し続けます。メッセージが表示され、ロックが解除されます。
- ・[管理]メニューの[操作ボタンロック]を[オフ]に設定してください。

リモコンのボタン操作を制限する

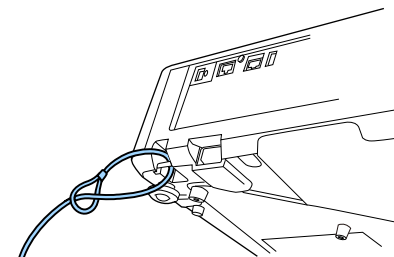
リモコンのボタンをロックして、本機の無断使用を防止します。

リモコンの【ホーム】ボタンを約5秒間押します。ロックできるボタンは下図のとおりです。

ロックを解除するときも、【ホーム】ボタンを約5秒間押します。



- ・ワイヤーケーブルを、本機のセキュリティケーブル取付け部に取り付けて、部屋の建具や動かないものに固定します。



セキュリティケーブルを取り付ける

盗難防止のために、セキュリティケーブルを本機に取り付けることができます。

- ・ Kensington社製のマイクロサーバーセキュリティシステムを本機のセキュリティスロットに取り付けます。



マイクロサーバーセキュリティシステムの詳細は、Kensington社のWebサイトをご覧ください。

<https://www.kensington.com/>

ネットワーク上のプロジェクターを使用する

ネットワーク経由でプロジェクターから映像を投写するための設定について説明します。

▶ 関連項目

- ・「有線LANでの映像投写」 [p.139](#)
- ・「無線LANでの映像投写」 [p.143](#)
- ・「モバイルデバイスからのワイヤレス投写（Screen Mirroring）」 [p.157](#)
- ・「セキュアHTTP」 [p.162](#)
- ・「画面共有」 [p.164](#)

有線LAN経由でプロジェクターから映像を投写できます。ネットワーク経由で投写するには、プロジェクターをネットワークに接続し、プロジェクターおよびコンピュータのネットワーク設定をします。

プロジェクターの接続とネットワーク設定が終わったら、以下のWebサイトからEpson iProjection (Windows/Mac) をインストールします。

epson.jp/download

Epson iProjectionを使用すると、コンピュータの映像をネットワーク経由で投写できます。また、ネットワークに接続された複数のコンピュータの映像を同時に投写して、ミーティングをより活発にできます。詳しくは、『Epson iProjection操作ガイド (Windows/Mac)』をご覧ください。

▶ 関連項目

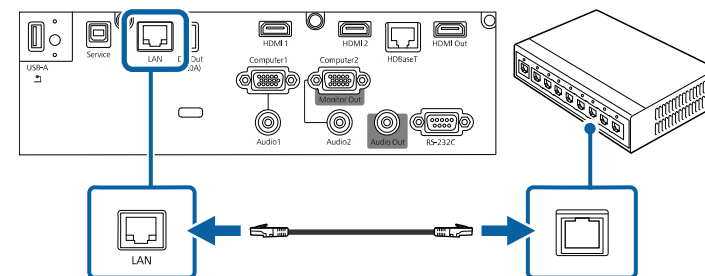
- ・「有線LANに接続する」 [p.139](#)
- ・「有線LANを設定する」 [p.139](#)

有線LANに接続する

プロジェクターを有線LANに接続するには、100Base-TXまたは10Base-Tネットワークケーブルを使用します。誤作動防止のために、カテゴリ5以上のシールド付きケーブルをお使いください。

- 1** LANケーブルをネットワークハブ、スイッチ、またはルーターに接続します。

- 2** ケーブルのもう一方のコネクターをプロジェクターのLAN端子に接続します。



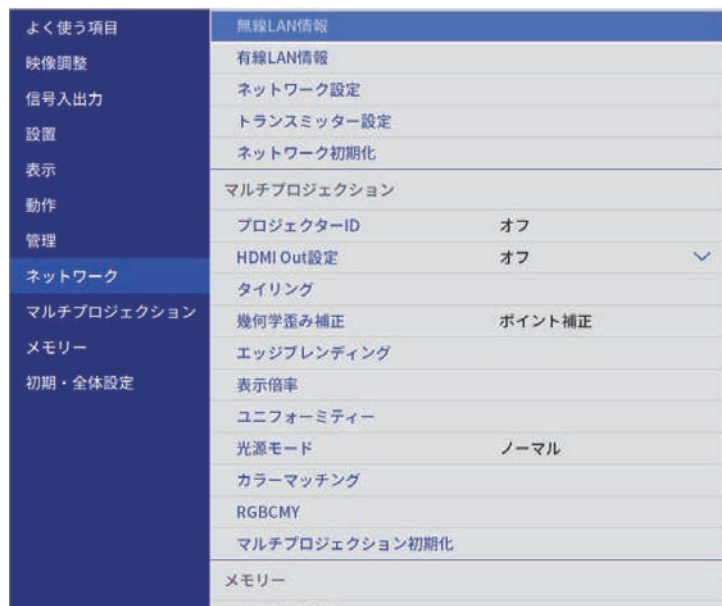
有線LANを設定する

ネットワーク経由でコンピュータの映像を投写するには、事前にプロジェクターのネットワーク設定が必要です。



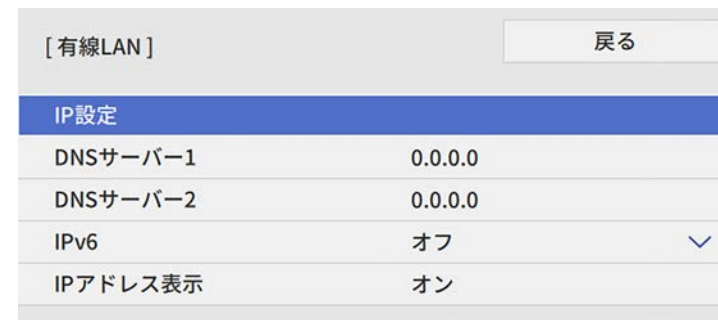
設定の前に、LAN端子にLANケーブルを接続し、プロジェクターを有線LANに接続してください。

- 1** 【メニュー】ボタンを押し、[ネットワーク]を選択して、【決定】ボタンを押します。



- 2** [ネットワーク設定]を選択し、【決定】ボタンを押します。
- 3** [プロジェクター名]にネットワーク上で本機を識別するための名前を入力します。半角英数字で16文字以内で入力します。
- 4** [優先制御インターフェイス]を[有線LAN]に設定します。

- 5** [有線LAN]を選択し、【決定】ボタンを押します。



- 6** 必要に応じてプロジェクターにIPアドレスを割り当てます。
- DHCPを使用できるネットワークの場合は、[IP設定]を選択し、[DHCP]を[オン]にします。
 - DHCPを使用できないネットワークの場合は、[IP設定]を選択し、[DHCP]を[オフ]にして、プロジェクターの[IPアドレス]、[サブネットマスク]、[ゲートウェイアドレス]を入力します。
- 7** 設定したIPアドレスがネットワーク情報画面に表示されないようにするには、[IPアドレス表示]を[オフ]に設定します。

- 8** [ネットワーク投写] を選択し、【決定】ボタンを押します。

[ネットワーク投写]		戻る
プロジェクターキーワード	オフ	
Epson iProjection	オン	↑
SSID表示	オン	
LAN情報表示	テキストとQRコード	
モデレーターパスワード		
キーワード割り込み表示	オフ	
Screen Mirroring	オン	↑
割り込み接続	オン	
パフォーマンス調整	1 (きれい)	
HDMI Out映像出力	オフ	
Screen Mirroring情報表示	オン	
メッセージ配信	オフ	
画面共有	オン	↑
接続モード	キーワードあり	

- 9** 他のユーザーが誤って接続するのを防ぎたいときは、[プロジェクターキーワード] をオンにします。



オンにすると、コンピューターやモバイルデバイスの映像を投写するとき、投写画面に表示されるキーワードをEpson iProjectionで入力する必要があります。

- 10** [Epson iProjection] を [オン] にします。

[Epson iProjection]		戻る
✓ オン		
オフ		

- 11** 必要に応じて設定を変更します。

- ・ [LAN情報表示] : 本機のネットワーク情報の表示形式を設定します。
- ・ [モデレーターパスワード] : Epson iProjectionを使って、モデレーターとして本機に接続するときの認証用パスワードを設定します。4桁の数字を入力します。（デフォルトのパスワードは設定されていません。）
- ・ [キーワード割り込み表示] : Epson iProjectionを使って本機に接続するとき、投写画面にプロジェクターキーワードを表示するかどうかを設定します。

- 12** 設定が終わったら、[ネットワーク設定] の画面に戻り、[設定] を選択します。画面の指示に従って設定を保存し、メニューを終了します。

- 13** リモコンの【LAN】ボタンを押します。

ネットワーク情報画面に正しいIPアドレスが表示されていれば、設定完了です。

[LAN]	
プロジェクター名	: MYNAME
SSID	:
IPアドレス 	: WIRED.DHCP.ID
IPアドレス 	: WIRELESS.DHCP.ID
キーワード	: ----
Event ID	: 0434

▶ 関連項目

- ・「ソフトキーボードを操作する」 [p.192](#)

無線LAN経由でプロジェクターから映像を投写できます。

- 無線LAN経由で投写するときは、無線LANユニットをプロジェクターに取り付けて、プロジェクターとコンピューターの無線LAN設定をしてください（EB-L720U）。
- 無線LANユニットが内蔵されている機種では、無線LANユニットの取り付けは不要です（EB-L735U/EB-L730U/EB-L635SU/EB-L630SU/EB-L630U/EB-L630W/EB-L530U）。無線LAN経由で投写するときは、プロジェクターとコンピューターの無線LAN設定をしてください。

[ネットワーク] メニューから、無線LAN設定をすると、本機を無線接続できます。

プロジェクターの接続とネットワーク設定が終わったら、以下のWebサイトからネットワークソフトウェアをダウンロードしてインストールします。

epson.jp/download

無線LAN経由で映像を投写するには、以下のネットワークソフトウェアを使用します。

- Epson iProjection (Windows/Mac)を使用すると、ネットワークに接続された複数のコンピューターの映像を同時に投写して、ミーティングをより活発にできます。詳しくは、『Epson iProjection操作ガイド (Windows/Mac)』をご覧ください。
- Epson iProjection (iOS/Android)を使用すると、iOSやAndroidなどのモバイルデバイスから映像を投写できます。
Epson iProjectionは、App StoreまたはGoogle Playから無料でダウンロードできます。App Store、Google Playへ接続する際の通信料はお客様の負担となります。
- Epson iProjection (Chromebook)を使用すると、Chromebookから映像を投写できます。
Epson iProjectionは、Chromeウェブストアから無料でダウンロードできます。Chromeウェブストアへ接続する際の通信料はお客様の負担となります。

▶ 関連項目

- 「内蔵の無線LANユニットを安全にお使いいただくために」 [p.143](#)
- 「無線LANユニットを取り付ける」 [p.144](#)
- 「さまざまなネットワーク投写に対応した接続方法」 [p.144](#)
- 「プロジェクターの無線LANを設定する」 [p.145](#)
- 「無線LANのセキュリティーを設定する（シンプルAPモード）」 [p.149](#)
- 「無線LANのセキュリティーを設定する（インフラストラクチャーモード）」 [p.150](#)
- 「QRコードを使用してモバイルデバイスに接続する」 [p.152](#)
- 「USBキーを使って接続する（Windowsのみ）」 [p.153](#)
- 「ワイヤレスプレゼンテーションシステムを使って接続する（Windows/Macのみ）」 [p.154](#)

内蔵の無線LANユニットを安全にお使いいただくために

本機には無線LANユニットが内蔵されています（EB-L735U/EB-L730U/EB-L635SU/EB-L630SU/EB-L630U/EB-L630W/EB-L530U）。以下の注意事項を必ず守ってご使用ください。

⚠ 警告

- 心臓ペースメーカー等の医療機器を装着している方は、製品に近づかないでください。また、製品を取り扱うときは、近くに心臓ペースメーカー等の医療機器を装着している方がいないことを確認してください。電磁妨害が生じ、医療機器が誤動作する可能性があります。
- 電磁妨害による誤動作や事故の原因となります。自動ドアや火災報知機などの自動制御機器の近くで使用しないでください。

⚠ 注意

製品から20cm以上離れてお使いください。体調不良の原因となります。

無線LANユニットを取り付ける

シンプルAPモードとインフラストラクチャーモードの2つの接続方法を同時に使用したいとき（EB-L735U/EB-L730U/EB-L635SU/EB-L630SU/EB-L630U/EB-L630W/EB-L530U）、または無線LAN経由でプロジェクターを使用するときは（EB-L720U）、無線LANユニットを取り付けます。エプソン純正の無線LANユニット以外は取り付けないでください。

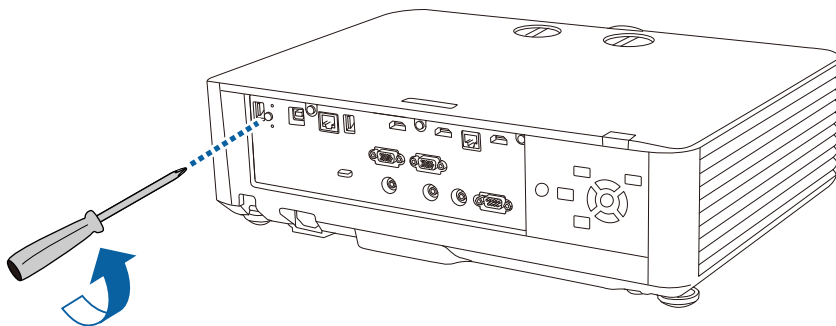
注意

無線LANユニットのインジケータが青色に点灯または点滅しているときや、無線LAN経由で映像を投写しているときは、無線LANユニットを取り外さないでください。無線LANユニットの破損や故障の原因となります。

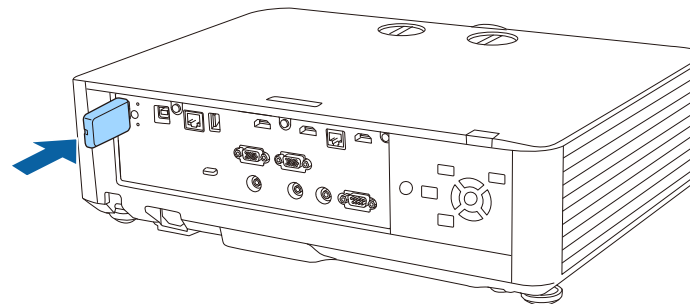


無線LANユニットのインジケータは動作しません。プロジェクターの無線LANインジケータで、無線LANの状態を確認してください。

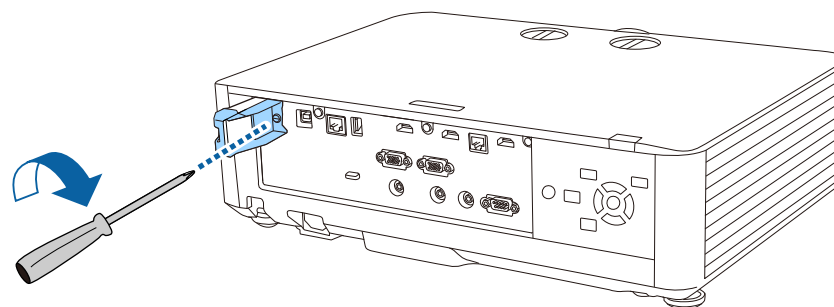
- 1 無線LANユニットカバーの固定ネジを+のドライバーで外します。



- 2 USB-A端子に無線LANユニットを取り付けます。



- 3 無線LANユニットに付属の無線LANユニットカバーを取り付けて、固定ネジを締めます。



さまざまなネットワーク投写に対応した接続方法

お使いのネットワーク環境に適した接続方法を選択できます。

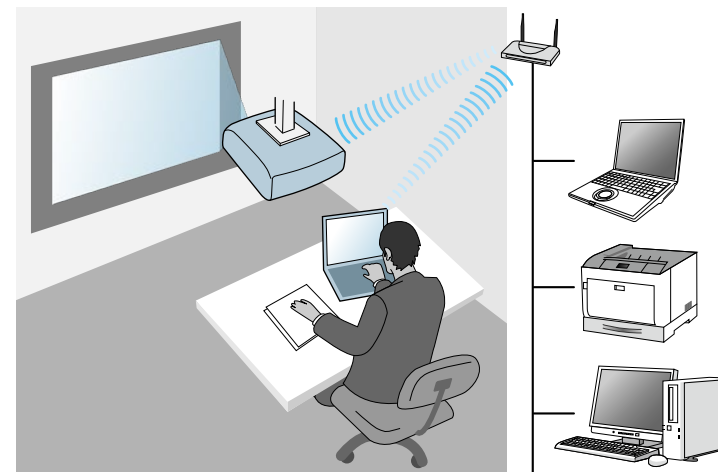
- ・ シンプルAPモードでは、プロジェクターとスマートフォンやタブレット端末、コンピューターを無線で直接接続できます。Epson iProjectionの「かんたんモード」、Screen Mirroring、またはオプション

ンのワイヤレスプレゼンテーションシステムで接続するときに、このモードを選択します。



- ・インフラストラクチャーモードでは、無線LANアクセスポイント経由でスマートフォンやタブレット端末、コンピューターと接続できま

す。Epson iProjectionの「マニュアルモード」で接続するときに、このモードを選択します。



本機を無線LAN経由で監視・制御するときは、インフラストラクチャーモードで接続してください。

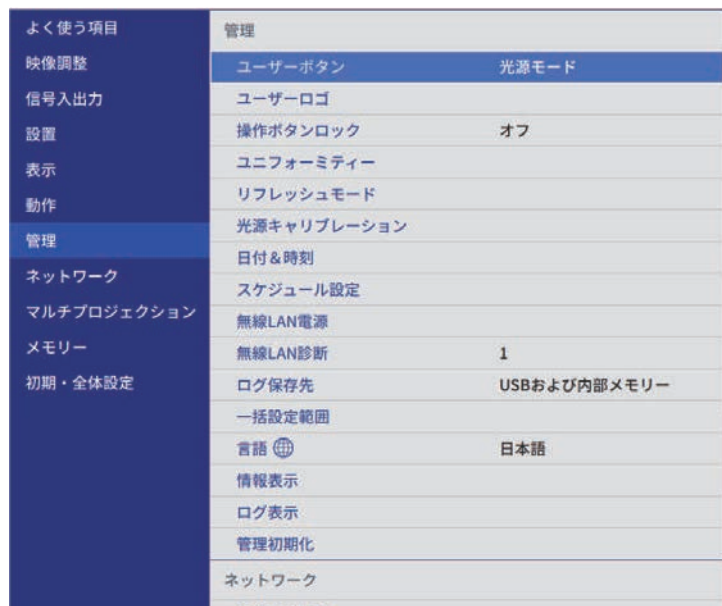
お使いの機種は無線LANユニットが内蔵されています（EB-L735U/EB-L730U/EB-L635SU/EB-L630SU/EB-L630U/EB-L630W/EB-L530U）。オプションの無線LANユニットを取り付けると、2つの接続方法を同時に使用できます。無線LANユニットを取り付けたら、[シンプルAP]を[オン]に設定します。

☛ [ネットワーク] > [ネットワーク設定] > [シンプルAP]

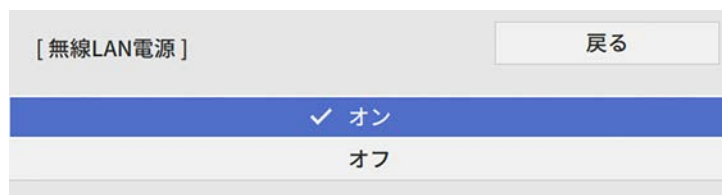
プロジェクターの無線LANを設定する

無線LAN経由でコンピューターの映像を投写するには、事前にプロジェクターのネットワーク設定が必要です。

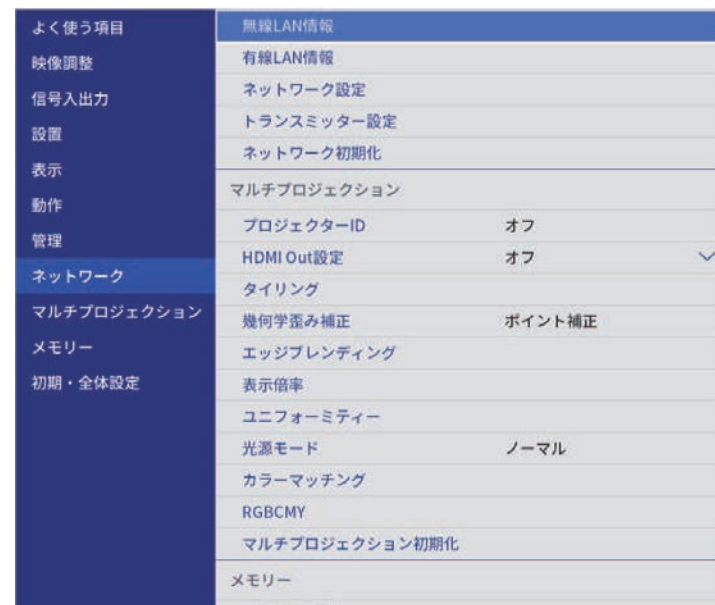
- 1** 【メニュー】ボタンを押し、[管理] を選択して、【決定】ボタンを押します。



- 2** [無線LAN電源] を [オン] に設定します。



- 3** [ネットワーク] を選択し、【決定】ボタンを押します。



- 4** [ネットワーク設定] を選択し、【決定】ボタンを押します。

- 5** [プロジェクター名] にネットワーク上で本機を識別するための名前を入力します。半角英数字で16文字以内で入力します。

- 6** [優先制御インターフェイス] を [無線LAN] に設定します。

- 7** 接続方法を選択します。

- ・ シンプルAPモードの場合は、[シンプルAP] を [オン] に設定し、手順12へ進みます。
- ・ インフラストラクチャーモードの場合は、[シンプルAP] を [オフ] に設定し、次の手順へ進みます。

- オプションの無線LANユニットを取り付けて、同時に2つの接続モードを使用する場合は、[シンプルAP] を [オン] に設定し、次の手順へ進みます (EB-L735U/EB-L730U/EB-L635SU/EB-L630SU/EB-L630U/EB-L630W/EB-L530U)。

[シンプルAP]	戻る
✓ オン	
オフ	

- 8** [無線LAN] を選択し、【決定】ボタンを押します。

[無線LAN]	戻る
アクセスポイント検索	
SSID	
セキュリティ	なし
IP設定	
DNSサーバー1	0.0.0.0
DNSサーバー2	0.0.0.0
IPv6	オフ
IPアドレス表示	オン

アクセスポイントの検索が始まります。



[アクセスポイント検索] でアクセスポイントを手動で検索できます。

- 9** 接続するアクセスポイントを選択します。



手動でSSIDを割り当てるときは [SSID] を選択して、SSIDを入力します。

- 10** 必要に応じてプロジェクターにIPアドレスを割り当てます。

- DHCPを使用できるネットワークの場合は、[IP設定] を選択し、[DHCP] を [オン] にします。
- DHCPを使用できないネットワークの場合は、[IP設定] を選択し、[DHCP] を [オフ] にして、プロジェクターの [IPアドレス]、[サブネットマスク]、[ゲートウェイアドレス] を入力します。

- 11** 設定したIPアドレスがネットワーク情報画面に表示されないようにするには、[IPアドレス表示] を [オフ] に設定します。

- 12** [ネットワーク投写] を選択し、【決定】ボタンを押します。



- 13** 他のユーザーが誤って接続するのを防ぎたいときは、[プロジェクターキーワード] をオンにします。



オンにすると、コンピューターやモバイルデバイスの映像を投写するとき、投写画面に表示されるキーワードをEpson iProjectionで入力する必要があります。

- 14** [Epson iProjection] を [オン] にします。



- 15** 必要に応じて設定を変更します。

- ・ [SSID表示] : ネットワーク情報画面やホーム画面にSSIDを表示するかしないかを選択します。
- ・ [LAN情報表示] : 本機のネットワーク情報の表示形式を設定します。
- ・ [モデレーターパスワード] : Epson iProjectionを使って、モデレーターとして本機に接続するときの認証用パスワードを設定します。4桁の数字を入力します。(デフォルトのパスワードは設定されていません。)
- ・ [キーワード割り込み表示] : Epson iProjectionを使って本機に接続するときに、投写画面にプロジェクターキーワードを表示するかどうかを設定します。

- 16** 設定が終わったら、[ネットワーク設定] の画面に戻り、[設定] を選択します。画面の指示に従って設定を保存し、メニューを終了します。

- 17** リモコンの【LAN】ボタンを押します。

ネットワーク情報画面に正しいIPアドレスが表示されていれば、設定完了です。

[LAN]	
プロジェクター名	: MYNAME
SSID	:
IPアドレス 	: WIRED.DHCP.ID
IPアドレス 	: WIRELESS.DHCP.ID
キーワード	: ----
Event ID	: 0434

プロジェクターの無線設定を設定し終えたら、コンピュータ上の無線ネットワークを選択する必要があります。ネットワークソフトウェアを起動して、無線LAN経由で映像をプロジェクターに送ります。

▶ 関連項目

- ・「Windowsで無線LANを設定する」 [p.149](#)
- ・「Macで無線LANを設定する」 [p.149](#)
- ・「ソフトキーボードを操作する」 [p.192](#)

Windowsで無線LANを設定する

コンピュータとプロジェクターを接続するには、コンピュータで無線LAN設定をします。

- 1 Windowsタスクバーのネットワークアイコンをクリックし、無線ユーティリティソフトウェアを起動します。

- 2 無線LANアクセスポイント経由で接続するときは、Wi-Fiがオンに設定されていることを確認し、プロジェクターが接続しているネットワークのネットワーク名（SSID）を選択します。

- 3 [接続] をクリックします。

Macで無線LANを設定する

コンピュータとプロジェクターを接続するには、コンピュータで無線LAN設定をします。

- 1 画面上部にあるメニューバーのWi-Fiアイコンをクリックします。
- 2 無線LANアクセスポイント経由で接続するときは、Wi-Fiがオンに設定されていることを確認し、プロジェクターが接続しているネットワークのネットワーク名（SSID）を選択します。

無線LANのセキュリティを設定する（シンプルAPモード）

プロジェクターの無線通信に使うセキュリティを設定できます。シンプルAPモードではWPA2-PSKセキュリティを使用します。



無線LANのネットワーク設定については、ネットワーク管理者にお問い合わせください。

- 1 【メニュー】ボタンを押し、[ネットワーク] を選択して、【決定】ボタンを押します。
- 2 [ネットワーク設定] を選択し、【決定】ボタンを押します。

- 3** [パスフレーズ] を選択し、【決定】ボタンを押して、パスフレーズを入力します。半角英数字8文字以上63文字以内で入力します。

- 4** 設定が終わったら、[ネットワーク設定] の画面に戻り、[設定] を選択します。画面の指示に従って設定を保存し、メニューを終了します。

無線LANのセキュリティを設定する（インフラストラクチャーモード）

プロジェクターの無線通信に使うセキュリティを設定できます。無線LANの設定に合わせて、以下のいずれかのセキュリティを設定します。

- WPA3-PSKセキュリティ
- WPA2/WPA3-PSKセキュリティ
- WPA3-EAPセキュリティ
- WPA2/WPA3-EAPセキュリティ



無線LANのネットワーク設定については、ネットワーク管理者にお問い合わせください。

- 1** WPA3-EAPまたはWPA2/WPA3-EAPセキュリティを設定する場合は、プロジェクターに対応した形式の証明書をUSBストレージのルートディレクトリーに格納します。
- 2** 【メニュー】ボタンを押し、[ネットワーク] を選択して、【決定】ボタンを押します。
- 3** [ネットワーク設定] を選択し、【決定】ボタンを押します。
- 4** [無線LAN] を選択し、【決定】ボタンを押します。

[無線LAN]		戻る
アクセスポイント検索		
SSID		
セキュリティ	なし	
IP設定		
DNSサーバー1	0.0.0.0	
DNSサーバー2	0.0.0.0	
IPv6	オフ	▼
IPアドレス表示	オン	

- 5** [セキュリティ] を選択し、【決定】ボタンを押します。

- 6** 無線LANの設定に合わせて、セキュリティを設定します。

[セキュリティ]	戻る
WPA2/WPA3-PSK	
WPA2/WPA3-EAP	
WPA3-PSK	
WPA3-EAP	
✓ なし	

- 7** 選択したセキュリティに応じて、以下のいずれかの操作をします。

- ・ [WPA3-PSK]、[WPA2/WPA3-PSK] の場合：[パスフレーズ] を選択し、【決定】ボタンを押して、パスフレーズを入力します。半角英数字8文字以上63文字以内で入力します。手順16へ進みます。
- ・ [WPA3-EAP]、[WPA2/WPA3-EAP] の場合：[EAP種類] を選択し、【決定】ボタンを押します。

- 8** [EAP種類] で認証プロトコルを選択します。

[EAP種類]	戻る
✓ PEAP	
PEAP-TLS	
EAP-TLS	
EAP-FAST	

- 9** 証明書の種類を選択し、【決定】ボタンを押します。

- ・ [クライアント証明書]：[PEAP-TLS]、[EAP-TLS] 用のクライアント証明書
- ・ [CA証明書]：EAPのすべての種類用のクライアント証明書



電子証明書はWebブラウザからも設定できます。ただし、Webブラウザとプロジェクターメニューの双方から証明書をインストールすると、正しくインストールされないことがあります。

- 10** [登録] を選択し、【決定】ボタンを押します。

- 11** 画面の指示に従って本機のUSB-A端子にUSBストレージを接続します。

- 12** 【決定】ボタンを押して、証明書の一覧を表示します。

- 13** 一覧からインポートする証明書を選択します。
パスワードの入力を求めるメッセージが表示されます。

- 14** 証明書のパスワードを入力し、【決定】ボタンを押します。
証明書がインストールされ、完了メッセージが表示されます。

- 15** 必要に応じてEAPセキュリティを選択します。

- ・ [ユーザー名]：ユーザー名を入力します。半角英数字64文字以内で入力します。クライアント証明書をインポートしたときは、証明書の発行先が自動で設定されます。
- ・ [パスワード]：[PEAP]、[EAP-FAST] の認証用パスワードを入力します。半角英数字64文字以内で入力します。
- ・ [サーバー証明書の検証]：CA証明書が設定されているときに、サーバー証明書を照合するかどうかを選択します。

- ・ [認証サーバー名] : 認証サーバー名を入力します。

16 設定が終わったら、[ネットワーク設定] の画面に戻り、[設定] を選択します。画面の指示に従って設定を保存し、メニューを終了します。

▶ 関連項目

- ・ 「サポートするクライアント・CA証明書の一覧」 [p.152](#)
- ・ 「Webブラウザで証明書を設定する」 [p.178](#)

サポートするクライアント・CA証明書の一覧

以下の種類の電子証明書を設定できます。

クライアント証明書 (PEAP-TLS/EAP-TLS)

項目	説明
フォーマット	PKCS#12
拡張子	PFX、P12
暗号	RSA
ハッシュ	MD5/SHA-1/SHA-256/SHA-384/SHA-512
鍵長	512/1024/2048/4096 bit
パスワード	設定が必要。64文字以内の半角英数字。

CA証明書 (PEAP/PEAP-TLS/EAP-TLS/EAP-FAST)

項目	説明
フォーマット	X509v3
拡張子	DER/CER/PEM
暗号	RSA

項目	説明
ハッシュ	MD5/SHA-1/SHA-256/SHA-384/SHA-512
鍵長	512/1024/2048/4096 bit
エンコード	BASE64/バイナリー

QRコードを使用してモバイルデバイスに接続する

プロジェクターの無線LAN設定が完了したら、画面に投写されるQRコードをEpson iProjection (iOS/Android) で読み取って、スマートフォンやタブレット端末などのモバイルデバイスを接続できます。



- ・ お使いのモバイルデバイスに、最新版のEpson iProjectionがインストールされていることを確認してください。
- ・ Epson iProjectionは、App StoreまたはGoogle Playから無料でダウンロードできます。App Store、Google Playへ接続する際の通信料はお客様の負担となります。
- ・ かんたんモードでEpson iProjectionを使うときは、セキュリティの設定をすることをお勧めします。
- ・ [ネットワーク] メニューの [接続ガイド表示] を [オフ] に設定してください。
 [ネットワーク] > [トランスミッター設定] > [接続ガイド表示]

- 1** リモコンの【LAN】ボタンを押します。
QRコードが投写画面に表示されます。



- QRコードが表示されないときは、[ネットワーク] メニューの [LAN情報表示] を [テキストとQRコード] に設定します。
 - ☛ [ネットワーク] > [ネットワーク設定] > [ネットワーク投写] > [Epson iProjection] > [LAN情報表示]
- QRコードを非表示にしたいときは、【戻る】ボタンを押してください。
- QRコードが表示されないときは、【決定】ボタンを押してください。

2 モバイルデバイスにインストールされているEpson iProjectionを起動します。

3 投写されているQRコードをEpson iProjectionで読み取って、プロジェクターに接続します。



投写画面に近づいて、正面からQRコードを読み取ります。QRコードがモバイルデバイスのQRコードリーダーのガイド内に収まっていることを確認します。画面から離れすぎると、正しく読み取れないことがあります。

接続が完了したら、**三**から [コンテンツ] メニューを選択し、投写するファイルを選択してください。

USBキーを使って接続する（Windowsのみ）

USBメモリーをUSBキーとして設定し、無線LANに対応したWindowsコンピュータとプロジェクターを簡単に無線接続します。USBキーを使うと、お使いのコンピュータの無線LAN設定を自動で選択し、ワイヤレスに映像を投写できます。

1 Epson iProjection (Windows/Mac)の [USBキー作成ツール] でUSBキーを設定します。



詳しくは、『Epson iProjection操作ガイド (Windows/Mac)』をご覧ください。

2 無線LANユニットが内蔵されているか、または取り付けられているか確認します。

3 本機の電源を入れます。

4 リモコンの【LAN】ボタンを押します。
ネットワーク情報画面が表示されます。SSIDおよびIPアドレスが表示されていることを確認します。

5 無線LANユニットが取り付けられている場合は取り外し、USB-A端子にUSBキーを接続します。
ネットワーク情報の更新が終了したことを通知するメッセージが表示されます。

6 USBキーを取り外します。
無線LANユニットを取り外したときは、再度無線LANユニットを取り付けます。

7 コンピューターのUSB端子にUSBキーを接続します。

8 画面の指示に従って、必要なアプリケーションのインストールを進めます。



- Windowsファイアウォールのメッセージが表示されたときは、[はい] をクリックしてファイアウォールを無効にします。
- コンピューターにソフトウェアをインストールするには、管理者権限が必要です。
- 自動的にインストールされないときは、USBキー内の [MPPLaunch.exe] をダブルクリックします。

しばらくすると、コンピューターの映像がプロジェクターから投写されます。

- 9** 投写が終了したら、Windowsタスクバーの [ハードウェアの安全な取り外し] を選択し、コンピューターからUSBキーを取り外します。



以前に接続していたアクセスポイントに接続するには、コンピューターの再起動が必要になることがあります。

▶ 関連項目

- 「ドキュメント類の最新バージョンを入手する」 [p.11](#)

ワイヤレスプレゼンテーションシステムを使って接続する (Windows/Macのみ)

オプションのワイヤレスプレゼンテーションシステムを使用すると、無線LANに対応したコンピューターとプロジェクターを簡単に無線接続できます。ワイヤレスプレゼンテーションシステム (ELPWP10) には、2つのトランスミッター (ELPWT01) と1つの無線LANユニット (ELPAP11) が含まれています。

詳しくは『Epson Wireless Presentation System取扱説明書』をご覧ください。

▶ 関連項目

- 「はじめてワイヤレスプレゼンテーションシステムを使うときの準備」 [p.154](#)
- 「ワイヤレスプレゼンテーションシステムで投写する」 [p.156](#)

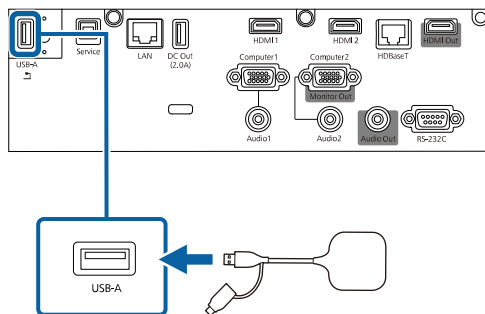
はじめてワイヤレスプレゼンテーションシステムを使うときの準備

トランスミッターとプロジェクターをペアリングするなど、ワイヤレスプレゼンテーションシステムを使って投写するための準備をします。



- ペアリングする前に、本機のネットワーク設定を行ってください。
- [ネットワーク設定] メニューの [プロジェクター名] または [パスフレーズ] を変更したときは、トランスミッターを再度ペアリングする必要があります。
- Epson Wireless Transmitter Settingsを使うと、コンピューターからペアリングできます。詳しくは『Epson Wireless Transmitter Settings操作ガイド』をご覧ください。
- 必要なソフトウェアおよび取扱説明書は以下のWebサイトからダウンロードできます。
epson.jp/download

- 1** 本機の電源を入れます。

2 トランスミッターを本機のUSB-A端子に接続します。

ネットワーク情報が書き込まれ、完了メッセージが表示されます。ペアリング完了まではしばらく時間がかかります。

注意

ネットワーク情報の書き込み中は、プロジェクターから電源コードやトランスミッターを取り外さないでください。電源コードやトランスミッターを取り外すと、プロジェクターが正常に起動しなくなることがあります。完了メッセージの表示を確認してからトランスミッターを取り外すようにしてください。

3 続けてペアリングする場合は、もう1つのトランスミッターを接続します。**4** 必要に応じて「はい」を選択し、「接続ガイド表示」を「オン」にします。

- ・「はい」を選択することをお勧めします。次回以降、本機の起動時に入力信号がない場合に、トランスミッター（Epson Wireless Presentation）の接続ガイドが表示されます。
- ・「接続ガイド表示」が「オフ」で「コンテンツ再生」が「オフ」のとき、「接続ガイド表示」を「オン」にするメッセージが表示されます。
- ・「ネットワーク」メニューで接続ガイドの表示を変更できます。
☛ 「ネットワーク」 > 「トランスミッター設定」 > 「接続ガイド表示」

5 トランスミッターを取り外して、無線LANユニットを取り付けます。**6** 操作パネルまたはリモコンの【メニュー】ボタンを押します。**7** 「管理」メニューの「無線LAN電源」が「オン」に、「ネットワーク設定」メニューの「シンプルAP」が「オン」になっていることを確認します。

本機を再起動して、接続ガイドの表示設定を有効にすることをお勧めします。



「ネットワーク」メニューの「オートパワーオン」を「オン」に設定すると、本機がスタンバイ状態（電源オフ）でも投写を開始できます。

☛ 「ネットワーク」 > 「トランスミッター設定」 > 「オートパワーオン」

▶ 関連項目

- ・「ネットワークメニュー」 [p.212](#)

- ・「無線LANユニットを取り付ける」 [p.144](#)
- ・「プロジェクターの無線LANを設定する」 [p.145](#)
- ・「無線LANのセキュリティを設定する（シンプルAPモード）」
[p.149](#)

ワイヤレスプレゼンテーションシステムで投写する

ペアリング済みのトランスミッターを使うと、プロジェクター（レシーバー）とWindows/Macコンピューターを直接接続し、素早く簡単に映像を投写できます。



無線LANユニットが本機に取り付けられていることを確認します。

- 1** 本機の電源を入れます。
- 2** コンピューターのUSB端子にトランスミッターを接続します。
- 3** トランスミッター内のEpson Wireless Presentationを使って投写します。詳しくは『Epson Wireless Presentation System取扱説明書』をご覧ください。

» 関連項目

- ・「無線LANユニットを取り付ける」 [p.144](#)

Miracastを搭載したノートパソコン、スマートフォン、タブレットPCなどのモバイルデバイスからプロジェクターに映像を送信できます。

Miracastを搭載したデバイスを2台同時に接続できます。その場合、入力ソースはScreen Mirroring1、Screen Mirroring2として検出されます。

「割り込み接続」を「オフ」に設定します。

☛ [ネットワーク] > [ネットワーク設定] > [ネットワーク投写] > [Screen Mirroring] > [割り込み接続]

Miracastに準拠しているデバイスであれば、ソフトウェアを追加でインストールする必要はありません。Windowsコンピューターをお使いのときは、Miracast接続に必要なアダプターが利用可能なことを確認してください。

Screen Mirroring機能を使用するときは、以下の制限事項があります。

- インターレース映像は再生できません。
- 3チャンネル以上のマルチチャンネルオーディオは再生できません。
- 解像度とフレームレートによっては投写できないことがあります。
- 3D映像は再生できません。
- お使いのデバイスによっては、著作権保護されたコンテンツはMiracast接続では再生できないことがあります。
- Screen Mirroringでの投写中に「Screen Mirroring」の設定は変更しないでください。設定を変更すると、接続が切断され、再接続までに時間がかかることがあります。

☛ [ネットワーク] > [ネットワーク設定] > [ネットワーク投写] > [Screen Mirroring]

- Screen Mirroringでの投写中は、電源ブレーカーで直接本機の電源を切らないでください。



Miracastは、主にAndroid端末やWindows 8.1以降のWindowsに搭載されています。

デバイスによって、Miracastを搭載していないことがあります。お使いのモバイルデバイスの取扱説明書をご確認ください。

▶ 関連項目

- 「Screen Mirroringを設定する」 [p.157](#)
- 「Miracast機能を使ってScreen Mirroring接続する」 [p.159](#)
- 「Windows 10でScreen Mirroring接続する」 [p.160](#)
- 「Windows 8.1でScreen Mirroring接続する」 [p.160](#)

Screen Mirroringを設定する

モバイルデバイスから映像を投写するには、プロジェクターの「Screen Mirroring」の設定をします。



Windows 10では、以下の方法で投写映像を送信できます。

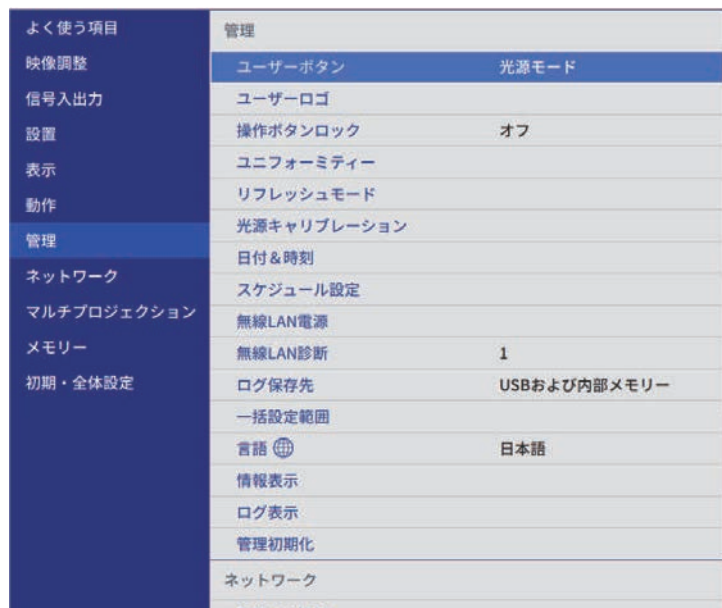
- お使いのモバイルデバイスからプロジェクターへ直接データを伝送する
- LANを経由してデータを伝送する

LAN経由でデータを伝送すると、接続の安定性が向上し、セキュリティを強化できます。LAN経由でデータを伝送するには、以下の方法でプロジェクターをLANに接続します。

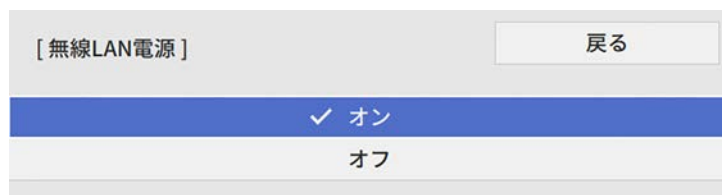
- LANケーブルを接続する
- 無線アクセスポイントに接続できるように「無線LAN」を設定する

無線アクセスポイントに接続するときは、オプションの無線LANユニットを取り付けます。

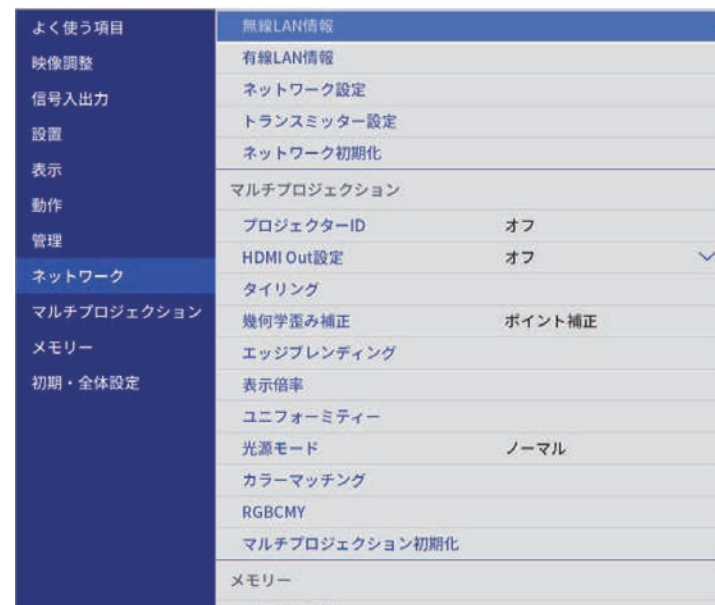
- 1** 【メニュー】ボタンを押し、[管理] を選択して、【決定】ボタンを押します。



- 2** [無線LAN電源] を [オン] に設定します。



- 3** [ネットワーク] を選択し、【決定】ボタンを押します。



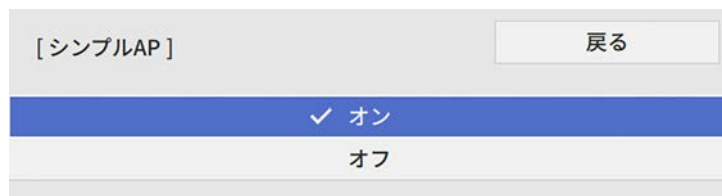
- 4** [ネットワーク設定] を選択し、【決定】ボタンを押します。

- 5** [優先制御インターフェイス] を選択し、【決定】ボタンを押します。

- 6** 以下のいずれかを選択します。

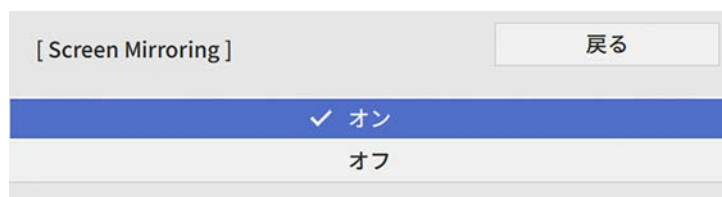
- ・ 有線LAN経由でデータを伝送するときは、[有線LAN] を選択します。
- ・ モバイルデバイスからプロジェクターに直接伝送する、または無線アクセスポイント経由で伝送するときは、[無線LAN] を選択します。
- ・ 直接伝送する方式のみ対応しているモバイルデバイスでは、[無線LAN] を選択します。

- 7** [シンプルAP] を [オン] に設定します。



- 8** [ネットワーク設定] の画面に戻り、[ネットワーク投写] を選択します。

- 9** [Screen Mirroring] を [オン] に設定します。



- 10** 必要に応じて設定を変更します。
- ・ [割り込み接続] : Screen Mirroringでの投写中に他のユーザーによる投写画面の切り替えを許可するかどうかなを選択します。Screen Mirroringソースを2系統使用するときは、[オフ] を選択します。
 - ・ [パフォーマンス調整] : Screen Mirroringの映像表示速度および品質を調整します。品質を上げるには小さい値を選択し、速度を上げるには大きい値を選択します。
 - ・ [HDMI Out映像出力] : Screen Mirroringの映像をHDMI Out端子に出力するかどうかなを選択します (EB-L735U/EB-L730U/EB-L635SU/EB-L630SU/EB-L630U/EB-L630W/EB-L530U)。HDCPとH.265が無効になり、HDCPで保護された映像やH.265の動画

コーデックで作成された映像が投写できなくなることがあります。HDCPやH.265の映像を投写したいときは [オフ] に設定します。

- ・ [Screen Mirroring情報] : Screen Mirroringソースを投写しているときに、機器の接続に必要な情報を表示します。

- 11** 設定が終わったら、[ネットワーク設定] の画面に戻り、[設定] を選択します。画面の指示に従って設定を保存し、メニューを終了します。

Miracast機能を使ってScreen Mirroring接続する

Miracastが搭載されたスマートフォンなどのモバイルデバイスをお使いのときは、Miracast機能を使ってワイヤレスに映像を投写できます。Screen Mirroringで接続すると、映像と音声を本機から出力できます。

- 1** 必要に応じて本機の [Screen Mirroring] を設定します。
- 2** リモコンの【LAN】ボタンを押して、Screen Mirroringソースに切り替えます。
ネットワーク情報画面が表示されます。
- 3** モバイルデバイスでMiracast機能を使用してプロジェクターを検索します。
接続可能なデバイスの一覧が表示されます。
- 4** 一覧から本機のプロジェクター名を選択します。
- 5** PIN入力画面が表示されたときは、ネットワーク情報画面、または投写している映像の右下に表示されているPINコードをモバイルデバイスに入力します。

モバイルデバイスからの映像がプロジェクターに表示されます。



接続が確立されるまで時間がかかることがあります。接続が完了するまでプロジェクターの電源コードを抜かないでください。電源コードを抜くと、デバイスが反応しなくなったり、誤作動する原因になります。

モバイルデバイスによっては、接続時にデバイスの削除が必要になることがあります。モバイルデバイスの画面の指示に従って操作してください。

Windows 10でScreen Mirroring接続する

お使いのコンピュータでワイヤレスに映像を投写するための設定ができます。Screen Mirroringで接続すると、映像と音声を本機から出力できます。

- 1 必要に応じて本機の「Screen Mirroring」を設定します。
- 2 リモコンの【LAN】ボタンを押して、Screen Mirroringソースに切り替えます。
ネットワーク情報画面が表示されます。
- 3 キーボードのWindowsキーを押しながらKキーを押します。
接続可能なデバイスの一覧が表示されます。

- 4 一覧から本機のプロジェクター名を選択します。



- 5 コンピューターにPIN入力画面が表示されたときは、ネットワーク情報画面または投写している映像の右下に表示されているPINコードを入力します。

コンピューターからの映像がプロジェクターに表示されます。



接続が確立されるまで時間がかかることがあります。接続が完了するまでプロジェクターの電源コードを抜かないでください。電源コードを抜くと、デバイスが反応しなくなったり、誤作動する原因になります。

Windows 8.1でScreen Mirroring接続する

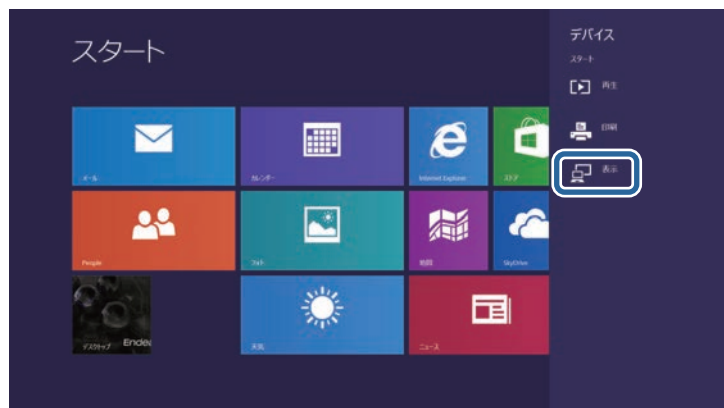
Windows 8.1のコンピュータをお使いのときは、チャームからワイヤレスに映像を投写するための設定ができます。Screen Mirroringで接続すると、映像と音声を本機から出力できます。

- 1 必要に応じて本機の「Screen Mirroring」を設定します。

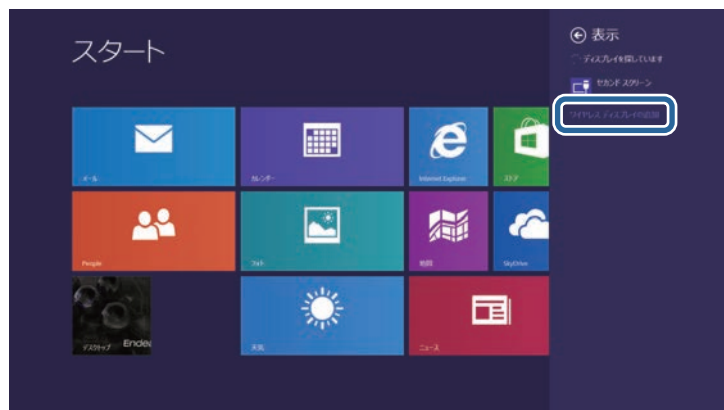
- 2** リモコンの【LAN】ボタンを押して、Screen Mirroringソースに切り替えます。

ネットワーク情報画面が表示されます。

- 3** コンピューターでチャームの「デバイス」を選択し、「プロジェクト」を選択します。



- 4** 「ワイヤレス ディスプレイの追加」を選択します。



接続可能なデバイスの一覧が表示されます。

- 5** 一覧から本機のプロジェクター名を選択します。



- 6** コンピューターにPIN入力画面が表示されたときは、ネットワーク情報画面または投写している映像の右下に表示されているPINコードを入力します。

コンピューターからの映像がプロジェクターに表示されます。



接続が確立されるまで時間がかかることがあります。接続が完了するまでプロジェクターの電源コードを抜かないでください。電源コードを抜くと、デバイスが反応しなくなったり、誤作動する原因になります。

HTTPSプロトコルを用いて、プロジェクターとWebブラウザ間の通信のセキュリティを強固にできます。HTTPSプロトコルを用いたセキュリティを適用するには、Webブラウザから信頼性を検証できるサーバー証明書を作成してプロジェクターにインストールし、[セキュアHTTP] 設定をオンにします。

☛ [ネットワーク] > [ネットワーク設定] > [プロジェクター制御] > [セキュアHTTP]

サーバー証明書がないときは、プロジェクター内部で自己署名証明書を自動作成して通信します。自己署名証明書はWebブラウザから信頼性を検証できないため、Webブラウザからプロジェクターにアクセスしたときにサーバーの信頼性に関する警告が表示されます。この警告を無視することで通信を継続できます。

▶ 関連項目

- ・「メニューからWebサーバー証明書を設定する」 [p.162](#)

メニューからWebサーバー証明書を設定する

プロジェクターメニューと外付けデバイスを使って、作成したWebサーバー証明書を本機にインストールします。



- ・本機では、外付けデバイスとしてUSBメモリーを使用できます。
- ・電子証明書はWebブラウザからも設定できます。ただし、Webブラウザとプロジェクターメニューの双方から証明書をインストールすると、正しくインストールされないことがあります。

- 1 本機に対応した形式の証明書をUSBストレージのルートディレクトリに格納します。

- 2 【メニュー】ボタンを押し、[ネットワーク] を選択して、【決定】ボタンを押します。

- 3 [ネットワーク設定] を選択し、【決定】ボタンを押します。

- 4 [プロジェクター制御] を選択し、【決定】ボタンを押します。

[プロジェクター制御]		戻る
PJLink	オフ	▼
SNMP	オフ	▼
AMX Device Discovery	オフ	
Crestron Connected	オフ	
Control4 SDDP	オフ	
セキュアHTTP	オン	▲
Webサーバー証明書		

- 5 [セキュアHTTP] を [オン] に設定します。

- 6 [Webサーバー証明書] を選択し、【決定】ボタンを押します。

- 7 [登録] を選択し、【決定】ボタンを押します。

- 8 画面の指示に従って本機のUSB-A端子にUSBストレージを接続します。

- 9 【決定】ボタンを押して、証明書の一覧を表示します。

- 10 一覧からインポートする証明書を選択します。
パスワードの入力を求めるメッセージが表示されます。

- 11** 証明書のパスワードを入力し、【決定】ボタンを押します。
証明書がインストールされ、完了メッセージが表示されます。

▶ 関連項目

- ・「サポートするWebサーバー証明書の一覧」 [p.163](#)
- ・「Webブラウザで証明書を設定する」 [p.178](#)

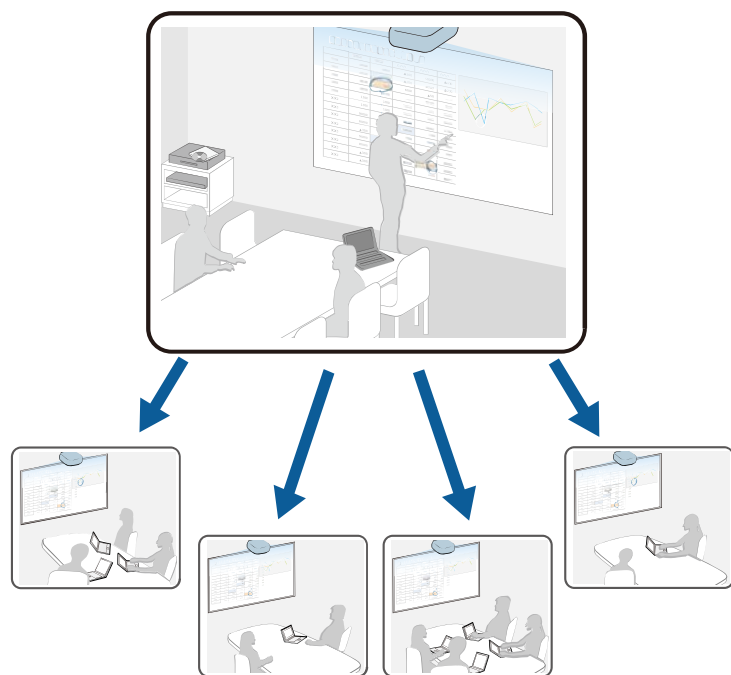
サポートするWebサーバー証明書の一覧

以下の種類の電子証明書を設定できます。

Webサーバー証明書（セキュアHTTP）

項目	説明
フォーマット	PKCS#12
拡張子	PFX、P12
暗号	RSA
ハッシュ	MD5/SHA-1/SHA-256/SHA-384/SHA-512
鍵長	512/1024/2048/4096 bit
Common Name	ネットワークホスト名
Organization	任意
パスワード	設定が必要。64文字以内の半角英数字。

プロジェクターから投写している画面を、同じネットワーク上の他のプロジェクターに4台まで配信できます。他のプロジェクターで同時に同じ画面を見ることができます。



画面共有機能を使用するときは、以下の制限事項があります。

- 画面共有機能搭載のプロジェクターのみと共有が可能です。
- 画面を共有しているプロジェクターとファームウェアのバージョンが異なるときは、ファームウェアの更新が必要になることがあります。
- HDCPで保護されたコンテンツは配信できません。
- 画面共有中は「ネットワーク」の設定を変更できません。

▶ 関連項目

- 「投写画面を共有する」 [p.164](#)

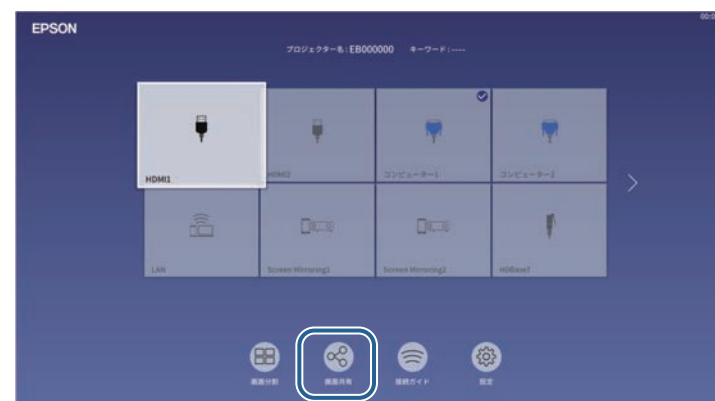
- 「共有された画面を受信する」 [p.166](#)

投写画面を共有する

画面を共有する前に、プロジェクターの設定が必要です。

- プロジェクターをネットワークに接続します。
- 「画面共有」の設定を「オン」にします。
 - ☛ 「ネットワーク」 > 「ネットワーク設定」 > 「ネットワーク投写」 > 「画面共有」
- キーワード入力による認証を省略して、他のプロジェクターと簡単に接続したいときは、「接続モード」を「キーワードなし」に設定します。
 - ☛ 「ネットワーク」 > 「ネットワーク設定」 > 「ネットワーク投写」 > 「画面共有」 > 「接続モード」

- 1** 本機の電源を入れ、映像を表示します。
- 2** 【ホーム】ボタンを押します。
- 3** 「画面共有」を選択します。



4 「投写画面を共有する」を選択します。



5 画面を共有するプロジェクターを指定します。

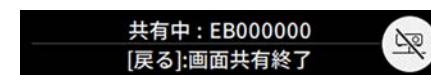


- ① テンキーを使用してIPアドレスを入力します。
- ② 入力求められたときに、テンキーを使用してプロジェクターキーワードを入力します。プロジェクターキーワードは受信するプロジェクターの投写画面に表示されます。

- ③ 接続履歴を表示します。以前に接続したことがあるプロジェクターに接続するときは、リストからIPアドレスを選択することができます。

6 「接続」を選択します。

接続が完了すると、共有状況を示す情報バーが画面の右上に表示されます。情報バーはドラッグして位置を移動できます。



7 手順3から6を繰り返して、その他のプロジェクターと接続します。

8 入力ソースを選択して、共有したい映像を投写します。

配信先のプロジェクターに画面が表示されます。

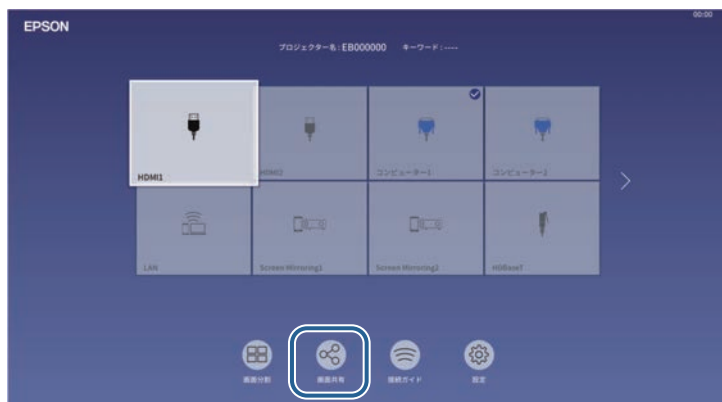
▶ 関連項目

- ・「画面共有を終了する」 [p.165](#)

画面共有を終了する

画面共有はステータスバーの  アイコンを選択して終了できます。このアイコンを押すと、すべてのプロジェクターへの配信を一度に終了できます。特定のプロジェクターのみ配信を停止するときは、以下の操作をします。

1 【ホーム】ボタンを押します。

2 「画面共有」を選択します。

「共有終了」を選択すると、ボタンが「確認」に変わります。再度ボタンを選択し、すべてのプロジェクターと切断します。

3 配信を停止するプロジェクターを選択し、「切断」を選択します。

選択したプロジェクターとの接続が切断され、画面共有が終了します。

4 手順3を繰り返して、その他のプロジェクターと切断します。

共有された画面を受信する

画面を受信する前に、プロジェクターの設定が必要です。

- 画面を共有しているプロジェクターと同じネットワークに接続してください。
- Epson iProjectionで接続しているコンピューターやモバイルデバイスがないことを確認します。
- 「画面共有」の設定を「オン」にします。
👉 「ネットワーク」>「ネットワーク設定」>「ネットワーク投写」>「画面共有」

他のプロジェクターが共有を始めると、共有画面が自動で表示されます。

画面が表示されないときは、リモコンの【LAN】ボタンを押します。
受信した画面を消去するには、投写中に【戻る】ボタンを押します。



お使いのプロジェクターのIPアドレスがわからないときは、【ホーム】ボタンを押して「画面共有」を選択します。ガイドスクリーンにIPアドレスが表示されます。

プロジェクターを監視および制御する

ネットワーク経由でプロジェクターの監視と制御を行う方法について説明します。

▶ 関連項目

- 「Epson Projector Management」 [p.168](#)
- 「Webブラウザを使ってネットワークプロジェクターを制御する」 [p.169](#)
- 「Webブラウザで証明書を設定する」 [p.178](#)
- 「メールでプロジェクターの異常を通知する」 [p.180](#)
- 「SNMPを使ってプロジェクターを監視する」 [p.181](#)
- 「ESC/VP21コマンドを使用する」 [p.182](#)
- 「PJLinkについて」 [p.183](#)
- 「Crestron Connectedについて」 [p.184](#)
- 「Web APIを使ってプロジェクターを操作する」 [p.186](#)
- 「プロジェクターのイベントスケジュールを設定する」 [p.187](#)

Epson Projector Managementを使用すると、ネットワークに接続されたプロジェクターの状態をコンピューターに表示して確認したり、コンピューターから制御したりできます（Windowsのみ）。詳しくは、『Epson Projector Management操作ガイド』をご覧ください。

Epson Projector Managementは以下のWebサイトからダウンロードしてください。

epson.jp/download

コンピュータのWebブラウザを使って、ネットワークに接続されたプロジェクターのメニュー設定や制御を離れた場所から行えます。

コンテンツ再生モードではプレイリストの編集もできます。

注意

以下の場合には、USBメモリーを本機から取り外したり、本機の電源コードを抜いたりしないでください。USBメモリーのデータが破損することがあります。

- ・ [プレイリスト] 画面表示中
- ・ [USBメモリー] 画面表示中



- ・ コンピューターとプロジェクターをネットワークに接続できる状態にしておきます。無線で接続するときは、無線LANアクセスポイント経由で接続してください。
- ・ 以下のWebブラウザを使用できます。
 - ・ Internet Explorer 11以上 (Windows)
 - ・ Microsoft Edge (Windows)
 - ・ Safari (Mac, iOS)
 - ・ Chrome (Android)
- ・ お使いのWebブラウザで、接続にプロキシサーバーを使用しないように設定してください。メニュー設定の中には、Webブラウザからは設定できない項目があります。
- ・ [動作] メニューの [待機モード] を [通信オン] に設定すると、本機がスタンバイ状態 (電源オフ) のときも、Webブラウザを使って設定や制御ができます。
- ・ Epson iProjection (iOS/Android) から、Webブラウザを使ってプロジェクターの制御が可能です。

1 本機の電源がオンになっていることを確認します。

2 お使いの機器を、接続先のプロジェクターと同じネットワークに接続します。

3 お使いの機器でWebブラウザを起動します。

4 ブラウザーのアドレス入力部にプロジェクターのIPアドレスを入力し、[Epson Web Control] 画面に接続します。IPv6アドレスを入力するときは、アドレスを[]で囲んで入力します。

[Epson Web Control] 画面が表示されます。

・ 通常モード



① 本機をリモート操作します。

② テストパターンを表示します。

③ Crestron Connectedの操作画面を表示します。Crestron Connectedを使用しているときのみ有効です。

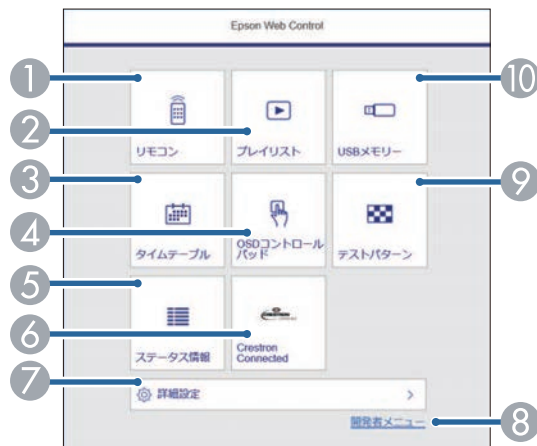
④ 本機の詳細設定をします。

- ⑤ 本機の状態を表示します。
- ⑥ 指やマウスで本機のメニューを操作します。



「管理」メニューの「ログ保存先」を「USBおよび内部メモリー」に設定しているときは、ブラウザーのアドレス入力部に「https://<projector's IP address>/logs/」と入力してログを確認できます。

・コンテンツ再生モード



- ① 本機をリモート操作します。
- ② 再生したいプレイリストを選択します。プレイリストの作成や編集もできます。
- ③ 「タイムテーブル」画面を表示します。
- ④ 指やマウスで本機のメニューを操作します。
- ⑤ 本機の状態を表示します。
- ⑥ Crestron Connectedの操作画面を表示します。Crestron Connectedを使用しているときのみ有効です。

- ⑦ 本機の詳細設定をします。
- ⑧ 「開発者メニュー」画面を表示します。
- ⑨ テストパターンを表示します。
- ⑩ プレイリスト用の素材データをUSBメモリーに転送します。

5 操作したい項目を選択します。



- ・ 「Epson Web Control」画面のオプション設定をするためにログインを求められる場合があります。ログイン画面が表示されたら、ユーザー名とパスワードを入力します。
- ・ 「ベーシックコントロール」にアクセスするときのユーザー名は**EPSONREMOTE**、デフォルトのパスワードは**guest**です。
- ・ その他の設定をするときのユーザー名は**EPSONWEB**、デフォルトのパスワードは**admin**です。
- ・ パスワードは、［ネットワーク］メニューで変更できます。
 - ☛ ［ネットワーク］ > ［ネットワーク設定］ > ［Remote/パスワード］
 - ☛ ［ネットワーク］ > ［ネットワーク設定］ > ［Web制御パスワード］

▶ 関連項目

- ・ 「Web Controlの画面一覧」 [p.171](#)

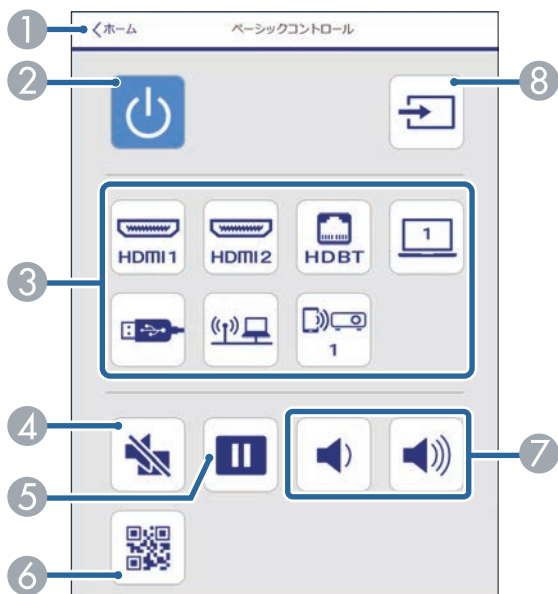
Web Controlの画面一覧

ベーシックコントロール

「ベーシックコントロール」画面では、入力ソースを選択したり、プロジェクターを操作できます。



- ・ログイン画面が表示されたら、ユーザー名とパスワードを入力します。（ユーザー名は**EPSONREMOTE**、デフォルトのパスワードは**guest**です。）
- ・パスワードは、「ネットワーク」メニューで変更できます。
 ④ 「ネットワーク」 > 「ネットワーク設定」 > 「Remoteパスワード」

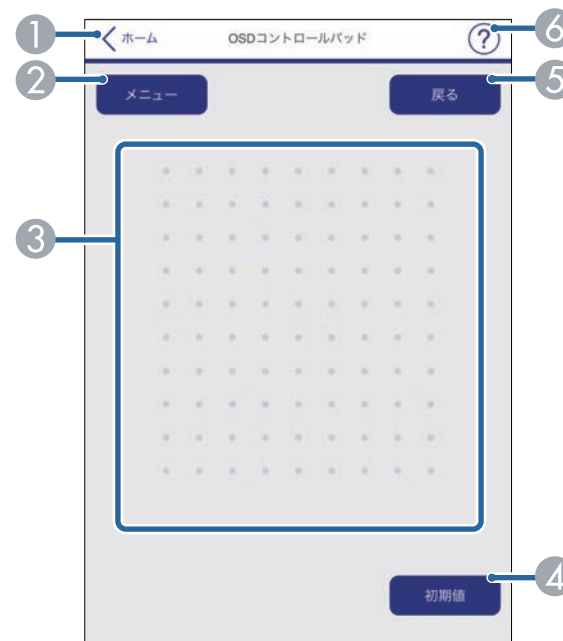


① 「Epson Web Control」のホーム画面に移動します。

- ② 本機の電源をオン/オフします。
- ③ 入力ソースを選択します。（入力可能なソースは機種により異なります。）
- ④ 映像と音声を一時的に遮断します。
- ⑤ 映像を一時停止します。
- ⑥ QRコードを表示します。
- ⑦ スピーカーの音量を調整します。
- ⑧ 映像の入力を検出します。

OSDコントロールパッド

「OSDコントロールパッド」画面では、指やマウスでプロジェクターのメニューを操作できます。



- ① [Epson Web Control] のホーム画面に移動します。
- ② 本機のメニューを表示します。
- ③ 指やマウスでメニューを操作します。
- ④ 選択した設定を初期値に戻します。
- ⑤ 前のメニュー項目に戻ります。
- ⑥ ヘルプを表示します。

テストパターン

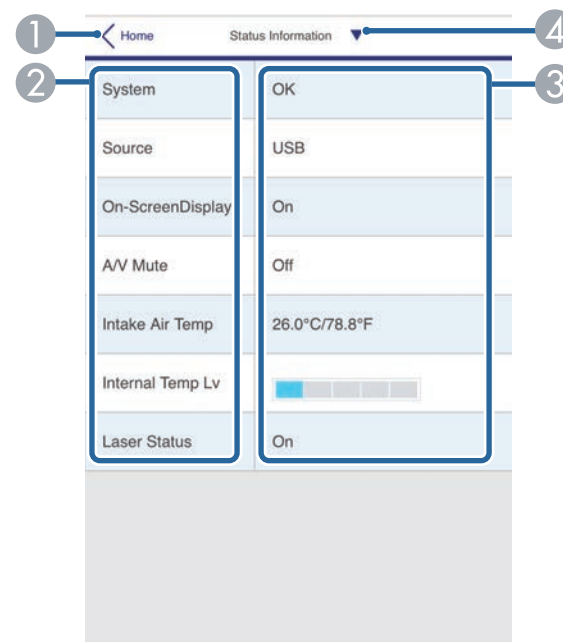
[テストパターン] 画面では、テストパターンを表示できます。



- ① [Epson Web Control] のホーム画面に移動します。
- ② 表示可能なテストパターン一覧から、表示したいパターンを選択します。

- ③ テストパターンの表示を終了します。

ステータス情報



- ① [Epson Web Control] のホーム画面に移動します。
- ② 項目名を表示します。
- ③ 各項目の状態を表示します。
- ④ その他の項目を選択します。

詳細設定

[詳細設定] 画面では、プロジェクターの詳細設定ができます。



デフォルトの「Web制御パスワード」が設定されているときは、「詳細設定」画面を開く前にパスワード設定画面が表示されます。画面の指示に従ってパスワードを変更してください。プロジェクターへの不正アクセスを防止するため、パスワードを定期的に変更することをお勧めします。



- ① メニューを開きます。
- ② 選択しているメニュー名を表示します。
- ③ 本機の設定をします。（設定項目は機種により異なります。）
- ④ 本機の設定をロックまたはアンロックします。
- ⑤ 本機の設定を更新します。



以下の項目はWebブラウザでは変更できません。

- ・ [EDID]
- ・ [HDMIリンク]
- ・ [固定設置]
- ・ [デジタルピクチャーシフト]（EB-L635SU/EB-L630SU）
- ・ [画面分割設定]
- ・ [コンテンツ再生]
- ・ [ユーザーボタン]
- ・ [ユーザーロゴ]
- ・ [無線LAN診断]
- ・ [言語]
- ・ [アクセスポイント検索]
- ・ [Crestron Connected]
- ・ [HDBaseT信号レベル]
- ・ [Event ID]
- ・ [HDBaseT Tx]
- ・ [アンテナレベル]
- ・ [ペアリング開始]
- ・ [ネットワーク初期化]
- ・ [ファームウェア更新]



以下の項目はWebブラウザでのみ設定できます。

- ・ Monitorパスワード（半角英数字で16文字以内）
- ・ IPv6設定（手動）
- ・ HTTPポート追加（Web制御に使用するポート番号で、80（デフォルト）、843、3620、3621、3625、3629、4352、4649、5357、10000、10001、41794以外の番号）

リモコン（コンテンツ再生モード時のみ）

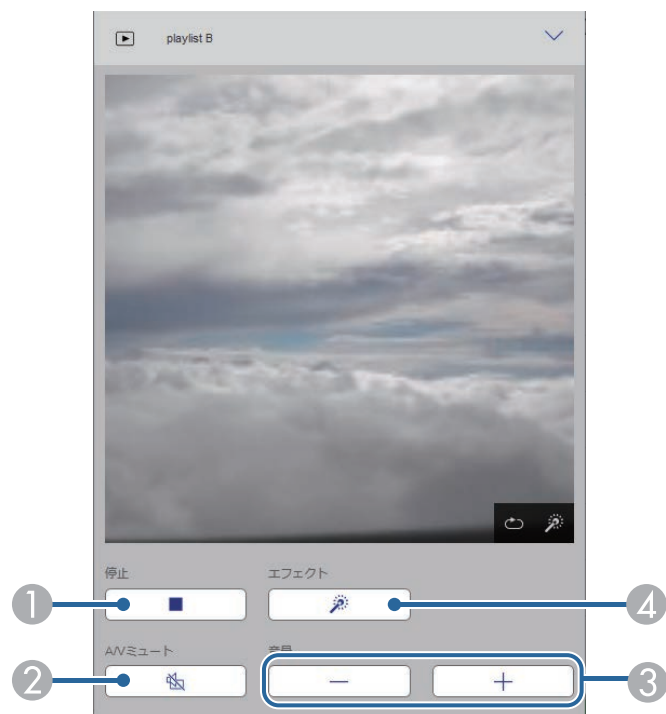
〔リモコン〕画面では、入力ソースの選択、プロジェクターの操作、プレイリストの再生ができます。



- ⑤ 入力ソースがUSB以外のとき、〔エフェクト〕の項目が表示されます。
〔エフェクト〕をオン/オフします。投写映像の色や形を変えたいときはオンにしてください。
オンにすると、〔エフェクト〕画面が表示されます。あらかじめ用意されているカラーフィルターまたは形状フィルターなどのエフェクトをプレイリストに設定できます。エフェクトをカスタマイズすることもできます。
- ⑥ 画面の設定をします。
- ⑦ お気に入りに登録したプレイリストの一覧です。選択すると再生が始まります。
- ⑧ 再生中のプレイリストの情報を表示します。
プレイリストの設定はアイコンで示されます。
 🌀 : エフェクトが設定されています
 🔄 : 繰り返し再生が設定されています
 00:10 : プレイリストの長さ
 左下の矢印を選択すると、次の画面が表示されます。
- ⑨ スピーカーの音量を調整します。

- ① 〔Epson Web Control〕のホーム画面に移動します。
- ② 本機の電源をオン/オフします。
- ③ 入力ソースを選択します。（入力可能なソースは機種により異なります。）
- ④ 映像と音声を一時的に遮断します。

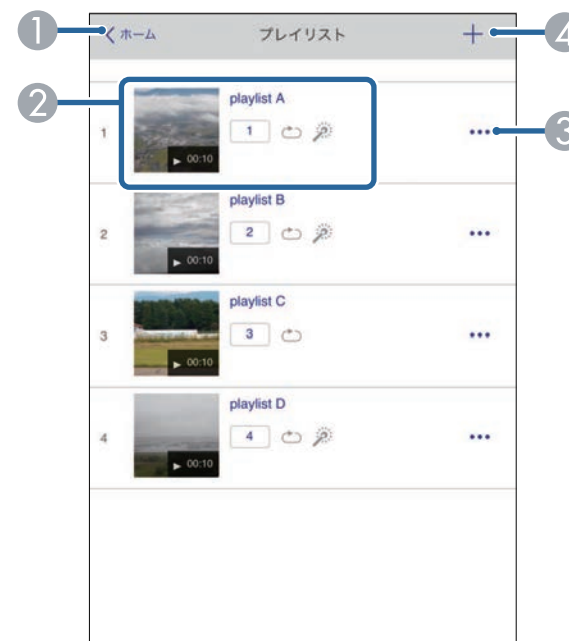
プレイリスト再生中の画面（コンテンツ再生モード時のみ）



- ① 投写を停止します。
- ② 映像と音声を一時的に遮断します。ただし、すべてのサウンドおよびビデオの再生は続行されるため、停止したポイントから投写を再開することはできません。
- ③ スピーカーの音量を調整します。
- ④ [エフェクト] 画面を表示します。あらかじめ用意されているエフェクトの設定を選択、または明度、カラーフィルター、形状フィルターのエフェクトを個別に設定します。

プレイリスト（コンテンツ再生モード時のみ）

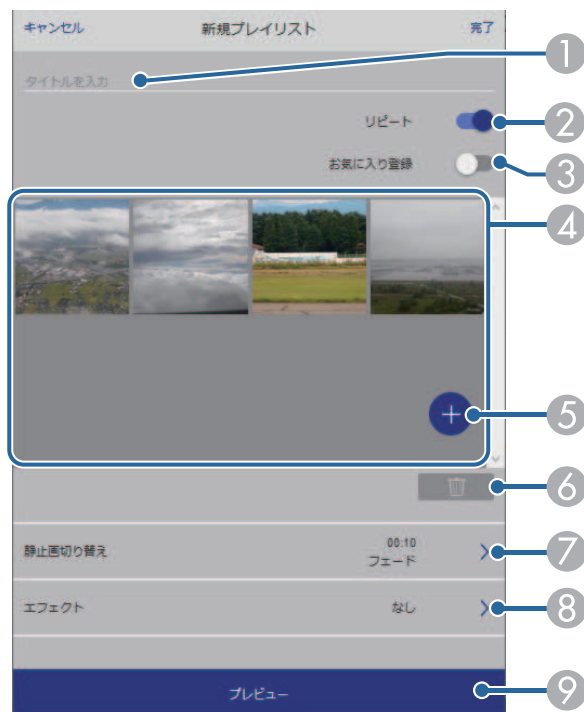
「プレイリスト」画面では、再生したいプレイリストを選択できます。プレイリストの作成や編集もできます。



- ① 「Epson Web Control」のホーム画面に移動します。
- ② プレイリストを再生します。
プレイリストの設定はアイコンで示されます。
① : お気に入り登録された番号
🔄 : 繰り返し再生が設定されています
🔍 : エフェクトが設定されています
- ③ メニューから、プレイリストの編集、複製、お気に入り登録、削除ができます。
「編集」または「複製」を選択したときは、プレイリスト編集画面が表示されます。

- ④ 新規プレイリスト画面で新規プレイリストを作成できます。

新規プレイリスト作成/プレイリスト編集画面（コンテンツ再生モード時のみ）



- ① プレイリスト名を編集できます。
- ② 繰り返し再生するかどうかを設定します。
- ③ お気に入りに登録します。
お気に入りに登録すると、[リモコン] 画面またはリモコンを使用して簡単にプレイリストを再生できます。
- ④ プレイリストに追加された画像や動画を表示します。ここに表示された順序で画像や動画が再生されます。

- ⑤ 画像や動画を追加します。
- ⑥ 画像や動画を一覧から削除します。
- ⑦ [静止画切り替え] 画面を表示します。
プレイリスト投写中に次のファイルに切り替わるまでの表示時間を設定できます。トランジション効果も設定できます。
- ⑧ [エフェクト] 画面を表示します。
あらかじめ用意されているカラーフィルターまたは形状フィルターなどのエフェクトをプレイリストに設定できます。エフェクトをカスタマイズすることもできます。
- ⑨ プレイリストをプレビューできます。

USBメモリー（コンテンツ再生モード時のみ）

[USBメモリー] 画面では、プレイリストに追加したい写真や動画をUSBメモリーに転送したり、不要な写真や動画をUSBメモリーから削除できます。



.avi、.jpeg (.jpg)、.png、.bmp、.gifファイルをアップロードできます。

.mp4または.movファイルをプレイリストに追加したいときは、Epson Projector Content ManagerまたはEpson Creative Projectionを使用します。



- ① [Epson Web Control] のホーム画面に移動します。
- ② プレイリストに追加する写真や動画を、USBメモリーに転送します。
- ③ 写真や動画をUSBメモリーから消去します。

タイムテーブル（コンテンツ再生モード時のみ）

[タイムテーブル] 画面では、タイムテーブルを有効または無効にできます。



- ① [Epson Web Control] のホーム画面に移動します。
- ② タイムテーブルをオン/オフします。



Epson Projector Content Managerのタイムテーブル機能を使うと、プレイリストを再生する日時を指定できます。
詳しくは『Epson Projector Content Manager操作ガイド』をご覧ください。

セキュリティ設定に用いる電子証明書を本機に設定します。



本機への電子証明書のインストールは、[ネットワーク]メニューから行うことができます。ただし、Webブラウザとプロジェクターメニューの双方から証明書をインストールすると、正しくインストールされないことがあります。

☛ [ネットワーク] > [ネットワーク設定] > [無線LAN] > [クライアント証明書]

☛ [ネットワーク] > [ネットワーク設定] > [無線LAN] > [CA証明書]

☛ [ネットワーク] > [ネットワーク設定] > [プロジェクター制御] > [セキュアHTTP] > [Webサーバー証明書]

- 1 本機に対応した形式の証明書を用意します。
- 2 本機の電源がオンになっていることを確認します。
- 3 ネットワークに接続されているコンピューターまたはモバイルデバイスでWebブラウザを起動します。
- 4 ブラウザーのアドレス入力部にプロジェクターのIPアドレスを入力し、Epson Web Control画面に接続します。

Epson Web Control画面が表示されます。



- 5 [詳細設定] を選択します。



- ・ 詳細設定画面を表示するには、ログインが必要です。ログイン画面が表示されたら、ユーザー名とパスワードを入力します。（ユーザー名は**EPSONWEB**、デフォルトのパスワードは**admin**です。）
- ・ パスワードは、[ネットワーク]メニューで変更できます。
☛ [ネットワーク] > [ネットワーク設定] > [Web制御パスワード]

- 6 [ネットワーク] から [証明書] を選択します。
- 7 登録する証明書を選択します。

- 8** [パスワード] ボックスにパスワードを入力し、[送信] をクリックします。
- 9** 設定が終了したら、[確定] をクリックします。

プロジェクターが異常/警告状態になったとき、異常状態が電子メールで通知されるようにメール通知機能を設定できます。

〔動作〕メニューの〔待機モード〕設定を〔通信オン〕に設定すると、本機がスタンバイ状態（電源オフ）のときも、通知メールを送信できます。

1 【メニュー】ボタンを押し、〔ネットワーク〕を選択して、【決定】ボタンを押します。

2 〔ネットワーク設定〕を選択し、【決定】ボタンを押します。

3 〔メール通知〕を選択し、【決定】ボタンを押します。



4 〔メール通知〕を〔オン〕に設定します。

5 〔SMTPサーバー〕にIPアドレスを入力します。



〔SMTPサーバー〕には127.x.x.xのIPアドレスは使用できません（xは0～255の数値）。

6 SMTPサーバーの〔認証タイプ〕を設定します。

7 〔ポート番号〕にSMTPサーバーのポート番号を0～65535の数値で入力します（デフォルトは25）。

8 SMTPサーバーの〔ユーザー名〕を入力します。

9 SMTP認証に使う〔パスワード〕を入力します。

10 送信者として表示されるメールアドレスを〔差出人〕に入力します。

11 宛先を選択し、メールアドレスとメール通知する異常/警告の種類を選択します。宛先は3つまで設定できます。



使用できるメールアドレスは英数字64文字までです。

12 設定が終わったら、〔ネットワーク設定〕の画面に戻り、〔設定〕を選択します。画面の指示に従って設定を保存し、メニューを終了します。



本機に致命的な異常が発生し、瞬時に起動停止状態になったときは、メールを送信できないことがあります。

▶ 関連項目

- ・「異常通知メールの見方」 [p.180](#)

異常通知メールの見方

通知メールを送信する設定をしているとき、本機が異常/警告状態になると、以下の情報を含むメールが送信されます。

- ・メール差出人：〔差出人〕のメールアドレス
- ・メール件名：〔Epson Projector〕
- ・1行目：異常が生じたプロジェクター名
- ・2行目：異常が生じたプロジェクターのIPアドレス
- ・3行目：異常の内容

コンピュータにSNMP（Simple Network Management Protocol）ソフトウェアをインストールして、プロジェクターを監視できます。SNMPによる管理は、ネットワーク管理者が行います。SNMPソフトウェアを使用するときは、本機のSNMP設定をします。

- 1** 【メニュー】ボタンを押し、[ネットワーク]を選択して、【決定】ボタンを押します。
- 2** [ネットワーク設定]を選択し、【決定】ボタンを押します。
- 3** [プロジェクター制御]を選択し、【決定】ボタンを押します。



- 4** [SNMP] を [オン] にします。
- 5** [トラップIPアドレス1] と [トラップIPアドレス2] に、SNMP通知を受信するIPアドレスを最大2つ入力します。0～255の数字を入力します。



224.0.0.0～255.255.255.255のIPアドレスは使用できません。本機のSNMPエージェントはバージョン1（SNMPv1）に対応しています。

- 6** SNMPの[コミュニティ名]を半角英数字32文字以内で入力します。
- 7** 設定が終わったら、[ネットワーク設定]の画面に戻り、[設定]を選択します。画面の指示に従って設定を保存し、メニューを終了します。

ESC/VP21を使用して外部デバイスからプロジェクターを制御できます。

▶ 関連項目

- ・「ESC/VP21コマンドリスト」 [p.182](#)
- ・「ケーブル配線」 [p.182](#)

ESC/VP21コマンドリスト

本機に電源オンのコマンドを送信すると、電源が入りウォームアップ状態になります。電源オンの状態になると、本機はコロン ':' (3Ah) を返信します。

本機はコマンドを受け取ると、そのコマンドを実行後 ':' を返信し、次のコマンドを受け付けます。

異常終了のときは、エラーメッセージを出力した後に ':' を返信します。

利用可能なコマンドは本機の『仕様一覧』で確認できます。

▶ 関連項目

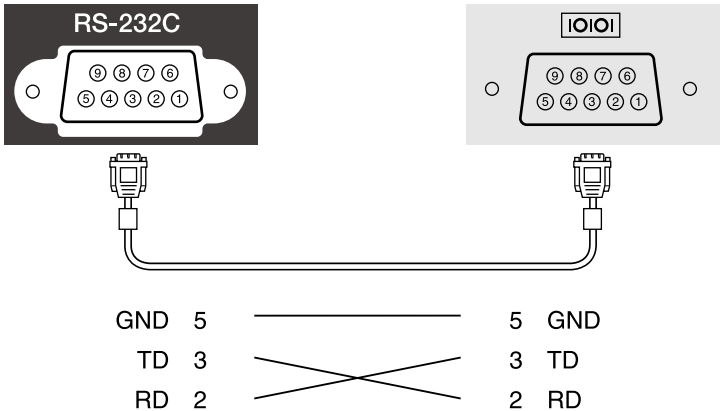
- ・「ドキュメント類の最新バージョンを入手する」 [p.11](#)

ケーブル配線

シリアル接続

- ・コネクタ形状：D-Sub 9pin（オス）
- ・プロジェクター入力端子名：RS-232C
- ・ケーブルタイプ：クロスケーブル

以下の図では、左の端子がプロジェクター側、右の端子がコンピューター側を示しています。



信号名	働き
GND	各信号線の接地
TD	送信データ
RD	受信データ

通信プロトコル

- ・ボーレート基準速度：9600bps
- ・データ長：8bit
- ・パリティ：なし
- ・ストップビット：1bit
- ・フロー制御：なし

JBMIA（一般社団法人ビジネス機械・情報システム産業協会）によりネットワーク対応プロジェクターの制御用プロトコルの標準化が進められ、制御用標準プロトコルPJLinkが策定されました。

このプロジェクターは、JBMIAによって策定されたPJLink Class2規格に準拠しています。

PJLinkの検索機能で使用するポート番号は4352（UDP）です。

PJLinkを使用するには、事前にネットワーク設定を行う必要があります。

次のコマンドを除く、PJLink Class2によって規定されているすべてのコマンドに対応しており、PJLink規格の適合性を確認しています。

<http://pjlink.jbmia.or.jp/>

- ・ 非対応コマンド
非対応のコマンドは本機の『仕様一覧』で確認できます。
- ・ 入力端子名称および入力ソース番号の対応表

入力端子名称	入力ソース番号
コンピューター1	11
コンピューター2	12
HDMI1	32
HDMI2	33
USB	41
LAN	52
HDBaseT	56
Screen Mirroring1	57
Screen Mirroring2	58

- ・ 「メーカー名問合せ」で表示するメーカー名

EPSON

- ・ 「機種情報問合せ」で表示する機種名

- ・ EPSON L735U/L730U
- ・ EPSON L720U
- ・ EPSON L635SU/L630SU
- ・ EPSON L630U
- ・ EPSON L630W
- ・ EPSON L530U

▶ 関連項目

- ・ 「ドキュメント類の最新バージョンを入手する」 [p.11](#)

Crestron Connectedは統合コントロールシステムです。ネットワークで接続された複数の機器を一括して監視、制御できます。Crestron Connectedを使うと、Webブラウザを使ってプロジェクターの制御や監視ができます。



- Crestron Connectedを使用するときは、Epson Projector Managementのメッセージ配信機能を使用できません。

Crestron Connectedの詳細については、Crestron社のWebサイトを参照してください。

<https://www.crestron.com/products/line/crestron-connected>

システム内の機器の監視には、Crestron社が提供するCrestron RoomView ExpressまたはCrestron Fusionを使用できます。監視の他にヘルプデスクとの通信、緊急時のメッセージ送信ができます。詳細は以下をご覧ください。

<http://www.crestron.com/getroomview>

本書では、Webブラウザを利用してコンピューターの画面上で本機を操作する方法を説明します。

▶ 関連項目

- 「Crestron Connectedを設定する」 [p.184](#)

Crestron Connectedを設定する

Crestron Connectedを使ってプロジェクターの監視と制御をするには、コンピューターとプロジェクターがネットワークに接続されていることを確認します。

無線で接続するときは、無線LANアクセスポイント経由で接続してください。



【動作】メニューの【待機モード】を【通信オン】に設定すると、本機がスタンバイ状態（電源オフ）のときも、Webブラウザを使って設定や制御ができます。

- 1 【メニュー】ボタンを押し、【ネットワーク】を選択して、【決定】ボタンを押します。
- 2 【ネットワーク設定】を選択し、【決定】ボタンを押します。
- 3 【プロジェクター制御】を選択し、【決定】ボタンを押します。

[プロジェクター制御]		戻る
PJLink	オフ	▼
SNMP	オフ	▼
AMX Device Discovery	オフ	
Crestron Connected	オフ	
Control4 SDDP	オフ	
セキュアHTTP	オン	▲
Webサーバー証明書		

- 4 【Crestron Connected】を【オン】に設定して、プロジェクターが検出されるようにします。
- 5 設定が終わったら、【ネットワーク設定】の画面に戻り、【設定】を選択します。画面の指示に従って設定を保存し、メニューを終了します。
- 6 プロジェクターの電源を入れなおし設定を有効にします。

- 7** ネットワークに接続されているコンピューターまたはモバイルデバイスでWebブラウザを起動します。
- 8** ブラウザーのアドレス入力部にプロジェクターのIPアドレスを入力し、Epson Web Control画面に接続します。
- 9** 「Crestron Connected」を選択します。詳細はCrestron社のWebサイトを参照してください。

コンテンツ再生モードでは、Web APIを使ってプロジェクターを操作できます。詳しくは、『プロジェクター用Web API仕様書』をご覧ください。



- Web API通信には、API認証（Digest認証）を使用できます。
- API認証のユーザー名は**EPSONWEB**、パスワードは「Web制御パスワード」で設定されているパスワードを入力してください。
 - ☛ 「ネットワーク」 > 「ネットワーク設定」 > 「Web制御パスワード」

» 関連項目

- 「Web APIを有効にする」 [p.186](#)
- 「ドキュメント類の最新バージョンを入手する」 [p.11](#)

Web APIを有効にする

Web APIはWebブラウザから有効にできます。

- 1** 「Epson Web Control」画面で「開発者メニュー」を選択します。
- 2** 「API有効」を「オン」にします。

プロジェクターの電源オン/オフや入力ソースの切り替えなど、最大30件のイベントをプロジェクターにスケジュール登録できます。設定した日時を選択したイベントが自動的に実行されます。

警告

燃えやすいものをプロジェクターのレンズの前に置かないでください。スケジュール機能によりプロジェクターの電源が自動でオンになり、火災の原因となることがあります。



- ・事前に [メニュー保護] の [スケジュール] を [オフ] に設定します。

- 1 [管理] メニューで [日付&時刻] を設定します。
- 2 【メニュー】ボタンを押し、[管理] を選択して、【決定】ボタンを押します。
- 3 [スケジュール設定] を選択し、【決定】ボタンを押します。
- 4 [スケジュール] を選択し、【決定】ボタンを押します。

- 5 [新規追加] を選択し、【決定】ボタンを押します。

6 イベント実行時の動作内容を設定します。

7 イベントを実行する日付や曜日、時刻を選択します。

8 「保存」を選択し、【決定】ボタンを押します。

登録したイベントが画面に表示されます。イベントのステータスや時刻はアイコンやインジケータで示されます。

- ①  : 有効なイベント
-  : 定期的なイベント
-  : 無効なイベント
- ② 選択している日付 (強調表示)
- ③  : 1回限りのイベント
-  : 定期的なイベント
-  : 通信監視のオン/オフ
-  : 無効なイベント

- 9** 登録されているイベントを編集するには、イベントを選択し、
【戻る】ボタンを押します。
- 10** 表示されたメニューから操作を選択します。
- ・ [有効] / [無効] : 選択したイベントを有効または無効にできます。
 - ・ [編集] : イベントの動作内容または日時を変更できます。
 - ・ [削除] : 登録したイベントを一覧から削除できます。
- 11** [設定完了] を選択して、[はい] を選択します。

登録したイベントをすべて削除するには、[スケジュール初期化] を選択します。

» 関連項目

- ・ 「パスワードプロテクトの種類を設定する」 [p.134](#)
- ・ 「日時を設定する」 [p.50](#)

メニューの設定

プロジェクターメニューの機能と設定について説明します。

▶ 関連項目

- ・「プロジェクターメニューを操作する」 [p.191](#)
- ・「ソフトキーボードを操作する」 [p.192](#)
- ・「映像調整メニュー」 [p.193](#)
- ・「信号入出力メニュー」 [p.196](#)
- ・「設置メニュー」 [p.199](#)
- ・「表示メニュー」 [p.202](#)
- ・「動作メニュー」 [p.204](#)
- ・「管理メニュー」 [p.208](#)
- ・「ネットワークメニュー」 [p.212](#)
- ・「マルチプロジェクションメニュー」 [p.221](#)
- ・「メモリーメニュー」 [p.223](#)
- ・「初期・全体設定メニュー」 [p.224](#)
- ・「メニュー設定を別のプロジェクターにコピーする（一括設定機能）」 [p.225](#)

投写画面に表示されるメニューを使って、本機の各種動作を設定します。

- 1 操作パネルまたはリモコンの【メニュー】ボタンを押します。
メニューが表示されます。

よく使う項目	映像調整	
映像調整	カラーモード	プレゼンテーション
信号入出力	明るさ	50
設置	コントラスト	50
表示	色の濃さ	50
動作	色合い	50
管理	シャープネス	50
ネットワーク	ホワイトバランス	
マルチプロジェクション	ダイナミックコントラスト	オフ
メモリー	イメージ強調	
初期・全体設定	シーン適応ガンマ補正	5
	ガンマ	0
	RGBCMY	
	初期値に戻す	
	入力ソース	コンピューター1
	入力解像度	オート
	アスペクト	オート
	アナログ信号調整	
	初期値に戻す	

- 6 メニューの設定が終わったら、【戻る】ボタンを押します。

- 7 【メニュー】ボタンまたは【戻る】ボタンを押してメニューを終了します。



✓が表示される項目には関連するメニューがあります。設定をオンにしたり、特定の値を設定すると、関連するメニューを展開して表示します。



- 2 上下ボタンを押して、左側に表示されるメニュー項目を選択します。各メニューの設定が右側に表示されます。

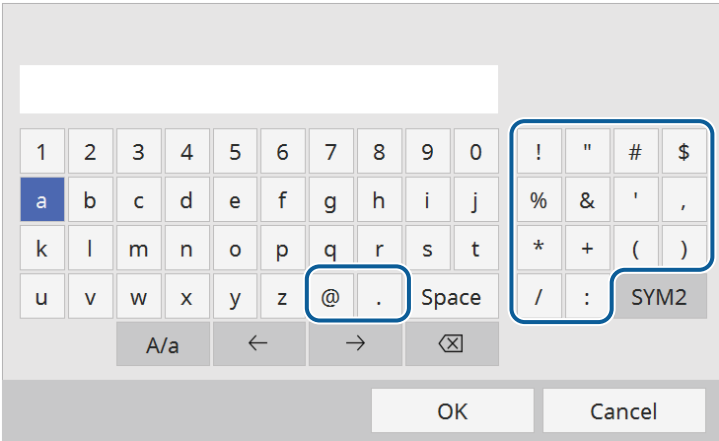
- 3 設定を変更するには、【決定】ボタンを押します。

- 4 上下ボタンを押して、設定項目を選択します。

- 5 メニュー設定をすべて初期値に戻すには、[初期・全体設定]を選択します。

数字や文字の入力が必要なときはソフトキーボードが表示されます。

- 1** リモコンまたは操作パネルの上下左右ボタンを使って、入力する数字や文字を選択し、【決定】ボタンを押します。



【A/a】キーを選択すると、大文字小文字が切り替わります。【SYM1/2】キーを選択すると、枠に囲まれている記号が変わります。

- 2** テキストの入力後、キーボードの【OK】を選択して入力を確定します。【Cancel】を選択すると、テキストの入力を取り消します。



コンピューターのWebブラウザーを使って、ネットワークに接続されたプロジェクターの設定や制御ができます。
プロジェクターメニューのソフトキーボードでは入力できない文字があります。ソフトキーボードで入力できない文字はWebブラウザーを使って入力してください。

▶ 関連項目

- ・「ソフトキーボードで入力可能な文字」 [p.192](#)

ソフトキーボードで入力可能な文字

ソフトキーボードでは、以下の文字を入力できます。

文字タイプ	詳細
数字	0123456789
アルファベット	ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZ abcdefghijklmnopqrstuvwxyz
記号	!"#\$%&'()*+,-./:;<=>?@[\] ^_`{ }~

〔映像調整〕メニューでは、投写映像の画質を調整できます。カラーモードや入力ソースによって設定できる項目が異なります。

よく使う項目	映像調整	
映像調整	カラーモード	プレゼンテーション
信号入出力	明るさ	50
設置	コントラスト	50
表示	色の濃さ	50
動作	色合い	50
管理	シャープネス	50
ネットワーク	ホワイトバランス	
マルチプロジェクション	ダイナミックコントラスト	オフ
メモリー	イメージ強調	
初期・全体設定	シーン適応ガンマ補正	5
	ガンマ	0
	RGBCMY	
	初期値に戻す	
	入力ソース	コンピューター1
	入力解像度	オート
	アスペクト	オート
	アナログ信号調整	
	初期値に戻す	

設定	選択肢	説明
カラーモード	カラーモードの一覧を参照	映像の種類や使用環境に応じて、適切なカラーモードを選択します。
明るさ	レベル調整	映像の明るさを調整します。
コントラスト	レベル調整	映像のコントラストを調整します。
色の濃さ	レベル調整	映像の色の濃さを調整します。
色合い	レベル調整	映像の色合いを調整します。
シャープネス	レベル調整	映像のシャープ感を調整します。

設定	選択肢	説明
ホワイトバランス	色温度	選択したカラーモードに応じて色温度を設定します。値を高くすると青みがかった映像になり、値を低くすると赤みがかった映像になります。 〔カラーフィルター〕が〔ウォームホワイト〕または〔クールホワイト〕以外のとき表示されます。 ☛ 〔動作〕 > 〔コンテンツ再生〕 > 〔エフェクト〕 > 〔カラーフィルター〕
	G-M補正	映像の色合いを細かく調整します。値を高くすると緑がかった映像になり、値を低くすると赤みがかった映像になります。
	カスタム	オフセット、ゲインをR（赤）、G（緑）、B（青）の成分ごとに調整します。
ダイナミックコントラスト	高速標準 オフ	映像の明るさに合わせて投写時の光量を調整します。
イメージ強調	イメージ強調プリセット	〔イメージ強調〕の設定値をプリセットの値で一括で設定します。
	ノイズリダクション	映像のざらつきを抑えます。
	MPEGノイズリダクション	MPEG形式の映像のざらつきを抑えます。

設定	選択肢	説明
	プログレッシブ変換	インターレース信号をプログレッシブ信号に変換します。 ・ [オフ] : 動きの速いビデオ映像に適しています。 ・ [ビデオ] : 一般のビデオ映像に適しています。 ・ [フィルム/オート] : 映画フィルムやCG、アニメーションに適しています。 インターレース信号 (480i/576i/1080i) が入力されているとき表示されます。
	超解像	解像度の低い映像を投写するときに、解像度を高めて映像のボケを軽減します。
	ディテール強調	映像のテクスチャーや質感を強調します。
	初期化	[イメージ強調] メニューで調整したすべての値を初期値に戻します。
シーン適応ガンマ補正	レベル調整	シーンに応じて階調表現を最適化して、メリハリのある映像にします。コントラストを強調したいときは、大きい値を選択します。 以下の入力ソースから投写中のときは設定できません。 ・ USB ・ LAN ・ Screen Mirroring
ガンマ	-2～2 カスタム	補正値を選んだり、ガンマグラフを見ながら映像の発色を調整します。

設定	選択肢	説明
RGBCMY	レベル調整	R (赤)、G (緑)、B (青)、C (シアン)、M (マゼンタ)、Y (イエロー) ごとに色相、彩度、明度を調整します。
初期値に戻す	—	現在のカラーモードで調整したすべての値を初期値に戻します。
入力ソース	—	入力ソースごとに保存されるメニューが表示されます。 設定を変更するには、変更したい入力ソースの映像が投写されていることを確認してください。
入力解像度	オート ノーマル ワイド マニュアル	[オート] に設定しても投写映像が欠けるときは、入力信号の解像度を設定します。 4:3または5:4画面の場合は [ノーマル]、ワイド画面の場合は [ワイド]、解像度を指定する場合は [マニュアル] を選択します。 入力ソースがコンピューターのとき表示されます。
アスペクト	アスペクト比の一覧を参照	映像のアスペクト比 (縦横比) を設定します。 (事前に [表示倍率] をオフにするか、[表示倍率モード] を [フル表示] に設定します。) 入力ソースがコンピューター、HDMI、HDBaseTのとき表示されず。

設定	選択肢	説明
アナログ信号調整	自動調整	〔オン〕にすると、トラッキング、同期、表示位置を最適な状態に自動調整します。 入力ソースがコンピューターのとき表示されます。
	トラッキング	映像に縦の縞模様が出ないように調整します。 入力ソースがコンピューターのとき表示されます。
	同期	映像にぼやけ、ちらつきが出ないように調整します。 入力ソースがコンピューターのとき表示されます。
	表示位置	投写画面内の映像の表示位置を調整します。 入力ソースがコンピューターのとき表示されます。
初期値に戻す	—	現在の入力ソースで調整したすべての値を初期値に戻します。
表示倍率	映像の切り出しに関する設定	水平/垂直方向に映像を拡大/縮小します。 本機を複数台使用してひとつの映像を投写するときは、それぞれのプロジェクターで表示する映像の範囲を調整します。
映像調整初期化	—	〔映像調整〕メニューで調整したすべての値を初期値に戻します。



- ・〔明るさ〕の設定は光源の明るさには影響しません。光源の明るさを変更するには、〔動作〕メニューの〔光源明るさ制御〕を設定します。
- ・リモコンの【自動調整】ボタンを押して、〔トラッキング〕、〔同期〕、〔表示位置〕の設定を初期値に戻すことができます。

▶ 関連項目

- ・「カラーモードの種類」 [p.80](#)
- ・「アスペクトモードの種類」 [p.78](#)
- ・「映像の光量を調整する」 [p.81](#)
- ・「映像の解像感を調整する（イメージ強調）」 [p.85](#)
- ・「映像を切り出して表示する」 [p.131](#)
- ・「映像の色合いを調整する」 [p.82](#)

本機は入力信号方式を自動的に検出し、映像設定を最適化します。詳細な設定が必要なときは、〔信号入出力〕メニューで設定します。入力ソースによって設定できる項目が異なります。

よく使う項目	音量	
映像調整	入力ソース	コンピューター1
信号入出力	オーバースキャン	オート
初期値に戻す		
EDID		
HDMI IN EQレベル		
HDMI Out強度設定	オフ	
A/V出力	投写時	
音声出力	オート	
HDMI音声出力		
モニター出力端子	モニター出力	
HDMIリンク		
HDBaseT設定		
信号入出力初期化		
設定		
固定設定	オフ	
テストパターン		
設置モード	フロント・天吊り	
幾何学歪み補正	ポイント補正	

設定	選択肢	説明
音量	レベル調整（入力ソースごと）	本機のスピーカーの音量を調整します。 また、外部スピーカーの音量も調整できます。 音声はAVアンプに出力されていないとき表示されます。

設定	選択肢	説明
入力ソース	—	入力ソースごとに保存されるメニューが表示されます。 設定を変更するには、変更したい入力ソースの映像が投写されていることを確認してください。
入力信号フォーマット	ビデオレンジ	接続された機器の設定に合わせて、本機のビデオレベルを設定します。 入力ソースがHDMIまたはHDBaseTのとき表示されます。
オーバースキャン	オート オフ 4% 8%	出画率（投写する映像の範囲）を変更して、映像がトリミングされる範囲を設定します。 コンポーネント信号を入力しているとき表示されます。
初期値に戻す	—	現在の入力ソースで調整したすべての値を初期値に戻します。
EDID	HDMI1 HDMI2 HDBaseT	映像機器に通知する本機の解像度情報を設定します。映像の解像度に合わせて、必要に応じて設定を変更してください。 解像度の違う複数のディスプレイが設置されている環境でも、基準となるディスプレイのEDIDと同じ設定をすることで、入力ソースのEDIDを切り替えて、ディスプレイ間のEDIDを統一することができます。

設定	選択肢	説明
HDMI IN EQレベル	HDMI1 HDMI2	HDMI入力端子に接続している映像機器に応じてHDMI受信レベルを変更します。映像にノイズが入ったり、映らないときは、設定を変更してください。 入力ソースを切り替えることなく、ソースごとに設定できます。
HDMI Out強度設定 (EB-L735U/EB-L730U/EB-L635SU/EB-L630SU/EB-L630U/EB-L630W/EB-L530U)	オフ 弱 中 強	HDMI端子から入力する信号の強さを調整します。HDMI端子からの映像が正しく出力されないときは設定を変えてみてください。
A/V出力	投写時 常時	〔常時〕に設定すると、本機で投写していないときに、外部機器に音声と映像を出力します。 以下の場合に表示されます。 ・〔動作〕メニューの〔高速起動〕が〔オフ〕に設定されている ・〔ネットワーク〕メニューの〔オートパワーオン〕が〔オフ〕に設定されている 🔊〔ネットワーク〕 > [トランスミッター設定] > [オートパワーオン]
音声出力	オート 音声入力1 音声入力2	HDBaseT、LAN、Screen Mirroring以外のソースで映像を投写するときに音声を入力する端子を選択します。
HDMI音声出力	HDMI1音声出力 HDMI2音声出力	HDMI端子から映像を投写するときに、音声を入力する端子を選択します。

設定	選択肢	説明
モニター出力端子	モニター出力 コンピューター2	Computer2/Monitor Out端子の入出力を切り替えます。外部モニターに映像を出力するときは〔モニター出力〕を選択します。コンピューターから映像を入力するときは〔コンピューター2〕を選択します。
HDMIリンク	接続機器一覧	HDMI端子に接続されている機器の一覧を表示します。 〔HDMIリンク〕が〔オン〕のとき表示されます。
	HDMIリンク	〔オン〕にすると、HDMIリンク機能が有効になります。
	音声出力機器	AVアンプを接続している場合に、本機のスピーカーから音声出力するか、AVアンプのスピーカーから音声出力するかを選択します。
	電源オン連動	本機または接続機器の電源をオンにしたときの動作を設定します。 ・〔双方向〕：本機の電源オンに連動して接続機器の電源をオンに、また、接続機器の電源オンに連動して本機の電源をオンにします。 ・〔接続機器→PJ〕：接続機器の電源オンに連動して、本機の電源をオンにします。 ・〔PJ→接続機器〕：本機の電源オンに連動して、接続機器の電源をオンにします。
	電源オフ連動	本機の電源オフに連動して、接続機器の電源をオフにするかしないかを設定します。

設定	選択肢	説明
HDBaseT設定	制御通信	HDBaseT端子からのEthernet通信とシリアル通信の有効/無効を切り替えます。オンにすると、プロジェクターのLANおよびRS-232C端子が無効になります。 [Extron XTP] が [オフ] のとき表示されます。
	Extron XTP	Extron社製のXTPトランスミッターまたはスイッチャーを本機の [HDBaseT] 端子に接続して使用するときは [オン] に設定します。XTPシステムについて詳しくはExtron社のWebページを参照してください。 http://www.extron.com/
信号入出力初期化	—	[信号入出力] メニューで調整したすべての値を初期値に戻します。

【設置】メニューでは、プロジェクターの設置環境にあわせた設定ができます。

よく使う項目	設定
映像調整	固定設置 オフ
信号入出力	テストパターン
設置	設置モード フロント・天吊り
表示	幾何学歪み補正 ポイント補正
動作	リモコン受光部 オフ
管理	スクリーンタイプ 16:9
ネットワーク	高地モード オフ
マルチプロジェクション	入力ソース コンピューター1
メモリー	プランキング
初期・全体設定	初期値に戻す
	設置初期化
	表示
	無信号時画面 青
	スタートアップ表示 オン
	ホーム画面自動表示 オン
	入力ソース並び替え
	メッセージ表示 オン

設定	選択肢	説明
固定設置	オン オフ	プロジェクターを特定の場所に固定して使うときは、【オン】に設定します。
テストパターン	—	機器を接続せずに映像のピントやズーム、映像のゆがみを調整できるように、テストパターンを表示します。（【戻る】ボタンを押すと、パターン表示を終了します。）

設定	選択肢	説明
設置モード	フロント リア フロント・天吊り リア・天吊り	映像が正しい方向で投写されるように、スクリーンに対する本機の設置方法を選択します。
幾何学歪み補正	タテヨコ台形補正	投写映像の縦方向、横方向のゆがみを補正します。 【タテ台形補正】：投写映像の縦方向のゆがみを補正します。 【タテバランス】：投写映像の縦方向のバランスを補正します。 【ヨコ台形補正】：投写映像の横方向のゆがみを補正します。 【ヨコバランス】：投写映像の横方向のバランスを補正します。 【タテバランス】 および 【ヨコバランス】 は EB-L735U/EB-L730U/EB-L635SU/EB-L630SU/EB-L630U/EB-L630W/EB-L530U でのみ使用できます。
	Quick Corner	投写画面のコーナーの形状を個別に補正します。
	湾曲補正	曲面に投写した映像のゆがみを補正します。
	ポイント補正	投写画像を格子で区切り、格子の交点を上下左右に移動させることで投写画面のゆがみを補正します。
	オフ	幾何学歪み補正は一時的に無効になります。

設定	選択肢	説明
	メモリー	設定値をメモリーに登録します。 ・ [メモリー保存] : 補正した映像の形状を、メモリーとして登録します。 ・ [メモリー呼出] : メモリーとして登録した映像の形状を呼び出します。 ・ [メモリー名称変更] : 保存したメモリーの名称を変更します。 ・ [メモリー削除] : 保存したメモリーを削除します。 ・ [メモリー初期化] : 保存したメモリーをすべて削除します。
デジタルズーム (EB-L635SU/EB-L630SU)	レベル調整	投写映像のサイズを調整します。
デジタルピクチャーシフト (EB-L635SU/EB-L630SU)	位置調整	本機を動かさずに映像の投写位置を調整します。 [デジタルズーム] をワイド側に最大にしているときは投写位置を調整できません。
Eズーム (EB-L720U)	レベル調整	投写映像を拡大/縮小します。 [映像調整] メニューの [表示倍率] が [オフ] のとき表示されます。
リモコン受光部	フロント・リア フロント リア オフ	リモコンからの操作信号を受信する受光部を制限します。 [オフ] にすると、リモコンからの操作ができなくなります。

設定	選択肢	説明
スクリーンタイプ	4:3 16:6 16:9 16:10	投写面のアスペクト比を設定し、投写面に合わせたサイズの映像を投写します。 [16:6] は EB-L735U/EB-L730U/EB-L720U/EB-L635SU/EB-L630SU/EB-L630U/EB-L530Uのみ選択できます。 以下の入力ソースから投写中のときは設定できません。 ・ USB ・ LAN [動作] メニューの [コンテンツ再生] が [オフ] のとき表示されます。
スクリーン位置	位置調整	本機を動かさずに映像の投写位置を調整します。 [スクリーンタイプ] がプロジェクターの解像度と同一のアスペクト比に設定されているとき、この機能は使用できません。
高地モード	オン オフ	標高約1500m以上の場所で本機を使うように動作を制御します。
入力ソース	—	入力ソースごとに保存されるメニューが表示されます。 設定を変更するには、変更したい入力ソースの映像が投写されていることを確認してください。

設定	選択肢	説明
ブランキング	上 下 左 右	設定した領域の映像を非表示にします。 〔動作〕メニューの〔コンテンツ再生〕が〔オフ〕のとき表示されます。
初期値に戻す	—	現在の入力ソースで調整したすべての値を初期値に戻します。 〔動作〕メニューの〔コンテンツ再生〕が〔オフ〕のとき表示されます。
設置初期化	—	〔設置〕メニューで調整した、以下を除くすべての値を初期値に戻します。 ・〔デジタルズーム〕（EB-L635SU/EB-L630SU） ・〔デジタルピクチャーシフト〕（EB-L635SU/EB-L630SU） ・〔Eズーム〕（EB-L720U）

» 関連項目

- ・「設置モードを選択する」 [p.53](#)
- ・「映像の形状を補正する」 [p.62](#)
- ・「プロジェクターの設置・取り付け」 [p.27](#)
- ・「スクリーンタイプを設定する」 [p.55](#)

〔表示〕メニューでは、プロジェクターの各種表示設定ができます。

よく使う項目	表示
映像調整	無信号時画面 青
信号入出力	スタートアップ表示 オン
設置	ホーム画面自動表示 オン
表示	入力ソース並び替え
動作	メッセージ表示 オン
管理	メニュー回転 オフ
ネットワーク	メニューカラー 白
マルチプロジェクション	エアフィルター清掃通知 オン
メモリー	画面分割設定
初期・全体設定	表示初期化
	動作
	自動入力検出 オン
	光源明るさ制御
	ダイレクトパワーオン オフ
	オートパワーオン オフ
	スリープモード オン
	スリープモード時間 10分

設定	選択肢	説明
無信号時画面	黒 青 ロゴ グラデーション	映像信号が入力されていないときに投写する画面の背景色、またはロゴ表示を選択します。 〔動作〕メニューの〔コンテンツ再生〕が〔オフ〕のとき表示されます。
スタートアップ表示	オン オフ	〔オン〕にすると、投写開始時にロゴを表示します。

設定	選択肢	説明
ホーム画面自動表示	オン オフ	〔オン〕にすると、本機の起動時に入力信号がない場合に、ホーム画面を自動的に表示します。 〔ネットワーク〕メニューの〔接続ガイド表示〕が〔オフ〕のとき表示されます。 ☛ 〔ネットワーク〕 > 〔トランスミッター設定〕 > 〔接続ガイド表示〕
入力ソース並び替え	オン オフ	〔オン〕にすると、検出した入力ソースがホーム画面の左上に表示されます。入力信号を検出すると、ソースの並び順が変わります。
メッセージ表示	オン オフ	〔オン〕にすると、入力ソース名、カラーモード名、アスペクト比、映像信号が入力されていないときのメッセージや高温警告などのメッセージが投写画面に表示されます。
メニュー回転	右90度 左90度 オフ	プロジェクターメニューの表示方向を90°回転させます。
メニューカラー	黒 白	ホーム画面とプロジェクターメニューのカラーテーマを設定します。
エアフィルター清掃通知	オン オフ	〔オン〕にすると、エアフィルターの詰まりを感知した場合にメッセージを表示します。

設定	選択肢	説明
画面分割設定	音声出力ソース表示	〔オン〕にすると、画面を分割して投写しているときに、音声を出力している映像にアイコン表示します。 〔動作〕メニューの〔コンテンツ再生〕が〔オフ〕のとき表示されます。
	配置	2つの映像を同時に投写するときに、画面の位置を〔上揃え〕または〔中央揃え〕のいずれかに設定します。 〔動作〕メニューの〔コンテンツ再生〕が〔オフ〕のとき表示されます。
表示初期化	—	〔表示〕メニューで調整したすべての値を初期値に戻します。



〔メニュー保護〕で〔ユーザーロゴ〕をオンにすると、ユーザーロゴに関する以下の設定は変更できません。事前に〔メニュー保護〕の〔ユーザーロゴ〕をオフに設定します。

- ・〔無信号時画面〕
- ・〔スタートアップ表示〕

» 関連項目

- ・「複数の映像を同時に投写する」 [p.92](#)

〔動作〕メニューでは、プロジェクターの各種設定ができます。

よく使う項目	動作
映像調整	自動入力検出 オン
信号入出力	光源明るさ制御
設置	ダイレクトパワーオン オフ
表示	オートパワーオン オフ
動作	スリープモード オン ^
管理	スリープモード時間 10分
ネットワーク	A/Vミュートタイマー オン
マルチプロジェクション	待機モード 通信オン ^
メモリー	通信ポート 有線LAN
初期・全体設定	高速起動 オフ
	USB給電 投写時オン
	インジケータ表示 オン
	確認音 オン
	A/Vミュート解除
	方向ボタン反転 オフ
	コンテンツ再生 オフ v
	動作初期化

設定	選択肢	説明
自動入力検出	オン オフ	〔オン〕にすると、現在の入力ソースからの映像信号がないときに、自動的に他の入力ソースからの信号を検出して映像を投写します。 〔高速起動〕モードで本機を起動したときは、この機能は無効です。 〔コンテンツ再生〕が〔オフ〕のとき表示されます。
光源明るさ制御	明るさ一定運用	光源の明るさを一定に保つときは、〔オン〕に設定します。

設定	選択肢	説明
	明るさ維持レベル	一定に保つ明るさレベルを設定します。 〔明るさ一定運用〕が〔オン〕のとき表示されます。
	残り時間目安	明るさを一定に保つことができる時間の目安を表示します。 〔明るさ一定運用〕が〔オン〕のとき表示されます。
	光源モード	光源の明るさを設定します。 ・〔ノーマル〕：明るさを落としたくないときに選択します。 ・〔静音〕：ファンの音が気になるときに選択します。明るさレベルは約70%になります。 ・〔ロング〕：光源の寿命を延ばしたいときに選択します。明るさレベルは約70%になります。 ・〔カスタム〕：明るさレベルを設定します。 〔明るさ一定運用〕が〔オフ〕のとき表示されます。
	明るさレベル	〔カスタム〕を選択したときに、明るさを設定します。 〔明るさ一定運用〕が〔オフ〕のとき表示されます。
ダイレクトパワーオン	オン オフ	〔オン〕にすると、電源プラグを差し込むだけで、本機の電源が入ります。

設定	選択肢	説明
オートパワーオン	HDMI1 コンピューター1 オフ	オートパワーオンに使用する入力ソースを設定します。 〔HDMI1〕：以下の場合に接続機器からの入力信号を検出すると自動的に本機の電源が入ります。 ・ 接続機器の起動時 ・ ケーブルの接続時 〔コンピューター1〕：接続機器からの映像信号を検出すると、自動的に本機の電源が入ります。
スリープモード	オン オフ	〔オン〕にすると、一定時間映像信号の入力がないとき自動的に本機の電源が切れます。
スリープモード時間	1～30分	〔スリープモード〕で電源が自動で切れるまでの時間を設定します。
A/Vミュートタイマー	オン オフ	〔オン〕にすると、〔A/Vミュート〕実行後30分操作がない場合、自動的に本機の電源が切れます。

設定	選択肢	説明
待機モード	通信オン 通信オフ	スタンバイ状態のときにネットワーク経由で本機を監視・制御するときは、〔通信オン〕に設定します。 以下の場合に表示されます。 ・ 〔信号入出力〕メニューの〔A/V出力〕が〔投写時〕に設定されている ・ 〔USB給電〕が〔投写時オン〕に設定されている ・ 〔ネットワーク〕メニューの〔オートパワーオン〕が〔オフ〕に設定されている ☛ 〔ネットワーク〕 > 〔トランスミッター設定〕 > 〔オートパワーオン〕
通信ポート	有線LAN 無線LAN	〔待機モード〕で〔通信オン〕を選択したときに、使用するポートを有線LANまたは無線LANのどちらかに設定します。
起動時入力設定	入力ソース	本機をコンテンツ再生モードで起動したときに投写する入力ソースを選択します。

設定	選択肢	説明
高速起動	20分 60分 90分 オフ	高速起動モードを維持する時間を設定します。本機の電源を切ると高速起動モードに入ります。高速起動モード中に電源ボタンを押すと、約5秒で投写できます。 以下の場合、通常の起動時間となります。 • USB端子からの映像を投写するとき • HDMI Out端子からの映像を投写するとき • Screen Mirroringで投写するとき 以下の場合に表示されます。 • [信号入出力] メニューの [A/V 出力] が [投写時] に設定されている • [ネットワーク] メニューの [オートパワーオン] が [オフ] に設定されている  [ネットワーク] > [トランスミッター設定] > [オートパワーオン]

USB給電 (EB-L735U/EB-L730U/EB-L635SU/EB-L630SU/EB-L630U/EB-L630W/EB-L530U)	投写時オン 常時オン	[常時オン] に設定すると、本機が映像を投写していないときもメディアストリーミング端末に給電を続けます。メディアストリーミング端末の起動を早め、端末のファームウェアの自動更新を可能にします。 以下の場合に表示されます。 • [信号入出力] メニューの [A/V 出力] が [投写時] に設定されている • [ネットワーク] メニューの [オートパワーオン] が [オフ] に設定されている  [ネットワーク] > [トランスミッター設定] > [オートパワーオン]
インジケータ表示	オン オフ	[オフ] に設定すると、異常時や警告時以外は本機のインジケータを消灯します。
確認音	オン オフ	本機の電源オン/オフ時に鳴る確認音を設定します。
A/Vミュート解除	すべて A/Vミュート	[A/Vミュート] に設定すると、【A/Vミュート】ボタンを押したときのみA/Vミュートを解除します。[すべて] に設定すると、操作パネルとリモコンのすべてのボタンでA/Vミュートを解除できます。
方向ボタン反転	オン オフ	本機を天吊り設置しているときは [オン] にして、操作パネルの上下左右ボタンの動作方向を反転させます。

設定	選択肢	説明
コンテンツ再生	オン オフ	〔オン〕 にすると、プレイリストを再生できます。
エフェクト	エフェクト 形状フィルター カラーフィルター 明度	映像に色や形の装飾を追加します。 以下の場合に表示されます。 ・〔マルチプロジェクション〕メニューの〔エッジブレンディング〕が〔オフ〕に設定されている ・コンテンツ再生モードで、プレイリストを再生でき、書き込み不可のエラーがない
USBビューアー	—	USBメモリーに保存されているプレイリストを再生します。
動作初期化	—	〔動作〕メニューで調整したすべての値を初期値に戻します。

▶ 関連項目

- ・「コンテンツ再生モードで投写する」 [p.101](#)
- ・「明るさを設定する」 [p.87](#)

【管理】メニューでは、プロジェクターの管理者向け設定ができます。

よく使う項目	管理
映像調整	ユーザーボタン 光源モード
信号入出力	ユーザーロゴ
設置	操作ボタンロック オフ
表示	ユニフォーミティー
動作	リフレッシュモード
管理	光源キャリブレーション
ネットワーク	日付&時刻
マルチプロジェクション	スケジュール設定
メモリー	無線LAN電源
初期・全体設定	無線LAN診断 1
	ログ保存先 USBおよび内部メモリー
	一括設定範囲
	言語 日本語
	情報表示
	ログ表示
	管理初期化
	ネットワーク

設定	選択肢	説明
ユーザーボタン	メニュー項目	リモコンの【ユーザー】ボタンに割り当てるメニュー項目を設定します。ボタンを押すと、割り当てたメニュー項目がワンタッチで表示されます。
ユーザーロゴ	設定開始 初期化	本機の識別やセキュリティ向上のために、本機で表示するユーザーロゴを登録します。

設定	選択肢	説明
操作ボタンロック	全ロック 電源以外ロック オフ	操作パネルの操作制限を設定します。 ・ [全ロック] : すべてのボタンをロックします。 ・ [電源以外ロック] : 電源ボタンを除くすべてのボタンをロックします。 ・ [オフ] : ボタンをロックしません。
ユニフォーミティー	ユニフォーミティー	[オン] にすると画面全体の色味のバランスを調整します。
	調整レベル	調整レベルを選択します。
	調整開始	調整するエリアを選択し、赤、緑、青ごとの色味を調整します。
	初期化	[ユニフォーミティー] で調整したすべての値を初期値に戻します。
リフレッシュモード	時間	投写映像に残っている残像（焼き付き）を軽減する映像を投写し続ける時間を設定します。
	メッセージ表示	[オン] にすると、リフレッシュモード実行中であることが画面に表示されます。
	開始	投写映像に残っている残像（焼き付き）を軽減します。設定した時間が経過すると、本機の電源をオフにします。リモコンのボタンを操作すると、リフレッシュモードを中止します。

設定	選択肢	説明
光源キャリブレーション	今すぐ実行	光源のホワイトバランスをキャリブレーションし、投写映像を本来の色合いに自動的に補正します。使用環境の温度によっては設定できないことがあります。（プロジェクターの電源を入れた直後は映像が安定しません。光源キャリブレーションは、投写開始から20分以上たってから行ってください。）
	定期的に実行	［オン］にすると、使用時間100時間ごとに光源キャリブレーションを実行します。
	最終実行日時	光源キャリブレーションを実行した最後の日時を表示します。
日付&時刻	日付&時刻 夏時間 インターネット時刻	本機の日付と時刻を設定します。夏時間を有効にするときは、［夏時間設定］を選択します。［インターネット時刻］をオンにすると、インターネット時刻サーバーから時刻を自動的に更新します。
スケジュール設定	—	プロジェクターにイベントスケジュールを登録して、設定した日時に選択したイベントを自動的に実行します。
無線LAN電源	オン オフ	無線LAN経由で映像を投写するには［オン］を選択します。無線LANで接続しないときは、第三者の不正アクセスを防ぐためにオフに設定してください。

設定	選択肢	説明
無線LAN診断	Ping IPアドレス 中断されるまで実行 開始	Pingを送信して、通信状況を確認します。
ログ保存先	内部メモリー USBおよび内部メモリー	エラーログや操作ログの保存先を設定します。 ［動作］メニューの［コンテンツ再生］が［オフ］のとき表示されます。
一括設定範囲	すべて 一部	一括設定機能を使って、すべてのメニュー設定をコピーするときは［すべて］を選択します。以下の設定をコピーしたくないときは［一部］を選択します。 ・［パスワードプロテクト］設定 ・［信号入出力］メニューの［EDID］ ・［ネットワーク］メニュー
言語	言語設定	メニュー、メッセージに表示する言語を選択します。
情報表示	プロジェクター情報	プロジェクターや映像信号の情報を確認します。現在投写している入力ソースによって表示する項目が異なります。
ログ表示	ステータス表示 温度警告情報 電源オンオフ履歴	［ログ保存先］で指定した場所に保存されたプロジェクターのログ情報を確認します。

設定	選択肢	説明
管理初期化	—	〔管理〕メニューで調整した、以下を除くすべての値を初期値に戻します。 ・〔言語〕



〔メニュー保護〕で〔スケジュール〕を〔オン〕にすると、〔スケジュール設定〕は変更できません。事前に〔メニュー保護〕の〔スケジュール〕を〔オフ〕に設定します。

▶ 関連項目

- ・「Event ID一覧」 [p.210](#)
- ・「ユーザーロゴを設定する」 [p.114](#)
- ・「操作パネルのボタン操作を制限する」 [p.136](#)
- ・「光源キャリブレーションを実行する」 [p.118](#)
- ・「色味を調整する（ユニフォーミティー）」 [p.117](#)
- ・「日時を設定する」 [p.50](#)
- ・「プロジェクターのイベントスケジュールを設定する」 [p.187](#)
- ・「メニューの言語を選択する」 [p.52](#)

Event ID一覧

〔情報表示〕メニューの〔Event ID〕に番号が表示されるときは、番号を確認して以下のとおり対処してください。

問題が解決しないときは、ネットワーク管理者にお問い合わせいただくか、お問い合わせ先に記載の連絡先にお問い合わせください。

Event ID	原因と対処法
0026 0032 0036 0037	Screen Mirroringの通信エラーです。プロジェクターの電源を一度切ってから、再度電源を入れます。ネットワークソフトウェアを再起動します。
0027 0028 0029 0030 0031 0035	Screen Mirroringの通信状態が不安定です。ネットワークの通信状態を確認し、しばらくしてから再接続します。
0023 0024 0025	接続に失敗しました。コンピューターにPIN入力画面が表示されたときは、ネットワーク情報画面または投写している映像の右下に表示されているPINコードを入力します。問題が解決しないときは、プロジェクターと接続機器を再起動して、接続設定を確認してください。
0043	サポート外のビデオフォーマットです。モバイルデバイスの解像度を変更して再接続します。または、プロジェクターの〔パフォーマンス調整〕を変更して再接続します。
0432 0435	ネットワークソフトウェアの起動に失敗しました。プロジェクターの電源を一度切ってから、再度電源を入れます。
0433	転送した映像を表示できません。ネットワークソフトウェアを再起動してください。
0434 0481 0482 0485	ネットワークの通信状態が不安定です。ネットワークの通信状態を確認し、しばらくしてから再接続します。
0483 04FE	ネットワークソフトウェアが予期せず終了しました。ネットワークの通信状態を確認してから、プロジェクターの電源を一度切り、再度電源を入れます。

Event ID	原因と対処法
0484	コンピューターから通信が切断されました。ネットワークソフトウェアを再起動してください。
0479 04FF	プロジェクターにシステムエラーが発生しました。プロジェクターの電源を一度切ってから、再度電源を入れます。
0891	同じSSIDのアクセスポイントが見つかりません。プロジェクター、コンピューター、アクセスポイントに同一のSSIDを設定します。
0892	WPA/WPA2/WPA3の認証方式が一致しません。無線ネットワークのセキュリティ設定が正しいことを確認します。
0893	TKIP/AES暗号化方式が一致しません。無線ネットワークのセキュリティ設定が正しいことを確認します。
0894	不正なアクセスポイントに接続したため通信が切断されました。ネットワーク管理者にお問い合わせください。
0895	接続中の機器から通信が切断されました。お使いのデバイスの接続を確認してください。
0898	DHCPの取得に失敗しました。DHCPサーバーが正しく動作していることを確認します。DHCPを使用しないときは、本機の [ネットワーク] メニューにある [DHCP] 設定を [オフ] にします。 ☛ [ネットワーク] > [ネットワーク設定] > [有線LAN] > [IP設定] > [DHCP] ☛ [ネットワーク] > [ネットワーク設定] > [無線LAN] > [IP設定] > [DHCP]
0899	その他、接続に関するエラー
089A	EAP認証方式がネットワークと一致しません。無線LANセキュリティの設定が正しいか確認してください。また、証明書が適切にインストールされているか確認してください。
089B	EAPのサーバー認証が失敗しました。無線LANセキュリティの設定が正しいか確認してください。また、証明書が適切にインストールされているか確認してください。

Event ID	原因と対処法
089C	EAPのクライアント認証が失敗しました。無線LANセキュリティの設定が正しいか確認してください。また、証明書が適切にインストールされているか確認してください。
089D	鍵交換が失敗しました。無線LANセキュリティの設定が正しいか確認してください。また、証明書が適切にインストールされているか確認してください。
0920	時刻を保持する内部電源の残量が低下しています。お買い上げの販売店またはお問い合わせ先に記載の連絡先にご相談ください。

〔ネットワーク〕メニューでは、ネットワーク情報の表示、ネットワーク経由で本機を使うための設定ができます。

よく使う項目	無線LAN情報
映像調整	有線LAN情報
信号入出力	ネットワーク設定
設置	トランスミッター設定
表示	ネットワーク初期化
動作	マルチプロジェクション
管理	プロジェクターID オフ
ネットワーク	HDMI Out設定 オフ
マルチプロジェクション	タイリング
メモリー	幾何学歪み補正 ポイント補正
初期・全体設定	エッジブレンド
	表示倍率
	ユニフォーミティー
	光源モード ノーマル
	カラーマッチング
	RGBCMY
	マルチプロジェクション初期化
	メモリー



〔メニュー保護〕で〔ネットワーク〕を〔オン〕にすると、ネットワーク設定は変更できません。事前に〔メニュー保護〕の〔ネットワーク〕を〔オフ〕に設定します。

設定	選択肢	説明
無線LAN情報	無線LAN情報	無線LANのステータス、詳細情報を表示します。
有線LAN情報	有線LAN情報	有線LANのステータス、詳細情報を表示します。

設定	選択肢	説明
ネットワーク設定	—	ネットワーク設定を構成します。詳しくは、〔ネットワーク設定〕メニューをご覧ください。
トランスミッター設定	ペアリング開始	Epson Wireless Transmitter Settingsを使って、コンピューターからトランスミッターのネットワーク情報を更新します。詳しくは『Epson Wireless Transmitter Settings操作ガイド』をご覧ください。 無線LANユニットが取り付けられ、〔ネットワーク設定〕メニューの〔シンプルAP〕が〔オン〕のとき表示されます。
	オートパワーオン	〔オン〕にすると、ワイヤレスプレゼンテーションシステムでコンピューターを接続したときに、本機の電源がオンになります。 以下の場合に表示されます。 ・〔信号入出力〕メニューの〔A/V出力〕が〔投写時〕に設定されている ・〔動作〕メニューの〔高速起動〕が〔オフ〕に設定されている
	接続ガイド表示	〔オン〕にすると、本機の起動時に入力信号がない場合に、ホーム画面ではなくトランスミッター（Epson Wireless Presentation）の接続ガイドを自動的に表示します。設定の変更は、本機の電源を入れなおしたときに有効になります。 〔動作〕メニューの〔コンテンツ再生〕が〔オフ〕のとき表示されます。

設定	選択肢	説明
ネットワーク初期化	—	〔ネットワーク〕メニューで調整したすべての値を初期値に戻します。



コンピューターのWebブラウザーを使って、ネットワークに接続されたプロジェクターのメニュー設定や制御を離れた場所から操作できます。

▶ 関連項目

- ・「ネットワーク設定メニュー」 [p.213](#)
- ・「ワイヤレスプレゼンテーションシステムを使って接続する (Windows/Macのみ)」 [p.154](#)

ネットワーク設定メニュー

〔ネットワーク設定〕メニューでは、ネットワークの基本設定ができます。



無線LANを使用するときは、以下を確認してください。

- ・無線LANユニットを本機に取り付けます (EB-L720U)。
- ・〔管理〕メニューで〔無線LAN電源〕をオンにします。

設定	選択肢	説明
プロジェクター名	16文字以内の半角英数字 (" * + , / : ; < = > ? [\] ` スペースは使用不可)	ネットワーク上で本機を識別するための名前を入力します。

設定	選択肢	説明
Remoteパスワード	8文字以内の半角英数字 (* : スペースは使用不可)	Epson Web Controlのベーシックコントロール機能で本機の制御をするときの認証用パスワードを設定します。(ユーザー名は EPSONREMOTE 、デフォルトのパスワードは guest です。) 〔動作〕メニューの〔コンテンツ再生〕が〔オフ〕のとき表示されます。
Web制御パスワード	8文字以内の半角英数字 (* : スペースは使用不可)	Web制御で本機の設定や制御をするときの認証用パスワードを設定します。(ユーザー名は EPSONWEB 、デフォルトのパスワードは admin です。)
優先制御インターフェイス	有線LAN 無線LAN	優先ゲートウェイを設定できます。
シンプルAP	オン オフ	プロジェクターを簡易アクセスポイントにして機器と接続するときは、〔オン〕に設定します。シンプルAPを使うと、以下の接続が利用できます。 ・Epson iProjectionの〔かんたんモード〕で接続する ・Screen Mirroringを使用する ・オプションのワイヤレスプレゼンテーションシステムを使用する 〔管理〕メニューの〔無線LAN電源〕が〔オン〕のとき表示されます。
SSID	自動生成SSID	シンプルAP接続で使用するプロジェクターのSSIDを表示します。

設定	選択肢	説明
セキュリティー	WPA2-PSK	シンプルAPでの通信に使うセキュリティーを表示します。
パスフレーズ	8～63文字のパスフレーズ	シンプルAP接続で使用するプロジェクターのパスフレーズを入力します。
無線LAN方式	802.11ac (Wi-Fi 5) 802.11n (Wi-Fi 4)	本機とモバイルデバイスの通信方式を選択します。 お住まいの国や地域により、選択できる方式は異なります。
チャンネル設定	チャンネル選択	シンプルAP接続で使用する無線チャンネルを選択します。
無線LAN	—	[無線LAN] メニューを参照。
有線LAN	—	[有線LAN] メニューを参照。
メール通知	—	[メール通知] メニューを参照。
プロジェクター制御	—	[プロジェクター制御] メニューを参照。
ネットワーク投写	—	[ネットワーク投写] メニューを参照。

▶ 関連項目

- ・「ネットワーク設定 - 無線LANメニュー」 [p.214](#)
- ・「ネットワーク設定 - 有線LANメニュー」 [p.216](#)
- ・「ネットワーク設定 - メール通知メニュー」 [p.217](#)
- ・「ネットワーク設定 - プロジェクター制御メニュー」 [p.218](#)
- ・「ネットワーク設定 - ネットワーク投写メニュー」 [p.219](#)

ネットワーク設定 - 無線LANメニュー

[無線LAN] メニューでは、無線LANの設定ができます。



- ・ [管理] メニューで [無線LAN電源] をオンにします。
- ・ 本機に無線LANユニットを取り付けないときは、[シンプルAP] をオフに設定してください (EB-L735U/EB-L730U/EB-L635SU/EB-L630SU/EB-L630U/EB-L630W/EB-L530U)。
- ・ 本機にオプションの無線LANユニットを取り付け、[シンプルAP] をオフに設定してください (EB-L720U)。

無線LANに接続するときは、セキュリティーを設定することを強くお勧めします。セキュリティーの設定については、ネットワーク管理者の指示に従ってください。

WPAは、無線ネットワークのセキュリティー強度を向上するための暗号化規格です。本機はAESの暗号化方式に対応しています。



WPA2/WPA3-EAPおよびWPA3-EAPはWPA3 192-bitには対応していません。

設定	選択肢	説明
アクセスポイント検索	検索画面へ移動	周囲の無線LANアクセスポイントを検索します。アクセスポイントの設定によっては、一覧に表示されないアクセスポイントがあります。
SSID	32文字以内の半角英数字	本機のSSID (ネットワーク名) を設定します。本機が接続する無線LANシステムでSSIDが定められているときは、そのSSIDを設定します。
セキュリティー	WPA2/WPA3-PSK	WPA2およびWPA3パーソナルモードで接続します。暗号化方式はアクセスポイントの設定に応じて自動的に選択されます。アクセスポイントと共通のパスフレーズを設定します。

設定	選択肢	説明
	WPA2/WPA3-EAP	WPA2およびWPA3エンタープライズモードで接続します。暗号化方式はアクセスポイントの設定に応じて自動的に選択されます。
	WPA3-PSK	WPA3パーソナルモードで接続します。WPA3によるセキュリティを使って通信を行います。暗号化にはAES方式を使用します。コンピューターからプロジェクターに接続するときは、パスフレーズに設定した値を入力してください。
	WPA3-EAP	WPA3エンタープライズモードで接続します。暗号化方式はアクセスポイントの設定に応じて自動的に選択されます。
	なし	セキュリティを設定しません。
パスフレーズ (WPA2/WPA3-PSKまたはWPA3-PSK選択時)	8～63文字のパスフレーズ	ネットワークに接続するためのパスフレーズを入力します。 パスフレーズを入力し、【決定】ボタンを押すと、値が設定されます。設定された値はアスタリスク(*)で表示されます。 セキュリティ強化のため、パスフレーズは定期的に変更することをお勧めします。ネットワーク設定を初期化すると、パスフレーズは初期値に戻ります。
EAP種類 (WPA2/WPA3-EAPまたはWPA3-EAP選択時)	PEAP	Windows Serverで広く使われている認証プロトコルです。

設定	選択肢	説明
	PEAP-TLS	Windows Serverで使われている認証プロトコルです。クライアント証明書を使用する場合に選択します。
	EAP-TLS	一般的に広く使われている、クライアント証明書を使用する認証プロトコルです。
	EAP-FAST	これらの認証プロトコルが使用されているときに指定します。
ユーザー名	64文字以内の半角英数字	ユーザー名を入力します。ドメイン名を含めて入力する必要があるときは、ユーザー名の前にバックslashで区切ってドメイン名を追加します(ドメイン名\ユーザー名) クライアント証明書をインポートしたときは、証明書の発行先が自動で設定されます。
パスワード	64文字以内の半角英数字	認証に使用するパスワードを入力します。パスワードを入力し、【設定】を選択すると、パスワードはアスタリスク(*)で表示されます。 [EAP種類] が [PEAP] または [EAP-FAST] のとき表示されます。
クライアント証明書	—	クライアント証明書をインポートします。 [EAP種類] が [PEAP-TLS] または [EAP-TLS] のとき表示されます。
サーバー証明書の検証	オン オフ	CA証明書が設定されているときに、サーバー証明書を照合するときは、[オン] に設定します。
CA証明書	—	CA証明書をインポートします。

設定	選択肢	説明
認証サーバー名	64文字以内の半角英数字	認証サーバー名を入力します。
IP設定	DHCP IPアドレス サブネットマスク ゲートウェイアドレス	[DHCP] を使用できるネットワークの場合は、[オン] にします。DHCPを使用できないネットワークの場合は、[オフ] にして、プロジェクターの [IPアドレス]、[サブネットマスク]、[ゲートウェイアドレス] を入力します。0～255の数字を入力します。 0.0.0.0、127.x.x.x、192.0.2.x、224.0.0.0～255.255.255.255のアドレスはIPアドレスに使用できません（xは0～255の数値）。 255.255.255.255、0.0.0.0～254.255.255.255のアドレスはサブネットマスクに使用できません。0.0.0.0、127.x.x.x、224.0.0.0～255.255.255.255のアドレスはゲートウェイアドレスに使用できません。
DNSサーバー1 DNSサーバー2	IPアドレス	DNSサーバーのIPアドレスを入力します。0～255の数字を入力します。DNSサーバーは、ホスト名とIPアドレスの対応関係を管理するコンピューターです。127.x.x.xのアドレスは使用できません（xは0～255の数値）。 この設定をしないで0.0.0.0のままにしておくと、DNSサーバーの情報はDHCPから取得されます。DHCPサーバーからの情報取得後も、数値は0.0.0.0のままです。

設定	選択肢	説明
IPv6	オン オフ	IPv6を使用してプロジェクターをネットワークに接続するときは、[オン] にします。 Epson Web ControlおよびPJLinkを使ったネットワーク経由の監視・制御はIPv6に対応しています。
自動構成	オン オフ	[オン] の場合、ルーター広告に従い、アドレスを自動で取得します。
一時アドレスの使用	オン オフ	[オン] にすると、一時IPv6アドレスを使用します。
IPアドレス表示	オン オフ	ネットワーク情報画面やホーム画面にIPアドレスを表示するときは、[オン] にします。

ネットワーク設定 - 有線LANメニュー

[有線LAN] メニューでは、有線LANの設定ができます。

設定	選択肢	説明
IP設定	DHCP IPアドレス サブネットマスク ゲートウェイアドレス	[DHCP] を使用できるネットワークの場合は、[オン] にします。DHCP を使用できないネットワークの場合は、[オフ] にして、プロジェクターの [IPアドレス]、[サブネットマスク]、[ゲートウェイアドレス] を入力します。0～255の数字を入力します。 0.0.0.0、127.x.x.x、192.0.2.x、224.0.0.0～255.255.255.255のアドレスはIPアドレスに使用できません（xは0～255の数値）。 255.255.255.255、0.0.0.0～254.255.255.255のアドレスはサブネットマスクに使用できません。0.0.0.0、127.x.x.x、224.0.0.0～255.255.255.255のアドレスはゲートウェイアドレスに使用できません。
DNSサーバー1 DNSサーバー2	IPアドレス	DNSサーバーのIPアドレスを入力します。0～255の数字を入力します。DNSサーバーは、ホスト名とIPアドレスの対応関係を管理するコンピューターです。127.x.x.xのアドレスは使用できません（xは0～255の数値）。 この設定をしないで0.0.0.0のままにしておくと、DNSサーバーの情報はDHCPから取得されます。DHCPサーバーからの情報取得後も、数値は0.0.0.0のままです。

設定	選択肢	説明
IPv6	オン オフ	IPv6を使用してプロジェクターをネットワークに接続するときは、[オン] にします。 Epson Web ControlおよびPJLinkを使ったネットワーク経由の監視・制御はIPv6に対応しています。
自動構成	オン オフ	[オン] の場合、ルーター広告に従い、アドレスを自動で取得します。
一時アドレスの使用	オン オフ	[オン] にすると、一時IPv6アドレスを使用します。
IPアドレス表示	オン オフ	ネットワーク情報画面やホーム画面にIPアドレスを表示するときは、[オン] にします。

ネットワーク設定 - メール通知メニュー

[メール通知] メニューでは、本機が異常/警告状態になったとき、異常状態を電子メールで通知するための設定ができます。

設定	選択肢	説明
メール通知	オン オフ	[オン] にすると、本機が異常/警告状態になったとき、設定した宛先に異常状態を通知するメールを送信します。
SMTPサーバー	IPアドレス	SMTPサーバーのIPアドレスを入力します。0～255の数字を入力します。 127.x.x.x、192.0.2.x、224.0.0.0～255.255.255.255のIPアドレスは使用できません（xは0～255の数値）。

設定	選択肢	説明
認証タイプ	Open Auth SSL TLS	SMTPサーバーの認証方式を設定します。
ポート番号	1～65535（デフォルトは25）	SMTPサーバーのポート番号を入力します。
ユーザー名	64文字以内の半角英数字	SMTPサーバーのユーザー名を入力します。
パスワード	64文字以内の半角英数字	SMTP認証に使うパスワードを入力します。
送信元アドレス	64文字以内の半角英数字	送信者のメールアドレスを入力します。
宛先1設定 宛先2設定 宛先3設定	("()、.;:<>[\]スペースは使用不可)	メールアドレスおよびメール通知する異常/警告の種類を選択します。

ネットワーク設定 - プロジェクター制御メニュー

［プロジェクター制御］メニューでは、本機をネットワーク経由で設定・制御をするための設定ができます。

設定	選択肢	説明
PJLink	オン オフ	PJLink通知機能を使うときは、［オン］に設定します。
PJLinkパスワード	32文字以内の半角英数字 （@以外の記号は使用不可）	PJLink対応アプリケーションを使って本機を制御するときの認証用パスワードを設定します。

設定	選択肢	説明
通知先IPアドレス	IPアドレス	PJLink通知機能が有効なとき、プロジェクターのステータスを通知するコンピュータのIPアドレスを入力します。0～255の数字を入力します。 127.x.x.x、224.0.0.0～255.255.255.255のIPアドレスは使用できません（xは0～255の数値）。
SNMP	オン オフ	［オン］にすると、SNMPを使用して本機を監視します。本機を監視するには、コンピュータにSNMPマネージャプログラムがインストールされている必要があります。SNMPによる管理は、必ずネットワーク管理者が行ってください。
トラップIPアドレス1 トラップIPアドレス2	IPアドレス	SNMP通知を受信するIPアドレスを入力します。0～255の数字を入力します。 224.0.0.0～255.255.255.255のIPアドレスは使用できません（xは0～255の数値）。
コミュニティ名	32文字以内の半角英数字 （@以外の記号は使用不可）	SNMPコミュニティ名を入力します。
AMX Device Discovery	オン オフ	［オン］にすると、AMX Device Discoveryを使用して本機の検出ができます。

設定	選択肢	説明
Crestron Connected	オン オフ	[オン] にすると、Crestron Connectedを使用してプロジェクターの監視と制御ができます。 Crestron Connectedを有効にすると、Epson Projector Managementのメッセージ配信機能が無効になります。
Control4 SDDP	オン オフ	[オン] にすると、Control4 SDDP (Simple Device Discovery Protocol) を使って本機の情報を送信します。
セキュアHTTP	オン オフ	Web制御でのプロジェクターとコンピュータの通信を暗号化し、セキュリティを強化します。セキュリティの設定をWeb制御で行う場合は、[オン] に設定することをお勧めします。
Webサーバー証明書	—	セキュアHTTP機能のWebサーバー証明書を本機にインポートします。

ネットワーク設定 - ネットワーク投写メニュー

[ネットワーク投写] メニューでは、ネットワーク経由で映像を投写するための設定ができます。

設定	選択肢	説明
プロジェクターキーワード	オン オフ	[オン] にすると、他のユーザーが誤って映像を投写しないように、セキュリティパスワードを有効にできます。コンピュータやモバイルデバイスの映像を投写するときは、投写画面に表示されるキーワードをEpson iProjectionで入力する必要があります。
Epson iProjection	オン オフ	Epson iProjectionを使用するときは、[オン] に設定します。
SSID表示	オン オフ	ネットワーク情報画面やホーム画面にSSIDを表示するときは、[オン] にします。
LAN情報表示	テキストとQRコード テキスト	本機のネットワーク情報の表示形式を設定します。 QRコードを表示させると、Epson iProjectionでQRコードを読み取るだけで本機とモバイルデバイスをネットワーク接続できます。
モデレーターパスワード	4桁の数字	Epson iProjectionを使って、モデレーターとして本機に接続するときの認証用パスワードを入力します。(デフォルトのパスワードは設定されていません。)
キーワード割り込み表示	オン オフ	[オン] にすると、Epson iProjectionでプロジェクターに接続したときに、投写画面にプロジェクターキーワードを表示します。 [プロジェクターキーワード] が [オン] に設定されているときのみ有効。

設定	選択肢	説明
Screen Mirroring	オン オフ	Screen Mirroring機能を使用するときは、[オン] に設定します。
割り込み接続	オン オフ	[オン] にすると、Screen Mirroringでの投写中に他のユーザーが投写画面を切り替えられます。
パフォーマンス調整	1 (きれい) 2 3 4 (速い)	Screen Mirroringの映像表示速度および品質を調整します。 1：表示品質が向上します。 4：表示速度が向上します。
HDMI Out映像出力 (EB-L735U/EB-L730U/EB-L635SU/EB-L630SU/EB-L6300U/EB-L630W/EB-L530U)	オン オフ	[オン] にすると、Screen Mirroringの映像をHDMI Out端子に出力できます。HDCPとH.265が無効になり、HDCPで保護された映像やH.265の動画コーデックで作成された映像が投写できなくなることがあります。HDCPやH.265の映像を投写したいときは [オフ] に設定します。
Screen Mirroring 情報表示	オン オフ	[オン] にすると、Screen Mirroringソースを投写しているときに、機器の接続に必要な情報を表示します。
メッセージ配信	オン オフ	[オン] にすると、Epson Projector Managementで配信したメッセージが受信できます。詳しくは『Epson Projector Management操作ガイド』をご確認ください。 [プロジェクター制御] メニューの [Crestron Connected] が [オフ] のとき表示されます。
画面共有	オン オフ	複数のプロジェクターで投写映像を共有するときは、[オン] に設定します。

設定	選択肢	説明
接続モード	キーワードあり キーワードなし	[キーワードなし] に設定すると、他のプロジェクターへ接続するときにキーワードの入力を省略できます。

▶ 関連項目

- ・「画面共有」 [p.164](#)

〔マルチプロジェクション〕メニューでは、複数のプロジェクターを並べて、一つの大きな映像を作るための設定ができます。

よく使う項目	プロジェクターID	オフ
映像調整	HDMI Out設定	オフ
信号入出力	タイリング	
設置	幾何学歪み補正	ポイント補正
表示	エッジブレンディング	
動作	表示倍率	
管理	ユニフォーミティー	
ネットワーク	光源モード	ノーマル
マルチプロジェクション	カラーマッチング	
メモリー	RGBCMY	
初期・全体設定	マルチプロジェクション初期化	
	メモリー	
	メモリー保存	
	メモリー呼出	
	メモリー名称変更	
	メモリー削除	
	メモリー初期化	
	初期・全体設定	

設定	選択肢	説明
プロジェクターID	オフ 1～9	複数のプロジェクターをリモコンから操作するときに使う本機のIDを設定します。
HDMI Out設定 (EB-L735U/EB-L730U/EB-L635SU/EB-L630SU/EB-L630U/EB-L630W/EB-L530U)	オフ パススルー	4台までのプロジェクターをHDMIケーブルで接続して、ひとつの横長の映像として投写するときは、〔パススルー〕に設定します。 〔パススルー〕に設定しているときは、HDMI1、HDMI2、またはHDBaseTソースの映像のみ投写できます。

設定	選択肢	説明
台数 (EB-L735U/EB-L730U/EB-L635SU/EB-L630SU/EB-L630U/EB-L630W/EB-L530U)	2～4	接続するプロジェクターの数を設定します。 〔HDMI Out設定〕が〔パススルー〕のとき表示されます。
順番 (EB-L735U/EB-L730U/EB-L635SU/EB-L630SU/EB-L630U/EB-L630W/EB-L530U)	1～4	左端にあるプロジェクターを1として、各プロジェクターの位置を設定します。 〔HDMI Out設定〕が〔パススルー〕のとき表示されます。
タイリング	画面構成 配置設定	映像の分割数と、各映像の投写位置を設定します。 〔HDMI Out設定〕が〔オフ〕のとき表示されます。
幾何学歪み補正	—	〔設置〕メニューの〔幾何学歪み補正〕を参照。
エッジブレンディング	エッジブレンディング エッジ位置(上) エッジ位置(下) エッジ位置(左) エッジ位置(右) マーカー表示 パターン表示 表示色	映像のつなぎ目を補正します。

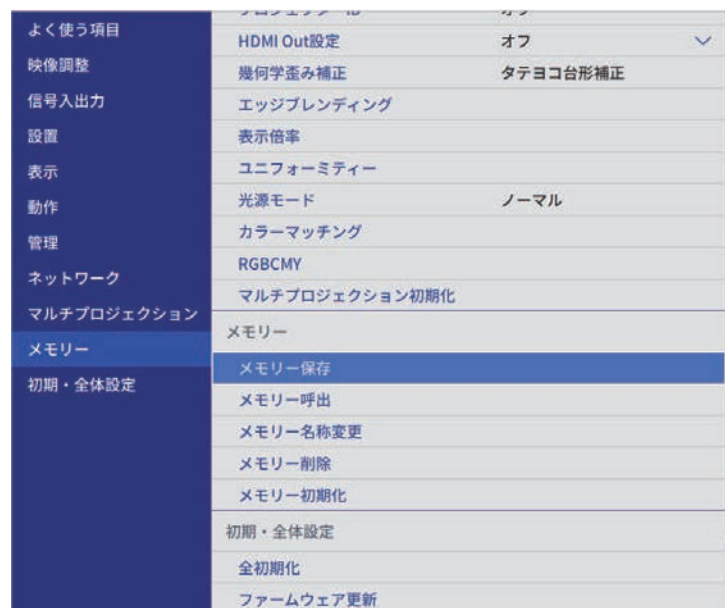
設定	選択肢	説明
黒レベル調整	カラー調整 エリア補正 初期化	映像が重なった部分の黒色を調整します。 [エッジ位置(上)]、[エッジ位置(下)]、[エッジ位置(左)]、または[エッジ位置(右)]の[ブレンディング]を[オン]に設定しているとき表示されます。
表示倍率	—	[映像調整]メニューの[表示倍率]を参照。
ユニフォーミティー	—	[管理]メニューの[ユニフォーミティー]を参照。
光源モード	—	[動作]メニューの[光源モード]を参照。
カラーマッチング	調整レベル 赤 緑 青 明るさ	各映像の色合いや明るさの差を補正します。
RGBCMY	—	[映像調整]メニューの[RGBCMY]を参照。
マルチプロジェクション初期化	—	[マルチプロジェクション]メニューの調整値を初期値に戻します。

- ・「映像のつなぎ目を補正する」 [p.125](#)
- ・「黒レベルを調整する」 [p.127](#)
- ・「複数台のプロジェクターを接続する」 [p.40](#)

▶ 関連項目

- ・「複数台のプロジェクターから投写する（マルチプロジェクション機能）」 [p.120](#)
- ・「設置メニュー」 [p.199](#)
- ・「映像調整メニュー」 [p.193](#)
- ・「管理メニュー」 [p.208](#)
- ・「動作メニュー」 [p.204](#)

「メモリー」メニューでは、映像調整の調整値を保存、呼び出し、管理ができます。

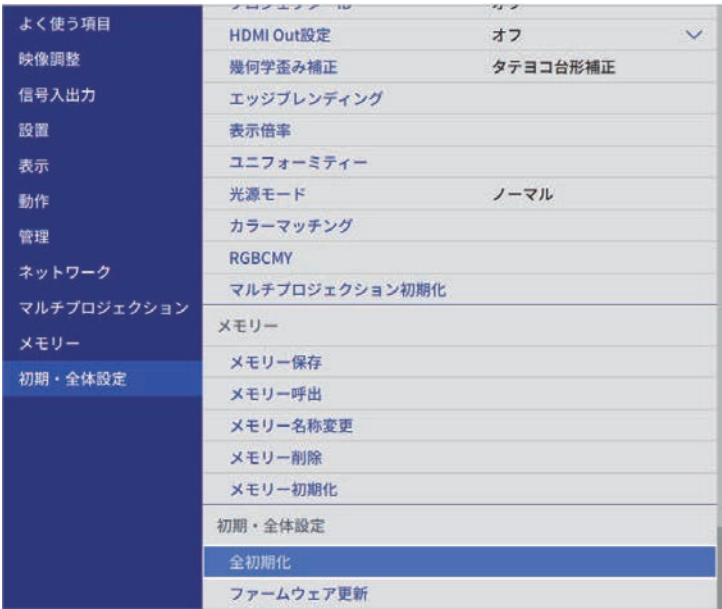


関連項目

- 「保存したメモリーを呼び出す」 [p.70](#)
- 「プロジェクターの設定をメモリーに保存する」 [p.116](#)

設定	選択肢	説明
メモリー保存	Memory1～10	設定値をメモリーに保存します。
メモリー呼出	Memory1～10	メモリーに保存された調整値を投写中の映像に適用します。
メモリー名称変更	Memory1～10	保存したメモリーの名称を変更します。
メモリー削除	Memory1～10	保存したメモリーを削除します。
メモリー初期化	—	保存したメモリーをすべて削除します。

「初期・全体設定」メニューでは、本機の設定を初期化できます。また、プロジェクターのファームウェアを更新できます。



設定	選択肢	説明
全初期化	—	すべての設定を初期値に戻します。
ファームウェア更新	—	ファームウェア更新モードになり、USB-AまたはService端子を使ってファームウェアのアップデートができます。

全初期化項目

「全初期化」を選択すると、次の画面が表示されます。



特定のメニューを初期化しないときは、メニューのチェックボックスを外します。「実行」を選択すると、初期化します。

以下の設定は、初期値に戻りません。

- ・「デジタルズーム」 (EB-L635SU/EB-L630SU)
- ・「デジタルピクチャーシフト」 (EB-L635SU/EB-L630SU)
- ・「Eズーム」 (EB-L720U)
- ・「言語」

▶ 関連項目

- ・「ファームウェアを更新する」 [p.236](#)

本機で設定したメニューの内容を、以下の方法で他の複数台のプロジェクターにコピーできます（一括設定機能）。一括設定機能は同じ型番のプロジェクター間でのみ使用できます。

- ・ USBメモリーを使って設定する
- ・ コンピューターとプロジェクターをUSBケーブルで接続して設定する
- ・ Epson Projector Managementを使って設定する

〔光源使用時間〕や〔ステータス〕などのプロジェクター固有の情報はコピーできません。



- ・ 台形補正などの投写画面の調整をする前に一括設定機能を実行してください。一括設定機能では、タテヨコ補正などの投写画面の調整値もコピーされます。投写画面の調整後に一括設定を行うと、調整した投写画面が変わってしまうことがあります。
- ・ 一括設定機能を実行すると、ユーザーロゴもコピーされます。複数のプロジェクター間で共有したくない画像は、ユーザーロゴとして設定しないでください。
- ・ 以下の設定をコピーしたくないときは、〔一括設定範囲〕を〔一部〕に設定してください。
 - ・ 〔パスワードプロテクト〕設定
 - ・ 〔信号入出力〕メニューの〔EDID〕
 - ・ 〔ネットワーク〕メニュー
 - ☛ 〔管理〕 > 〔一括設定範囲〕

⚠ 注意

一括設定は、お客様の責任において行ってください。停電や通信異常などが原因で一括設定に失敗したときは、有償修理となることがあります。

▶ 関連項目

- ・ 「USBメモリーを使って一括設定する」 [p.225](#)
- ・ 「コンピューターを使って一括設定する」 [p.226](#)

USBメモリーを使って一括設定する

USBメモリーを使用して、同じ型番のプロジェクターにメニュー設定をコピーできます。



FAT形式でフォーマットされ、セキュリティ機能のついていないUSBメモリーを使用してください。また、空のUSBメモリーを使用してください。一括設定ファイル以外のデータが入っていると、設定を正しく保存できないことがあります。

- 1** プロジェクターから電源コードを外し、すべてのインジケーターが消えていることを確認します。
- 2** 空のUSBメモリーを、コピー元のプロジェクターのUSB-A端子に直接接続します。
- 3** リモコンまたは操作パネルの【戻る】ボタンを押したまま、電源コードをプロジェクターに接続します。
- 4** インジケーターがすべて点灯したら、【戻る】ボタンを離します。

インジケーターが点滅に変わると、一括設定ファイルがUSBメモリーに書き込まれます。書き込みが正常に終了すると、プロジェクターがスタンバイ状態になります。

⚠ 注意

ファイルの書き込み中は、プロジェクターから電源コードやUSBメモリーを取り外さないでください。電源コードやUSBメモリーを取り外すと、プロジェクターが正常に起動しなくなることがあります。

- 5** USBメモリーを取り外します。



一括設定ファイルのファイル名はPJCONFDATA.binです。ファイル名を変更するときは、半角英数字のみを使用してPJCONFDATAの後に文字列を追加します。ファイル名のPJCONFDATAの部分を変更すると、ファイルが正しく認識できないことがあります。

6 コピー先のプロジェクターから電源コードを外し、すべてのインジケーターが消えていることを確認します。

7 一括設定ファイルが保存されているUSBメモリーを、コピー先のプロジェクターのUSB-A端子に接続します。

8 リモコンまたは操作パネルの【メニュー】ボタンを押したまま、電源コードをプロジェクターに接続します。

9 インジケーターがすべて点灯したら、【メニュー】ボタンを離します。

インジケーターが点滅に変わると、一括設定の書き込みが始まります。書き込みが正常に終了すると、プロジェクターがスタンバイ状態になります。

⚠ 注意

ファイルの書き込み中は、プロジェクターから電源コードやUSBメモリーを取り外さないでください。電源コードやUSBメモリーを取り外すと、プロジェクターが正常に起動しなくなることがあります。

10 USBメモリーを取り外します。

コンピューターを使って一括設定する

コンピューターとプロジェクターをUSBケーブルで接続して、同じ型番のプロジェクターにメニュー設定をコピーできます。



USBケーブルを使用した一括設定機能は、以下のバージョンで使用できます。

- Windows 7以降
- OS X 10.11.x以降

1 プロジェクターから電源コードを外し、すべてのインジケーターが消えていることを確認します。

2 コンピューターのUSB端子とコピー元のプロジェクターのService端子を、USBケーブルで接続します。

3 リモコンまたは操作パネルの【戻る】ボタンを押したまま、電源コードをプロジェクターに接続します。

4 インジケーターがすべて点灯したら、【戻る】ボタンを離します。

コンピューター上で、プロジェクターがリムーバブルディスクとして認識されます。

5 リムーバブルディスクを開き、一括設定ファイルをコンピューターにコピーして保存します。



一括設定ファイルのファイル名はPJCONFDATA.binです。ファイル名を変更するときは、半角英数字のみを使用してPJCONFDATAの後に文字列を追加します。ファイル名のPJCONFDATAの部分を変更すると、ファイルが正しく認識できないことがあります。

- 6** コンピューター上でUSB機器の取り出し（Windows）、またはリムーバブルディスクの取り出し（Mac）をします。
- 7** USBケーブルを取り外します。
プロジェクターがスタンバイ状態になります。
- 8** コピー先のプロジェクターから電源コードを外し、すべてのインジケーターが消えていることを確認します。
- 9** USBケーブルを、コンピューターのUSB端子とコピー先のプロジェクターのService端子に接続します。
- 10** リモコンまたは操作パネルの【メニュー】ボタンを押したまま、電源コードをプロジェクターに接続します。
- 11** インジケーターがすべて点灯したら、【メニュー】ボタンを離します。
コンピューター上で、プロジェクターがリムーバブルディスクとして認識されます。
- 12** コンピューターに保存した一括設定ファイル（PJCONFDATA.bin）を、リムーバブルディスクの最上位のフォルダーにコピーします。



一括設定ファイル以外のファイルやフォルダーをリムーバブルディスクにコピーしないでください。

- 13** コンピューター上でUSB機器の取り出し（Windows）、またはリムーバブルディスクの取り出し（Mac）をします。
- 14** USBケーブルを取り外します。

インジケーターが点滅に変わると、一括設定の書き込みが始まります。書き込みが正常に終了すると、プロジェクターがスタンバイ状態になります。

⚠ 注意

ファイルの書き込み中は、プロジェクターから電源コードを外さないでください。電源コードを外すと、プロジェクターが正常に起動しないことがあります。

▶ 関連項目

- ・「一括設定でエラーが発生したときは」 [p.227](#)

一括設定でエラーが発生したときは

一括設定でエラーが発生したときは、インジケーターでお知らせします。インジケーターの状態をご確認ください。

インジケーターの状態	状態と対処方法
・ レーザー：橙 速点滅 ・ 温度：橙 速点滅	一括設定ファイルに異常があるか、USBメモリーが正しく接続されていない可能性があります。 USBメモリーを取り外し、プロジェクターの電源コードを抜いて差し直してから、もう一度お試しください。
・ 電源：青 速点滅 ・ ステータス：青 速点滅 ・ レーザー：橙 速点滅 ・ 温度：橙 速点滅	一括設定ファイルの書き込みに失敗して、プロジェクターのファームウェアに異常が生じた可能性があります。 ご使用をやめ、電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げの販売店またはお問い合わせ先に記載の連絡先にご相談ください。

プロジェクターをメンテナンスする

プロジェクターのメンテナンス方法について説明します。

▶ 関連項目

- ・「プロジェクターのメンテナンス」 [p.229](#)
- ・「レンズを清掃する」 [p.230](#)
- ・「本機を清掃する」 [p.231](#)
- ・「エアフィルターと吸排気口をメンテナンスする」 [p.232](#)
- ・「ファームウェアを更新する」 [p.236](#)

プロジェクターのレンズは定期的に掃除する必要があります。また、エアフィルターや吸排気口も掃除して、本機の内部温度が上昇しないようにしてください。

交換が必要な部品は、エアフィルターとリモコンの電池のみです。他の部品を交換する必要があるときは、お買い上げの販売店またはお問い合わせ先に記載の連絡先にご相談ください。

警告

掃除をするときは、本機の電源をオフにして電源コードを抜いてから行ってください。また、取扱説明書で指示している場合を除き、本機のケースを開けないでください。内部には電圧の高い部分が数多くあり、火災・感電・事故の原因となります。

プロジェクターのレンズは定期的に掃除し、表面に付着したホコリや汚れに気付いたときにも掃除してください。

- レンズのホコリや汚れは、市販のメガネ拭きなどで軽くふき取ってください。
- 汚れがひどいときは、柔らかい布をレンズクリーナーで湿らせ、レンズを軽くふき取ります。レンズに液体を直接スプレーしないでください。

警告

レンズに付着したゴミ・ホコリの除去に可燃性ガスのスプレーを使用しないでください。本機の内部は高温になっているため、引火による火災の原因となります。

注意

レンズの表面は傷つきやすいので、かたいものでこすったり、たたいたりしないでください。また、エアダスターも使用しないでください。

本機の掃除をするときは、本機の電源をオフにして電源コードを抜いてください。

- 本機のコリや汚れは柔らかい布で軽くふき取ってください。
- 汚れがひどいときは、水で薄めた中性洗剤に布をひたしてかたくしぼり、軽くふき取ってから乾いた布で仕上げてください。本機に液体を直接スプレーしないでください。

注意

ワックス、ベンジン、シンナーなど揮発性のものは使わないでください。本機のケースが変質、変色することがあります。また、エアダスターも使用しないでください。

エアフィルターは定期的にメンテナンスしてください。プロジェクターの内部温度が高くなっていることを示すメッセージが表示されたら、エアフィルターを掃除してください。エアフィルターの掃除は20,000時間を目安に行ってください。ホコリの多い環境でお使いの場合は、より短い周期で掃除してください。（大気中に含まれる粒子物質が0.04～0.2 mg/m3の環境下での使用を想定しています。）

注意

定期的にメンテナンスをしないと、プロジェクターの内部温度が高くなったときにメッセージが表示されます。内部の温度が上昇すると、故障や光学部品の早期劣化の原因となります。メッセージが表示されたらすみやかにエアフィルターを掃除してください。

関連項目

- ・「エアフィルターと吸気口を清掃する」 [p.232](#)
- ・「エアフィルターを交換する」 [p.234](#)

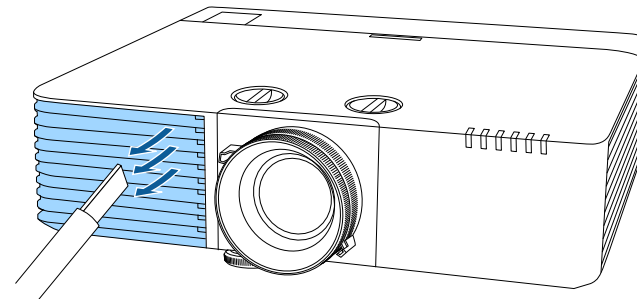
エアフィルターと吸気口を清掃する

以下の場合は、エアフィルターを清掃してください。

- ・エアフィルターや吸気口が汚れたとき
- ・清掃を促すメッセージが表示されたとき
- ・フィルターインジケータがオレンジ色に点滅したとき

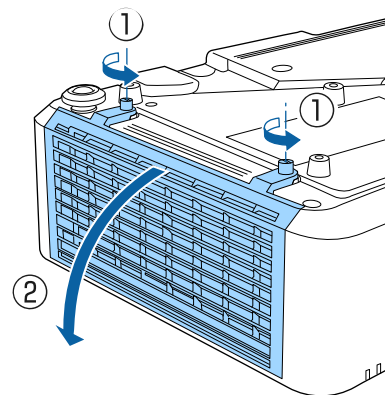
1 本機の電源を切り、電源コードを抜きます。

2 掃除機、またはブラシで丁寧にホコリを取ります。

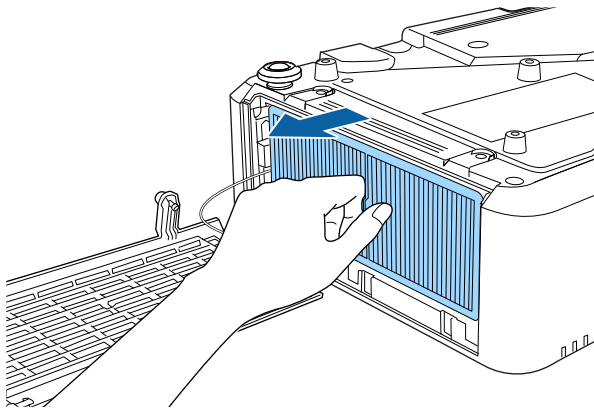


3 底面を上にしてします。

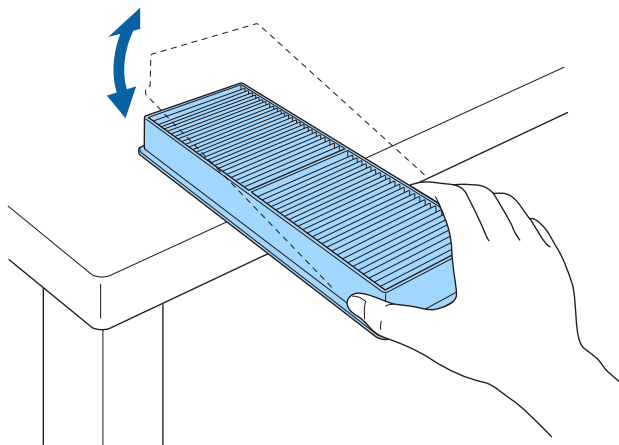
4 固定ネジをゆるめて、エアフィルターカバーを開けます。



- 5** エアフィルターを取り外します。



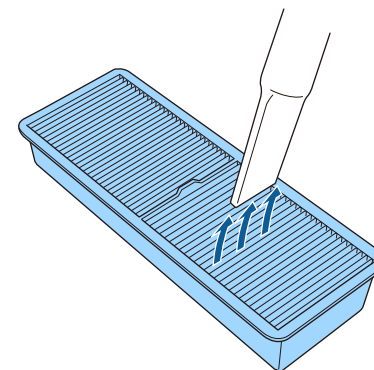
- 6** エアフィルターの両端を4～5回軽く叩いて、ホコリを落とします。



注意

強く叩きすぎると、エアフィルターが割れて正しく装着できなくなることがあります。

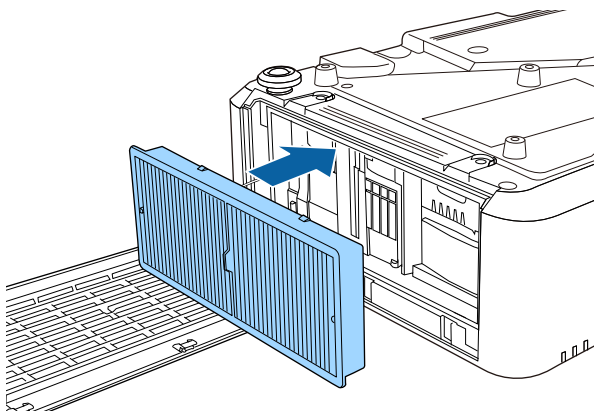
- 7** 掃除機でエアフィルターに残ったホコリを表側から吸い取ります。



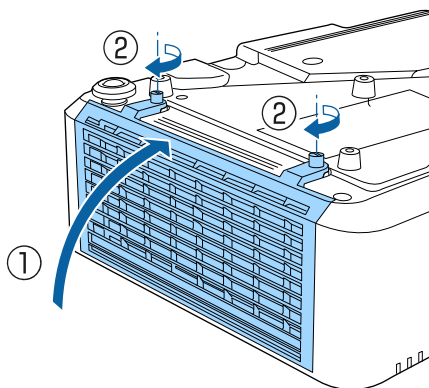
注意

- ・エアフィルターは水洗いできません。洗剤や溶剤も使わないでください。
- ・エアダスターは使用しないでください。可燃性の物質が残留したり、精密部分にホコリが入り込むおそれがあります。

8 エアフィルターを取り付けます。



9 エアフィルターカバーを閉めて、固定ネジを締めます。



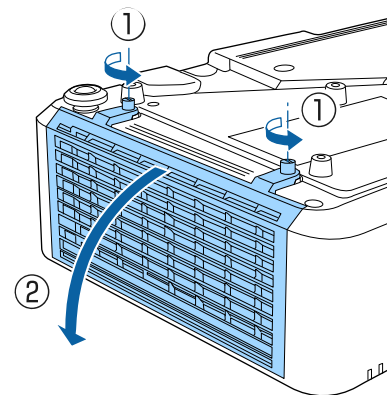
- ・エアフィルターの清掃後に、フィルターインジケーターがオレンジ色に点滅する
- ・エアフィルターが破損している

本機は天吊り設置したままでもエアフィルターの交換ができます。

1 本機の電源を切り、電源コードを抜きます。

2 底面を上にしてします。

3 固定ネジをゆるめて、エアフィルターカバーを開けます。

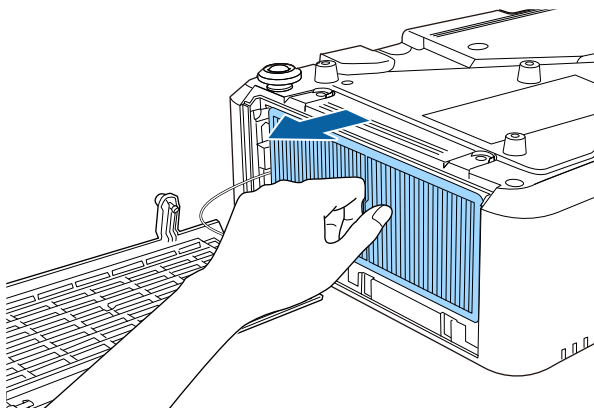


エアフィルターを交換する

以下の場合、エアフィルターを交換してください。

- ・エアフィルターの清掃後に、清掃または交換を促すメッセージが表示される

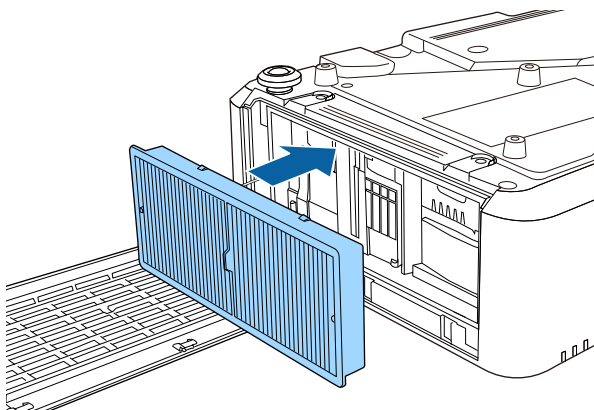
4 エアフィルターを取り外します。



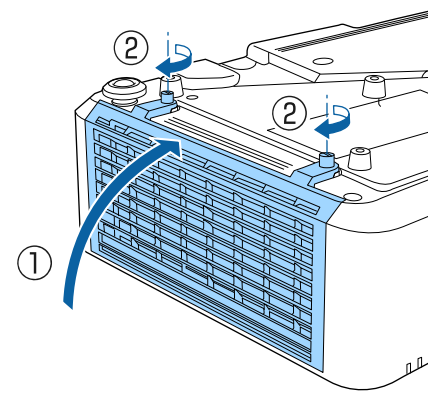
使用済みのエアフィルターは、地域の廃棄ルールに従って廃棄してください。

- ・ フィルターの枠：ポリプロピレン
- ・ フィルター：ポリプロピレン

5 新しいエアフィルターを取り付けます。



6 エアフィルターカバーを閉めて、固定ネジを締めます。



〔初期・全体設定〕メニューの〔ファームウェア更新〕を選択すると、プロジェクターがファームウェア更新モードになります。USB-A、またはService端子を使用してファームウェアを更新します。

▶ 関連項目

- ・「USBストレージを使ってファームウェアを更新する」 [p.236](#)
- ・「コンピューターとUSBケーブルを使ってファームウェアを更新する」 [p.237](#)

USBストレージを使ってファームウェアを更新する

USBストレージを使って、プロジェクターのファームウェアを更新します。



ファームウェアの更新は、お客様の責任において行ってください。停電や通信異常などが原因でファームウェアの更新に失敗したときは、修理費用が有償となることがあります。

- 1** エプソンのホームページからお使いのプロジェクター用のファームウェアファイルをダウンロードします。
- 2** ダウンロードしたファームウェアファイルを、USBストレージのルート（最上位のフォルダー）にコピーします。



- ・ USBストレージはFAT形式でフォーマットしたものを使用してください。
- ・ USBストレージ内に、ファームウェアファイル以外のファイルをコピーしないでください。
- ・ ファームウェアファイルのファイル名は変更しないでください。ファイル名を変更すると、ファームウェアの更新が開始されません。
- ・ ダウンロードしたファームウェアファイルが、お使いのプロジェクター用のファイルであることを確認してください。ファームウェアファイルが正しくないときは、ファームウェアの更新は始まりません。

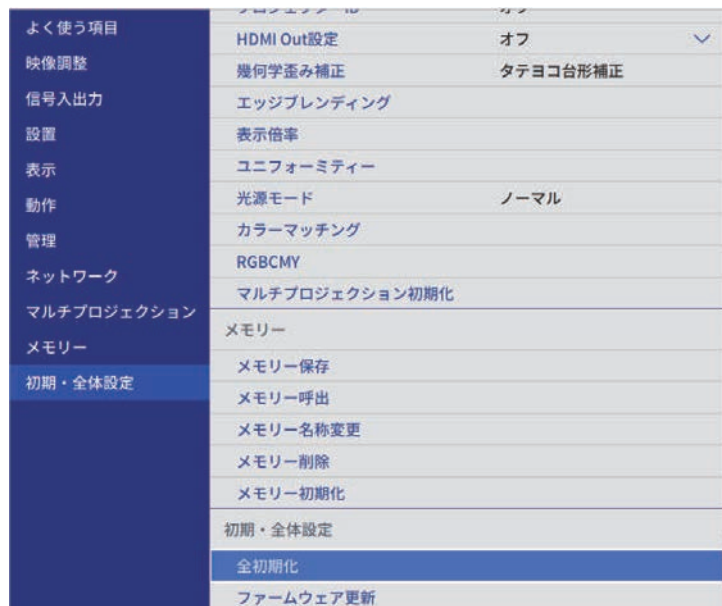
3

本機のUSB-A端子にUSBストレージを接続します。



USBストレージは、プロジェクターに直接接続してください。USBハブを介してUSBストレージを接続すると、ファームウェアの更新が正常に行われないことがあります。

- 4** 【メニュー】ボタンを押し、〔初期・全体設定〕を選択して、【決定】ボタンを押します。



- 5** 〔ファームウェア更新〕を選択し、【決定】ボタンを押します。

- 6** 〔はい〕を選択して、ファームウェア更新を開始します。



- ・ファームウェアの更新中は、プロジェクターから電源コードを外さないでください。電源コードを外すと、プロジェクターが正常に起動しないことがあります。
- ・ファームウェアの更新中は、プロジェクターからUSBストレージを外さないでください。USBストレージを取り外すと、ファームウェアの更新が正常に行われなかったことがあります。

プロジェクターのインジケータがすべて点灯から点滅に変わり、ファームウェアの更新が開始されます。更新が正常に終了すると、プロジェクターがスタンバイ状態になります。〔動作〕メニューの〔ダイレクトパワーオン〕が〔オン〕に設定されているときは、更新後に自動で電源が入ります。

更新が終わったら、〔管理〕メニューの〔情報表示〕を選択し、〔バージョン〕が正しく更新されているかを確認します。



すべてのインジケータが高速で点滅するときは、ファームウェアの更新が失敗した可能性があります。プロジェクターから電源コードを抜いて、もう一度差し直してください。電源コードを差し直しても点滅するときは、コンセントから電源プラグを抜き、お買い上げの販売店またはお問い合わせ先に記載の連絡先にご相談ください。

コンピューターとUSBケーブルを使ってファームウェアを更新する

コンピューターとプロジェクターをUSBケーブルで接続して、プロジェクターのファームウェアを更新します。



- ・ファームウェアの更新は、お客様の責任において行ってください。停電や通信異常などが原因でファームウェアの更新に失敗したときは、修理費用が有償となることがあります。
- ・ファームウェアを更新するには、お使いのコンピューターのOSが以下のいずれかである必要があります。
 - ・ Windows 8.1 (32/64ビット)
 - ・ Windows 10 (32/64ビット)
 - ・ macOS 10.13.x (64ビット)
 - ・ macOS 10.14.x (64ビット)
 - ・ macOS 10.15.x (64ビット)

- 1 エプソンのホームページからお使いのプロジェクター用のファームウェアファイルをダウンロードします。

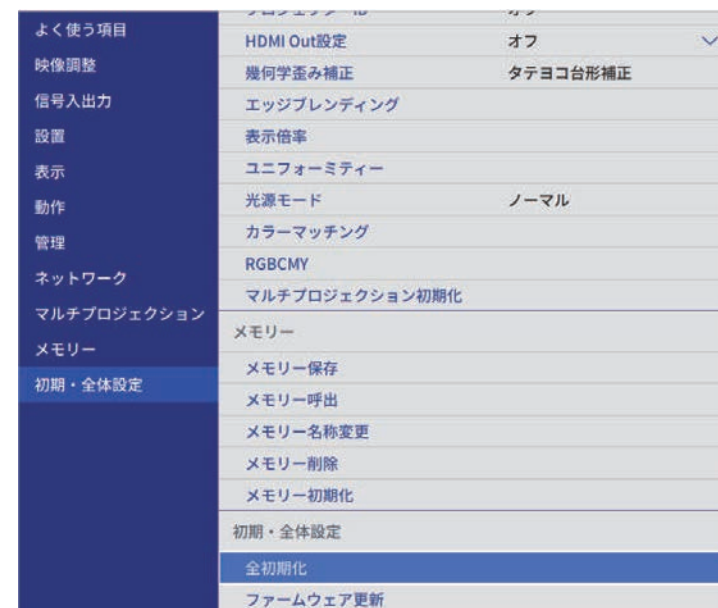


- ・ファームウェアファイルのファイル名は変更しないでください。ファイル名を変更すると、ファームウェアの更新が開始されません。
- ・ダウンロードしたファームウェアファイルが、お使いのプロジェクター用のファイルであることを確認してください。ファームウェアファイルが正しくないときは、ファームウェアの更新は始まりません。

- 2 USBケーブルを、コンピューターのUSB端子とコピー先のプロジェクターのService端子に接続します。

3

- 3 【メニュー】ボタンを押し、[初期・全体設定]を選択して、【決定】ボタンを押します。



4

- 4 [ファームウェア更新]を選択し、【決定】ボタンを押します。

5

- 5 [はい]を選択して、ファームウェア更新を開始します。



ファームウェアの更新中は、プロジェクターから電源コードを外さないでください。電源コードを外すと、プロジェクターが正常に起動しないことがあります。

プロジェクターのインジケータがすべて点灯し、ファームウェア更新モードになります。コンピューター上で、プロジェクターがリムーバブルディスクとして認識されます。

- 6** コンピューター上で、リムーバブルディスクのルート（最上位のフォルダー）にファームウェアファイルをコピーします。



- ・ファームウェア以外のファイルやフォルダーをリムーバブルディスクにコピーしないでください。ファイルやフォルダーが失われる可能性があります。
- ・ファームウェアファイルがリムーバブルディスクにコピーされていない状態でUSBケーブルまたは電源ケーブルが抜けたときは、自動的に電源がオフになります。はじめから操作をやり直してください。

- 7** コンピューター上で、USBデバイスの取り外しを行い、プロジェクターからUSBケーブルを外します。

プロジェクターのインジケーターがすべて点灯から点滅に変わり、ファームウェアの更新が開始されます。更新が正常に終了すると、プロジェクターがスタンバイ状態になります。[動作]メニューの[ダイレクトパワーオン]が[オン]に設定されているときは、更新後に自動で電源が入ります。

更新が終わったら、[管理]メニューの[情報表示]を選択し、[バージョン]が正しく更新されているかを確認します。



- ・すべてのインジケーターが高速で点滅するときは、ファームウェアの更新が失敗した可能性があります。プロジェクターから電源コードを抜いて、もう一度差し直してください。電源コードを差し直しても点滅するときは、コンセントから電源プラグを抜き、お買い上げの販売店またはお問い合わせ先に記載の連絡先にご相談ください。
- ・ファームウェア更新モードのまま20分間操作が行われないと、自動的に電源がオフになります。はじめから操作をやり直してください。

困ったときに

想定されるトラブルと、その対処方法について説明します。

▶ 関連項目

- ・「トラブルの対処方法」 [p.241](#)
- ・「インジケーターの見方」 [p.242](#)
- ・「ステータス表示を確認する」 [p.245](#)
- ・「映像や音声に関するトラブル」 [p.248](#)
- ・「プロジェクター、リモコンの操作に関するトラブル」 [p.254](#)
- ・「ネットワークに関するトラブル」 [p.256](#)
- ・「コンテンツ再生モードに関するトラブル」 [p.259](#)
- ・「HDMIリンクで操作できない」 [p.260](#)

プロジェクターが正しく動作しないときは、一度電源を切り、電源コードを差し直してから再度電源を入れます。

問題が解決しないときは、以下を確認します。

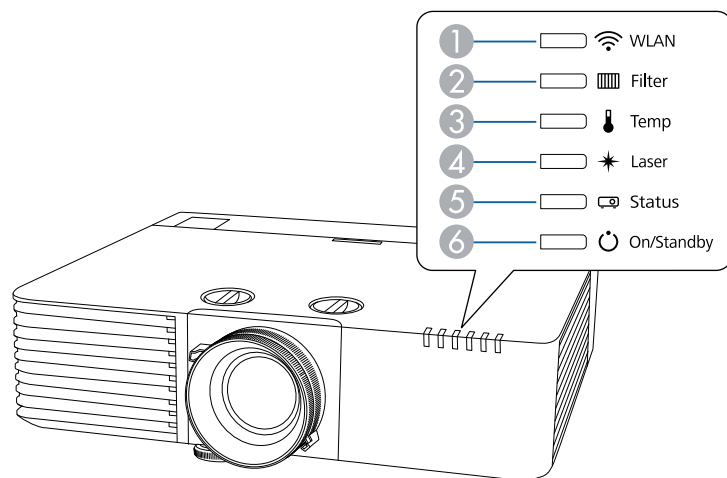
- ・インジケーターで本機の状態を確認する。
- ・本書のトラブル一覧で対処方法を確認する。

問題が解決しないときは、お買い上げの販売店またはお問い合わせ先に記載の連絡先にご相談ください。

インジケータは、本機の状態をお知らせします。インジケータの色と状態を確認し、以下の表から対処方法を確認してください。



- 各インジケータがこの表にない状態のときは、ご使用をやめ、電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げの販売店またはお問い合わせ先に記載の連絡先にご相談ください。
- 〔動作〕メニューの〔インジケータ表示〕が〔オフ〕に設定されている場合は、正常な投写中にインジケータがすべて消灯しています。



- 無線LANインジケータ
- フィルターインジケータ
- 温度インジケータ
- レーザーインジケータ
- ステータスインジケータ
- 電源インジケータ

プロジェクターの状態

インジケータの状態	状態と対処方法
電源：青点灯 ステータス：青点灯 レーザー：消灯 温度：消灯 フィルター：消灯	投写中の状態です。
電源：青点灯 ステータス：青点滅 レーザー：消灯 温度：消灯 フィルター：消灯	ウォームアップ中、シャットダウン中、またはクールダウン中です。 ウォームアップ中の場合は、約30秒たつと映像が表示されます。 ウォームアップ中、シャットダウン中、またはクールダウン中は、すべてのボタン操作が無効になります。
電源：青点灯 ステータス：消灯 レーザー：消灯 温度：消灯 フィルター：消灯	スタンバイ状態、スリープモード、ネットワーク監視状態のいずれかの状態です。 電源ボタンを押すと、投写を開始します。
電源：青点滅 ステータス：消灯 レーザー：消灯 温度：消灯 フィルター：消灯	ネットワーク監視、または高速起動モードの準備状態のため、すべての操作が無効になります。
電源：状態依存 ステータス：青点滅 レーザー：橙点滅 温度：状態依存 フィルター：状態依存	リフレッシュモード動作中です。 ☛ [管理] > [リフレッシュモード]

インジケータの状態	状態と対処方法
電源：青点滅 ステータス：状態依存 レーザー：状態依存 温度：橙点滅 フィルター：状態依存	内部温度が高くなっています。 - エアフィルターや排気口がふさがれていないか、周辺の物や壁で通気が妨げられていないか確認します。 - エアフィルターが目詰まりしているときは、掃除または交換します。 - 高温にならない環境で使用するようにします。
電源：消灯 ステータス：青点滅 レーザー：消灯 温度：橙点灯 フィルター：消灯	内部高温異常（オーバーヒート）状態です。自動的に消灯し、投写できなくなります。電源を切った状態で5分間待ち、温度を下げます。 - エアフィルターや排気口がふさがれていないか、周辺の物や壁で通気が妨げられていないか確認します。 - 高温にならない環境で使用するようにします。 - エアフィルターが目詰まりしているときは、掃除または交換します。 - 標高1,500m以上の場所でお使いのときは、〔設置〕メニューの〔高地モード〕を〔オン〕にします。 - 問題が解決しないときは、電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げの販売店またはお問い合わせ先に記載の連絡先にご相談ください。
電源：青点滅 ステータス：状態依存 レーザー：橙点滅 温度：状態依存 フィルター：状態依存	レーザー警告です。 ご使用をやめ、電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げの販売店またはお問い合わせ先に記載の連絡先にご相談ください。

インジケータの状態	状態と対処方法
電源：消灯 ステータス：青点滅 レーザー：橙点灯 温度：消灯 フィルター：消灯	レーザー異常です。 ご使用をやめ、電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げの販売店またはお問い合わせ先に記載の連絡先にご相談ください。
電源：消灯 ステータス：青点滅 レーザー：消灯 温度：橙点滅 フィルター：消灯	ファン異常またはセンサー異常状態です。 ご使用をやめ、電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げの販売店またはお問い合わせ先に記載の連絡先にご相談ください。
電源：消灯 ステータス：青点滅 レーザー：橙点滅 温度：消灯 フィルター：消灯	内部異常状態です。 ご使用をやめ、電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げの販売店またはお問い合わせ先に記載の連絡先にご相談ください。
電源：状態依存 ステータス：状態依存 レーザー：状態依存 温度：状態依存 フィルター：橙点滅	エアフィルター清掃通知です。
電源：青点滅 ステータス：状態依存 レーザー：状態依存 温度：状態依存 フィルター：橙点灯	エアフィルター風量警告です。 - エアフィルターや排気口がふさがれていないか、周辺の物や壁で通気が妨げられていないか確認します。 - エアフィルターが目詰まりしているときは、掃除または交換します。 - 問題が解決しないときは、電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げの販売店またはお問い合わせ先に記載の連絡先にご相談ください。

インジケータの状態	状態と対処方法
電源：消灯 ステータス：青点滅 レーザー：消灯 温度：消灯 フィルター：橙点灯	風量低下異常です。 ・エアフィルターや排気口がふさがれていないか、周辺の物や壁で通気が妨げられていないか確認します。 ・エアフィルターが目詰まりしているときは、掃除または交換します。 ・問題が解決しないときは、電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げの販売店またはお問い合わせ先に記載の連絡先にご相談ください。
電源：状態依存 ステータス：状態依存 レーザー：橙点滅 温度：状態依存 フィルター：状態依存	光源の明るさを一定に保つ明るさ一定運用が終了します。  [動作] > [光源明るさ制御] > [明るさ一定運用]

無線LANの状態

無線LANインジケータの状態	状態と対処方法
青点灯	無線LANが使用可能、またはシンプルAPモードで動作中です。
速い青点滅	インフラストラクチャーモードで接続中です。
遅い青点滅	異常状態です。本機の電源を切り、再度電源を入れます。
消灯	無線LANを使用できません。無線LANの設定が正しいことを確認してください。

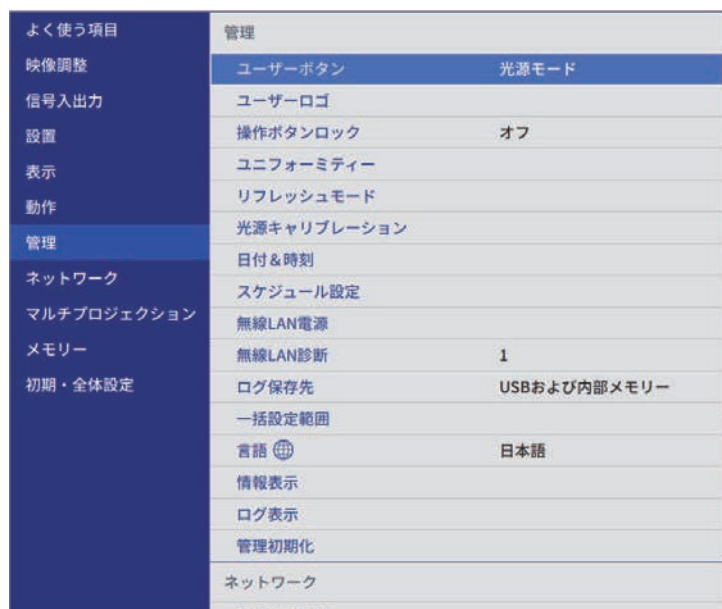
▶ 関連項目

- ・「管理メニュー」 [p.208](#)
- ・「エアフィルターと吸気口を清掃する」 [p.232](#)

- ・「エアフィルターを交換する」 [p.234](#)

本機の状態やエラーをステータス表示で確認できます。

- 1 本機の電源を入れます。
- 2 操作パネルまたはリモコンの【メニュー】ボタンを押します。
- 3 「管理」を選択し、【決定】ボタンを押します。



- 4 「ログ表示」を選択し、【決定】ボタンを押します。
- 5 「ステータス表示」を選択し、【決定】ボタンを押します。
- 6 左右ボタンを押して、カテゴリーごとの情報を表示します。
 - ・ [Status Information] : 本機の動作状態
 - ・ [Source] : 入力映像信号情報

- ・ [Signal Information] : 入力デジタル映像信号情報
- ・ [Network Wired] : 有線LAN設定
- ・ [Network Wireless] : 無線LAN設定
- ・ [Maintenance] : 本機や光源の使用時間
- ・ [Version] : 本機のファームウェアバージョン

関連項目

- ・ 「ステータスに表示されるメッセージ」 [p.245](#)

ステータスに表示されるメッセージ

プロジェクターの詳細な情報をカテゴリーごとに確認できます。



ステータスは英語で表示されます。

[Status Information] カテゴリー

情報	説明
System	[System] ステータス情報の記載を参照してください。
Source	現在投写中の入力ソースを表示します。
On-ScreenDisplay	オンスクリーン表示の設定を表示します。オフに設定すると、メニューやメッセージは投写画面に表示されません。
A/V Mute	A/Vミュートの動作状態を表示します。
Intake Air Temp	吸気温度を表示します。
Internal Temp Lv	製品内部の温度を表示します。
Laser Status	光源の点灯状態を表示します。

〔Source〕 カテゴリー

情報	説明
Source	現在投写中の入力ソースを表示します。
Resolution	現在投写中の映像信号の解像度を表示します。
Color Space	現在投写中の映像信号の色空間を表示します。
H-Frequency	現在投写中の映像信号の水平周波数を表示します。
V-Frequency	現在投写中の映像信号の垂直周波数を表示します。
Sync Polarity	同期極性を表示します。
Sync Mode	同期種別を表示します。
Detected Mode	現在投写中の映像信号の判別解像度を表示します。
Video Range	本機のビデオレベルを表示します。

〔Signal Information〕 カテゴリー

情報	説明
5V Detect	5V信号の検出結果を表示します。
TMD5 Clock	現在投写中の映像信号のTMD5周波数を表示します。
H-Frequency	現在投写中の映像信号の水平周波数を表示します。
V-Frequency	現在投写中の映像信号の垂直周波数を表示します。
Stable Time	入力ソースが確定してから現在までの時間を表示します。
HDCP Status	HDCPの状態を表示します。
HDCP Ver	HDCPのバージョンを表示します。
AVI VIC	現在投写中の映像信号のVIC情報（AVI）を表示します。
AVI Checksum	AVIのチェックサム結果を表示します。

情報	説明
AVI Sampling Str	AVIのカラーサンプリングを表示します。
Signal Mode	信号モードを表示します。
HDBaseT Level	HDBaseT端子からの映像信号の情報を表示します。

〔Network Wired〕 カテゴリー

情報	説明
Projector Name	ネットワーク上で本機を識別するための個別の名前を表示します。
Connection Mode	LANの接続経路を表示します。
DHCP	DHCPの設定を表示します。
IP Display	IPアドレス表示の設定を表示します。
IP Address	IPアドレスを表示します。
MAC Address	MACアドレスを表示します。

〔Network Wireless〕 カテゴリー

情報	説明
Projector Name	ネットワーク上で本機を識別するための個別の名前を表示します。
Connection Mode	本機とコンピューターを無線LANで接続するときの接続モードを表示します。
SSID	SSIDを表示します。
DHCP	DHCPの設定を表示します。
IP Display	IPアドレス表示の設定を表示します。
IP Address	IPアドレスを表示します。
MAC Address	MACアドレスを表示します。

情報	説明
Security	セキュリティーの設定を表示します。
Antenna Level	Wi-Fiの受信状態を表示します。

〔Maintenance〕 カテゴリー

情報	説明
Operation Time	本機の累積稼働時間を表示します。
Laser Op. Time	〔光源モード〕 ごとのレーザー稼働時間を表示します。

〔Version〕 カテゴリー

情報	説明
Serial No.	本機のシリアル番号を表示します。
Main	本機のファームウェアバージョンを表示します。
HDBaseT	

〔System〕 ステータス情報

状態	説明
OK	通常状態です。
Warm-up	ウォームアップ状態です。
Standby	スタンバイ状態です。
Cool Down	クールダウン状態です。
Temp Error	内部高温異常です。
Fan Error	ファン異常です。
Sensor Error	センサー異常です。

状態	説明
Power Error	電源系異常です。
Internal Error	内部異常です。
Airflow Error	エアフィルター風量低下異常です。
Temp Warning	高温警告です。
Internal Warning	内部システムに関する警告です。
Airflow Decline	エアフィルター風量低下です。
Power Warning	電源系警告です。
Clean Filter	エアフィルター清掃通知です。
Laser Error	レーザー異常です。
Laser Warning	レーザー警告です。
Temp Error FE	レーザーの温度超過によるレーザー異常です。
Temp Warning FE	レーザーの温度超過によるレーザー警告です。

投写映像や音声に関するトラブルの対処方法を確認してください。

▶ 関連項目

- ・「映像が表示されない」 [p.248](#)
- ・「「映像信号が入力されていません」というメッセージが表示される」 [p.249](#)
- ・「「この信号は本プロジェクターでは受けられません」というメッセージが表示される」 [p.249](#)
- ・「映像の一部が表示されない」 [p.250](#)
- ・「映像がゆがむ」 [p.250](#)
- ・「映像にノイズが入る、乱れる」 [p.251](#)
- ・「映像がぼやける」 [p.251](#)
- ・「映像の明るさや色合いが違う」 [p.252](#)
- ・「映像に残像が残る（焼き付き）」 [p.252](#)
- ・「音が出ない、小さい」 [p.253](#)
- ・「PC Freeで画像ファイル名が正しく表示されない」 [p.253](#)
- ・「PC Freeで映像が投写できない」 [p.253](#)

映像が表示されない

映像が表示されないときは、次の対処方法を確認してください。

- ・プロジェクターまたはリモコンの【A/Vミュート】ボタンを押して、映像が一時的に消されていないか確認します。
- ・必要なケーブルがすべて接続されていること、本機の電源が入っていること、接続された映像機器の電源が入っていることを確認します。
- ・スタンバイ状態、スリープモードから復帰するには、本機の電源ボタンを押します。また、接続されたコンピューターがスリープ状態でないか、黒一色のスクリーンセーバーが表示されていないか確認します。
- ・操作パネルのボタンを押してもプロジェクターが反応しないときは、ボタン操作がロックされている可能性があります。[管理]メ

ニューで[操作ボタンロック]を解除するか、リモコンを使用して本機の電源を入れます。

- ・プロジェクターのどのボタンを押しても解除できない場合は、本機が故障している可能性があります。詳細はお買い上げの販売店またはお問い合わせ先に記載の連絡先にご相談ください。
- ・Computer2/Monitor Out端子に接続して投写するときは、[信号入出力]メニューの[モニター出力端子]を[コンピューター2]に設定します。
- ・[映像調整]メニューの[明るさ]を調整します。
- ・光源の明るさを設定します。
☛ [動作] > [光源明るさ制御]
- ・[表示]メニューの[メッセージ表示]を[オン]に設定します。
- ・著作権保護された動画をコンピューターで再生すると、プロジェクターから投写されないことがあります。詳しくは、コンピューターの取扱説明書をご覧ください。
- ・Windows Media Centerで映像を投写するときは、全画面表示を使用せず、縮小画面表示にしてください。
- ・Windows DirectXを使用するアプリケーションは、正しく表示されないことがあります。

▶ 関連項目

- ・「管理メニュー」 [p.208](#)
- ・「信号入出力メニュー」 [p.196](#)
- ・「映像調整メニュー」 [p.193](#)
- ・「動作メニュー」 [p.204](#)
- ・「表示メニュー」 [p.202](#)
- ・「操作ボタンロックを解除する」 [p.136](#)

「映像信号が入力されていません」というメッセージが表示される

「映像信号が入力されていません」というメッセージが表示される時は、次の対処方法を確認してください。

- ・【入力検出】ボタンを押し、映像が表示されるまで数秒待ちます。
- ・接続された映像機器の電源を入れ、必要の場合はプレゼンテーションや動画の再生を開始します。
- ・投写に必要なケーブルがすべて接続されているか確認します。
- ・ノートパソコンから投写するときは、コンピューターの画面出力を切り替えて、プロジェクターに映像を表示します。
- ・必要に応じて、本機および接続された映像機器の電源を一度切ってから、再度電源を入れます。
- ・HDMIケーブルで接続しているときは、より短いケーブルに交換して試してください。

▶ 関連項目

- ・「Windowsのノートパソコンから映像を出力する」 [p.249](#)
- ・「Macのノートパソコンから映像を出力する」 [p.249](#)

Windowsのノートパソコンから映像を出力する

ノートパソコンからの投写時に「映像信号が入力されていません」というメッセージが表示される時は、コンピューターの画面出力を切り替えて、プロジェクターに映像を表示します。

- 1** キーボードのWindowsキーを押しながら**P**キーを押し、[複製]を選択します。
- 2** ノートパソコンとプロジェクターで同じ映像が表示されないときは、Windowsの[ディスプレイ]ユーティリティで、外部モニター端子が有効であるか、拡張ディスプレイが無効になっているかを確認します。

- 3** 必要に応じて、ビデオカードの設定を確認し、マルチディスプレイオプションを[ミラー]または[複製]に設定します。

Macのノートパソコンから映像を出力する

Macのノートパソコンからの投写時に、「映像信号が入力されていません」というメッセージが表示される時は、コンピューターの設定でディスプレイをミラーリングします。（詳しくはお使いのコンピューターの取扱説明書をご覧ください。）

- 1** [システム環境設定]を開き、[ディスプレイ]を選択します。
- 2** 必要に応じて、[ディスプレイ]または[カラーLCD]を設定します。
- 3** [調整]または[アレンジメント]をクリックします。
- 4** [ディスプレイをミラーリング]を選択します。

「この信号は本プロジェクターでは受けられません」というメッセージが表示される

「この信号は本プロジェクターでは受けられません」というメッセージが表示される時は、次の対処方法を確認してください。

- ・[信号入出力]メニューで正しい入力信号方式が選択されているか確認します。
- ・コンピューターのディスプレイ解像度が本機の対応解像度、周波数と合っているか確認します。必要に応じて、コンピューターのディスプレイ解像度を変更します。
- ・HDMIケーブルで接続しているときは、[信号入出力]メニューの[HDMI IN EQレベル]を変更します。設定を変更した後に、プロ

ジェクターの再起動が必要になることがあります。画面の指示に従って操作してください。

- ・スティック型端末を接続しているときは、[信号入出力] メニューの [HDMI IN EQレベル] を [オート] に設定します。映像が映らないなどのトラブルが起きるときは、設定を変更してください。

▶ 関連項目

- ・「信号入出力メニュー」 [p.196](#)
- ・「対応解像度」 [p.269](#)

映像の一部が表示されない

映像が部分的にしか表示されないときは、次の対処方法を確認してください。

- ・コンピューターケーブルを使ってコンピューターから映像を投写しているときは、リモコンの【自動調整】ボタンを押して、映像信号を最適化します。
- ・お使いのスクリーンに合わせて、[設置] メニューの [スクリーンタイプ] が正しく設定されているか確認します。
映像を表示する領域と映像との間に余白が生じたときは、映像の位置を調整します。
- ・[映像調整] メニューの [表示倍率] がオフになっていることを確認します。
- ・[映像調整] メニューの [表示位置] で映像の表示位置を調整します。
 - ☛ [映像調整] > [アナログ信号調整] > [表示位置]
[設置] メニューの [デジタルズーム] で映像の大きさを調整済みの場合は、[デジタルピクチャーシフト] で映像の表示位置を調整します (EB-L635SU/EB-L630SU)。
 - ☛ [設置] > [デジタルズーム] > [デジタルピクチャーシフト]
- ・[スクリーン位置] で映像の表示位置を調整してみます。
 - ☛ [設置] > [スクリーンタイプ] > [スクリーン位置]

- ・リモコンの【アスペクト】ボタンを押して、アスペクト比を変更します。
- ・接続された機器の信号に応じて、[映像調整] メニューの [入力解像度] を設定します。
- ・映像が希望どおりに表示されるよう、[設置] メニューの [ブラッキング] の設定を変更します。
- ・【Eズーム】ボタンで映像をズームしたときは、【戻る】ボタンを押してEズームを解除します (EB-L735U/EB-L730U/EB-L635SU/EB-L630SU/EB-L630U/EB-L630W/EB-L530U)。
- ・【Eズーム】ボタンで映像を拡大・縮小したときは、【初期値】ボタンを押してEズームを解除します (EB-L720U)。
- ・コンピューターのディスプレイ設定でデュアルディスプレイが無効になっているか、本機の対応解像度に合った設定がされているか確認します。
- ・プレゼンテーションファイルが本機の対応解像度をを超えていないか確認します。
- ・コンテンツ再生モードで投写しているときは、[エフェクト] 機能の設定を確認してください。
 - ☛ [動作] > [コンテンツ再生] > [エフェクト]
- ・[設置] メニューで [設置モード] を正しく設定します。

▶ 関連項目

- ・「設置メニュー」 [p.199](#)
- ・「映像調整メニュー」 [p.193](#)
- ・「対応解像度」 [p.269](#)
- ・「映像の位置を調整する (スクリーン位置)」 [p.56](#)
- ・「映像に効果を加える (エフェクト機能)」 [p.106](#)

映像がゆがむ

投写画面がゆがむときは、次の対処方法を確認してください。

- ・投写面に対してプロジェクターを平行に設置します。
- ・タテヨコを使って、映像のゆがみを補正します。
 - ☛ [設置] > [幾何学歪み補正] > [タテヨコ台形補正]
- ・Quick Cornerを使って、コーナーの形状を個別に補正します。
 - ☛ [設置] > [幾何学歪み補正] > [Quick Corner]
- ・湾曲したスクリーンに投写するときは、[湾曲補正] で映像の形状を補正します。
 - ☛ [設置] > [幾何学歪み補正] > [湾曲補正]
- ・[ポイント補正] 機能を使用して部分的に発生するわずかなゆがみを補正します。
 - ☛ [設置] > [幾何学歪み補正] > [ポイント補正]

▶ 関連項目

- ・「タテヨコ補正で映像のゆがみを補正する」 [p.62](#)
- ・「Quick Corner機能で映像のゆがみを補正する」 [p.64](#)
- ・「湾曲補正で映像のゆがみを補正する」 [p.66](#)
- ・「ポイント補正で映像のゆがみを補正する」 [p.68](#)

映像にノイズが入る、乱れる

投写映像に電子的な干渉（ノイズ）や妨害が入るときは、次の対処方法を確認してください。

- ・本機と映像機器を接続しているケーブルの状態を確認します。ケーブルが以下の状態であることを確認してください。
 - ・干渉を受けないように、電源コードから離れている
 - ・ケーブルの両端が確実に接続されている
 - ・延長ケーブルを使用していない
- ・[映像調整] メニューの [ノイズリダクション]、[MPEGノイズリダクション]、[プログレッシブ変換] を設定します。
 - ☛ [映像調整] > [イメージ強調] > [ノイズリダクション]

- ☛ [映像調整] > [イメージ強調] > [MPEGノイズリダクション]
- ☛ [映像調整] > [イメージ強調] > [プログレッシブ変換]
- ・[映像調整] メニューの [入力解像度] を [オート] に設定してください。
- ・コンピューターのディスプレイ解像度やリフレッシュレートが本機の対応解像度、リフレッシュレートと合っているか確認します。
- ・コンピューターケーブルを使ってコンピューターから映像を投写しているときは、リモコンの【自動調整】ボタンを押して、[トラッキング] と [同期] の設定を最適化します。映像が正しく調整されないときは、[映像調整] メニューで [トラッキング] と [同期] を設定します。
 - ☛ [映像調整] > [アナログ信号調整] > [トラッキング]
 - ☛ [映像調整] > [アナログ信号調整] > [同期]
- ・映像のゆがみを補正したときは、[映像調整] メニューの [シャープネス] を低い値に設定して、投写映像の画質を向上させます。
- ・延長ケーブルを使用して電源に接続しているときは、延長ケーブルを使わずに投写して、映像にノイズが入らないか確認します。
- ・[信号入出力] メニューで、[入力信号フォーマット] や [EDID] を正しく設定します。

▶ 関連項目

- ・「映像調整メニュー」 [p.193](#)
- ・「対応解像度」 [p.269](#)
- ・「信号入出力メニュー」 [p.196](#)

映像がぼやける

投写映像がぼやけるときは、次の対処方法を確認してください。

- ・テストパターンを表示して、フォーカスリングでピントを調整します。

- ・ 投写距離の推奨範囲内に設置します。
- ・ 映像の高さ調整のために本機の傾斜角度を大きくすると映像がゆがみます。傾斜角度を小さくして台形補正の調整値を小さくします。
- ・ 本機のレンズを掃除します。



寒い場所から暖かい場所に持ち込んだときは、レンズの表面が結露して映像がぼやけることがあります。お使いになる1時間くらい前に、通電しない状態で本機を設置するようにします。

- ・ [映像調整] メニューの [シャープネス] を調整して、投写映像の画質を向上させます。
- ・ コンピューターケーブルを使ってコンピューターから映像を投写しているときは、リモコンの【自動調整】ボタンを押して、[トラッキング] と [同期] の設定を最適化します。映像に縦の縞模様が出たり、全体的にぼやけるときは、均一なパターン画面を表示し、[トラッキング] と [同期] を設定します。
 - ▶ [映像調整] > [アナログ信号調整] > [トラッキング]
 - ▶ [映像調整] > [アナログ信号調整] > [同期]
- ・ コンピューターから映像を投写しているときは、解像度を下げるか、本機の解像度に合わせて解像度を変更します。

▶ 関連項目

- ・ 「映像調整メニュー」 [p.193](#)
- ・ 「信号入出力メニュー」 [p.196](#)
- ・ 「対応解像度」 [p.269](#)
- ・ 「フォーカスリングで映像のピントを調整する」 [p.75](#)

映像の明るさや色合いが違う

投写映像が暗すぎたり明るすぎるとき、また色合いが正しく表示されないときは、次の対処方法を確認してください。

- ・ リモコンの【カラーモード】ボタンを押して、映像と投写環境に合うカラーモードを選択します。
- ・ お使いのビデオ機器の設定を確認します。
- ・ [映像調整] メニューで [明るさ]、[コントラスト]、[色合い]、[色の濃さ]、[RGBCMY] などを設定します。
- ・ [信号入出力] メニューで、[入力信号フォーマット] や [EDID] を正しく設定します。
- ・ 必要なケーブルが本機とビデオ機器に確実に接続されていることを確認します。ケーブルが長いときは、短いケーブルで接続します。
- ・ 投写距離の推奨範囲内に設置します。
- ・ 本機を複数台並べて投写しているときは、[管理] メニューの [光源キャリブレーション] が、すべてのプロジェクターで正しく設定されているか確認します。一部のプロジェクターでのみ光源キャリブレーションが実行されると、ホワイトバランスや明るさレベルのずれが生じることがあります。

▶ 関連項目

- ・ 「映像調整メニュー」 [p.193](#)
- ・ 「信号入出力メニュー」 [p.196](#)
- ・ 「管理メニュー」 [p.208](#)
- ・ 「映像を最適化する（カラーモード）」 [p.80](#)

映像に残像が残る（焼き付き）

投写映像に残像（焼き付き）が残るときは、[リフレッシュモード] を使って軽減します。[管理] メニューで、[リフレッシュモード] > [開始] を選択します。

▶ 関連項目

- ・ 「管理メニュー」 [p.208](#)

音が出ない、小さい

音が出ない、小さすぎるなどの問題があるときは、次の対処方法を確認してください。

- ・ 本機の音量設定を調整します。
- ・ 一時的に映像と音を消した場合は、プロジェクターまたはリモコンの【A/Vミュート】ボタンを押して、映像と音を再開します。
- ・ コンピューター、ビデオ機器の音量が大きくなっているか、音声出力が正しく設定されているか確認します。
- ・ プロジェクターとビデオ機器のケーブルが正しく接続されているか確認します。
- ・ 接続するオーディオケーブルは「抵抗なし」と表記されているものを使用します。
- ・ 正しい音声出力端子を選択します。
 - ☛ [信号入出力] > [音声出力]
 - ☛ [信号入出力] > [HDMI音声出力]
- ・ 本機で投写していないときも、接続しているオーディオ機器の音声を出力するときは、以下の設定をします。
 - ・ [動作] メニューの [高速起動] をオフにする。
 - ・ [信号入出力] メニューの [A/V出力] を [常時] に設定する。
- ・ HDMIケーブルで接続している機器の音声がでないときは、接続機器の音声出力をPCMに設定します。
- ・ MacとプロジェクターをHDMIケーブルで接続していて音が出ないときは、MacがHDMI端子からの音声出力に対応しているか確認します。対応していない場合はオーディオケーブルを接続します。
- ・ コンピューターの音量を最小、プロジェクターの音量を最大に設定していると、ノイズが入ることがあります。コンピューターの音量を上げて、プロジェクターの音量を下げてください。（Epson iProjection (Windows/Mac) を使用する場合）

▶ 関連項目

- ・ 「プロジェクターを接続する」 [p.33](#)

- ・ 「信号入出力メニュー」 [p.196](#)
- ・ 「音量ボタンで音量を調整する」 [p.90](#)

PC Freeで画像ファイル名が正しく表示されない

ファイル名の文字数が表示幅を超える場合や、非対応の記号が含まれている場合は、PC Free機能ではファイル名が短縮または変更されます。ファイル名を短縮もしくは変更してください。

PC Freeで映像が投写できない

PC Freeで映像が投写できないときは、次の対処方法を確認してください。

- ・ お使いのUSB機器の転送速度が遅いと、動画を正しく表示できない場合があります。
- ・ H.264またはH.265以外の動画コーデックで保存された動画は再生できません。（H.265はメインプロファイルのみサポート）
- ・ LPCMまたはAAC-LC以外の音声コーデックで保存された音声は再生できません。

▶ 関連項目

- ・ 「サポートファイル形式」 [p.95](#)

プロジェクター、リモコンの操作に関するトラブルの対処方法を確認してください。

▶ 関連項目

- ・「電源が入らない、予期せず切れる」 [p.254](#)
- ・「リモコンで操作できない」 [p.254](#)
- ・「パスワードが入力できない」 [p.255](#)
- ・「時刻を保持する電池残量が低下しています」というメッセージが表示される」 [p.255](#)

電源が入らない、予期せず切れる

電源ボタンを押しても本機の電源が入らない、予期せず電源が切れるときは、次の対処方法を確認してください。

- ・電源コードが本機とコンセントに確実に接続されていることを確認します。
- ・リモコンの電源ボタンを押しても本機の電源が入らないときは、リモコンの電池を確認します。また、[設置] メニューの [リモコン受光部] で、いずれかの受光部がオンになっていることを確認します。
- ・本機のボタンはセキュリティ上の目的でロックされていることがあります。[管理] メニューで [操作ボタンロック] を解除するか、リモコンを使用して本機の電源を入れます。
- ・本機の光源が予期せず消えるときは、一定時間操作が行われずスリープモードになっている可能性があります。いずれかのボタンを押して、スリープモードから復帰します。スリープモードを無効にするには、[動作] メニューの [スリープモード] を [オフ] にします。
- ・本機の光源が予期せず消えるときは、A/Vミュートタイマーが有効になっている可能性があります。[動作] メニューの [A/Vミュートタイマー] を [オフ] に設定してください。

- ・本機の光源が消え、ステータスインジケーターが点滅して温度インジケーターが点灯しているときは、本機の内部高温異常（オーバーヒート）で電源がオフになっています。
- ・プロジェクターの設定によって、スタンバイ状態でもファンが回転することがあります。また、スタンバイ状態から電源をオンにしたときに、ファンが大きな音を立てて回転することがありますが、異常ではありません。
- ・電源コードが故障している可能性があります。電源コードを抜いて、お買い上げの販売店またはお問い合わせ先に記載の連絡先にご相談ください。

▶ 関連項目

- ・「管理メニュー」 [p.208](#)
- ・「動作メニュー」 [p.204](#)
- ・「設置メニュー」 [p.199](#)
- ・「操作ボタンロックを解除する」 [p.136](#)

リモコンで操作できない

本機がリモコン操作に反応しないときは、次の対処方法を確認してください。

- ・リモコンの電池が正しくセットされていること、電池が切れていないことを確認します。必要に応じて、電池を交換します。
- ・リモコン信号が届く距離、角度からリモコンを操作します。
- ・本機がウォームアップ中またはシャットダウン中でないか確認します。
- ・リモコンのボタンが押し込まれた状態になっていないか確認します。その状態ではリモコンが操作できないことがあります。ボタンを元の状態に戻してください。
- ・蛍光灯の強い光、直射日光、赤外線機器の信号が、本機のリモコン受光部に干渉することがあります。照明の明るさを落とす、または

直射日光や赤外線干渉を避けられる場所に本機を移動してください。

- ・ [設置] メニューの [リモコン受光部] で、いずれかの受光部がオンになっていることを確認します。
- ・ [リモコン受光部] がオフに設定されているときは、リモコンの【メニュー】ボタンを15秒以上押したままにして、この設定を初期値に戻します。
- ・ プロジェクターIDを設定しているときは、プロジェクターIDと同じ番号をリモコンで選択してリモコン操作を有効にします。
- ・ リモコンの【ID】ボタンを押しながら、[0]（ゼロ）ボタンを押します。IDを[0]に設定すると、プロジェクターIDの設定に関わらず、すべてのプロジェクターを操作できます。
- ・ リモコンを紛失した場合は、新たにリモコンをお買い求めいただけます。

▶ 関連項目

- ・ 「リモコンを操作する」 [p.44](#)
- ・ 「設置メニュー」 [p.199](#)
- ・ 「リモコンに電池を取り付ける」 [p.43](#)
- ・ 「操作対象のプロジェクターIDをリモコンで選択する」 [p.122](#)

や連絡先をお聞きし、ご本人であることを確認させていただきます。

- ・ Web制御パスワードを忘れたときは、以下を入力してみてください。
 - ・ ユーザー名：**EPSONWEB**
 - ・ デフォルトのパスワード：**admin**
- ・ Remoteパスワードを忘れたときは、以下を入力してみてください。
 - ・ ユーザー名：**EPSONREMOTE**
 - ・ デフォルトのパスワード：**guest**
- ・ リモコンを紛失したときはパスワードを入力できません。新たにリモコンをお買い求めください。

「時刻を保持する電池残量が低下しています」というメッセージが表示される

「時刻を保持する電池残量が低下しています」というメッセージが表示される場合は、お買い上げの販売店またはお問い合わせ先に記載の連絡先にご相談ください。

パスワードが入力できない

パスワードを入力できない、または忘れたときは、次の対処方法を確認してください。

- ・ パスワードを設定せずに、パスワードプロテクトを有効にしていることがあります。初期パスワード**0000**を入力します。
- ・ 誤ったパスワードを何度も入力すると、問い合わせコードを示すメッセージが表示されます。そのコードをメモして、お買い上げの販売店またはお問い合わせ先に記載の連絡先にご相談ください。パスワードに関してお問い合わせをいただいた際は、お客様のお名前

ネットワーク経由でプロジェクターを使用するときに想定されるトラブルの対処方法を確認してください。

▶ 関連項目

- ・「無線LAN認証できない」 [p.256](#)
- ・「Webブラウザを使って設定を変更できない」 [p.256](#)
- ・「異常が起きたときにメール通知されない」 [p.256](#)
- ・「ネットワーク経由で投写した映像が乱れる」 [p.257](#)
- ・「Screen Mirroringで接続できない」 [p.257](#)
- ・「Screen Mirroringソースを2系統使用できない」 [p.257](#)
- ・「Screen Mirroringの映像・音声が乱れる」 [p.258](#)
- ・「共有画面を受信できない」 [p.258](#)

無線LAN認証できない

無線LANの認証に失敗するときは、次の対処方法を確認してください。

- ・無線LANが正しく設定されていても認証できないときは、[管理]メニューの[日付&時刻]を設定し直してください。
- ・[ネットワーク]メニューで[セキュリティ]の設定を確認します。
☛ [ネットワーク] > [ネットワーク設定] > [無線LAN] > [セキュリティ]
- ・アクセスポイントのセキュリティがWPA3-EAPに設定されているときは、WPA2/WPA3-EAPに設定します。

▶ 関連項目

- ・「管理メニュー」 [p.208](#)
- ・「ネットワーク設定 - 無線LANメニュー」 [p.214](#)

Webブラウザを使って設定を変更できない

Webブラウザを使って本機の設定を変更できないときは、正しいユーザー名とパスワードを確認します。

- ・ユーザー名には**EPSONWEB**と入力します。（ユーザー名は変更できません。）
- ・パスワードには、[ネットワーク]メニューで設定しているパスワードを入力します。デフォルトのパスワードは**admin**です。
- ・インフラストラクチャーモードの場合、プロジェクターが接続しているネットワークへのアクセス権を持っていることを確認します。
- ・お使いのWebブラウザで、プロキシサーバーを使用して接続するように設定されていると、[Epson Web Control] 画面を表示できません。プロキシサーバーを使用しないで接続するように設定してください。
- ・[動作]メニューの[待機モード]が[通信オン]のスタンバイ状態のとき、接続しているネットワーク機器の電源が入っていることを確認します。ネットワーク機器の電源を入れた後、プロジェクターを再起動してください。無線で接続するときは、無線LANアクセスポイント経由で接続してください。



ユーザー名、パスワードの大文字小文字は区別されます。

▶ 関連項目

- ・「ネットワーク設定メニュー」 [p.213](#)
- ・「動作メニュー」 [p.204](#)

異常が起きたときにメール通知されない

プロジェクターの異常/警告を通知するメールが受け取れないときは、次の対処方法を確認してください。

- ・ 本機の電源が入っているか、ネットワークに正しく接続されているか確認します。本機に致命的な異常が発生し、瞬時に起動停止状態になったときは、メールが送信できないことがあります。
- ・ [メール通知] メニューまたはネットワークソフトウェアでメール通知機能を正しく設定していることを確認します。
- ・ 本機がスタンバイ状態のときもプロジェクターを監視できるように、[動作] メニューの [待機モード] を [通信オン] に設定します。
お使いのネットワーク環境に応じて、[通信ポート] の設定を変更します。無線で接続するときは、無線LANアクセスポイント経由で接続してください。

▶ 関連項目

- ・ 「ネットワーク設定 - メール通知メニュー」 [p.217](#)
- ・ 「動作メニュー」 [p.204](#)

ネットワーク経由で投写した映像が乱れる

ネットワーク経由で投写した映像が乱れるときは、次の対処方法を確認してください。

- ・ アクセスポイントとコンピューターやモバイルデバイス、プロジェクターの間に障害物がないかを確認し、電波状況がよくなるようにそれらの位置を変更します。
- ・ アクセスポイントとコンピューターやモバイルデバイス、プロジェクターが離れすぎているか確認します。離れすぎているときは、近づけて接続します。
- ・ Bluetoothを使用する機器や電子レンジなどからの干渉がないか確認してください。干渉の可能性のある機器を遠ざけるか、無線帯域を確保します。
- ・ 映像の表示が遅いときは、接続している機器の数を減らしてください。

Screen Mirroringで接続できない

Screen Mirroringでプロジェクターに接続できないときは、次の対処方法を確認してください。

- ・ プロジェクターの設定を確認します。
 - ・ [シンプルAP] を [オン] に設定します。
☛ [ネットワーク] > [ネットワーク設定] > [シンプルAP]
 - ・ [Screen Mirroring] を [オン] に設定します。
☛ [ネットワーク] > [ネットワーク設定] > [ネットワーク投写] > [Screen Mirroring]
 - ・ [Screen Mirroring] を [オフ] に設定し、再度 [オン] に設定します。
☛ [ネットワーク] > [ネットワーク設定] > [ネットワーク投写] > [Screen Mirroring]
- ・ モバイルデバイスの設定を確認します。
 - ・ モバイルデバイスの設定が正しいことを確認します。
 - ・ 接続を終了した直後に再接続するときは、接続までに時間がかかることがあります。しばらくしてから再接続します。
 - ・ モバイルデバイスを再起動します。
 - ・ 一度Screen Mirroringで接続すると、モバイルデバイスに本機の接続情報が記録されることがありますが、この画面からは再接続できないことがあります。接続可能なデバイスの一覧から、再度本機を選択してください。

▶ 関連項目

- ・ 「ネットワーク設定メニュー」 [p.213](#)
- ・ 「ネットワーク設定 - ネットワーク投写メニュー」 [p.219](#)

Screen Mirroringソースを2系統使用できない

Screen Mirroringソースを2系統同時に使用できないときは、[割り込み接続] を [オフ] にします。

☛ [ネットワーク] > [ネットワーク設定] > [ネットワーク投写] > [Screen Mirroring]

▶ 関連項目

- ・「ネットワーク設定 - ネットワーク投写メニュー」 [p.219](#)

Screen Mirroringの映像・音声がかかる

Screen Mirroringでモバイルデバイスから投写した映像・音声が乱れるときは、次の対処方法を確認してください。

- ・モバイルデバイスのWi-Fiアンテナ部分を隠さないようにします。
- ・モバイルデバイスでScreen Mirroringとインターネット接続を同時に行うと、映像が止まったり、ノイズが入ったりすることがあります。無線帯域を確保し、モバイルデバイスの通信速度を向上させるために、インターネット接続を停止します。
- ・Screen Mirroringで投写できるコンテンツであることを確認します。
- ・モバイルデバイスの設定によっては、パワーセーブ時に接続が切れることがあります。デバイスの省電力設定などを確認します。
- ・モバイルデバイスの無線ドライバーやファームウェアを最新の状態に更新します。

共有画面を受信できない

他のプロジェクターから配信された画面を受信できないときは、次の対処方法を確認してください。

- ・画面を共有しているプロジェクターと同じネットワークに接続してください。
- ・[画面共有] の設定を[オン] にします。

☛ [ネットワーク] > [ネットワーク設定] > [ネットワーク投写] > [画面共有]

- ・Epson iProjectionで接続しているコンピューターやモバイルデバイスがないことを確認します。
- ・画面を共有しているプロジェクターとファームウェアのバージョンが異なる場合は、ファームウェアの更新が必要になることがあります。

▶ 関連項目

- ・「ネットワーク設定 - ネットワーク投写メニュー」 [p.219](#)

プレイリストを再生できないときは、次の対処法を確認してください。

- [コンテンツ再生] を [オン] に設定します。
☛ [動作] > [コンテンツ再生]
- プレイリストがUSBメモリーに保存されていることを確認します。
- USBメモリーが直接本機に接続されていることを確認します。マルチカードリーダーやUSBハブを使用しないでください。
- お使いのUSBメモリーに複数のパーティションが作成されていると、プレイリストが正しく再生されないことがあります。パーティションをひとつにしてからプレイリストを保存してください。
- 解像度の異なるプロジェクターで同じプレイリストを再生しないでください。[エフェクト] 機能を使って追加された色や形の装飾が正しく再生されないことがあります。
☛ [動作] > [コンテンツ再生] > [エフェクト]

▶ 関連項目

- 「動作メニュー」 [p.204](#)

HDMIリンクで接続機器を操作できないときは、次の対処方法を確認してください。

- ・ 本機の [マルチプロジェクト] メニューの [HDMI Out設定] を [パススルー] に設定します (EB-L735U/EB-L730U/EB-L635SU/EB-L630SU/EB-L630U/EB-L630W/EB-L530U)。
- ・ お使いのケーブルがHDMI CEC規格に準拠しているか確認します。
- ・ 接続機器がHDMI CEC規格に準拠しているか確認します。詳しくは接続機器の取扱説明書をご覧ください。
- ・ HDMIリンクを使うために必要なケーブルがすべて接続されていることを確認します。
- ・ 接続機器の電源がスタンバイ状態になっているか確認します。詳しくは接続機器の取扱説明書をご覧ください。
- ・ スピーカーを接続しているときは、PCM出力に設定します。
- ・ 新しく機器を接続したり、接続を変更した後に操作できないときは、接続機器のCEC機能を設定し直して、再起動します。
- ・ 4台以上のマルチメディアプレイヤーを接続しないでください。HDMI CEC規格で同時に接続できるプレイヤーは3台までです。
- ・ HDMI CEC規格に準拠していない機器は接続機器一覧に表示されません。HDMI CEC規格に準拠した機器をお使いください。

▶ 関連項目

- ・ 「マルチプロジェクトメニュー」 [p.221](#)

付録

お使いの製品の仕様や使用上の注意事項については、以下の項目をご確認ください。

▶ 関連項目

- ・「オプション・消耗品一覧」 [p.262](#)
- ・「スクリーンサイズと投写距離」 [p.264](#)
- ・「対応解像度」 [p.269](#)
- ・「本機仕様」 [p.273](#)
- ・「外形寸法図」 [p.275](#)
- ・「Epson Projector Content Managerの対応機能」 [p.276](#)
- ・「Epson Projector Professional Toolの対応機能」 [p.277](#)
- ・「安全規格対応シンボルマークと説明」 [p.279](#)
- ・「レーザー製品を安全にお使いいただくために」 [p.281](#)
- ・「用語解説」 [p.283](#)
- ・「一般のご注意」 [p.285](#)

下記のオプション・消耗品を用意しています。用途に合わせてお買い求めください。

これらのオプション品は2021年2月現在のものです。

予告なく変更することがありますので、ご了承ください。

▶ 関連項目

- ・「スクリーン」 [p.262](#)
- ・「ケーブル」 [p.262](#)
- ・「設置用金具」 [p.262](#)
- ・「無線LAN用オプション」 [p.262](#)
- ・「外付けオプション」 [p.263](#)
- ・「消耗品」 [p.263](#)

スクリーン

60型スクリーン ELPSC27

80型スクリーン ELPSC28

100型スクリーン ELPSC29

携帯型ロールスクリーンです。（アスペクト比4:3）

70型スクリーン ELPSC23

80型スクリーン ELPSC24

90型スクリーン ELPSC25

携帯型ロールスクリーンです。（アスペクト比16:10）

50型スクリーン ELPSC32

持ち運びに便利なコンパクトスクリーンです。（アスペクト比4:3）

ケーブル

コンピューターケーブル **ELPKC02**（ミニD-Sub 15pin/ミニD-Sub 15pin用1.8m）

コンピューターケーブル **ELPKC09**（ミニD-Sub 15pin/ミニD-Sub 15pin用3m）

コンピューターケーブル **ELPKC10**（ミニD-Sub 15pin/ミニD-Sub 15pin用20m）

Computer端子に接続するときに使います。

設置用金具

天吊金具 **ELPMB22**

薄型天吊金具 **ELPMB30**

天井に取り付けるときに使います。

セーフティーワイヤーセット **ELPWR01**

落下防止のため、本機と天吊り金具をつなぐときに使います。

パイプ450（450mm） **ELPFP13**

パイプ700（700mm） **ELPFP14**

高天井および化粧天井に取り付けるときに使います。



天吊り設置には特別な技術が必要です。詳細はお買い上げの販売店またはお問い合わせ先に記載の連絡先にご相談ください。

無線LAN用オプション

無線LANユニット **ELPAP11**

無線LAN接続で投写するときに使います。

ワイヤレスプレゼンテーションシステム **ELPWP10**

本機とWindows/Macコンピューターを直接接続して無線で投写するときに使います。2つのトランスミッター（ELPWT01）と1つの無線LANユニット（ELPAP11）が含まれています。

トランスミッター **ELPWT01**

ワイヤレスプレゼンテーションシステムに追加するトランスミッターです。

外付けオプション

書画カメラ **ELPDC21**

書画カメラ **ELPDC07**

書籍やOHP原稿、スライドなどを投写するときに使います。

スピーカー **ELPSP02**

電源内蔵の外付けスピーカーです。

HDBaseTトランスミッター **ELPHD01**

HDMI信号を、LANケーブル1本で長距離伝送するためのトランスミッターです。（HDCP2.2には対応していません。）

Android TV™端末

ELPAP12（EB-L735U/EB-L730U/EB-L635SU/EB-L630SU/EB-L630U/EB-L630W/EB-L530U）

メディアストリーミング端末です。オンラインコンテンツを視聴するときに使います。

消耗品

エアフィルター **ELPAF56**

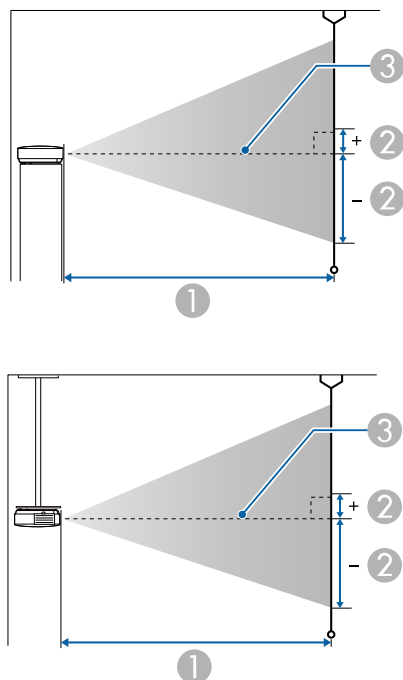
使用済みエアフィルターと交換します。

この表に従って、スクリーンからプロジェクターまでの距離を、投写映像の大きさに応じて決めます。

関連項目

- 「EB-L735U/EB-L730U/EB-L635SU/EB-L630SU/EB-L630U/EB-L630W/EB-L530U」 [p.264](#)
- 「EB-L720U」 [p.267](#)

EB-L735U/EB-L730U/EB-L635SU/EB-L630SU/EB-L630U/EB-L630W/EB-L530U



① 投写距離 (cm)

- ② レンズ中心からスクリーン下端までの高さ（上下レンズシフトの設定により変わります） (cm)
- ③ レンズの中心

WUXGA (EB-L735U/EB-L730U/EB-L630U/EB-L530U) /WXGA (EB-L630W)

16:10スクリーンサイズ		①	②
		最短（ワイド）～最長（テレ）	上下レンズシフト 最下～最上
50型	108 × 67	144 - 235	-67 - 0
60型	129 × 81	174 - 283	-81 - 0
70型	151 × 94	204 - 331	-94 - 0
80型	172 × 108	233 - 378	-108 - 0
100型	215 × 135	292 - 474	-135 - 0
120型	258 × 162	351 - 569	-162 - 0
150型	323 × 202	440 - 713	-202 - 0
200型	431 × 269	588 - 951	-269 - 0
300型	646 × 404	884 - 1429	-404 - 0
500型	1077 × 673	1476 - 2384	-673 - 0

4:3スクリーンサイズ		①	②
		最短（ワイド）～最長（テレ）	上下レンズシフト 最下～最上
45型	91 × 69	147 - 240	-69 - 0
50型	102 × 76	164 - 267	-76 - 0
60型	122 × 91	197 - 321	-91 - 0

4:3スクリーンサイズ		①	②
		最短（ワイド）～最長（テレ）	上下レンズシフト 最下～最上
80型	163 × 122	264 - 429	-122 - 0
100型	203 × 152	331 - 537	-152 - 0
110型	224 × 168	365 - 591	-168 - 0
120型	244 × 183	398 - 645	-183 - 0
150型	305 × 229	499 - 807	-229 - 0
200型	406 × 305	666 - 1077	-305 - 0
300型	610 × 457	1001 - 1618	-457 - 0
440型	894 × 671	1470 - 2375	-671 - 0

16:9スクリーンサイズ		①	②
		最短（ワイド）～最長（テレ）	上下レンズシフト 最下～最上
49型	108 × 61	145 - 237	-64 - 3
50型	111 × 62	148 - 242	-66 - 3
60型	133 × 75	179 - 291	-79 - 4
80型	177 × 100	240 - 389	-105 - 6
100型	221 × 125	301 - 487	-131 - 7
110型	244 × 137	331 - 536	-145 - 8
120型	266 × 149	361 - 585	-158 - 8
150型	332 × 187	453 - 733	-197 - 10
200型	443 × 249	605 - 978	-263 - 14
300型	664 × 374	909 - 1469	-394 - 21
480型	1063 × 598	1456 - 2352	-631 - 33

16:6スクリーンサイズ *		①	②
		最短（ワイド）～最長（テレ）	上下レンズシフト 最下～最上
46型	109 × 41	147 - 239	-55 - 14
50型	119 × 45	160 - 260	-59 - 15
60型	143 × 54	192 - 313	-71 - 18
70型	166 × 62	225 - 366	-83 - 21
80型	190 × 71	258 - 418	-95 - 24
100型	238 × 89	323 - 524	-119 - 30
120型	285 × 107	388 - 629	-143 - 36
150型	357 × 134	486 - 787	-178 - 45
200型	476 × 178	650 - 1051	-238 - 59
300型	713 × 268	976 - 1578	-357 - 89
452型	1075 × 403	1473 - 2379	-537 - 134

* 16:6 はEB-L735U/EB-L730U/EB-L630U/EB-L530Uでのみ対応しています。

WUXGA（EB-L635SU/EB-L630SU）

16:10スクリーンサイズ		①	②
		最短（ワイド）～最長（テレ） *	上下レンズシフト 最下～最上
50型	108 × 67	85 - 115	-67 - 0
60型	129 × 81	103 - 139	-81 - 0
80型	172 × 108	138 - 186	-108 - 0
90型	194 × 121	156 - 210	-121 - 0
100型	215 × 135	173 - 234	-135 - 0

16:10スクリーンサイズ		①	②
		最短（ワイド）～最長（テレ） *	上下レンズシフト 最下～最上
148型	319 × 199	258 - 348	-199 - 0
150型	323 × 202	261**	-202 - 0
180型	388 × 242	314**	-242 - 0
200型	431 × 269	349**	-269 - 0

4:3スクリーンサイズ		①	②
		最短（ワイド）～最長（テレ） *	上下レンズシフト 最下～最上
45型	91 × 69	87 - 117	-69 - 0
50型	102 × 76	97 - 131	-76 - 0
60型	122 × 91	117 - 157	-91 - 0
80型	163 × 122	157 - 211	-122 - 0
90型	183 × 137	176 - 238	-137 - 0
100型	203 × 152	196 - 265	-152 - 0
120型	244 × 183	236 - 319	-183 - 0
130型	264 × 198	256 - 346	-198 - 0
150型	305 × 229	296**	-229 - 0
176型	358 × 268	348**	-268 - 0

16:9スクリーンサイズ		①	②
		最短（ワイド）～最長（テレ） *	上下レンズシフト 最下～最上
49型	108 × 61	86 - 116	-64 - 3

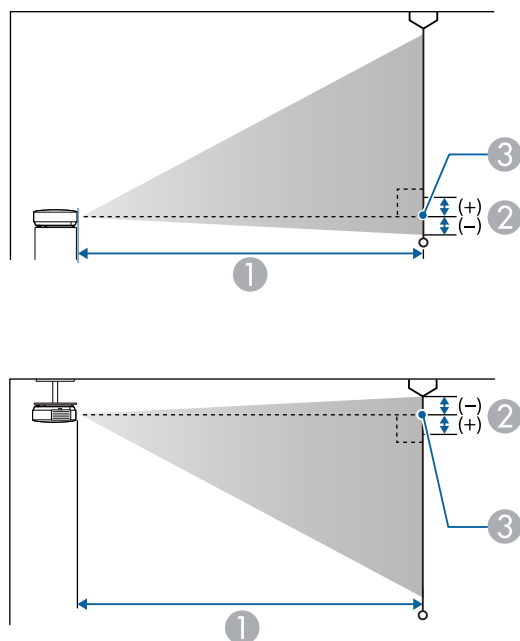
16:9スクリーンサイズ		①	②
		最短（ワイド）～最長（テレ） *	上下レンズシフト 最下～最上
50型	111 × 62	88 - 118	-66 - 3
60型	133 × 75	106 - 143	-79 - 4
80型	177 × 100	142 - 191	-105 - 6
100型	221 × 125	178 - 240	-131 - 7
120型	266 × 149	214 - 289	-158 - 8
144型	319 × 179	258 - 348	-189 - 10
150型	332 × 187	269**	-197 - 10
180型	398 × 224	323**	-237 - 12
194型	429 × 242	348**	-255 - 13

16:6スクリーンサイズ		①	②
		最短（ワイド）～最長（テレ） *	上下レンズシフト 最下～最上
46型	109 × 41	86 - 117	-55 - 14
50型	119 × 45	94 - 127	-59 - 15
60型	143 × 54	114 - 153	-71 - 18
80型	190 × 71	153 - 206	-95 - 24
100型	238 × 89	191 - 259	-119 - 30
120型	285 × 107	230 - 311	-143 - 36
134型	319 × 120	258 - 348	-159 - 40
150型	357 × 134	289**	-178 - 45
180型	428 × 161	347**	-214 - 54
181型	430 × 161	349**	-215 - 54

* 最長（テレ）：デジタルズーム

** ワイド（最大ズーム）で投写

EB-L720U



- ① 投写距離 (cm)
- ② レンズ中心からスクリーン下端（天吊りの場合はスクリーン上端）までの高さ (cm)
- ③ レンズの中心

WUXGA

16:10スクリーンサイズ		①	②
		最短（ワイド）～最長（テレ）	
50型	108 × 67	144 - 235	-2
60型	129 × 81	174 - 283	-3
70型	151 × 94	204 - 331	-3
80型	172 × 108	233 - 378	-4
100型	215 × 135	292 - 474	-5
120型	258 × 162	351 - 569	-6
150型	323 × 202	440 - 713	-7
200型	431 × 269	588 - 951	-10
300型	646 × 404	884 - 1429	-14
500型	1077 × 673	1476 - 2384	-24

4:3スクリーンサイズ		①	②
		最短（ワイド）～最長（テレ）	
45型	91 × 69	147 - 240	-2
50型	102 × 76	164 - 267	-3
60型	122 × 91	197 - 321	-3
70型	142 × 107	231 - 375	-4
80型	163 × 122	264 - 429	-4
100型	203 × 152	331 - 537	-5
120型	244 × 183	398 - 645	-7
150型	305 × 229	499 - 807	-8

4:3スクリーンサイズ		①	②
		最短（ワイド）～最長（テレ）	
200型	406 × 305	666 - 1077	-11
300型	610 × 457	1001 - 1618	-16
440型	894 × 671	1470 - 2375	-24

16:9スクリーンサイズ		①	②
		最短（ワイド）～最長（テレ）	
49型	108 × 61	145 - 237	1
50型	111 × 62	148 - 242	1
60型	133 × 75	179 - 291	1
70型	155 × 87	209 - 340	1
80型	177 × 100	240 - 389	2
100型	221 × 125	301 - 487	2
120型	266 × 149	361 - 585	2
150型	332 × 187	453 - 733	3
200型	443 × 249	605 - 978	4
300型	664 × 374	909 - 1469	6
486型	1076 × 605	1474 - 2381	9

16:6スクリーンサイズ		①	②
		最短（ワイド）～最長（テレ）	
46型	109 × 41	147 - 239	11

16:6スクリーンサイズ		①	②
		最短（ワイド）～最長（テレ）	
50型	119 × 45	160 - 260	12
60型	143 × 54	192 - 313	15
70型	166 × 62	225 - 366	17
80型	190 × 71	258 - 418	20
100型	238 × 89	323 - 524	24
120型	285 × 107	388 - 629	29
150型	357 × 134	486 - 787	37
200型	476 × 178	650 - 1051	49
300型	713 × 268	976 - 1578	73
452型	1075 × 403	1473 - 2379	110

映像信号ごとのリフレッシュレートと解像度を示します。



Computer端子はYCbCr信号に対応していません。

PC

コンパチブルモード

Mode	Resolution (dot)		Refresh Rate (Hz)	Comp uter	HDMI/HDBaseT			
					RGBH V	YCbCr(8bit)		
						4:2:0	4:2:2	4:4:4
VGA60	640	480	60	✓				✓
VGA72	640	480	72	✓				
VGA75	640	480	75	✓				
VGA85	640	480	85	✓				
SVGA60	800	600	60	✓				✓
SVGA72	800	600	72	✓				
SVGA75	800	600	75	✓				
SVGA85	800	600	85	✓				
XGA60	1024	768	60	✓				✓
XGA70	1024	768	70	✓				
XGA75	1024	768	75	✓				
XGA85	1024	768	85	✓				
WXGA60-1	1280	768	60	✓				
WXGA60	1280	800	60	✓				✓
WXGA75	1280	800	75	✓				

Mode	Resolution (dot)		Refresh Rate (Hz)	Comp uter	HDMI/HDBaseT			
					RGBH V	YCbCr(8bit)		
						4:2:0	4:2:2	4:4:4
WXGA85	1280	800	85	✓				
WXGA60-3	1366	768	60	✓				✓
WXGA+60	1440	900	60	✓				✓
WXGA+75	1440	900	75	✓				
WXGA+85	1440	900	85	✓				
WXGA++	1600	900	60	✓				✓
SXGA1_70	1152	864	70	✓				
SXGA1_75	1152	864	75	✓				
SXGA1_85	1152	864	85	✓				
SXGA2_60	1280	960	60	✓				✓
SXGA2_75	1280	960	75	✓				
SXGA2_85	1280	960	85	✓				
SXGA3_60	1280	1024	60	✓				✓
SXGA3_75	1280	1024	75	✓				
SXGA3_85	1280	1024	85	✓				
SXGA+60	1400	1050	60	✓				✓
SXGA+75	1400	1050	75	✓				
WSXGA+60	1680	1050	60	✓*				✓
UXGA60	1600	1200	60	✓				✓
1920×1080_50	1920	1080	50	✓				✓
1920×1080_60	1920	1080	60	✓				✓

Mode	Resolution (dot)		Refresh Rate (Hz)	Comp uter	HDMI/HDBaseT			
					RGBH V	YCbCr(8bit)		
						4:2:0	4:2:2	4:4:4
WUXGA60 (Reduced Blanking)	1920	1200	60	✓				✓
QXGA	2048	1536	60					✓
WQHD	2560	1440	60					✓
WQXGA (Reduced Blanking)	2560	1600	60					✓

* [映像調整] メニューの [入力解像度] で [ワイド] を選択しているときのみ

特殊な解像度 (EB-L735U/EB-L730U/EB-L720U/EB-L635SU/EB-L630SU/EB-L630U/EB-L530U)

コンパチブルモード

Mode	HDMI/HDBaseT											
	RGB			YCbCr								
				4:4:4			4:2:2			4:2:0		
	8	10	12	8	10	12	8	10	12	8	10	12
特殊な解像度 (16:6)	✓											

モード情報

Mode	解像度 (dot)		水平同期 信号 (KHz)	リフレッ シュレ ート (Hz)	ドットク ロック (MHz)	走査方式
特殊な解像度 (16:6)	1920	720	45.96	60	95.045	Progressive

映像が正しく表示されないときは、以下のタイミング情報をコンピュータに設定してください。（コンピュータによっては設定できないことがあります。）

Mode	ドット クロック (MHz)	水平走 査周波 数 (KHz)	リフ レッ シュ レート (Hz)	水平描 画期間 (dot)	水平フ ロント ポーチ (dot)	水平同 期信号 期間 (dot)	水平 バック ポーチ (dot)
特殊な解像度 (16:6)	95.045	45.96	60	1920	42	32	74

Mode	垂直描 画期間 (line)	垂直フ ロント ポーチ (line)	垂直同 期信号 期間 (line)	垂直 バック ポーチ (line)	水平同 期信号 極性	垂直同 期信号 極性	走査方 式
特殊な解像度 (16:6)	720	20	8	18	P	N	Progres sive

P: Positive

N: Negative

SD

コンパチブルモード

Mode	Resolution (dot)		Refresh Rate (Hz)	Comp uter	HDMI/HDBaseT			
					RGBH V	YCbCr(8bit)		
						4:2:0	4:2:2	4:4:4
SDTV (480i)	720	480	59.94				✓	✓
SDTV (576i)	720	576	50				✓	✓
SDTV (480p)	720	480	59.94	✓			✓	✓
SDTV (576p)	720	576	50	✓			✓	✓

HD

コンパチブルモード

Mode	Resolution (dot)		Refresh Rate (Hz)	Comp uter	HDMI/HDBaseT			
					RGBH V	YCbCr(8bit)		
						4:2:0	4:2:2	4:4:4
HDTV (720p)_50	1280	720	50	✓			✓	✓
HDTV (720p)_59.94	1280	720	59.94	✓			✓	✓
HDTV (720p)_60	1280	720	60	✓			✓	✓
HDTV (1080i)_50	1920	1080	50				✓	✓
HDTV (1080i)_59.94	1920	1080	59.94				✓	✓
HDTV (1080i)_60	1920	1080	60				✓	✓

Mode	Resolution (dot)		Refresh Rate (Hz)	Comp uter	HDMI/HDBaseT			
					RGBH V	YCbCr(8bit)		
						4:2:0	4:2:2	4:4:4
HDTV (1080p)_23.98	1920	1080	23.98				✓	✓
HDTV (1080p)_24	1920	1080	24				✓	✓
HDTV (1080p)_29.97	1920	1080	29.97				✓	✓
HDTV (1080p)_30	1920	1080	30				✓	✓
HDTV (1080p)_50	1920	1080	50	✓			✓	✓
HDTV (1080p)_59.94	1920	1080	59.94	✓			✓	✓
HDTV (1080p)_60	1920	1080	60	✓			✓	✓

4K

コンパチブルモード

Mode	Resolution (dot)		Refresh Rate (Hz)	Comp uter	HDMI/HDBaseT			
					RGBH V	YCbCr(8bit)		
						4:2:0	4:2:2	4:4:4
4K (3840×2160)	3840	2160	23.98				✓	✓

Mode	Resolution (dot)		Refresh Rate (Hz)	Comp uter	HDMI/HDBaseT			
					RGBH V	YCbCr(8bit)		
						4:2:0	4:2:2	4:4:4
4K (3840×2160)	3840	2160	24				✓	✓
4K (3840×2160)	3840	2160	25				✓	✓
4K (3840×2160)	3840	2160	29.97				✓	✓
4K (3840×2160)	3840	2160	30				✓	✓
4K (3840×2160)	3840	2160	50		✓			
4K (3840×2160)	3840	2160	59.94		✓			
4K (3840×2160)	3840	2160	60		✓			
4K (4096×2160) (SMPTE)	4096	2160	23.98				✓	✓
4K (4096×2160) (SMPTE)	4096	2160	24				✓	✓
4K (4096×2160) (SMPTE)	4096	2160	50		✓			

Mode	Resolution (dot)		Refresh Rate (Hz)	Comp uter	HDMI/HDBaseT			
					RGBH V	YCbCr(8bit)		
						4:2:0	4:2:2	4:4:4
4K (4096×2160) (SMPTE)	4096	2160	59.94			✓		
4K (4096×2160) (SMPTE)	4096	2160	60			✓		

商品名	EB-L735U/EB-L730U/EB-L720U/EB-L635SU/EB-L630SU/ EB-L630U/EB-L630W/EB-L530U
外形サイズ	幅440 × 高さ122 × 奥行き304 mm（突起部を含まず）
液晶パネルサイズ	0.67型
表示方式	ポリシリコンTFTアクティブマトリクス
解像度	EB-L735U/EB-L730U/EB-L720U/EB-L635SU/EB-L630SU/EB-L630U/EB-L530U： 2,304,000ピクセル WUXGA（横1,920 × 縦1,200ドット） × 3 EB-L630W： 1,024,000ピクセル WXGA（横1,280 × 縦800ドット） × 3
フォーカス調整	手動
ズーム調整	EB-L735U/EB-L730U/EB-L720U/EB-L630U/EB-L630W/EB-L530U： 1.0～1.6（光学ズーム） EB-L635SU/EB-L630SU： 1.0～1.35（デジタルズーム）
レンズシフト	EB-L735U/EB-L730U/EB-L635SU/EB-L630SU/EB-L630U/EB-L630W/EB-L530U： 手動 上下方向最大約±50% 左右方向最大約±20%
光源	レーザーダイオード

光源出力	EB-L735U/EB-L730U/EB-L720U/EB-L635SU/EB-L630SU/EB-L630U/EB-L630W： 最大115.5 W EB-L530U： 最大44 W
波長	449～461 nm
レーザークラス	クラス4
光源使用時間*	光源モードがノーマルまたは静音の場合：約20,000時間 光源モードがロングの場合：約30,000時間
音声最大出力	10 W
スピーカー	1個
電源	EB-L735U/EB-L730U/EB-L720U/EB-L635SU/EB-L630SU/EB-L630U： 100-240V AC±10% 50/60Hz 3.6 - 1.6 A EB-L630W/EB-L530U： 100-240V AC±10% 50/60Hz 3.1 - 1.4 A
定格消費電力（100-120Vエリア）	EB-L735U/EB-L730U/EB-L720U/EB-L635SU/EB-L630SU/EB-L630U： 358 W EB-L630W/EB-L530U： 301 W
定格消費電力（220-240Vエリア）	EB-L735U/EB-L730U/EB-L720U/EB-L635SU/EB-L630SU/EB-L630U： 345 W EB-L630W/EB-L530U： 293 W
待機時消費電力	通信オン：2.0 W 通信オフ：0.3 W

動作高度	標高0～3,048 m
動作温度範囲（1台で使用时）**	標高0～2,286 m：0～+45℃（湿度20～80%、結露しないこと） 標高2,287～3,048 m：0～+40℃（湿度20～80%、結露しないこと）
動作温度範囲（複数台使用时）**	標高0～2,286 m：0～+40℃（湿度20～80%、結露しないこと） 標高2,287～3,048 m：0～+35℃（湿度20～80%、結露しないこと）
保存温度範囲	-10～+60℃（結露しないこと）
質量	EB-L735U/EB-L730U/EB-L635SU/EB-L630SU/EB-L630U/EB-L630W： 約8.4kg EB-L720U： 約7.8kg EB-L530U： 約8.2kg

* 光源の明るさが半減するまでの目安時間です。（大気中に含まれる粒子物質が0.04～0.2mg/m³の環境下での使用を想定しています。使用条件や使用環境によって目安時間は変動します。）

** 使用する環境の温度が高くなったときは、光源の明るさを自動的に落とします。（標高0～2,286mでは約35℃、標高2,287～3,048mでは約30℃を目安としますが、使用環境等によって異なります。）

▶ 関連項目

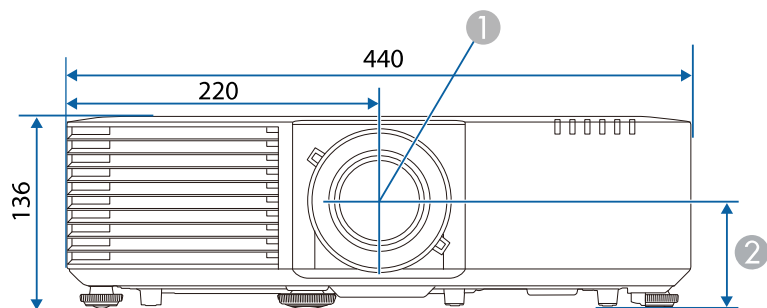
- ・「接続端子」 [p.274](#)

接続端子

Computer1端子	1系統	ミニD-Sub 15pin（メス）
Computer2/Monitor Out端子	1系統	ミニD-Sub 15pin（メス）
Audio1端子	1系統	ステレオミニピンジャック
Audio2端子	1系統	ステレオミニピンジャック
Audio Out端子	1系統	ステレオミニピンジャック
HDMI1端子	1系統	HDMI（音声はPCMにのみ対応）
HDMI2端子	1系統	HDMI（音声はPCMにのみ対応）
HDMI Out端子（EB-L735U/EB-L730U/EB-L635SU/EB-L630SU/EB-L630U/EB-L630W/EB-L530U）	1系統	HDMI
USB-A端子	1系統	USBコネクタ（Aタイプ）
DC Out端子（給電用）（EB-L735U/EB-L730U/EB-L635SU/EB-L630SU/EB-L630U/EB-L630W/EB-L530U）	1系統	USBコネクタ（Aタイプ）
Service端子	1系統	USBコネクタ（Bタイプ）
LAN端子	1系統	RJ-45
HDBaseT端子	1系統	RJ-45
RS-232C端子	1系統	ミニD-Sub 9pin（オス）

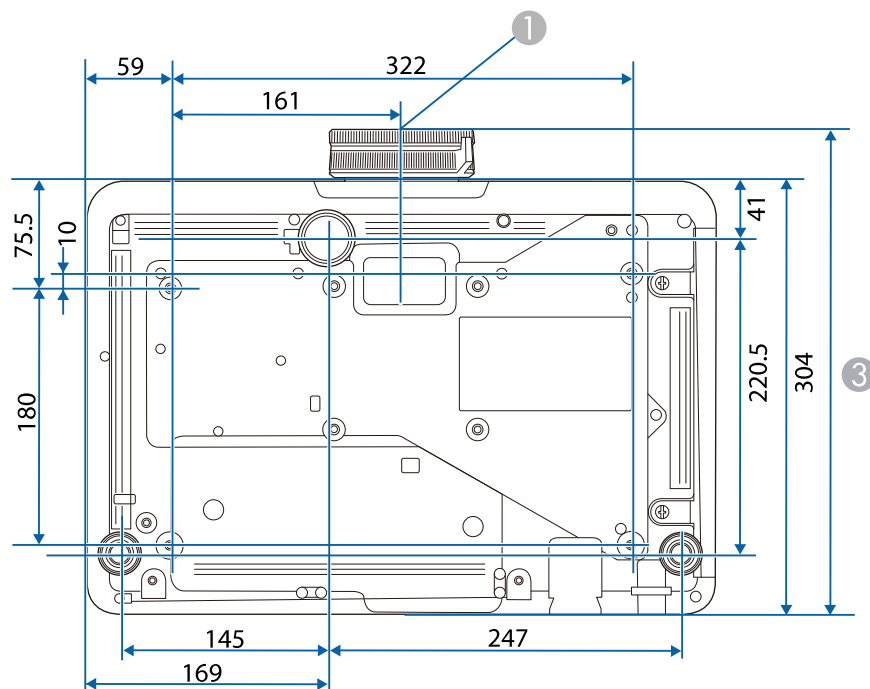


- ・ USB-A端子とUSB-B端子はUSB2.0に対応しています。ただし、USB対応機器すべての動作を保証するものではありません。
- ・ USB-B端子はUSB 1.1には対応していません。



単位：mm

- ① レンズの中心
- ② レンズ中心から天吊り固定部までの寸法：74 mm
- ③ EB-L735U/EB-L730U/EB-L720U/EB-L630U/EB-L630W/EB-L530U：339 mm
EB-L635SU/EB-L630SU：334 mm



本機はEpson Projector Content Managerの以下の機能をサポートしています。

機能/設定項目		EB-L735U/EB-L730U/EB-L720U/EB-L635SU/EB-L630SU/EB-L630U/EB-L630W/EB-L530U
同期再生		-
ネットワーク経由でプロジェクターにプレイリストを保存する		✓
[設定] > [動画形式]	自動選択	✓
	AVI形式	✓
	MP4形式	✓

本機はEpson Projector Professional Toolの以下の機能をサポートしています。



- ・ [マルチプロジェクション] メニューの [HDMI Out設定] とプロジェクターのHDMI Out端子を使用した複数台接続は、Epson Projector Professional Toolでサポートしていません。
- ・ [スクリーンタイプ] および [スクリーン位置] を変更すると、[幾何学歪み補正] は初期化されます。
- ・ HDBaseTトランスミッター経由で本機の電源を入れる場合は、[信号入出力] メニューの [A/V出力] を [常時] に設定します。

機能/設定項目		EB-L735U/EB-L730U/EB-L720U/EB-L635SU/EB-L630SU/EB-L630U/EB-L630W/EB-L530U
[カメラアシスト] 機能		-
[レイアウト/監視] タブ	[入力電圧]	-
[設定] タブ	[レンズコントロール] タブ	-
	[初期設定] > [基本設定3] タブ	-
	[スタートアップ (シャッター)] / [スタンバイ (シャッター)]	-
	[フェードイン (秒)] / [フェードアウト (秒)]	-

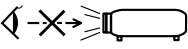
機能/設定項目		EB-L735U/EB-L730U/EB-L720U/EB-L635SU/EB-L630SU/EB-L630U/EB-L630W/EB-L530U	
		[シャッタータイマー]	本機の [A/V ミュートタイマー] として設定できます。
		[スタンバイ確認]	-
		[全初期化]	以下の設定も初期値に戻ります。 ・ [ユニフォーミティー] ・ [カラーマッチング]
		[スクリーンマッチング初期化]	以下の設定のみ初期値に戻ります。 ・ [ユニフォーミティー] ・ [カラーマッチング]
	[幾何学歪み補正] タブ	[曲面投写補正]	-
		[コーナー投写補正]	-
		ポイントをドラッグ&ドロップするときのマーカー表示	-

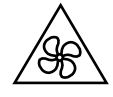
機能/設定項目			EB-L735U/EB-L730U/EB-L720U/EB-L635SU/EB-L630SU/EB-L630U/EB-L630W/EB-L530U
		投写エリア外出の調整	-
		絶対座標値と相対座標値	✓
	ソフトウェアのメニュー	[幾何学歪み補正ファイル]	-
		[プロジェクターファイル]	-

製品上にシンボルマークが表示されている場合は、それぞれ以下の意味を持っています。

No.	シンボルマーク	対応規格	説明
①		IEC60417 No. 5007	電源ON 電源への接続を示す。
②		IEC60417 No. 5008	電源OFF 電源からの切り離しを示す。
③		IEC60417 No. 5009	スタンバイ 機器・装置の一部だけを通電状態にし、機器・装置を待機状態にするためのスイッチまたはその位置を示す。
④		ISO7000 No. 0434B, IEC3864-B3.1	注意 製品取扱時の全般的な注意を示す。
⑤		IEC60417 No. 5041	注意（高温） 高温の可能性があり、不注意に触れない方がよい箇所であることを示す。
⑥		IEC60417 No. 6042 ISO3864-B3.6	注意（感電危険） 感電（電撃）の危険性がある機器・装置であることを示す。
⑦		IEC60417 No. 5957	屋内専用 屋内使用専用を目的とする電気機器・装置であることを表す。

No.	シンボルマーク	対応規格	説明
⑧		IEC60417 No. 5926	直流電源コネクタ極性 直流電源を接続してもよい機器のプラスおよびマイナス電極の接続を示す。
⑨		—	No. 8と同じ
⑩		IEC60417 No. 5001B	電池（一般） 電池を電源とする機器・装置に使用する。電池装着部分のカバーまたは接続端子を示す。
⑪		IEC60417 No. 5002	電池の向き 電池ケース本体および電池ケース内での向きを示す。
⑫		—	No. 11と同じ
⑬		IEC60417 No. 5019	保護接地 障害発生時の電撃（感電）保護用外部導体への接続端子または保護接地極の端子であることを示す。
⑭		IEC60417 No. 5017	アース No. 13の使用が明示的に要請されない場合の接地（アース）端子であることを示す。
⑮		IEC60417 No. 5032	交流 交流専用の機器・装置であり、交流に対応する端子であることを示す。

No.	シンボルマーク	対応規格	説明
16		IEC60417 No. 5031	直流 直流専用の機器・装置であり、直流に対応する端子であることを示す。
17		IEC60417 No. 5172	クラスⅡ機器 JIS C 9335-1/JIS C 8105-1でクラスⅡ機器と規定した安全性要求事項に適合する機器・装置であることを示す。
18		ISO 3864	一般的な禁止 特定しない一般的な禁止通告を示す。
19		ISO 3864	接触禁止 機器の特定の場所に触れることによって傷害が起こる可能性がある場合の禁止通告を示す。
20		—	プロジェクター動作中の投写レンズ覗きこみ禁止を示す。
21		—	プロジェクターの上に物を置いてはならないことを示す。
22		ISO3864 IEC60825-1	注意（レーザー放射） 製品上に注意が必要なレベルのレーザー放射部があることを示す。
23		ISO 3864	分解禁止 機器を分解することで感電などの傷害が起こる可能性がある場合の禁止通告を示す。

No.	シンボルマーク	対応規格	説明
24		IEC60417 No. 5266	待機、一部待機 機器・装置の一部が準備状態であることを示す。
25		ISO3864 IEC60417 No. 5057	注意（可動部品） 保護規定上、可動部品から離れなければならないことを示す。
26		IEC60417 No. 6056	注意（可動ファンのブレード） 保護規定上、可動部品から離れなければならないことを示す。
27		IEC60417 No. 6043	注意（鋭利な角） 保護規定上、鋭利な角には触れてはいけないことを指示する。
28		—	プロジェクター動作中の投写レンズ覗きこみ禁止。
29		ISO7010 No. W027 ISO 3864	警告、光放射（UV、可視光、IR など） 光放射の近くにいるときは、目や肌に負傷を与えないように注意してください。
30		IEC60417 No. 5109	居住区域使用禁止 居住区域での使用に適さない電気機器・装置であることを示す。

本機はJIS C 6802:2014に適合したクラス1レーザー製品です。

以下の注意事項を必ず守ってご使用ください。

⚠ 警告

- ・ 本機のケースを開けないでください。内部に高出力レーザー製品が組み込まれています。
- ・ 本機の光源を直接見ないでください。強い光が視力障害などの原因となります。

⚠ 注意

本機を廃棄する場合は分解しないでください。国や地域の廃棄ルールに従って廃棄してください。



本機的光源はレーザーを使用しています。レーザーには以下のような特性があります。

- ・ 使用環境によって、光源の輝度が低下します。温度が高くなるほど、輝度の低下が大きくなります。
- ・ 使用時間の経過にともない、光源の輝度が低下します。使用時間と輝度低下の関係は明るさ設定で変更できます。

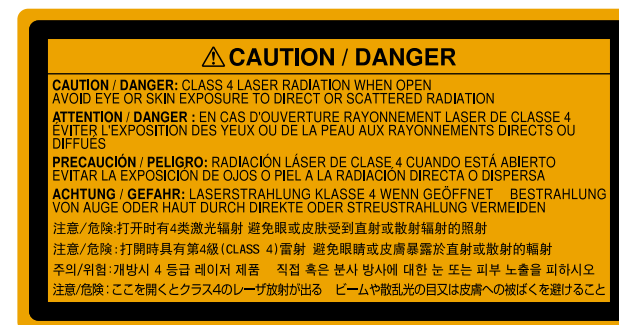
▶ 関連項目

- ・ 「レーザー警告ラベル」 [p.281](#)

レーザー警告ラベル

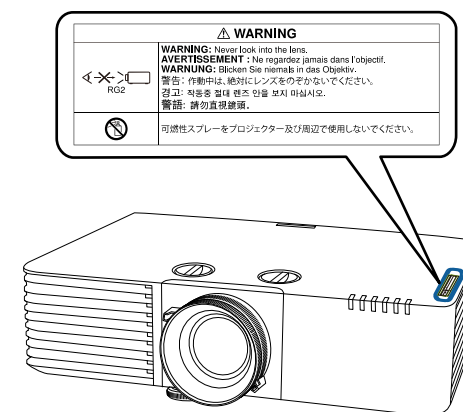
本機の内部および側面にはレーザー警告ラベルが貼られています。

内部



上面

投写中は、光源から放射されるレーザービームをのぞかないでください。（RG2 IEC/EN 62471-5:2015に準拠）



- ・ 投写中は本機のレンズをのぞき込まないでください。目に損傷を与えるおそれがあります。特にお子様やペットの行動にご注意ください。

- ・ 本機から離れた場所でリモコンを使って電源を入れるときは、レンズをのぞいている人がいないことを確認してください。
- ・ 小さなお子様には操作させないでください。操作する可能性がある場合は、必ず保護者が同伴してください。
- ・ 投写中はレンズをのぞきこまないでください。また、ルーペや望遠鏡などの光学機器を用いてレンズをのぞかないでください。視覚障害の原因になることがあります。

本書で使用している用語で、本文中に説明がないものや難しいものを簡単に説明します。詳細は市販の書籍などでご確認ください。

AMX Device Discovery	AMX Device Discoveryとは、AMX社のコントロールシステムとその対象機器の構成を容易にする、AMX社の提唱する技術です。 エプソンでは、その技術のプロトコルを導入して、そのプロトコル機能を有効（ON）にできる設定を用意しました。 詳細に関しては、AMX社のWebサイトを参照してください。 URL： http://www.amx.com/
アスペクト比	画面の横と縦の比率をいいます。 横：縦の比率が16:9の、HDTVなどの画面をワイド画面といいます。 SDTVや、一般的なコンピュータのディスプレイのアスペクト比は4:3です。
コントラスト	色の明暗の差を強くしたり弱くしたりすることにより、文字や絵がはっきり見えたり、ソフトに見えたりすることです。この調整をコントラストの調整といいます。
DHCP	Dynamic Host Configuration Protocolの略で、ネットワークに接続する機器に、IPアドレスを自動的に割り当てるプロトコルのことです。
DICOM	Digital Imaging and Communication in Medicineの略称です。 医用画像の画像規格および通信プロトコルを定義した世界標準規格です。
ゲートウェイアドレス	サブネットマスクによって分割したネットワーク（サブネット）を超えて通信するためのサーバー（ルーター）のことです。

HDCP	High-bandwidth Digital Content Protectionの略です。 DVIやHDMI端子を経由して送受信するデジタル信号を暗号化し、不正なコピーを防止する著作権保護技術です。 本機のHDMI端子はHDCPに対応しているため、HDCP技術で保護されたデジタル映像を投写できます。 ただし、HDCPの規格変更等が行われたときは、変更後の規格で保護されたデジタル映像を投写できなくなる場合があります。
HDMI™	High Definition Multimedia Interfaceの略で、デジタル家電やコンピュータ向けの規格です。HD映像とマルチチャンネルオーディオ信号をデジタル伝送できます。 デジタル信号を圧縮せず高品質のまま転送できます。デジタル信号の暗号化機能もあります。
HDTV	High-Definition Televisionの略で、次の条件を満たす高精細なシステムに適用されます。 ・垂直解像度720p、1080i以上（pはプログレッシブ走査、iはインターレース走査） ・画面のアスペクト比は16:9
インフラストラクチャーモード	無線LANの通信方式の一つで、各機器がアクセスポイントを経由して通信を行います。
インターレース	1つの画面を作り出す情報を上から下へ1つ飛ばしに伝送します。 1フレームの表示が1ラインおきとなるため、ちらつき（フリッカー）が出やすくなります。
IPアドレス	ネットワークに接続されたコンピュータを識別するための数字のことです。
プログレッシブ	1つの画面を作り出す情報を一度で映し出して1フレーム分の映像を表示します。 そのため走査線の本数が同じでもインターレースと比べて時間あたりの情報量が2倍になるためちらつきが少ない映像になります。

リフレッシュレート	ディスプレイの発光体は、その明るさと色をごく短時間保持します。 そのため発光体をリフレッシュするために1秒間に何度も画像を走査しなければなりません。 その速度をリフレッシュレートと呼び、ヘルツ（Hz）で表します。
SDTV	Standard Definition Televisionの略で、HDTVの条件を満たさない標準テレビ放送のことです。
SNMP	Simple Network Management Protocolの略で、TCP/IPネットワークにおいてルーターやコンピューターなどネットワークに接続された通信機器をネットワーク経由で監視・制御するためのプロトコルです。
sRGB	各画像装置が表現する色をコンピューターのオペレーティングシステム（OS）やインターネットで簡単に扱うために規定された、色空間に関する国際標準です。接続している機器にsRGBモードがある場合、本機と接続機器の両方ともsRGBに設定します。
SSID	SSIDは、無線LANの環境で相手と接続するための識別データです。SSIDが一致している機器同士で無線通信できます。
サブネットマスク	IPアドレスから、分割したネットワーク（サブネット）のネットワークアドレスに使用するビット数を定義する数値のことです。
SVGA	画面サイズの規格で、横800ドット×縦600ドットのことを呼びます。
SXGA	画面サイズの規格で、横1,280ドット×縦1,024ドットのことを呼びます。

同期	コンピューターから出力される信号は、ある決まった周波数で出力されます。 その周波数にプロジェクターの周波数を合わせないと、きれいな映像になりません。 信号の位相（山のずれ）を合わせることを「同期を合わせる」といいます。 同期が合っていないと映像にちらつき、ぼやけ、横方向のノイズが出ます。
トラッキング	コンピューターから出力される信号は、ある決まった周波数で出力されます。 その周波数にプロジェクターの周波数を合わせないと、きれいな映像になりません。 信号の周波数（山の数）を合わせることを「トラッキングを合わせる」といいます。 トラッキングが合っていないと映像に幅広の縦の縞模様が出ます。
トラップIPアドレス	SNMPで異常を通知する場合の、通知先のコンピューターのIPアドレスのことです。
VGA	画面サイズの規格で、横640ドット×縦480ドットのことを呼びます。
XGA	画面サイズの規格で、横1,024ドット×縦768ドットのことを呼びます。
WXGA	画面サイズの規格で、横1,280ドット×縦800ドットのことを呼びます。
WUXGA	画面サイズの規格で、横1,920ドット×縦1,200ドットのことを呼びます。

本機をお使いの際の注意事項については、以下の項目をご確認ください。

▶ 関連項目

- ・「使用限定について」 [p.285](#)
- ・「本機を日本国外へ持ち出す場合の注意」 [p.285](#)
- ・「瞬低（瞬時電圧低下）基準について」 [p.285](#)
- ・「JIS C 61000-3-2適合品」 [p.285](#)
- ・「表記について」 [p.285](#)
- ・「商標について」 [p.286](#)
- ・「ご注意」 [p.286](#)
- ・「著作権について」 [p.287](#)

使用限定について

本製品を航空機・列車・船舶・自動車などの運行に直接関わる装置・防災防犯装置・各種安全装置など機能・精度などにおいて高い信頼性・安全性が必要とされる用途に使用される場合は、これらのシステム全体の信頼性および安全維持のためにフェールセーフ設計や冗長設計の措置を講じるなど、システム全体の安全設計にご配慮いただいた上で当社製品をご使用いただくようお願いいたします。本製品は、航空宇宙機器、幹線通信機器、原子力制御機器、医療機器など、極めて高い信頼性・安全性が必要とされる用途への使用を意図しておりませんので、これらの用途には本製品の適合性をお客様において十分ご確認のうえ、ご判断ください。

本機を日本国外へ持ち出す場合の注意

- ・日本国内向けの本製品を海外で利用した場合は、保証の対象外となります。国内で販売する本製品は、日本国内使用を意図した安全規格基準のみ対応しているため、日本国以外でのご使用は違法となる場合があります。また、国や地域によっては電波使用制限があるた

め、ネットワーク機能を海外で使った場合、罰せられることがあります。

- ・電源コードは日本国内向けの電源仕様に基つき同梱されています。本機を日本国以外でお使いになるときは、事前に使用する国の電源電圧や、コンセントの形状を確認し、その国の規格に適合した電源コードを現地にてお求めください。

瞬低（瞬時電圧低下）基準について

本装置は、落雷などによる電源の瞬時電圧低下に対し不都合が生じることがあります。電源の瞬時電圧低下対策としては、交流無停電電源装置などを使用されることをお勧めします。

JIS C 61000-3-2適合品

本装置は、高調波電流規格「JIS C 61000-3-2」に適合しています。

表記について

- ・ Microsoft® Windows® 7 operating system
- ・ Microsoft® Windows® 8.1 operating system
- ・ Microsoft® Windows® 10 operating system

本書中では、上記各オペレーティングシステムをそれぞれ、「Windows 7」、「Windows 8.1」、「Windows 10」と表記しています。また、これらを総称する場合は「Windows」と表記します。

- ・ OS X 10.11.x
- ・ macOS 10.12.x
- ・ macOS 10.13.x

- macOS 10.14.x
- macOS 10.15.x

本書中では、上記各オペレーティングシステムをそれぞれ、「OS X 10.11.x」、「macOS 10.12.x」、「macOS 10.13.x」、「macOS 10.14.x」、「macOS 10.15.x」と表記しています。またこれらを総称する場合は「Mac」と表記します。

商標について

「EPSON」はセイコーエプソン株式会社の登録商標です。「EXCEED YOUR VISION」およびそのロゴはセイコーエプソン株式会社の登録商標または商標です。

Mac、OS X、macOSは、Apple Inc.の商標です。

Microsoft、Windows、Windows Serverは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における商標、または登録商標です。

Wi-Fi[®]、WPA2[®]、WPA3[®]、Miracast[®]はWi-Fi Alliance[®]の登録商標です。

App Storeは、Apple Inc.のサービスマークです。

Chrome、Chromebook、Google PlayはGoogle LLC.の商標です。

HDMI、HDMIロゴ、およびHigh-Definition Multimedia InterfaceはHDMI Licensing Administrator, Inc.の商標、または登録商標です。 

QRコードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です。

PJLinkは、日本、米国、その他の国や地域における商標、または登録商標です。

Crestron[®]、Crestron Connected[®]、Crestron Fusion[®]、Crestron Control[®]、およびCrestron RoomView[®]は、Crestron Electronics, Inc.の登録商標です。

Intel[®]は、米国およびその他の国におけるIntel Corporationの登録商標です。

Extron[®]およびXTP[®]は、RGB Systems の登録商標です。

HDBaseT[™]およびHDBaseT Allianceロゴは、HDBaseT Allianceの登録商標です。

Android TV[™]はGoogle LLC.の商標です。

なお、各社の商標および製品商標に対しては特に注記のない場合でも、これを十分尊重いたします。

ご注意

(1) 本書の内容の一部、または全部を無断で転載することは固くお断りいたします。

(2) 本書の内容については、将来予告なしに変更することがあります。

(3) 本書の内容については万全を期して作成いたしましたが、万一ご不審な点や誤り、お気付きの点がございましたら、ご連絡くださいますようお願いいたします。

(4) 運用した結果の影響につきましては、(3)項にかかわらず責任を負いかねますのでご了承ください。

(5) 本製品がお客様により不適當に使用されたり、本書の内容に従わずに取り扱われたり、またはエプソンおよびエプソン指定の者(「お問い合わせ先」参照)以外の第三者により、修理、変更されたこと等に起因して生じた損害等につきましては、責任を負いかねますのでご了承ください。

(6) エプソン純正品、およびエプソン品質認定品以外のオプション品または消耗品、交換部品を装着してトラブルが発生した場合には、責任を負いかねますのでご了承ください。

(7) 本書中のイラストや画面図は実際と異なる場合があります。

著作権について

本書の内容は予告なく変更することがあります。

© 2021 Seiko Epson Corporation

2021.02 414103300JA